



大学コンソーシアム八王子

The Consortium of Universities in Hachioji

単位互換履修生 募集ガイド

2024 年度

多摩美術大学、東京工科大学、創価大学、サレジオ工業高等専門学校、ヤマザキ動物看護大学、東京家政学院大学
東京工業高等専門学校、山野美容芸術短期大学、東京造形大学、東京純心大学、杏林大学、明星大学、工学院大学
帝京大学、帝京大学短期大学、拓殖大学

大学コンソーシアム八王子単位互換制度について

「大学コンソーシアム八王子」は、地域の特性を活かし、大学・市民・経済団体・企業・行政などが連携・協働し、大学・学生・市民の皆さんにとって、よりいっそう魅力ある学園都市をめざして、2009年4月に設立されました。

大学コンソーシアム八王子の多彩な事業展開のなかに単位互換事業があり、以下の大学・短期大学・高等専門学校（以下「大学等」という。）では、相互の協力・交流・連携を推進し、教育の活性化と充実に資するとともに、学生に対して多様な学習機会を提供することを目的として、単位互換協定を締結しました。これらの大学等に在籍する学生は、所属以外の大学等で開講する授業を、履修料等免除で受講し、試験等に合格すれば単位を修得することができます。

多摩美術大学、東京工科大学、創価大学、サレジオ工業高等専門学校、ヤマザキ動物看護大学、東京家政学院大学
東京工業高等専門学校、山野美容芸術短期大学、東京造形大学、東京純心大学、杏林大学、明星大学、工学院大学
帝京大学、帝京大学短期大学、拓殖大学

出願手続きについて

1. 出願資格

「大学コンソーシアム単位互換協定」に加盟している大学等に在籍する学生は、所属大学等の許可があれば、誰でも受講資格があります。ただし、単位認定可能な科目の種類や単位数の上限、或いは出願する科目が卒業要件として認められるかなどは、所属大学等によって異なります。詳細は所属大学等で開催されるガイダンスや担当窓口で確認をしてください。

また、受入れ大学等と所属大学等の講義時間帯及びキャンパス間（八王子市学園都市センターを含む）の移動時間を十分考慮して申請してください。

4年生は卒業必要単位数の確保が十分に見込まれ、単位互換の対象となる単位を卒業所要単位としない、いわゆる余剰単位として修得する学生が出願してください。

なお、東京家政学院大学は女子のみが履修対象者です。

2. 出願期間

出願期間は、所属大学等がそれぞれに定めていますので、それに従ってください。（※各自で確認して下の枠内に記入）

前期・通年授業	:	月	日（ ）	～	月	日（ ）	（厳守）
後期授業	:	月	日（ ）	～	月	日（ ）	（厳守）

【注意】① 出願期間は、所属大学等での通常の授業科目の履修登録期間とは異なることが多いので、必ず担当窓口で確認してください。

② 大学等によっては、後期開講科目であっても、前期の履修登録期間内に出願受付を行うことがあります。

③ 集中講義（夏季または冬季）については、別途出願期間を設けることがあります。この場合は、所属大学等において掲示などによりお知らせします。

3. 出願書類提出場所

「単位互換履修申請書」（本履修ガイド巻末に添付）に必要事項を記入の上、所属大学等の担当窓口へ提出してください。受入れ大学等につき1部ずつ記入してください。申請書が不足する場合は、各自でコピーをしてください。

4. 履修許可

提出した申請書は、所属大学等から受入れ大学等に送付されます。出願者多数の場合は選考を行い、結果は所属大学等を通じて出願者に通知されます。正式な履修許可の後に、はじめて授業に出席する場合は、当日の授業開始 15 分前までには受入れ大学等の担当窓口申し出て、指示に従ってください（受入れ大学等によって、「単位互換履修生証」・学事日程・キャンパスマップなどを配布したり、別途手続きを必要とすることがあります）。この手続きを経ない場合は受講できなくなることもありますので、注意してください。

許可を受けた履修科目の変更または取消しは、原則として認められません。

なお、出願期間を超えていなければ、申請書を提出する前に授業に出席することは可能です。ただし、その場合は必ず事前に所属大学等の担当窓口申し出て、受入れ大学等の許可を受けなければいけません（許可なく他大学等の授業に出席することは認められません）。

受入れ大学等での身分、単位互換履修生証

1. 受入れ大学等での身分

受入れ大学等においては、単位互換履修生（大学等によって呼称は異なる）として扱われます。受入れ大学等の諸規則を守ることが求められますので、一個人に留まらず、所属大学等の代表であることを十分に自覚して、この単位互換制度を通して大学等間の交流が円滑に推進できるよう、協力をお願いします。

2. 単位互換履修生証

単位互換履修生であることを証する「単位互換履修生証」は、受講を許可された場合に、受入れ大学等から発行されます。ただし、八王子市学園都市センターで行う授業又は遠隔授業の履修者に対しては、交付しません。

「単位互換履修生証」は、受入れ大学等に入構する際や図書館等の施設を利用する際、あるいは定期試験を受験する際など、提示を求められる機会がありますので、所属大学等の学生証と一緒に常に携帯してください。

なお、記載されている有効期限が切れたとき、または有効期限内であっても、「単位互換履修生証」を使用しなくなったときは、すみやかに受け入れ大学等または所属大学等の担当窓口返却してください。

授業・試験

1. 授業

休講、補講等の授業に関する通知は、受入れ大学等が通常その大学等の学生に対する方法により行いますので、各自の責任において確認してください。ただし、緊急に通知する必要がある場合は、所属大学等に通知することがあります。

ストライキ、事故、災害等に伴う授業の取扱いは、受入れ大学等の定めるところによります。

2. 試験

試験は、受入れ大学等の定める方法により行います。試験の日程等に関する通知は、受入れ大学等が通常その大学等の学生に対する方法により行いますので、各自の責任において確認してください。

受入れ大学等の試験と所属大学等の試験の日時が重複した場合、あるいは受入れ大学等の試験と所属大学等の授業又は補講の日時が重複した場合は、必ず前もってその旨を所属大学等に相談してください。

病気等により試験を欠席したときは、受入れ大学等の定めにより追試験を受験を認めることがあります。この場合において、追試験の対象とする欠席理由、手続き、手数料等追試験に関し必要な事項は、受入れ大学等の定めるところによります。

不合格となった場合の再試験等はいりません。

成績評価・単位認定

1. 成績

成績は、所属大学等から通知します。

成績評価は、所属大学等の成績評価基準及び表示方法（A・B・C・Dなど）に置き換えて認定します。成績評価に関する質問がある場合には、受入れ大学等の定めにより行います。

2. 単位認定

単位認定科目の名称は、受入れ大学等における科目名とします。ただし、所属大学等によって、類似科目に読み替え、又は別の科目名称を設ける場合がありますので、出願前に所属大学等に確認をしてください。

この制度による他大学等での履修及び成績に関する証明は、原則として受入れ大学等では行いません。

履修料等

単位互換履修生の履修に係る履修料等については、免除されます。

ただし、教材費等が必要な場合には、実費を徴収されることがあります。

単位互換協定校の2024年度授業期間について

開設大学	前期（春学期）授業期間	後期（秋学期）授業期間
多摩美術大学	4/10（水）～8/5（月）	9/4（水）～1/20（月）
東京工科大学	4/12（金）～7/25（木）	9/23（月）～1/10（金）
創価大学	4/5（金）～7/26（金）	9/13（金）～1/28（火）
サレジオ工業高等専門学校	4/8（月）～8/2（金）	9/9（月）～1/29（水）
ヤマザキ動物看護大学	4/6（土）～7/26（金）	9/19（木）～1/22（水）
東京家政学院大学	4/8（月）～7/23（火）	9/21（土）～1/24（金）
東京工業高等専門学校	4/10（水）～7/26（金）	10/1（火）～1/27（月）
山野美容芸術短期大学	4/8（月）～8/5（月）	9/24（火）～2/8（土）
東京造形大学	4/15（月）～7/26（金）	9/5（木）～12/24（火）
東京純心大学	4/8（月）～7/29（月）	9/13（金）～1/20（月）
杏林大学	4/6（土）～7/23（火）	9/18（水）～1/11（土）
明星大学	4/8（月）～7/27（土）	9/10（火）～1/25（土）
工学院大学	4/8（月）～7/26（金）	9/12（木）～1/11（土）
帝京大学	4/8（月）～7/26（金）	9/9（月）～1/10（金）
帝京大学短期大学	4/8（月）～7/26（金）	9/9（月）～1/10（金）
拓殖大学	4/12（金）～7/22（月）	9/27（金）～1/20（月）

※ ご自身の所属校において、他大学等への学生派遣（他大学等の授業等の受講）の可否を予め確認してください。

※ この制度を利用して他大学等で履修する場合には、受入れ大学等の学事日程で受講することになります。

※ 年度末考査等の詳細な日程については、履修許可後に受入れ大学等で確認してください。

多摩美術大学



住所 〒192-0394 八王子市鎌水2-1723
TEL 042-676-8611 **URL** <https://www.tamabi.ac.jp/>
交通 JR「八王子」駅南口⑤番乗車場より多摩美大行約20分(京王バス)、
 JR「橋本」駅北口⑥番乗車場より多摩美大行約8分(神奈中バス)。

日本工学院八王子専門学校
 東京工科大学



住所 〒192-0982 八王子市片倉町1404-1
TEL 042-637-2111 (日本工学院八王子専門学校 042-637-3111)
URL <https://www.teu.ac.jp/> (日本工学院八王子専門学校 <https://www.neec.ac.jp/>)
交通 JR横浜線「八王子みなみ野」駅下車、スクールバス約7分。
 JR中央線「八王子」駅下車、スクールバス約10分。

創価大学
 創価女子短期大学



住所 〒192-8577 八王子市丹木町1-236
TEL 【大学】042-691-2215 【短期大学】042-691-2201
URL <https://www.soka.ac.jp/>
交通 JR「八王子」駅より(西東京バス)創価大学循環バス、創価大正門(東京富士美術館)下車。

サレジオ工業高等専門学校



住所 〒194-0215 町田市小山ヶ丘4-6-8
TEL 042-775-3020 **URL** <http://www.salesio-sp.ac.jp/>
交通 京王相模原線「多摩境」駅下車、徒歩約8分。

ヤマザキ動物看護大学



住所 〒192-0364 八王子市南大沢4-7-2
TEL 042-653-0901 **URL** <http://www.yamazaki.ac.jp/>
交通 京王相模原線「南大沢」駅下車、徒歩10分。

東京家政学院大学



住所 〒194-0292 町田市相原町2600
TEL 042-782-9811 **URL** <https://www.kasei-gakuin.ac.jp/>
交通 JR横浜線「相原」駅下車、相原駅西口(のりば2番)からバス約9分。
 京王線「めじろ台」駅下車、めじろ台駅(のりば4番)からバス約13分。
 JR線「八王子」駅下車、八王子駅南口(のりば7番)からバス約30分。

東京工業高等専門学校



住所 〒193-0997 八王子市栲田町1220-2
TEL 042-668-5111(代) **URL** <https://www.tokyo-ct.ac.jp/>
交通 京王線「狭間」駅から徒歩5分。京王線「めじろ台」駅から徒歩15分。
 JR「高尾」駅から徒歩20分。

山野美容芸術短期大学



住所 〒192-0396 八王子市鎌水530
TEL 042-677-0111 **URL** <https://www.yamano.ac.jp/>
交通 JR横浜線「八王子みなみ野」駅下車、スクールバス約7分。

東京造形大学



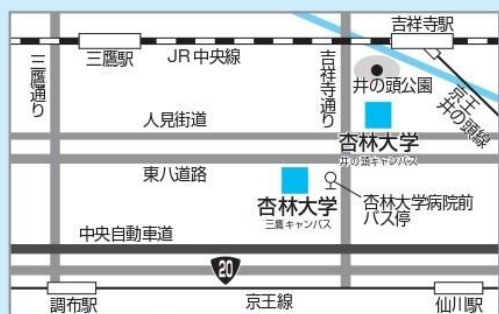
住所 〒192-0992 八王子市宇津貫町1556
TEL 042-637-8111 **URL** <https://www.zokei.ac.jp/>
交通 JR横浜線「相原」駅下車徒歩約15分、スクールバス約5分。

東京純心大学



住所 〒192-0011 八王子市滝山町2-600
TEL 042-692-0326 **URL** <http://www.t-junshin.ac.jp/univ/>
交通 JR「八王子」駅京王線「京王八王子」駅よりバス(ひよどり山経由)約15分。
 JR「福生」駅よりバス約21分。JR「拜島」駅よりバス約23分。
 JR「秋川」駅よりバス約29分。いずれも「純心学園前」下車。

杏林大学 (井の頭キャンパス)



住所 〒181-8612 三鷹市下連雀5-4-1
TEL 0422-47-8000(代) **URL** <https://www.kyorin-u.ac.jp/>
交通 JR「吉祥寺」駅南口⑥番乗車場「三鷹」駅南口⑥番乗車場より杏林大学井の頭キャンパス(入行)バス約15分。
 京王線「千歳烏山」駅北口①番乗車場より吉祥寺駅行「吉祥寺駅中央口」行バス約20分。「野村病院」下車。
 京王線「仙川」駅①番乗車場より吉祥寺駅中央口行バス約20分。「野村病院」下車。

明星大学



住所 〒191-8506 日野市程久保2-1-1
TEL 042-591-5111 **URL** <https://www.meisei-u.ac.jp/>
交通 多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅下車、直結。

工学院大学



住所 〒192-0015 八王子市中野町2665-1
TEL 042-628-4821 **URL** <https://www.kogakuin.ac.jp/>
交通 JR「八王子」駅、京王線「京王八王子」駅より西東京バスで20分。工学院大学下車。

帝京大学 帝京大学短期大学



住所 〒192-0395 八王子市大塚359
TEL 0120-508-739 **URL** <https://www.teikyo-u.ac.jp/>
交通 京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅より帝京大学構内バス17分。京王線「高幡不動」駅より帝京大学構内バス13分。
 京王相模原線「小田急多摩センター」駅より帝京大学構内バス18分。
 多摩モノレール「大塚・帝京大学」駅より徒歩約15分。

拓殖大学



住所 〒193-0985 八王子市館町815-1
TEL 042-665-1443 八王子総務課(庶務担当)
URL <https://www.takushoku-u.ac.jp/>
交通 JR中央線、京王線「高尾」駅南口下車、京王バス拓殖大学直通5分もしくは、徒歩25分。

大学コンソーシアム八王子事務局 (八王子学園都市センター内)

〒192-0083 東京都八王子市旭町 八王子スクエアビル11階
 TEL : 042-646-5740 FAX : 042-646-2663
<https://gakuen-hachioji.jp/>



(トップページ)



(単位互換ページ)



2024年度 開講科目について (シラバス)

※以下の内容は、大学コンソーシアム八王子ウェブサイト上の「単位互換制度」の中でも公開しています。

<https://gakuen-hachioji.jp/project/credit/>



No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
1	東京工科大学	地球環境科学	浦瀬 太郎 応用生物学部 教授 秋元 卓央 応用生物学部 教授	2	前期	火	14	8:50~10:30	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

本講義では、地球環境に関する授業を通して、地球環境科学についての実学に基づく専門力を授業を通して身に付ける。さらに、授業中に地球環境に関連した小課題に回答することを通して問題解決力を身につける。さらに、ばらつきのある環境モニタリングのデータを統計的に理解することを通して、どの分野の学生にも有用な分析評価能力を育成する。

【授業の概要】

環境関連の業界(たとえば、環境分析コンサルタント業、水処理業、農業法人、種苗業など)、あるいは、企業の環境管理部門への就職を目指す学生に必須となる地球環境およびそれを構成する大気圏、水圏での様々な現象について、講義する。また、他産業へ就職する学生にとっても、持続的な社会における判断や戦略に役立つ基礎的素養を本講義によって身につけることができる。具体的には、大気の運動、地球の熱収支、水質現象、人類に影響を与える化学物質や微生物に関する地球規模での問題についての基本的知識を講義する。

【授業内容】

1. 地球大気の組成と大気の垂直分布 (秋元)
2. 大気の安定度と雲の形成 (秋元)
3. 気圧と気象 (秋元)
4. 地球規模での大気の循環と世界の気候 (秋元)
5. 二酸化炭素の存在量と循環 (秋元)
6. 太陽活動と地球の温度 (秋元)
7. 温室効果と地球の放射 (秋元)
8. 有機物の地球上での循環と反応、測定 (浦瀬)
9. 栄養塩の地球上での循環と反応、測定 (浦瀬)
10. 水の成層と水質現象 (浦瀬)
11. 病原微生物と地球環境問題 (浦瀬)
12. 難分解性化学物質の毒性評価、地球規模での挙動 (浦瀬)
13. 水処理技術の基礎 (物理処理、化学処理、生物処理) (浦瀬)
14. 上下水道などの環境管理施設 (浦瀬)

【成績評価方法】

60点を期末試験、40点を14回の講義中に回収する課題の評価とし、その合計で評価する。期末試験には合格最低点がある。また、小課題にも合格するための最低提出回数が設定されている(原則として毎回提出)。毎回の課題については、回答例や考え方を授業中に解説し、フィードバックをおこなう。

【教科書】

指定しない。

【参考書、教材等】

- 松本淳著「はじめての大気環境化学」コロナ社(2015)
 D. J. ジェイコブ著「大気化学入門」東京大学出版会(2002)
 小倉義光「一般気象学」東京大学出版会(2016)
 浦瀬太郎著「公害防止管理者[水質関係]完全合格教本(改訂3版)」新星出版社(2018)
 山崎友紀著「地球環境学入門」講談社(2020)

※ この授業は、4/16 (火) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
2	東京工科大学	情報セキュリティ	宇田 隆哉 コンピュータサイ エンス学部 准教授	2	前期	火	14	10:45~12:25	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

公開鍵暗号の仕組みについて理解する。(実学に基づく専門能力、論理的な思考力)
 共通鍵暗号の仕組みについて理解する。(実学に基づく専門能力、論理的な思考力)
 ネットワークのフィルタリングについて理解する。(実学に基づく専門能力、論理的な思考力)
 情報セキュリティに関する知識を深める。(実学に基づく専門能力)
 これらの仕組みや専門知識は、論理的な構造を伴うものであり、目標に到達する過程で、実学に基づく専門能力、論理的な思考力を養う。

【授業の概要】

本講義は情報セキュリティについての理解を深めることを目的とする。ネットワークを介した不正攻撃、コンピュータウイルスの仕組みや対策、ファイアウォールの原理などのネットワークセキュリティ、共通鍵暗号、公開鍵暗号、ハッシュなどの暗号技術、暗号理論を応用した認証技術、電子透かし技術、匿名化通信、IoTセキュリティについての解説を行う。
 この授業では主に論理的な思考力を身につけることを目的としている。さらに、実学に基づく専門能力を鍛えることを目指している。

【授業内容】

1. 情報セキュリティの目的、技術的対策方法について概要を学ぶ
2. 不正攻撃に対するコンピュータの脆弱性、攻撃手法と対策について学ぶ
3. 代表的コンピュータウイルスの種類と機能、対策について学ぶ
4. ファイアウォールの仕組み、NAT、DMZ について学ぶ
5. 共通鍵暗号、ハッシュの技術について学ぶ
6. 公開鍵暗号の技術について学ぶ
7. 電子署名、タイムスタンプなどの認証技術について学ぶ
8. 認証技術を応用した SSL、S/MIME、PGP、VPN、WEP の仕組みについて学ぶ
9. PKI の基礎について学ぶ
10. 電子透かしについて学ぶ
11. ブロックチェーン技術について学ぶ
12. バイオメトリクスについて学ぶ
13. IoT セキュリティについて学ぶ
14. 総復習を行う

【成績評価方法】

数回の課題レポートおよび期末試験により成績評価を行う。期末試験結果とレポートは、100 対 27 の比率で総合成績に反映する。Moodle 小テストの得点はこれに期末試験の最大 15%の割合で加算される。レポートおよび小テストのフィードバックは Moodle にて行う。

【教科書】

宮地充子、菊池浩明編著、「IT Text 情報セキュリティ 改訂 2 版」、オーム社（2022 年）

【参考書、教材等】

情報セキュリティ標準テキスト編集委員会編、「情報セキュリティ標準テキスト」、オーム社（2006 年）
 佐々木良一、吉浦裕、手塚悟、三島久典共著、「インターネット時代の情報セキュリティ・暗号と電子透かし」、共立出版（2000 年）
 岡田仁志著、「決定版 ビットコイン&ブロックチェーン」、東洋経済新報社（2018 年）
 松井俊浩著、「IoT セキュリティ技術入門」、日刊工業新聞社（2020 年）

※ この授業は、4/16（火）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
3	東京工科大学	3 次元コンピュータグラフィックス論	柿本 正憲 メディア学部 教授	2	前期	木	14	15:10～16:50	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

授業計画に示した各授業のキーワードに関してその目的・原理・アルゴリズムを理解し、結果として、その技術によって生成または処理された画像がどのようなか判定できるようになることを到達目標とする。

【授業の概要】

3 次元コンピュータグラフィックス（3DCG）の理論のうち、レンダリング技術を中心として、3 次元モデルをリアルに表現する手法を学ぶ。網羅的な内容であるが、一部の項目に関してはプログラムの実装など詳細を説明する。この科目を受講することによって、3DCG 表現で使われる技法を深く理解することができる。流行に左右されない普遍的な技術を解説するので、受講者は長く役立つ知識を身につけることができる。

【授業内容】

1. ガイダンス、CG 技術の概要
2. ビューイングパイプライン（座標変換、投影、クリッピング）
3. モデリングの基礎（形状表現、曲線・曲面）
4. モデリングシステム（CAD システム、形状入力、フォトグラメトリー、デジタルアーカイブ）
5. 隠面消去（奥行ソート法、スキャンライン法、Z バッファ法）
6. シェーディング（照明モデル、反射モデル、BRDF、スムーズシェーディング）
7. 影付け・マッピング（シャドウマップ、シャドウポリゴン、テクスチャ、バンプマップ、環境マップ）
8. CG システムとリアルタイムレンダリング（GPU、グラフィックスパイプライン、シェーダ）
9. レイトレーシング法（交差判定、反射・屈折、高速化）
10. フォトンマッピング法（モンテカルロ法、k-d ツリー、集光現象）
11. ボリュームレンダリング（等値面、レイキャスティング、散乱）
12. 特殊なレンダリング（IBR、NPR）
13. キャラクタアニメーション（インバースキネマティクス、形状変形、モーションキャプチャ）
14. 特殊効果・動きのシミュレーション（剛体、柔軟物体、流体）

【成績評価方法】

数回のレポート課題の評価と期末試験結果を 50:50 の比率で総合成績に反映する。100 点満点で 60 点以上を合格とする。授業中の小テストは、教員による理解度確認と出席確認が目的で、原則として成績には反映しない。ただし、提出回数が極端に少ない場合は成績判定に影響する。フィードバックとして、小テスト実施直後に解答分布を提示し、誤答の多い部分について詳しい解説を行う。事前質問の提出頻度と内容に応じて総合成績に最大 10 点を加点する。

【教科書】

「コンピュータグラフィックス」（CG-ARTS 協会）

【参考書、教材等】

「CG 数理の基礎」（コロナ社）
 「ビジュアル情報処理」（CG-ARTS 協会）

※ この授業は、4/18（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
4	東京工科大学	サステイナブル工学基礎	江頭 靖幸 工学部 教授 高橋 秀智 工学部 教授 木村 康男 工学部 教授 野田 龍介 工学部 講師	2	前期	月	14	8:50~10:30	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

本授業科目では以下を到達目標とする。

- 1) サステイナブル工学のはたすべき役割について理解し、説明できる。
- 2) 環境やエネルギー問題の全体像を把握し、今後の方向性等について考察できる。
- 3) 機械工学、電気電子工学、応用化学分野における環境・エネルギー関連の技術的な課題や対策事例を説明できる。
- 4) ライフサイクルアセスメント、環境効率等の指標や分析・評価手法について理解し、技術や製品のサステナビリティ評価への応用について考察できる。

【授業の概要】

サステイナブル工学とは、持続可能な社会（サステイナブル社会）の実現に貢献するために、研究や技術開発において、ライフサイクル思考に基づいて planet（地球環境との調和）、people（生活の質の向上）、prosperity（経済の活性化）という3つの視点を同時に考慮し、それぞれを望ましい水準に保つとともに、将来に渡って維持・向上する方向での科学的なアプローチを実践する工学である。

本授業では、サステイナブル工学を実践する研究者や技術者の必須要件として、工学技術の新たな基盤となるライフサイクル思考をはじめ、環境やエネルギーの問題とその解決に向けた機械工学、電気電子工学、応用化学の各分野における技術的な課題や対策事例、ならびに製品等のサステナビリティの測定に有効な指標や分析・評価を可能とするライフサイクルアセスメント等の手法について包括的に学ぶ。

【授業内容】

1. サステイナブル工学入門（概要、ライフサイクル思考、役割）（江頭・野田）
2. 環境問題の現状（全体像、地球温暖化問題、その他の環境問題）（江頭・野田）
3. エネルギー問題の動向（エネルギー情勢、対策、省エネ技術）（江頭・野田）
4. サステイナブル材料（応用化学分野の技術課題や対策事例）（全教員）
5. サステイナブル設計・製造（機械工学分野の技術課題や対策事例）（全教員）
6. サステイナブル電気電子工学（電気電子工学分野の技術課題や対策事例）（全教員）
7. 省エネルギー・リサイクル施設の実例（原動設備、ゴミ収集場、再生可能エネルギー実験施設）（全教員）
8. 中間まとめ（前半の復習、ワークシート作成）（江頭・野田）
9. グループ討議1（環境問題等について討論、レポート作成）（江頭・野田）
10. ライフサイクルアセスメント（概要、国際標準規格の内容）（江頭・野田）
11. 製品の環境効率評価（概要、ファクターX、等）（江頭・野田）
12. サステナビリティの評価（各種評価指標、全体評価）（江頭・野田）
13. グループ討議2（製品評価等について討論、レポート作成）（江頭・野田）
14. サステイナブル工学の展望（最終まとめ）（江頭・野田）

【成績評価方法】

各授業で行う小テスト・演習課題等による理解度チェック（50%）、レポートの内容（20%）、期末試験の成績（30%）により総合的に評価する。なお、各%は目安である。

【教科書】

芝池成人編著「サステイナブル工学基礎」（コロナ社、2018）

【参考書、教材等】

指定なし

※ この授業は、4/15(月)が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
5	東京工科大学	社会心理	鈴木 万希枝 教養学環 教授	2	前期	木	14	8:50~10:30	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

社会心理学の基礎的な概念や理論を理解し、自分自身や他者の振る舞いに対する考察力を養います。さらに、紛争や偏見・差別といった社会問題、フェイクニュースやリスク・コミュニケーションといった今日的課題についての理解を深め、自分なりの考えをもつことを目標とします。

【授業の概要】

人は、なぜか見栄を張ってしまったり、差別的な見方をしてしまったり、他の人たちの意見に流されてしまったりするものです。一方で、自らの危険を顧みずに誰かを助けたり、仲間と協力しあって物事を達成する喜びを味わいます。そうした私たちの日常的な行動や心の動きは、人がきわめて社会的な存在であることと深く関係しています。本講義では、社会心理学の諸理論や基礎的な概念を習得することによって、社会の中で人間がどのような行動をとるのか、どのような心の動きが起こるのか、その背後にある法則性を理解することを目指します。

【授業内容】

1. イントロダクション-社会心理学とは
2. 自己
3. 感情
4. 態度と説得
5. 対人関係

6. 攻撃行動
7. リスク認知とコミュニケーション
8. ステレオタイプ
9. 集団間の関係
10. 同調と逸脱
11. 流言
12. 世論
13. ソーシャルネットワーク
14. まとめ

【成績評価方法】

提出課題（小テスト、ミニレポート、受講レポート）（40%）、期末試験（60%）によって評価します。100点満点中60点以上が単位認定条件です。課題に対するフィードバックは講義内、またはMoodleを通じて行います。

【教科書】

指定しません。

【参考書、教材等】

池田謙一ほか著「社会心理学 補訂版」有斐閣、2019

J. R. スミス & S. アレクサンダー著、樋口・藤島監訳「社会心理学再入門ーブレークスルーを生んだ12の研究」新曜社、2017

北村・浦ほか著「展望 現代の社会心理学1～3」誠信書房、2010

※ この授業は、4/18（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
6	東京工科大学	国際関係論	落合 浩太郎 教養学環 教授	2	前期	木	14	10:45～12:25	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

国際的な教養の基礎として、世界の現状を知るために、リベラルと保守、先進国と途上国、自由・民主主義と権威主義といった基礎概念を理解して下さい。さらに、基礎的な指標、世界の国の数や人口（今後の予測を含む）、主要国・地域の人口やGDPも同様です。

グローバリゼーションとは何か、なぜ反発する動きが強まっているのかを理解して下さい。民主主義の危機、格差、ポピュリズム、気候変動、SDGs、対テロ戦争、デモクラティック・ピース等のキーワードを説明できることを目指します。

そして、異なる立場（文化）の間での「対話」を可能する論理的な思考力とコミュニケーション能力を高めます。また、世界の中の日本を意識して国際情勢の解説や他国との比較を行うことで国際的な教養を身に付けます。以上によって、国際的な視点から政治や日本を論じられる社会人となることを目指します。

【授業の概要】

世界は様々な政治体制・民族・宗教の200の国からなります。1990年頃東西冷戦が終わり、多様な世界がグローバリゼーションによって「アメリカ化」するかの思われました。しかし、21世紀に入って、反グローバリゼーションの動きが強まっています。グローバリゼーション（統合）と反グローバリゼーション（分裂）をキーワードにして、世界の現状を政治・経済・文化・宗教等の多様な視点で学びます。常に、世界の中の日本を意識して国際情勢の解説や他国との比較を行います。以上によって、国際的な教養だけでなく、異文化や異なる政治的立場の間での「対話」ができる論理的な思考力、コミュニケーション能力を身に付け、政治や日本を論じられる社会人となることを目指します。自然科学と異なり、正解のないのが社会科学ですが、学習によって以上の成果が期待できます。

【授業内容】

1. 世界の多様性（1）
2. 世界の多様性（2）
3. グローバリゼーション（1）経済
4. グローバリゼーション（2）文化
5. グローバリゼーション（3）環境
6. 反グローバリゼーション（1）民族・人種
7. 反グローバリゼーション（1）宗教
8. 反グローバリゼーション（2）経済・文化
9. アメリカ極支配は終わるか
10. 民主主義の危機
11. 食で見る世界
12. スポーツで見る世界
13. 戦争と平和
14. 数字で見る世界

【成績評価方法】

5回の小テスト（予告なし）で評価します。合計10点満点で5点以上が合格の目安です。毎回（小テスト実施回を除く）の受講投稿の優れたものは加点します。投稿（質問）へのフィードバック（回答）は次回の講義で行います。

【教科書】

指定しません。

【参考書、教材等】

中西寛『国際政治とは何か』中央公論新社

ジョセフ・ナイ『国際紛争』有斐閣

ロスリング『FACTFULNESS』日経BP

※ この授業は、4/18（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
7	東京工科大学	食品製造学	西野 智彦 応用生物学部 教授 安川 然太 応用生物学部 教授 関 洋子 応用生物学部 講師	2	後期	月	14	15:10～16:50	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

食品製造学を受講することによって、以下の3つの能力が身につくことを期待する。

- ① 分析・評価能力：食品の性質や分類、生産から加工、保存に関する知識を幅広く学習することにより、食品の品質を客観的に分析・評価することができる。
- ② 問題解決力：食品の製造過程で生じる問題の解決策を提案することができる。また、食品製造に関する疑問に対して、科学的な根拠を示して適切に回答を述べることができる。
- ③ 実学に基づく専門能力：本講義では食品製造現場において蓄積された情報を科学的に解説する。これらの情報は、食品成分を利用する分野（化粧品、生命科学、環境、医薬品など）においても有用となりえる。また、これらの専門能力は卒業研究を遂行する際に役立てることができる。

【授業の概要】

我々の豊かな食生活は、多種多様な食品が安定して供給されることによって支えられている。大量に流通するこれらの食品が「どのような過程を経て製造されているのだろうか？」と考えたことがあるだろうか？

食品の製造過程とは、出発食材の生産からはじまり、食材の加工から保存までを含む。食品製造学はこれらの過程を科学的に理解するための学問領域であり、この科目を履修することによって得られた知識や情報は良質な食品を製造するために重要なものとなる。本講義では、多岐にわたる食品の中から日常生活で親しみのある代表的な食品を取り上げ、その食品学的・栄養学的性質や分類、一連の製造過程（生産、加工、保存）について、科学的な視点から解説する。

本講義は、各教員が企業で食品開発研究・製造に従事した実務経験に基づき、食品開発・食品製造・食品衛生検査など市販製品に密接に関連した事柄を、実例を交えて解説する実践的科目である。

【授業内容】

1. イントロダクション（ガイダンス）（食品製造学とは）（西野）
2. 乳の加工①（生乳の成分、製造、乳製品の分類）（西野）
3. 乳の加工②（粉乳、クリーム、バター、発酵乳）（西野）
4. 肉の加工①（食肉の成分、分類、牛肉）（西野）
5. 肉の加工②（豚肉、鶏肉、食肉加工品）（西野）
6. 豆類・大豆の加工（安川）
7. 小麦、米、とうもろこしと粉の加工（安川）
8. 卵の加工と乳化（安川）
9. 野菜の加工（関）
10. 果物の加工（関）
11. 魚、海藻の加工（関）
12. 油脂、調味料、嗜好飲料（関）
13. 食品の加工、保存、流通、包装（関）
14. 食品の表示と規格、HACCP等（関）

【成績評価方法】

毎回の講義で行う演習課題（20%）、理解度確認（第1回から第7回の内容：40%）、定期試験（第9回から第14回までの内容：40%）により、総合的に評価する。100点満点中60点以上で単位認定とする。なお、演習課題の解説は講義内で、理解度確認や定期試験の結果はMoodle内でフィードバックする。

【教科書】

使用しない。アップロードする資料に沿って講義を行う。

【参考書、教材等】

- 「食品加工・保蔵学 栄養化学シリーズNEXT」（講談社）
- 「食品加工貯蔵学 新スタンダード栄養・食品シリーズ」（東京化学同人）
- 「栄養科学イラストレイテッド食品学Ⅰ」（羊土社）
- 「栄養科学イラストレイテッド食品学Ⅱ」（羊土社）

※ この授業は、9/23（月）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
8	東京工科大学	データサイエンス	大野 澄雄 コンピュータサイ エンス学部 教授	2	後期	月	14	13:15～14:55	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

- ・様々な分析方法を理解し、実行できるようになること（分析・評価能力、問題解決力）
- ・問題に応じて適切なデータ処理方法、及び分析方法を組み合わせ、分析結果を出せるようになること（実学に基づく専門能力、分析・評価能力、問題解決力）

【授業の概要】

データサイエンスとは、数学・統計学、情報科学、機械学習、プログラミングなどの理論を活用してデータを分析し、科学的・社会的に有益な知見を見出すものである。データサイエンスでは、「ITスキル」、「統計学の知識」、「ドメインナレッジ」の3つのスキルが必要とされる。すなわち、プログラミングをはじめとするツールが使えるだけでなく、適切な統計手法を用いること、解析結果を活用分野に合わせて解釈して価値を見いだせる力を習得しなければならない。

本講義では、特に構造化データ（表形式で蓄積されるデータ：例えば業務データ等）を対象とし、データサイエンティストの基盤となる分析・評価能力、及び問題解決力を身に着けることを目的とする。前半ではデータの処理方法や統計学的手法を学習し、後半では機械学習の手法を学習する。また、知識の習得だけでなく、プログラミング言語 Python とそのデータ解析ライブラリ Pandas 等を用いて実際のデータ解析プログラムを作成・実行し、分析結果を出すことによって実学に基づく専門能力を身に着ける。

【授業内容】

1. データサイエンスの位置付け

2. データ取得・データ前処理
3. データの可視化
4. 統計的仮説検定 (1) ～仮説検定とは。平均値の差の検定
5. 統計的仮説検定 (2) ～独立性の検定。適合度の検定。母比率の差の検定
6. 重回帰分析による要因分析
7. ロジスティック回帰分析による要因分析
8. クラスタ分析によるデータ分類
9. 次元削減によるデータ圧縮
10. 機械学習による予測モデルの学習と評価 (1) ～教師あり学習。予測モデルの精度指標。決定木による予測モデル
11. 機械学習による予測モデルの学習と評価 (2) ～過学習。決定木における説明変数の重要度
12. 時系列データ分析
13. データ分析演習
14. 理解度確認およびまとめ

【成績評価方法】

理解度確認結果(60%)、各回の課題とデータ分析演習結果(40%)によって総合的に評価する。理解度確認の講義回では、後半に解説を行う。

【教科書】

講義資料を Web 上で公開する。

【参考書、教材等】

- ・Joel Grus、菊池 彰 訳「ゼロからはじめるデータサイエンス 第2版 — Python で学ぶ基本と実践」(オライリー・ジャパン)
 - ・塚本邦尊ほか「東京大学のデータサイエンティスト育成講座 ～Python で手を動かして学ぶデータ分析～」(マイナビ出版)
- その他、講義中に紹介する

※ この授業は、9/23 (月) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
9	東京工科大学	メディア特別講義Ⅱ (ACPC 提携講座)	吉岡 英樹 メディア学部 講師	2	後期	火	14	13:15～14:55	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

「創作する・表現する・伝える」。こうしたアクティブな仕事について知りたいというモチベーションを持って「ライブ・エンタテインメント論」を受講し、これからの音楽業界や、ライブ・エンタテインメントの時代を生き抜く力を身につけます。

【授業の概要】

現在は音楽業界全体が大きく変化する時代です。音楽産業全体の展開において「ライブ・エンタテインメント」は、新しい市場開拓の中心として、その存在感を非常に強めています。ローリング・ストーンズやマドンナの例に見るように、世界中のアーティストが「CD 販売による展開」から「ライブを中心とした 360 度ビジネス」へと転換を進めています。これは「より直接的な体験としての音楽を求める」観客側のニーズの現れでもあります。

こうした時代状況を受けて本講義では「ライブ・エンタテインメント」に関連するさまざまなテーマを通じて、音楽産業全体のありかたを論じ、新しい時代を築くために必要な情報と知識を解説します。授業は、音楽業界ライブ業界での実務経験者をゲスト講師として迎え、現代におけるトピックを解説する実践的科目です。現在は音楽業界全体が大きく変化する時代です。音楽産業全体の展開において「ライブ・エンタテインメント」は、新しい市場開拓の中心として、その存在感を非常に強めています。ローリング・ストーンズやマドンナの例に見るように、世界中のアーティストが「CD 販売による展開」から「ライブを中心とした 360 度ビジネス」へと転換を進めています。これは「より直接的な体験としての音楽を求める」観客側のニーズの現れでもあります。

こうした時代状況を受けて本講義では「ライブ・エンタテインメント」に関連するさまざまなテーマを通じて、音楽産業全体のありかたを論じ、新しい時代を築くために必要な情報と知識を解説します。授業は、音楽業界ライブ業界での実務経験者をゲスト講師として迎え、現代におけるトピックを解説する実践的科目です。

【授業内容】

1. オリエンテーション/ライブ・エンタテインメント論を受講する皆さんへ
2. 誰にでも分かる音の楽しみ方 (音響工学)
3. J ポップからロックまで/デジタル時代の音楽
4. 都市における総合型エンタテインメント (ライブ事業)
5. 音楽の創造/アーティストの立場から (音楽制作)
6. 生活の中のエンタテインメント (劇場経営と芸術の創造)
7. テレビ放送とライブ・エンタテインメント (映像配信)
8. 海外ビジネスへのチャレンジ (日本コンテンツの海外進出)
9. マネージメントの未来 (プロダクション経営展開)
10. 今日のライブ運営 (ライブ事業展開)
11. コンテンツ産業の将来を考える (経済産業省の政策方針)
12. ライブ・エンタテインメント新世紀 (音楽業界の再生と経済発展)
13. 音楽プロデューサーとは/クリエイティブ・マインドの育て方
14. 日本のコンテンツ政策/世界におけるジャパンコンテンツ

【成績評価方法】

期末試験は行いません。

成績判定は、レポートと下記の「質問」から総合的に行います。

各回の講師の先生にむけて、事前に「質問」を集めます。講義内容について予習をして自分なりの興味や疑問を持って書いてください。この質問も小レポートとしての評価対象とします。

中間レポート+最終レポート :60 ポイント / 質問や小レポート : 40 ポイント

(100 点満点で、60 点以上であること)

レポートや質問の内容と評価については授業中に随時フィードバックいたします。

【教科書】

教科書の指定はありません、以下の「参考書」などの書籍を通じて予習して下さい。

【参考書、教材等】

「ライブ・エンタテインメント新世紀」北谷賢司（びあ総研）
 「ライブ・エンタテインメントの著作権」 福井健策 / 二関辰郎（社団法人著作権情報センター）

※ この授業は、9/24（火）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
10	東京工科大学	サステイナブル生産技術	高橋 秀智 工学部 教授	2	後期	月	14	10:45～12:25	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

本授業科目では、本学の「6つのラーニングアウトカム」のうち

- ・実学に基づく専門能力
- ・論理的な思考力
- ・分析・評価能力

の3つを目指し、より具体的には以下を到達目標とする。

本科目の修得により、生産システム工学の全般的な知識と実践力を身につけることを目指す。具体的には、以下の項目ができるようになる。

- 1) 生産システムの構成要素の役割と基本理論を理解し、説明することができる。
- 2) 与えられた生産システムに対して、生産システム工学的な視点から考察を行うことができる。
- 3) 与えられた製品仕様から、必要な加工法案を検討し、生産システムの構成を検討することができる。
- 4) 要求される生産仕様から、生産システム工学的な視点から最適な生産システムの検討を行うことができる。
- 5) さらにサステイナブル工学的な視点から、最適な生産システムの検討を行うことができる。

【授業の概要】

工業製品のサステイナブルな生産・製造を実現するために必要となる生産工学の概念や技術・知見について学ぶ。まず、工作機械と生産技術の歴史を概観し、生産システムの構成要素について理解する。次いで、現在の生産を支える個々の生産加工システム技術と、それらを活かす製品設計手法、そして経済性の評価方法などについても学ぶ。さらに、資源や環境負荷を重視した生産システムと、生産技術・生産システムの社会に与える影響についても学ぶ。最後に、現実の生産システムの例を取り上げた演習を通じて、サステイナブル生産技術を実践的に利用できるようになる。

【授業内容】

1. 生産システムと管理
2. 生産プロセス (1)
3. 生産プロセス (2)・設計プロセス (1)
4. 設計プロセス (2)
5. 設計プロセス (3)
6. 計画プロセス (1)
7. 計画プロセス (2)
8. 計画プロセス (3)
9. 到達度チェック&これまでのまとめ
10. 管理プロセス
11. 改善活動のマネジメント
12. 改善の経済性評価、PC 演習
13. サステイナブル生産技術 (1)
14. サステイナブル生産技術 (2)

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 (40%)、演習課題等による理解度チェック (30%)、期末試験の成績 (30%) により、総合的に評価する。なお、各%は目安である。

【教科書】

本位田光重、皆川健多郎「生産工学 - ものづくりマネジメント工学 -」コロナ社

【参考書、教材等】

指定なし

※ この授業は、9/23(月)が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
11	東京工科大学	パワーエレクトロニクス	高木 茂行 工学部 教授	2	後期	木	14	15:10～16:50	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

以下の項目を学習することにより、電気電子工学の基礎と電気電子工学の実学に基づく専門能力を習得する。さらに、講義で行う演習問題を通して、パワーエレクトロニクス分野の問題解決力と、回路設計ができる論理的な思考能力を習得することを到達目標とする。

- (1) ダイオード、トランジスタ、サイリスタ、MOSFET、IGBT といったパワーデバイスの構造と特性
- (2) 交流を直流に変換する整流回路と位相制御回路の回路構成と動作
- (3) 直流電圧を任意に変える DC-DC 変換器の回路構成と動作
- (4) 直流から交流を発生させるインバータ回路の原理と動作。モータの駆動・制御に使われる PWM インバータの回路構成と動作
- (5) ベクトル制御の基本となる電圧方程式、座標変換、トルク方程式
- (6) ベクトル制御の回路構成と、実際の回転速度、トルク制御

【授業の概要】

電源が供給あるいは送電されてくるエネルギーは必ずしもそのままでは利用に適しているわけではなく、パワーデバイスを使って電圧・電流・周波数の形態を変換するパワーエレクトロニクスが不可欠となる。適切かつ損失の少ない電力変換を行うことで、電力の利用効率を格段に高めることができる。パワーデバイ

スの構造・特性と、これを使った電力変換回路について、企業で大容量半導体スイッチ電源の研究開発に携わった実務経験を踏まえた授業を行う実践的科目である。

さらに、パワーエレクトロニクス回路は、直流モータや永久磁石同期モータの駆動制御に広く活用されている。とくに、永久磁石同期モータでは、ベクトル制御と呼ばれる手法により、回転数、トルクを任意にコントロールできるようになっている。パワーエレクトロニクス回路を使ったベクトル制御について学ぶ。

【授業内容】

1. パワー・エレクトロニクスの概要
2. パワーデバイスⅠ ダイオード、トランジスタ、サイリスタ
3. パワーデバイスⅡ MOSFET、IGBT、スイッチング損失
4. 整流回路と位相制御回路Ⅰ 単相の整流回路と位相制御回路
5. 整流回路と位相制御回路Ⅱ 三相の整流回路と位相制御回路
6. DC-DC変換器Ⅰ DC-DC変換器の原理、降圧チョッパ
7. DC-DC変換器Ⅱ 昇圧チョッパ、昇降圧チョッパ
8. 中間演習
9. インバータ回路Ⅰ 単相インバータ
10. インバータ回路Ⅱ 三相インバータ
11. インバータ回路Ⅲ PWMインバータ
12. 直流モータと永久磁石同期モータの特性
13. 永久磁石同期モータの位置検出
14. ベクトル制御の基本式 電圧方程式、トルク方程式、運動方程式

【成績評価方法】

- ・講義中に行う演習（40%）と中間・期末試験（60%）の合計で成績を評価する。
- ・毎回行う演習は講義時間内に解答と演習の解説についてフィードバックする。同じく中間演習では、終了後に解答と演習の解説をフィードバックする。

【教科書】

「これでなっとく パワーエレクトロニクス」高木茂行、長浜龍（コロナ社）

【参考書、教材等】

- 「エンジニアの悩みを解決 パワーエレクトロニクス」高木茂行
- 「パワーエレクトロニクス入門」小山純、佐藤良三、花本剛士、山田洋明（朝倉書店）

※ この授業は、9/26（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
12	東京工科大学	サステイナブル環境化学	江頭 靖幸 工学部 教授	2	後期	火	14	8:50~10:30	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

自然環境の化学的側面についての知識を身につけ、環境問題の分析・評価しその現実性・危険性を理論的に推察する能力を身につけることを目指す。具体的には以下の項目が達成できるようにする。【論理的な思考力、分析・評価能力】

- 1) 大気、海洋、陸水、土壌、生態系がどのような物質で構成されているか説明できる。
- 2) 大気、海洋、陸水、土壌、生態系での水、炭素、酸素、窒素などの循環について説明できる。
- 3) 既存の環境問題（地球温暖化、オゾン層破壊、水俣病など）の化学的な原因を理解し、説明できる。
- 4) 想定される新たな環境問題について、その現実性・危険性を評価できる。

【授業の概要】

環境問題を理解するためには環境に存在する物質とその化学反応についての理解が必要となる。大気、海洋、陸水、土壌、そして生態系において自然に起こっている化学反応と物質循環、さらに人間によってもたらされる変化とその影響についての知識を身につけることで、環境問題に対するより本質的な分析・評価能力が身につく。

【授業内容】

1. 環境問題と化学（公害から地球環境問題まで）
2. 大気の化学（温暖化とオゾン層破壊）
3. 大気汚染（酸性雨問題と温暖化の相違点）
4. 海洋の化学（海水の循環と海水中の化学物質の循環）
5. 陸水の化学（陸水の循環、水の利用と地下水）
6. 土壌の化学（土壌の改良と副作用）
7. 地球上の水の循環（環境問題とのかかわり、水資源問題）
8. 地球上の物質循環（炭素、窒素の循環）
9. 化学物質と生態系（食物連鎖と生物濃縮）
10. トピックス「水俣病の科学」（公害問題の具体例）
11. トピックス「環境問題と法規制」（環境のモニタリング）
12. トピックス「化学物質のリスク」（リスクとは何か、どう評価するのか）
13. トピックス「良いリサイクル、悪いリサイクル」（都市鉱山と狂牛病）
14. サステイナブル化学とは（環境に配慮した化学製品の研究開発）

【成績評価方法】

各回に行う理解度チェック（50%）ならびに期末試験の成績（50%）により評価する。（授業中に理解度チェックのフィードバックを行うが、moodle 経由でも問い合わせを受け付ける。）

【教科書】

授業中にプリントを配付する。

【参考書、教材等】

坂田 昌弘他著「環境化学（エキスパート応用化学テキストシリーズ）」（講談社、2015）

※ この授業は、9/24(火)が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
13	東京工科大学	政治学	落合 浩太郎 教養学環 教授	2	後期	月	14	10:45~12:25	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

第 1-8 回で性善説・性悪説、リベラル・保守、小さな政府・大きな政府、第 9-13 回でハト・タカといった基礎的概念を理解します。さらに、これらを正しいレポートの形式で説明できることを求めます。

【授業の概要】

現代日本の内政・外交・安全保障を概説します。これらの知識の修得のみならず、日本政治の特徴、背景にある、日本（人）の特性・伝統・文化・価値観も学びます。さらに、性善説・性悪説、リベラル・保守、ハト・タカの対立を通して、人間への理解も深めることによって、異なる立場の間での「対話」を可能にする論理的な思考力とコミュニケーション能力を高めます。また、世界の中の日本を意識して国際情勢の解説や他国との比較を行うことで国際的な教養を身に付けます。以上によって、国際的な視点から政治や日本を論じられる社会人となることを目指します。

【授業内容】

1. 政治（学）とは：性善説と性悪説、リベラルと保守
2. 世界のリベラルと保守：先進国と途上国
3. 日本のリベラルと保守：都市と地方、高齢者と若者
4. 箱物政治
5. 格差社会：中流の崩壊、都市と地方、世代間格差
6. コロナ敗戦
7. 日本の政治は二流か
8. 新聞の読み方
9. 外交（1）ハトとタカ
10. 外交（2）日本のソフトパワー
11. 外交（3）アニメ「日米コメ戦争」
12. 安全保障：平和主義、日米同盟
13. 数字で知る世界と日本
14. まとめ

【成績評価方法】

5 回の小テスト（予告なし）で評価します。合計 10 点満点で 5 点以上が合格の目安です。毎回（小テスト実施回を除く）の受講投稿の優れたものは加点します。投稿（質問）へのフィードバック（回答）は次回の講義で行います。

【教科書】

指定しません。

【参考書、教材等】

「現代日本政治史」薬師寺克行（有斐閣）

※ この授業は、9/23（月）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
14	創価大学	経済学史	勘坂 純市 経済学部 教員	4	春期	月 2 金 4	30	10:45~12:15 14:50~16:20	創価大学 AE453	若干名

【到達目標】

経済学の歴史の基本的な事実を学ぶ。そのなかで、現代の社会が直面する問題に自分の頭で考えていく訓練をする

【授業の概要】

経済学の歴史をたどりながら、現在の経済学説がどのように成立したかを学ぶ
経済学を批判した諸学説と経済学を比較することで、経済学の見方を相対化する視点を得る

1. 古典的自由主義
18 世紀にヨーロッパで展開された自由主義の潮流の中で、アダム・スミスが経済学を誕生させた経緯を考察。そのなかで、彼の「自由放任」論の意義を考える。
2. 古典主義への批判
古典的自由主義に対して意義を唱えた 19 世紀の思想、すなわち社会主義、歴史主義、功利主義を学び、そのなかで経済学がどのように変容したかを考える。
3. 限界革命と経済学の展開
1870 年代に経済学で起こった「限界革命」を学び、現代の経済学に続く経済理論がどのように形成されたかを考察する。
4. 「科学」としての経済学
功利主義の影響から脱して経済学を「科学」としようとした Samuelson や新厚生経済学の試みを紹介し、現代の経済学が直面している問題を考察する。
5. 市場か政府か
ケインズとハイエクの論争を通して、市場経済が自由主義にとってどのような意味があるかを考える。
6. 経済学と価値判断
厚生経済学の展開を通し、経済学が価値判断といかにかわるべきかを考察する
7. 日本の経済学
大正期から昭和初期に経済学が日本にどのように受容されたかを考察し、社会における経済学の役割を考察する。

8. 経済学と人間--異端の経済学者

異端の経済学者、経済学への批判者の理論を通し、経済学は人間をどのように捉えてきたかを考える

【授業内容】

1. ガイダンス
2. 古典的自由主義 1. Locke
3. 古典的自由主義 2. Smith
4. 古典的自由主義 3. 古典的自由主義と社会
5. 古典的自由主義への批判 1. Marx 社会主義
6. 古典的自由主義への批判 2. Marx 疎外論
7. 古典的自由主義への批判 3. 功利主義 Bentham
8. 古典期自由主義への批判 4. 功利主義 J. S. Mill
9. 限界革命 1. Menger
10. 限界革命 2. Jevons
11. 限界革命 3. Marshall
12. 限界革命 4. Walras
13. 「科学」としての経済学 1. Pareto
14. 中間試験
15. 「科学」としての経済学 2. Samuelson
16. 「科学」としての経済学 3. Sen "Rational Fool"
17. 市場か政府か 1. Schumpeter
18. 市場か政府か 2. Keynes
19. 市場か政府か 3. Hayek
20. 市場か政府か 4. Polanyi
21. 日本の経済学 1. 河上肇
22. 日本の経済学 2. 福田徳三
23. 日本の経済学 3. 中山伊知郎と大熊信行
24. 経済学と政治哲学 1. ヴェーバー『職業としての学問』
25. 経済学と政治哲学 2. 厚生経済学の展開 Pigou
26. 経済学と政治哲学 3. 価値判断と経済学
27. 経済学と政治哲学 1. Rawls と経済学
28. 経済学と政治哲学 2. Nozick: Libertarianism
29. 経済学と政治哲学 3. Arendt
30. 経済学と政治哲学 4. Sen: Idea of Justice

【成績評価方法】

定期試験 45%/中間試験 40%/日常点（小テスト・課題等）15%;ウェブ上の復習小テストの受験および講義アンケートへの回答 ABC 評価

【教科書】

ディスカッションセッションで使用します

【参考書、教材等】

1. 小田中直樹『ライブ 経済学の歴史』勁草書房、2003年.
2. 根岸隆『経済学の歴史』[第2版]東洋経済新報社、1997年.

※ この授業は、4/5（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
15	創価大学	環境マネジメント	野村 佐智代 経営学部 教員	2	春期	火 3	15	13:05~14:35	創価大学 AE353	若干名

【到達目標】

- ・企業と環境問題の関係を知る
- ・環境問題および企業の環境活動が自分自身の生活にどう影響し、関係しているかを知る
- ・企業の環境活動の実態を知り、問題点や課題を自分で提示できるようになる

【授業の概要】

気候変動の影響と思われる多発する大雨や洪水、真夏日の記録更新等、地球環境の危機を身近に感じるようになってきました。また、私たちが普段、利便性を求めて使用しているプラスチック製品やプラスチック包装の弊害も露呈されています。私たちの日々の活動が地球に負担をかけていると共に、企業活動も大きな負荷をかけています。今日では、環境に取り組まない企業は、存続できなくなるといった認識も浸透しつつあります。

本講義は、危機的な状況にある地球環境の現状を学んだ上で、国際レベル、国内レベルで企業がどのような環境問題を抱え、何を求められ、それにどう対処しているかについて学んでいきます。

未来学者のヘンダーソン博士のような志を持った、未来のエコ博士がたくさん誕生することを期待しています。

【授業内容】

1. 「環境マネジメントとは」
2. 「イントロダクションー資本主義とグローバリズム」
3. 「持続可能性と国際的取り組み」
4. 「環境経営のフレームワーク」
5. 「環境リスク」
6. 「環境コミュニケーション」
7. 「環境マーケティング及び環境配慮型製品」

8. 「企業における環境教育」
9. 「環境金融」
10. 「地球温暖化とカーボンビジネス」
11. 「サーキュラーエコノミーとプラスチック問題」
12. 「生物多様性と企業の対応」
13. 「ナチュラルステップの環境コンサルティング―問題提起編」
14. 「ナチュラルステップの環境コンサルティング―解決編」
15. 「環境経営戦略―ケーススタディ」

【成績評価方法】

定期試験 50%;環境経営に関する基礎知識の修得と専門用語の正しい理解について問います。
レポート 10%;企業の環境戦略に対する理解を問うと共に、提示された問題についての解決策を考え、レポートにまとめます。
日常点（小テスト・課題等）40%;授業内容に関するまとめ、リフレクションシート等
ABC 評価

【教科書】

1. 『現代環境経営要論』創成社、2021年。

【参考書、教材等】

指定なし

※ この授業は、4/9（火）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
16	創価大学	八王子学 I	杉山 由紀男 文学部 教員	2	春期	木 3	15	13:05～14:35	創価大学 S201	若干名

【到達目標】

- ①授業で取り上げられる八王子の具体的な場所・施設（道の駅、郷土資料館、滝山城址など`…）を3箇所以上訪れ、八王子をできるだけ実感で理解すること。
- ②八王子の地域の特徴と魅力を、実家の両親や友人に向かって、具体的に語ることができる。
- ③身近な地域社会について知ることの意義を、他者に向かって明瞭に論じ述べるができる。
- ④地域の特徴を踏まえて、地域や社会に貢献しようとする態度を身につけること。

【授業の概要】

八王子の過去、現在、未来について知ることとおし、また八王子や多摩地域で活躍している各分野の専門家から学ぶことによって、身近な地域社会を知ることの大切さを認識し、自分の暮らす地域社会（海外を含む）をよりよく理解し、貢献していく意識と態度を養うことが目的です。

*現在講師を依頼中であり、下記内容は昨年度のものです。

【授業内容】

1. ガイダンス（杉山由紀男）（30分）
「多様な顔をもつ都市 八王子」 八王子を紹介しよう！
2. 「八王子の歴史を知ろう！」
3. 「八王子の歴史を知ろう！」
4. 「八王子の歴史を知ろう！」
5. 「八王子のグローバル化のために 一多文化共栄の実践から―」
6. 「ソーシャルビジネスの可能性―」
7. 「八王子とシュリーマン ―シュリーマン生誕200年を記念する八王子町おこしの活動から―」
8. 「八王子市の未来構想」
9. 「道の駅八王子滝山」
10. 「地域の活性化へ ―若者の自立・就労支援の取り組み―」
11. 「社会貢献と生涯学習 ―学びで拓くグローバル社会―」
12. 「会社という組織とはたらくということ」
13. 「多摩地域の課題に対するたましんの取組」
14. 「子どもたちとつくる八王子のまち」
15. 「八王子の偉人ドクター肥沼」

【成績評価方法】

レポート 40%;学期末に2000字程度のレポートの提出
日常点（小テスト・課題等）60%;毎回の講義について、簡単な予習ノート（400字程度）の作成提出および講義終了後に、講義レポートの提出
PF 評価

【教科書】

指定なし

【参考書、教材等】

指定なし

※ この授業は、4/11（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
17	創価大学	生涯学習概論	平井 康章 通信教育部 教員	2	春期	水 2	15	10:45～12:15	創価大学 B304	若干名

【到達目標】

生涯教育の理念と諸理論を理解するとともに、わが国の生涯教育・生涯学習の現状と課題について把握し、教育・学習を大きな視点から捉え直せるようになること。

【授業の概要】

ユネスコを中心に提唱・推進されてきた生涯教育・生涯学習の理念および諸理論について経過を追いながら整理・確認する。またわが国における生涯学習の歩みを、国の答申などを紹介しながら追っていき、今後の課題を考えていく。

※グループ分けを行い、グループごとの話し合いの時間も一部取り入れて進めていく。

【授業内容】

1. オリエンテーション 「生涯教育」「生涯学習」とは何か？
2. 生涯教育・生涯学習の国際的動向・理論① ユネスコの提唱
3. 生涯教育・生涯学習の国際的動向・理論② リカレント教育
4. 生涯教育・生涯学習の国際的動向・理論③ 「構想」から「実践」へ
5. 生涯教育・生涯学習の国際的動向・理論④ ユネスコ学習権宣言
6. 中間まとめ(1) それまでの学習内容を踏まえ、グループ討議・発表を中心に行う
7. 生涯教育・生涯学習の国際的動向・理論⑤ ドローールレポート
8. 生涯教育・生涯学習の国際的動向・理論⑥ EFA と ESD
9. 生涯教育・生涯学習の国際的動向・理論⑦ 南半球初の国際成人教育会議
10. 生涯教育・生涯学習の国際的動向・理論⑧ 最新動向
11. 中間まとめ(2) それまでの学習内容を踏まえ、グループ討議・発表を中心に行う
12. わが国の生涯学習施策の歩み① 生涯教育提唱以降の審議会答申
13. わが国の生涯学習施策の歩み② 生涯学習振興法の誕生
14. わが国の生涯学習施策の歩み③ 教育全般に渡る大きな変革
15. 最終まとめ ※まとめに加えキャリア教育の意味から、一部民間も含め公務員（特に地方公務員）の教育関連業務・職種の多様な実状を紹介する。

【成績評価方法】

定期試験 40%; 期末レポートの提出をもって、定期試験に替える。レポート課題は授業内で説明する。

レポート 30%; 授業に関連した課題を中心に自らテーマを設定し、レポートの提出を求める。(2回)

日常点(小テスト・課題等) 30%; 毎回提出する振り返りメモの記述内容および授業における貢献度(特にグループの話しあいや発表)

ABC 評価

【教科書】

使用しない。必要に応じ資料を配布する。

【参考書、教材等】

1. 木全力夫・平井康章『生涯学習概論(新版)』創大通信教育部、2011年

※ この授業は、4/10(水)が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
18	創価大学	がん看護論	大釜 徳政 三木 珠美 看護学部 教員	1	春期	月 1 月 2	8	9:00~10:30 10:45~12:15	創価大学 N302	若干名

【到達目標】

1. がん看護に関連する概念を理解し、説明できる。
2. がん看護にともなう倫理的課題を述べることができる。
3. がん看護の基礎知識・技術を述べることができる。
4. 放射線療法、化学療法を受ける者に対する看護について説明できる。
5. 療養生活を送る患者と家族のニーズ、ヘルスプロモーションを促すケア環境とチームアプローチ、施設-在宅および施設-施設間の移行期支援について説明できる。

【授業の概要】

がんおよび治療による全人的苦痛を抱える者とその家族に対して、保健医療福祉システムとの連携を視野に入れ、患者と家族の生活の安寧と質の向上のための生きる力を引き出すとともに慈愛の看護につながる基礎知識・技術を学ぶ。

具体的には、がん看護に関連する概念を理解し、がん看護にともなう倫理的課題、放射線療法、化学療法などの集学的治療法および緩和ケアを受ける者ががんと共に共生を促す智慧の看護、療養生活を送る患者と家族のニーズ、ヘルスプロモーションを促すケア環境とチームアプローチ、施設-在宅および施設-施設間の移行期支援について学修する。

【授業内容】

1. がん看護の特徴
2. がん看護の特徴
3. 放射線療法と看護
4. 化学療法と看護
5. がん看護にともなう倫理的課題(がん医療の最前線に存在する諸問題を取り上げ、看護師としてがん患者にどう接するべきか考える契機とする。)
6. がん医療と緩和ケア
7. 療養生活を送るがん患者と家族のニーズ、ヘルスプロモーションを促すケア環境とチームアプローチ
8. がん患者と家族に対する施設-在宅および施設-施設間の移行期支援

【成績評価方法】

定期試験 80%

レポート 20%

ABC 評価

【教科書】

指定なし

【参考書、教材等】

1. がん看護学：系統看護学講座、別巻、小松浩子ら、医学書院、2017、2200円、ISBN978-4-260-02763-2
2. がん看護学：臨床に活かすがん看護の基礎と実践、大西和子・飯野京子、ヌーヴェルヒロカワ、1911、3150円

※ この授業は、4/8（月）が初回です。授業日：4/8（月）、4/15（月）、4/22（月）、4/29（月・祝） 定期試験日程は、受講者と調整し決定する。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
19	創価大学	Marketing	ジョージ・ワン 国際教養学部 教員	4	春期	火 1 金 2	30	9:00～10:30 10:45～12:15	創価大学 AC531	若干名

【到達目標】

In this course, students will be introduced to the principles underlying these activities and given opportunities to analyze markets and formulating strategy. The objectives of this course are therefore aimed to:

1. Introduce students to the concepts, analyses, and activities that comprise marketing management,
2. Help students sharpen their analytical skills and show them how to use these skills to assess and solve marketing problems, and
3. Give students an opportunity to refine their oral and written communication skills.

【授業の概要】

Marketing is often defined as advertising - a highly visible activity by which organizations try to persuade consumers to buy products and services. However, marketing is much more than advertising and even the most skillful marketing cannot make consumers buy things that they don't want. Marketing involves two basic sets of activities. The first set starts with identifying consumer needs and ends with positioning the product or service to satisfy those needs and differentiate it from competition. In between, rigorous analysis of the competition, the customer, the environment, and the company's own capabilities are required. The second set of activities revolves around the "marketing mix" - letting the consumer know about the product in an attention-getting, convincing, and motivating way, getting it to the consumer through the best combination of distribution channels, pricing it effectively, and offering incentives to try, purchase, and purchase more. At any point along the way, failure to get one of these activities right may result in the failure of the product. Positioning is the key to product success, but even a perfect product with brilliant positioning won't last long if its benefits are not clearly communicated to the right people, if its price is too high or too low, if it is sold through the wrong retailers, or displayed poorly.

【授業内容】

1. Introduction to the course, including course description, outline, and lecture topics.
2. Ch1 - An overview of marketing
3. Ch2 - Marketing planning and strategy
4. Ch2 - Marketing planning and strategy
5. Ch3 - Ethics and the marketing environment
6. Case study
7. Ch4 - Consumer decision making
8. Ch4 - Consumer decision making
9. Ch5 - Business marketing
10. Ch5 - Business marketing
11. Ch6 - Segmenting and targeting markets
12. Ch6 - Segmenting and targeting markets
13. Case study
14. Ch7 - Insight management research
15. Midterm exam
16. Ch8 - Product concepts
17. Ch8 - Product concepts Midterm report due
18. Ch9 - Developing and managing products
19. Ch9 - Developing and managing products
20. Ch10 - Services, non-profit and other intangibles
21. Ch10 - Services, non-profit and other intangibles
22. Case study
23. Ch11 - Marketing channels and distribution decisions
24. Ch11 - Marketing channels and distribution decisions
25. Ch12 - Integrated marketing communication: IMC
26. Ch12 - Integrated marketing communication: IMC
27. Ch13 - Promotions mix
28. Ch14 - Pricing
29. 1. Case study, 2. Course consolidation
30. Final Exam

【成績評価方法】

日常点（小テスト・課題等）80%:Continuous assessment (quizzes, assignments, presentations,)
その他 20%:This part is about students' participation and learning attitude during the semester.
ABC 評価

【教科書】

1. MKTG3, Charles W. Lamb, Joseph F Hair, Carl McDaniel, Jane Summers, Michael Gardiner, 3rd Edition, Cengage, ISBN: 9780170355506

【参考書、教材等】

1. Marketing Management: an Asian Perspective, Kotler, Keller, Ang, Leong, and Tan, Pearson Education, ISBN: 978-981-06-8797-7

※ この授業は、4/5（金）が初回です。This class will be held for the first time on Friday, April 5.

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
20	創価大学	西洋経済史	西田 哲史 経済学部 教員	4	秋期	火 1 木 2	30	9:00～10:45 10:45～12:15	創価大学 AC532	若干名

【到達目標】

歴史の授業である以上、重要な年号や固有名詞を覚えることは基本ですが、それに加え、中世以降の欧米における経済・社会の発展のダイナミズムとメカニズムを理解することを目指します。とりわけ、「近代の工業化」－資本主義システムの生成と展開－について理解し、説明できるようになることがこの授業の目標です。

具体的には、

1. 近代の工業化の歴史－資本主義発展の歴史－について多面的に考察できる。たとえば、「どうしてヨーロッパで最初の工業化が起こったのか」、「産業革命に関する議論」、「ヨーロッパ大陸におけるさまざまな工業化」などについて、きちんと関連付けながら理解・考察できるようになることです。
2. 1の点とも関連しますが、そうした歴史発展の因果関係を論理的に説明できる。
3. 課題や中間・定期試験の答案作成にあたっては、論点が明確な文章を作成することができる。

【授業の概要】

「経済史」という学問が対象とするのは広く経済現象・経済活動の歴史であり、それは経済・社会の発展のメカニズムを理解するうえで、大変に重要な役割を果たしています。たとえば、現代の世界経済はヨーロッパ経済が世界に拡大する形で形成されたものであります。日本やアジア諸国の経済成長はその経済システムのなかで達成されたものであります。ですから、「西洋経済史」－より具体的に言えば、資本主義という経済システムの発生とその変遷－を学ぶことは、単に「歴史に学ぶ」という有用性にとどまるだけでなく、現代の経済・社会を理解する上で、きわめて重要な意味をもっています。この講義では、中世社会の解体のなかから近代資本主義が徐々に形成され、経済・社会を世界規模で覆っていくプロセス、すなわち、「近代の工業化」について、やはり中世以降という非常に長いスパンで把握する必要がある近代市場経済の生成と展開（市場経済化）という視点を含めつつ論じたいと思います。

【授業内容】

1. オリエンテーション－西洋経済史の課題
2. 経済史の基本的枠組み：視角と方法
3. 西洋封建制度の構造と変容／中世ヨーロッパ都市の成立とその特徴
4. 中世ヨーロッパにおける商業・貿易の発展と封建制の危機
5. ヨーロッパの拡大と国際競争の開始：近代世界の成立と大航海時代
6. 16世紀～17世紀のヨーロッパ経済
7. 17世紀～18世紀の経済危機と国家形成：①オランダ；②イギリス
8. 17世紀～18世紀の経済危機と国家形成（続き）：②イギリス；③フランス
9. 17世紀～18世紀の経済危機と国家形成（続き）：③フランス；④ドイツ
10. ヨーロッパの工業化－なぜ最初にヨーロッパが工業化に成功したのか
11. 「産業革命」をめぐる議論－学説の変遷－
12. 「産業革命」をめぐる議論－学説の変遷－（続き）
13. イギリス産業革命とその社会的帰結
14. イギリス産業革命とその社会的帰結（続き）／ヨーロッパ大陸における産業革命：多様な工業化－フランスとドイツを中心に
15. ヨーロッパ大陸における産業革命：多様な工業化－フランスとドイツを中心に（続き）
16. 中間試験
17. 産業革命に関する映像資料 & 授業内レポート作成
18. アメリカ合衆国における工業化
19. アメリカ合衆国における工業化（続き）／帝国主義と世界の一体化：①対外的膨張政策の要因；②帝国主義とは何か
20. 帝国主義と世界の一体化（続き）：③帝国主義列強による世界分割（イギリス、フランス、ドイツ、ロシア、アメリカ）
21. 帝国主義と世界の一体化（続き）：④帝国主義と従属世界－インドの事例
22. 第2次産業革命の時代：①時期区分とその特徴；②テクノロジーの役割；③新産業
23. 第2次産業革命の時代（続き）：④大企業の誕生；⑤「大不況」とヨーロッパ経済
24. 世紀転換期のイギリス経済と社会政策
25. 世紀転換期のイギリス経済と社会政策（続き）／世紀転換期のドイツ・フランス経済
26. 世紀転換期のドイツ・フランス経済（続き）
27. 19世紀後半のドイツにおける社会政策
28. 19世紀後半のドイツにおける社会政策（続き）／世紀転換期のアメリカ経済
29. 世紀転換期のアメリカ経済（続き）
30. 講義のまとめ&質疑応答

【成績評価方法】

定期試験 20%；中間試験以降の講義内容からのあるテーマに関する論述式試験

中間試験 20%；講義内容からのあるテーマに関する論述式試験

レポート 15%；経済史上のトピックに関するテキストを読み、3000字程度の書評レポートを作成し、学期末（第29回目もしくは30回目の授業時）に提出。作成に当たっては、単なる読書感想文にならないよう注意すること。

日常点（小テスト・課題等）26%；授業内容の理解の確認のためにポータルサイトを通じて200～300字の課題レポートを2～3題提出（計26回予定）

その他19%；授業内で、その日の授業内容を自分の言葉でまとめる（ミニットペーパーの作成）（14%）、講義の中で映像資料を見て、それに関して自分の意見を明確にして小論にまとめる（5%）。

ABC評価

【教科書】

指定なし（授業内でプリントの配布）

【参考書、教材等】

1. 加勢田博編『概説西洋経済史』昭和堂 1996年

2. 飯田隆『図説西洋経済史』日本経済評論社 2005年
3. 奥西孝至他著『西洋経済史』有斐閣アルマ 2010年
4. 馬場哲他著『エレメンタル欧米経済史』晃洋書房 2012年

※ この授業は、9/17（火）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
21	創価大学	開発と貧困の経済学	高木 功 経済学部 教員	4	秋期	火 2 金 2	30	10:45～12:15 10:45～12:15	創価大学 AW301	若干名

【到達目標】

1. 世界経済の構造を理解し、問題点を指摘できる。
2. 貧困・発展の意味について多角的に説明できる。
3. 私達の日常が、世界経済との相互依存関係の中で成立していることを例示でき、説明できる。
4. その上で、自己反省的な自身と行動主体としての自身を認識し、何らかの形で生活に反映できる。

【授業の概要】

本講義では主に二つのテーマについて考察します。一つは「開発途上経済」における経済発展と貧困の解消について、そして二つにはグローバル化によって拡大する世界経済のメカニズムについて理解することです。その上で不均衡な世界の公平化はいかにして可能かを考察します。

私たちの生きるこの世界は苛酷なものです。およそ人類 80 億の大半はいわゆる「開発(発展)途上地域」に生を受け、亡くなってゆきます。生の物的基礎を保障され、人間として自由と尊厳を確保できる人はむしろ少ないのです。「貧困」の解消は人類的課題であり、また「先進諸国」といわれる地域に住む人々の将来も開発途上諸国問題の解決いかんにかかっています。「グローバリゼーション」の進展下における「富裕」と「貧困」の相互依存関係の構造を明らかにしたとき、「開発途上地域」の諸問題は、実は私たちの課題であることがわかるはずなのです。

後者については世界経済の現在の成長のメカニズムについて学びます。今世紀に入り、中国とインドという歴史的な大国とラテン・アメリカ諸国という非欧米地域諸国が再び世界の表舞台に踊り出て、世界経済・政治秩序の大きな影響力と役割を持ち始めています。希少な資源と豊富な資金を世界の公平化と繁栄に用いるような循環的メカニズムの形成と多角的な思想と文化的信念を包括し得る新たな世界政治経済秩序がもたれられています。2015 年に国連総会で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は大きな共通の目標設定とすべての人びと組織、国家のコミットメントを求めています。その可能性についても考察します。

【授業内容】

1. 講義の趣旨・概要と評価方法の説明
2. 不均等な世界：富裕と貧困(1)
3. 不均等な世界：富裕と貧困(2)
4. 「開発の時代」の始まりと終わり？：「発展／開発(=Development)」とは(1)
5. 「開発の時代」の始まりと終わり？：「発展／開発(=Development)」とは(2)
6. 「開発の時代」の始まりと終わり？：「発展／開発(=Development)」とは(3)
7. 「開発の時代」の始まりと終わり？：「発展／開発(=Development)」とは(4)
8. 「低開発」「貧困」の原因と背景(1)
9. 「低開発」「貧困」の原因と背景(2)
10. <LTD(話し合い学習)の実施①>
11. 貧困の罌からの脱出：農村・都市二部門/農・工二部門モデル(1)
12. 貧困の罌からの脱出：農村・都市二部門/農・工二部門モデル(2)
13. 貧困の罌からの脱出：農村・都市二部門/農・工二部門モデル(3)
14. 貧困の罌からの脱出：農村・都市二部門/農・工二部門モデル(4)
15. 「開発」の挫折：インフォーマル部門の拡大、過剰都市化(1)
16. 「開発」の挫折：インフォーマル部門の拡大、過剰都市化(2)
17. 開発の改良主義的アプローチ：BHN（人間の基礎的ニーズ）アプローチと参加型アプローチ
18. 「貧困／発展」概念転換の試み：エンタイトルメント、社会的排除、ケイパビリティ・アプローチ 「ファンクショニングス」とは(1)
19. 「貧困／発展」概念転換の試み：エンタイトルメント、社会的排除、ケイパビリティ・アプローチ 「ファンクショニングス」とは(2)
20. <LTD(話し合い学習)の実施②>
21. 「貧困／発展」概念転換の試み：エンタイトルメント、社会的排除、ケイパビリティ・アプローチ 「ファンクショニングス」とは(3)
22. 「貧困／発展」概念転換の試み：エンタイトルメント、社会的排除、ケイパビリティ・アプローチ 「ファンクショニングス」とは(4)
23. 「貧困／発展」概念転換の試み：エンタイトルメント、社会的排除、ケイパビリティ・アプローチ 「ファンクショニングス」とは(5)
24. 「貧困／発展」概念転換の試み：エンタイトルメント、社会的排除、ケイパビリティ・アプローチ 「ファンクショニングス」とは(6)
25. UNDPによる人間開発アプローチ：「人間開発指標(HDI)」「人間貧困指標(HPI)」(1)
26. UNDPによる人間開発アプローチ：「人間開発指標(HDI)」「人間貧困指標(HPI)」(2)
27. <LTD(話し合い学習)の実施③>
28. UNDPによる人間開発アプローチ：「人間開発指標(HDI)」「人間貧困指標(HPI)」(3)
29. UNDPによる人間開発アプローチ：「人間開発指標(HDI)」「人間貧困指標(HPI)」(4)
30. 講義のまとめ

【成績評価方法】

定期試験 35%/レポート 35%;LTD 準備ノート 3 回
 日常点（小テスト・課題等）30%;毎回のキーワード調べ予習とアンケート回答
 ABC 評価

【教科書】

指定なし（授業内でプリントの配布）

【参考書、教材等】

1. ルース・リスター『貧困とはなにか』明石書店 2023年
2. ノヴォグラッツ『世界はあなたを待っている——社会に持続的な変化を生み出すモラル・リーダーシップ 13 の原則』英治出版 2023年

※ この授業は、9/13（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
22	創価大学	環境経済論	碓井 健寛 経済学部 教員	4	秋期	金 2 他※	30	10:45～12:15	創価大学 AE353	若干名

【到達目標】

「環境経済学の理論を用いて、環境問題を説明できる」

【授業の概要】

環境経済論は環境問題を経済的に解決することを目指す学問です。まず1)理論・歴史、2)実証・実践の流れで学んでいきます。

1)では概論的に学びます。公害問題の内容、おきた背景、公害問題に取り組んできた人について学ぶことで、歴史的な経緯をつかむことができます。次に経済学的に環境・公害問題をどのようにとらえるのか、そして制御するののかについて学びます。特に経済的な手法によってコントロールする意義と成果について学びます。

2)は各論になります。2)はローカルな公害・環境問題の代表例です。経済的手段をどのように使うのかに焦点をあてながらも、一方で、現場からの視線も大切にします。なぜなら環境問題は人の暮らしの問題でもあるからです。そこで問題の背景、制度、被害者の立場・人々の暮らしにも着目していきます。
※対面での授業は、金曜2コマに行い、第2回目からは、事前にOD（オンデマンド）で学習した上で授業に参加してください（30回の授業の内14回がオンデマンド授業）。

【授業内容】

1. introduction(1)
2. introduction(2)
3. グループディスカッション：「環境経済論学びはじめ」 OD：学びはじめディスカッションの説明
4. LTD形式のグループディスカッション OD：「戦後史証言 第3回公害先進国から環境保護へ」
5. LTD形式のグループディスカッション OD：ごみ減量の制度・政策・技術の歴史
6. グループディスカッション OD：直接規制，課税，補助金 諸富論文「環境税の理論と実際」
7. LTD形式のグループディスカッション OD：八王子市の政策：いかにしてプラスチックを減らすか？
8. LTD形式のグループディスカッション OD：中間ふりかえりの説明
9. LTD形式のグループディスカッション OD：映像資料「防潮堤をめぐる議論」
10. ディスカッション OD：八王子市の政策
11. LTD形式のグループディスカッション OD：水俣病の映像閲覧
12. LTD形式のグループディスカッション OD：費用便益分析(cost-benefit-analysis: CBA)
13. LTD形式のグループディスカッション OD：戦後復興から公害へ
14. LTD形式のグループディスカッション OD：原子力発電について
15. LTD形式のグループディスカッション OD：映像資料「日本のチカラ」
16. 学期末ふりかえり OD：ふりかえりの説明

【成績評価方法】

レポート 60%;毎週1回のレポートの提出。全14回

日常点（小テスト・課題等）40%;対面授業回で、予習の理解度を問うための確認テスト（20%）、授業アンケートへの回答（全15回）（20%）
ABC評価

【教科書】

指定なし

【参考書、教材等】

1. グレゴリー・マンキュー『マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編(第4版)』東洋経済新報社
特にマンキューの「公共部門の経済学」の「外部性」「公共財と共有資源」の章を読んでおくと良いです。

※ この授業は、9/13（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
23	創価大学	環境法	朝賀 広伸 法学部 教員	4	秋期	水 3 金 2	30	13:05～14:35 10:45～12:15	創価大学 M401	若干名

【到達目標】

本講義では環境法に係る公法、私法のこれまでの理論的蓄積やアプローチ、判例等を学びながら、環境法に関する現実的な諸課題について理解を深め、問題点の抽出、解決方法等について考え、分析できる能力を身に付けることを目的としています。

【授業の概要】

環境問題は公害から生活環境問題へ、さらに将来世代の持続可能な発展が求められる地球規模へと拡大しています。本講義では、環境法が公害・環境問題を公的に規律し、法に定められた固有の目的の達成に誘導する新たな法領域の一つであり、環境保全上の支障を防止し、良好な環境の確保を図ることを目的とする法制度であることを学びます。

【授業内容】

1. 公害問題と環境問題（環境とは何か、環境問題についての概観）
2. 公害法の生成と確立
3. 環境と法の歴史的展開（環境立法と環境法の新展開）
4. 環境法の特徴と体系
5. 環境に係る基本理念と環境権

6. 持続可能な発展概念の生成と内容
7. 未然防止原則と予防原則
8. 汚染者負担原則（環境保護の費用負担、OECD原則）
9. 原因者負担原則（わが国における汚染者負担原則）
10. 環境規制と法（直接規制と法構造）
11. 環境汚染防止のための法システム
12. 環境法における行政手続（情報公開制度、行政手続法、法律と条例の関係など）
13. 環境政策の手法（間接規制としての経済的手法、情報手法、環境報告書）
14. 環境政策の手法（協定手法、自主的取組、国際環境規格・ISO14001）
15. 補足とまとめ（レポート課題）
16. 環境保全と法の役割
17. 環境基本法（環境保全施策、環境基本計画）
18. 環境基本法（実施主体と責務）
19. 環境影響評価に関する制度（戦略的アセスメントを含む）
20. 環境民事訴訟（環境判例、損害賠償請求訴訟、差止請求訴訟）
21. 環境行政訴訟（環境判例、行政事件訴訟について、取消訴訟・義務付訴訟）
22. 環境行政訴訟（環境判例、住民訴訟、国家賠償請求訴訟）
23. 被害救済・紛争処理に関する法制度
24. 廃棄物の処理に関する法制度
25. リサイクルに関する法制度
26. 物質循環と法制度（循環型社会形成推進基本法）
27. 地球規模の環境問題と法（地球温暖化問題と環境規制）
28. 自然環境保全に関する法制度（地域的自然、野生生物保護）
29. 自然環境保全に関する法制度（海浜・河川環境の保全）
30. まとめ

【成績評価方法】

レポート 40%;最終レポートによる課題の理解力と分析考察力、文章表現力に基づく総合評価
 日常点（小テスト・課題等）60%;ディスカッションや授業単元の理解と復習のために、適宜、「質問」をポータルサイトにて行う
 ABC 評価

【教科書】

指定なし（授業内でプリントの配布）

【参考書、教材等】

環境法判例百選第3版

※ この授業は、9/13（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
24	創価大学	日本近世・近現代史概説	季武 嘉也 文学部 教員	2	秋期	木 3	15	13:05～14:35	創価大学 AE555	若干名

【到達目標】

本授業は、大学で日本史を勉強する学生に相応しい知識や考え方を身につけてもらうと共に、教員を目指す学生もおり、教員たるにふさわしい知識を備えることも目標にする。

【授業の概要】

日本の江戸時代（近世）から近現代に至るまでの歴史を概観します。特に、この時代には歴史の主役に躍り出た一般民衆に焦点を当て、彼らがどのような社会を形成してきたのか、ということを中心に授業を進めます。このうち、江戸時代については、高校の日本史教科書（どの出版社のものでも可、無い場合は受験参考書などそれに替わるものを学生自身が用意すること）を基準にして進めます。明治維新以降の近現代については、指定したテキスト（季武『選挙違反の歴史』）に沿って進めます。但し、わずか半年の授業で多くのことを説明することは不可能なので、授業ではそれぞれの時代で特徴的なことを中心に説明し、大きな流れが分かるように話を進めます。

【授業内容】

1. ガイダンス 講義の進め方と全体像
2. 江戸時代の政治体制－武士統治の特徴
3. 江戸時代の農村の成立－検地制度と村請制度
4. 18世紀農村の変貌
5. 商工業の発展－交通網の整備と株仲間制度
6. 幕末の社会経済－経済発展と開国の影響
7. 近代日本の全体的特徴
8. 大日本帝国憲法の構造
9. 選挙を通してみる近代社会(1) 選挙と選挙制度
10. 選挙を通してみる近代社会(2) 明治前期
11. 選挙を通してみる近代社会(3) 明治後期
12. 選挙を通してみる近代社会(4) 大正・昭和戦前期
13. 選挙を通してみる近代社会(5) 昭和戦中期
14. 選挙を通してみる近代社会(6) 戦後・高度成長期
15. 総括と質疑応答

【成績評価方法】

定期試験 60%; 期末レポート 2500 字以上
 レポート 40%; 2 回の中間レポート 1000 字以上
 ABC 評価

【教科書】

1. 季武嘉也『選挙違反の歴史』(吉川弘文館、2007)

【参考書、教材等】

指定なし

※ この授業は、9/19 (木) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
25	創価大学	酵素化学	郷田 秀一郎 理工学部 教員	2	秋期	月 4	15	14:50~16:20	創価大学 E204	若干名

【到達目標】

酵素についての基礎、酵素タンパク質についてさらに深く理解できる

【授業の概要】

酵素は触媒機能を持つタンパク質であり、複雑な生命現象は様々な代謝を触媒する酵素によって引き起こされて生体が維持されている。このような酵素を理解するため、酵素の基礎から応用およびそれにつながる酵素タンパク質の改変や解析法などについて学ぶ。

【授業内容】

1. ガイダンス (酵素の歴史)
2. 酵素とは (タンパク質及びそれを構成するアミノ酸)
3. タンパク質の構造と酵素の活性部位
4. 触媒としての酵素
5. 酵素の特異性
6. アロステリック酵素・補因子 (補酵素と金属イオン)
7. 酵素反応速度と基質濃度
8. 酵素反応のパラメータと複基質系の酵素反応と阻害
9. 阻害 阻害形式の判別と阻害定数の求め方
10. 酵素の不可逆的不活性化
11. 酵素活性に対する pH と温度の影響
12. 酵素活性の調節
13. 酵素タンパク質の精製と分析
14. 応用酵素学: 物質生産への応用
15. 応用酵素学: 酵素と医療

【成績評価方法】

定期試験 70%/日常点 (小テスト・課題等) 30%
 ABC 評価

【教科書】

指定なし

【参考書、教材等】

1. これから学ぶ酵素科学 (三共出版 中山亨 編著 ISBN:978-4-7827-0785-2)
2. はじめて学ぶ生命科学の基礎 (化学同人 畠山智充ら ISBN 978-4759814545)
3. 酵素: 科学と工学 (講談社 虎谷 哲夫ら ISBN 4061398377)

※ この授業は、9/16 (月・祝) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
26	サレジオ工業高等 専門学校	エネルギー変換工学	山下 健一郎 電気工学科 教授	2	前期	火	15	13:05~14:35	サレジオ工業高等専 門学校	5

【到達目標】

A. 電気・機械エネルギー変換の相互関係について理解できる。B. 電気・機械エネルギー変換の相互変換ができる。C. 基本的な運動方程式の立式方法が理解できる。D. 基本的な運動方程式を解くことができる。

【授業の概要】

電気・機械エネルギー変換は、各種産業における非常に重要な分野として役立っている。その基礎となる諸事項を理解するため、電気エネルギーと機械エネルギーとの相互変換に役立つ基礎理論について学習する。また、各種の電機システムのモデル化及びそれらの諸解析法について講義する。

【授業内容】

1. ガイダンス, 基礎電気数学 基礎電気数学を理解できる (A)。
2. 電磁気学の基礎 基礎的な電気磁気学について理解できる (A)。
3. 保存系 保存系について理解できる (A)。

- 4. 保存系を含む系の解析(1) 磁気回路の解析を行うことができる(A)。
- 5. 保存系を含む系の解析(2) 機械系を含む磁気回路の解析を行うことができる(A)。
- 6. 双対回路 双対回路について説明できる(A)。
- 7. 電気回路と磁気回路の双対性 双対性を解析に利用することができる(A)。
- 8. 電気系と機械系のアナロジー(1) 電気系と機械系の対応関係を説明することができる(A, B)。
- 9. 電気系と機械系のアナロジー(2) 電気系と機械系の対応関係を説明することができる(A, B)。
- 10. ラグランジュの運動方程式 ラグランジュの運動方程式を理解できる(B, C)。
- 11. 非線形モデルの解析法 簡単な非線形モデルの線形化ができる(C)。
- 12. 平衡点, ラプラス変換 線形化の平衡点を理解でき, ラプラス変換を理解できる(D)。
- 13. ラプラス変換を用いた諸定理 ラプラス変換におけるいくつかの諸定理を理解できる(D)。
- 14. 古典制御理論と状態変数法 古典制御の基礎と現代制御の状態変数法を理解できる(D)。
- 15. 総まとめ 総まとめ問題を解き, 間違えた問題について調査, 修正を行うことができる(D)。

【成績評価方法】

最後の授業で行う総まとめ問題(100点満点)と間違えた問に対する直しを全体の70%(但し, 間違い直しは本来の点数の60%とする)、授業の終わりに配布するまとめプリントを30%とする。なお、最後の授業で行う総まとめ問題はテスト形式で実施するが、提出済みのまとめプリントを参照してよい。
成績計算方法: (総まとめ問題の点数+同問題の間違い直し分の点数*0.6)*0.7+まとめプリント提出枚数/提出回数*30

【教科書】

なし

【参考書、教材等】

授業配布プリント

※ この授業は、4/9(火)が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
27	サレジオ工業高等専門学校	数理計画	島川陽一 情報工学科 教授	2	前期	木	15	14:45~16:15	サレジオ工業高等専門学校	5

【到達目標】

A. 線形計画法の定式化とシンプレックス法による解法を理解できる。B. 非線形計画法の基本的な考え方を理解できる。C. 組合せ最適化問題の基本的な考え方について理解できる。

【授業の概要】

数理計画法は線形計画法, 非線形計画法, 整数計画法, 組み合わせ最適化におおきく分類される。本講義では線形・非線形計画法を中心に最適化問題がどのような性質なのかについて基礎的な考え方を習得する。また、社会で数理計画法がどのように応用されるのかについて講義する。

【授業内容】

- 1. 授業ガイダンス 授業の計画と評価の方法の説明、工学における数理計画法の役割について説明できる。(A)
- 2. 線形計画法(1) 問題の定式化: 生産計画問題を中心に、決定変数、目的関数、制約条件の考え方を理解できる。(A)
- 3. 線形計画法(2) 線形計画問題のグラフ解法、実行可能領域について説明できる。(A)
- 4. 線形計画法(3) 線形計画問題の標準形、双対問題を理解できる。(A)
- 5. 線形計画法(4) 単体法(シンプレックス法)による数値計算。掃き出し法を念頭に数値的に線形計画問題を解くことができる。(A)
- 6. 線形計画法(5) 計算量の見積もりについて説明できる。(A)
- 7. 非線形計画法(1) 2次形式の標準形、正値対称行列を説明できる。(B)
- 8. 非線形計画法(2) ラグランジュ未定乗数法を用いて最適化問題を解くことができる。(B)
- 9. 非線形計画法(3) 制約なし非線形最適化について説明できる。(B)
- 10. 非線形計画法(4) 制約付き非線形最適化について説明できる。(B)
- 11. 組合せ最適化(1) 組み合わせ最適化問題の基本的考え方について説明できる。(C)
- 12. 組合せ最適化(2) 整数計画問題としての定式化を理解できる。(C)
- 13. 組合せ最適化(3) 近似解法、メタ解法についての考え方を理解できる。(C)
- 14. 期末試験 知識の整理
- 15. 結果の講評 試験の返却と出題された問題の説明

【成績評価方法】

学修時間の成果については毎時間の提出を求める。課題の評価は提出率×10を評価点とする。期末試験と2回のレポート課題で評価を行う。総合評価は科目の評価点 課題(20%)×2 + 学修時間の課題(10%) + 期末試験(50%)で計算する。60%以上の評価で合格となる。

【教科書】

必要に応じてプリント資料を配布する。

【参考書、教材等】

伊理正夫、線形計画法、共立出版株式会社、1990年
茨木俊秀、福島正夫、最適化の手法、共立出版株式会社、1993年

※ この授業は、4/11(木)が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
28	サレジオ工業高等専門学校	構造材料	加藤 雅彦 電気工学科 教授	2	前期	火	15	13:05~14:35	サレジオ工業高等専門学校	5

【到達目標】

A. 金属材料の機械的性質について理解することができる。B. セラミックス、ガラス、ポリマーの機械的性質について理解することができる。C. 力学的挙動のメカニズムを理解することができる。

【授業の概要】

材料の基本的な力学的挙動を知っておくことは、技術者にとって必要不可欠である。初めに一般的な金属材料について力学的挙動のメカニズムを学び、次にセラミックス、ガラス、ポリマーなどの非金属材料について金属材料と比較しながら学ぶ。授業は輪講形式で行う。発表者は担当部分のレポートを提出し、授業で発表する。発表内容に対し、適宜担当教員より説明を加える。理解度確認のために、最後の授業で総まとめ問題を行う。

【授業内容】

- | | |
|---------------|--|
| 1. ガイダンス、弾性変形 | <input type="checkbox"/> 応力-ひずみ曲線、フックの法則、ヤング率について理解できる。(A) |
| 2. 塑性変形 I | <input type="checkbox"/> 降伏強さ、引張強さ、ひずみ硬化指数、延性について理解できる。(A) |
| 3. 塑性変形 II | <input type="checkbox"/> 靱性、低炭素鋼における上および下降伏点について理解できる。(A) |
| 4. 横ひずみとせん断変形 | <input type="checkbox"/> ポアソン比、せん断応力、せん断ひずみ、せん断弾性係数、剛性率について理解できる。(A) |
| 5. セラミックスとガラス | <input type="checkbox"/> 脆性破壊、曲げ強さ、応力集中について理解できる。(B) |
| 6. ポリマー | <input type="checkbox"/> 曲げ強さ、曲げ弾性係数、動的弾性係数について理解できる。(B) |
| 7. 弾性変形の機構 | <input type="checkbox"/> 結合力-原子間距離曲線について理解できる。(C) |
| 8. 塑性変形の機構 I | <input type="checkbox"/> 臨界せん断応力、転位、すべり系、すべり面について理解できる。(C) |
| 9. 塑性変形の機構 II | <input type="checkbox"/> 分解せん断応力、臨界分解せん断応力について理解できる。(C) |
| 10. 硬さ | <input type="checkbox"/> 硬さ試験、ロックウェル硬さ、ブリネル硬さ、ヴィッカース硬さ、ヌーブ微小硬さについて理解できる。(A, B) |
| 11. クリープ | <input type="checkbox"/> クリープ曲線、クリープ破壊、クリープ強さについて理解できる。(A, B, C) |
| 12. 応力緩和 | <input type="checkbox"/> 緩和時間、粘性流動における活性化エネルギーについて理解できる。(A, B, C) |
| 13. 粘弾性変形 I | <input type="checkbox"/> 粘性変形、ガラス遷移温度、軟化温度)について理解できる。(B, C) |
| 14. 粘弾性変形 II | <input type="checkbox"/> 応力-ひずみ曲線のヒステリシス、動的弾性係数について理解できる。(B, C) |
| 15. 総まとめ問題 | <input type="checkbox"/> 力学的挙動の理解度を確認する。(A, B, C) |

【成績評価方法】

発表担当部分のレポート 50%、発表内容 30%、総まとめ問題 20%とする。授業への参加度がよくない場合は欠席 1 回につき 3 点減点する。レポートは、法則やメカニズムについて原理や根拠が正確に記述されているかどうかを中心に評価する。発表内容は、発表者に対して適宜質問を行うことによって、理解度を中心に評価を行う。

【教科書】

適宜プリントを配布する

【参考書、教材等】

なし

※ この授業は、4/9 (火) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
29	サレジオ工業高等専門学校	技術史	堤 一郎 非常勤講師(元茨城大学)	2	後期	火	15	10:50~12:20	サレジオ工業高等専門学校	5

21世紀を担う技術者に必要な、
A. 「歴史観」を持つことができる。

B. 「技術をみる眼」を持つことができる。

C. 「技術史をみる眼」を習得できる。

【授業の概要】

キーワードは「技術・歴史・人・眼」です。この講義では日本の古代から現代に至る「技術史」について、重要な内容を順に学びます。さらにさまざまな産業技術遺産についても話題にし、実物や映像も併せて技術者を目指す皆さんの関心を高め、「技術史をみる眼」を持てるよう講義を進めます。

【授業内容】

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 授業ガイダンス | <input type="checkbox"/> 「技術史をみる眼」を理解できる。 |
| 2. 古代の技術とその事例 | <input type="checkbox"/> 古代の鑄造法(貨幣の製造を話題として)を理解できる。 |
| 3. 渡来人と技術移転 | <input type="checkbox"/> 飛鳥石舞台と巨石の運搬について理解できる。 |
| 4. 日本的技術の発生と展開(1) | <input type="checkbox"/> 奈良の大仏建立(巨大構造物と建造物)について理解できる。 |
| 5. 日本的技術の発生と展開(2) | <input type="checkbox"/> 鉄砲伝来(鉄砲とねじの製造)について理解できる。 |
| 6. 江戸期の技術(1) | <input type="checkbox"/> 砂鉄とたたら製鉄(日本刀用の玉鋼製法)について理解できる。 |
| 7. 江戸期の技術(2) | <input type="checkbox"/> 和時計と機巧について理解できる。 |
| 8. 19世紀までの西洋技術の発達(1) | <input type="checkbox"/> 製粉と水車(ドナウ川の船水車)について理解できる。 |
| 9. 19世紀までの西洋技術の発達(2) | <input type="checkbox"/> 水車とイギリス産業革命について理解できる。 |
| 10. 明治期の技術(1) | <input type="checkbox"/> 日本の産業革命について理解できる。 |
| 11. 明治期の技術(2) | <input type="checkbox"/> 電力と通信の技術について理解できる。 |
| 12. 大正・昭和前期の技術 | <input type="checkbox"/> 鉄道の近代化について理解できる。 |
| 13. 昭和後期の技術 | <input type="checkbox"/> 電子技術の発展と自動化技術について理解できる。 |
| 14. 平成期の技術、技術遺産、授業の纏め | <input type="checkbox"/> システム化の進展と日本の技術遺産について理解できる。 |
| 15. 期末試験 | |

何れの講義も、(A, B, C)とする。

【成績評価方法】

期末試験 70%、振返りシートと講義内課題レポート 30%で評価します。

【教科書】

なし

【参考書、教材等】

自作プリントを配付します。

※ この授業は、9/10（火）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
30	ヤマザキ動物看護大学	高齢動物看護学	富田 幸子 動物看護学部 教授	2	前期	木	15	14:50～16:20	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

動物医療の進展やヒトと動物の暮らしの変化等に伴い犬猫の寿命が飛躍的に長く伸びている一方で、高齢動物には様々な問題が生じている。従って、犬猫の身体的な加齢変化を理解でき、高齢動物の病態生理を説明でき、治療補助、および高齢動物の生活の質（quality of life, QOL）の向上を目指す健康管理と維持および予防看護の方法の説明に加えて、高齢動物の飼い主教育ができるようになることを目標とする。

【授業の概要】

高齢動物の理解とその周囲をとりまく状況について解説し、高齢に伴う各臓器別の変化と正確な知識、それに対応する必要な看護について講義する。さらに、QOLの維持管理に必要な知識と死と向き合うグリーフケアについて講義する。動物看護師の知識と技術の拡大を目指す。

【授業内容】

1. ヒト超高齢化の研究状況と高齢動物をめぐる状況
2. 高齢動物と口腔疾患の看護
3. 高齢動物と呼吸器疾患の看護
4. 高齢動物と循環器疾患の看護
5. 高齢動物と消化器疾患の看護
6. 高齢動物と内分泌疾患の看護（ゲストスピーカー）
7. 高齢動物と腫瘍の看護
8. 高齢動物と眼科疾患の看護
9. 高齢動物と認知障害の看護
10. 高齢動物の認知障害の看護
11. 高齢動物と泌尿器疾患の看護（ゲストスピーカー）
12. 高齢動物と皮膚疾患の看護
13. 高齢動物と疾患予防と感染症対策（ゲストスピーカー）
14. 高齢動物と運動器疾患の看護（ゲストスピーカー）
15. 高齢動物とグリーフケア（ゲストスピーカー）

【成績評価方法】

授業への参加態度、レポート提出及び小テスト 30%、定期試験 70%から総合的に評価する。

【教科書】

特になし。講義内容に合った資料を配布する。

【参考書、教材等】

- 1) 犬と猫におけるリハビリテーション、支持療法および緩和療法（監修 長谷川篤彦、学窓社 2012）。
- 2) 高齢動物の医学（監訳 長谷川篤彦、インターズー 2013）。
- 3) 疾患別 動物看護学ハンドブック（緑書房 2012）

※ この授業は、4/11（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
31	ヤマザキ動物看護大学	ペットロス論	新島 典子 動物人間関係学部 教授	2	前期	木	15	10:50～12:20	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

本講義ではペットロス（ペットの喪失やそれにより生じる悲嘆）に関する諸知識を社会学、社会心理学、死生学等の観点から学修し、学生が動物看護の現場でよき理解者、支援者となれることを目標とする。

【授業の概要】

学生が卒業後それぞれの職域においてクライアント（飼い主）に有効なペットロス支援ができるようになることを目的とする。ペットロスの定義、社会的背景、悲嘆反応、立ち直りのプロセス等を概観した後、ペット喪失前後の飼い主とペットの関係性、悲嘆の多様性、周囲の他者との関係性等、ペットロスに影響を及ぼす諸要因を学ぶ。最新の関連研究の紹介や考察も含め、ペットロスに対する予防と対処についての知識を深めてゆく。

【授業内容】

1. ペットロス論とはなにか
2. ペットロスの基礎知識Ⅰ：ペットロスの定義、ヒトと動物の絆、愛着とは
3. ペットロスの基礎知識Ⅱ：心と体の変化（通常の悲嘆反応）
4. ペットロスの基礎知識Ⅲ：立ち直りのプロセス

5. ペットロスの基礎知識Ⅳ：ペットロスの背景要因
 6. ペットロスの基礎知識Ⅴ：ペットロスに対する予防策と対処法
 7. ペットと飼い主の関係性Ⅰ：先行研究紹介など
 8. ペットと飼い主の関係性Ⅱ：時事的問題ほか
 9. ペットの喪失Ⅰ：先行研究紹介など
 10. ペットの喪失Ⅱ：時事的問題ほか
 11. ペットの喪失に影響を及ぼす要因Ⅰ：先行研究紹介など
 12. ペットの喪失に影響を及ぼす要因Ⅱ：時事的問題ほか
 13. ペットの喪失への対処Ⅰ：先行研究紹介など
 14. ペットの喪失への対処Ⅱ：時事的問題ほか
 15. ペットロス論のまとめ
- ※ なお、授業のいずれか2回分（日程未定）は学外の動物霊園見学に充てる予定である。

【成績評価方法】

授業への参加度 35%、課題レポート 25%、授業内試験 40%を総合的に評価。

【教科書】

講義内で適宜紹介する。必要などときには資料を配布する。

【参考書、教材等】

- ・Lagoni, Butler 他著,1994.The Human-Animal Bond and Grief, W.B.Saunders Company.=2000. 鷲巢月美監訳・山崎恵子（訳）『ペットロスと獣医療』チクサン出版社。
- ・Stewart, Mary F. 著,1999.Companion Animal Death: A Practical and Comprehensive Guide for Veterinary Practice, Butterworth Heinemann.=2000. 永田正訳『コンパニオンアニマルの死：獣医療のための実際的、包括的ガイド』学窓社。
- ・その他講義内やMoodle上で適宜紹介する。必要などときには資料を配布する。

※ この授業は、4/11（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
32	ヤマザキ動物看護大学	水族動物学	石川 牧子 動物人間関係学部 教授	2	後期	木	15	13:10～14:40	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

河川、湖沼、海洋などの水域に生息する水族動物について学修する。水中環境へ適応した動物の生物学的特性と、人間活動との関わりについて理解を深めることを到達目標とする。

1. 水族動物の分類・形態・生態・生理などについて説明できる
2. 水族動物との共生について考察できる

【授業の概要】

講義前半は、水族動物の分類・生理・生態について理解する。講義後半は、家庭での観賞魚飼育、水族館飼育動物、養殖などに関連し、水族動物の飼育管理や病気、水族動物の人間との関わり、保全や資源管理などについて学修する。最終講義では、まとめおよび理解度の確認、解説を行う。

【授業内容】

1. オリエンテーション 水族動物とは何か
2. 水族動物の生息環境
3. 水族動物の系統と分類
4. 水棲無脊椎動物
5. 魚類
6. 両生類・爬虫類
7. 水棲哺乳類
8. 水族動物の毒・寄生虫
9. 魚類の病気
10. 魚類の飼育管理
11. 魚類の展示(1)水槽デザイン
12. 魚類の展示(2)アクアリウムの維持
13. ヒトと水族動物の関係
14. 水族動物の保全と資源管理
15. まとめ（水族動物の生理・生態・飼育管理）、テスト、解説

【成績評価方法】

授業内のテスト 50%、授業への参加度および授業内での提出課題 50%の総合評価

【教科書】

特に指定しない。

【参考書、教材等】

獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 魚病学，児玉洋監修，2019年，緑書房ほか、講義内で適宜紹介する。

※ この授業は、9/19（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
33	東京家政学院大学	児童とカウンセリング	柳瀬 洋美 現代生活学部 准 教授	2	後期	水	14	10:50~12:30	東京家政学院大学 町田キャンパス	若干名

【到達目標】

知識・理解の観点 (K) : 1. 基本的なカウンセリングに関する理論と知識・支援者としての姿勢について学ぶ。

思考・判断の観点 (K) : 1. 課題や悩みを抱える相手に寄り添うということについて理解を深め、支えていくために必要な姿勢とカウンセリング・スキルの基礎を身につける。

関心・意欲・態度の観点 (V) : 1. 「自己の内面を見つめ、肯定的にありのままの自分を受け入れること」の大切さと他者の思いに寄り添う際に求められる基本的な姿勢について学ぶ。

技術・表現の観点 (A) : 1. 自己の課題に気づき、課題と向き合うために必要なスキルを学ぶ。

【授業の概要】

ひとは生きていく上で、苦しみや哀しみと無縁ではられない。時には「何が辛く苦しいのか」すら分からないほど困難な状態に陥ってしまう場合もある。そのような場合、まず困っている自分自身に気づき、理解し、その状況を客観的に再認識するところから始めると、新たなかかわり方の工夫が可能となり、問題解決へと結びついていくことが少なくない。本授業では、子どもにかかわる事例を中心に取り上げながら、基本的なカウンセリングの理論と技法、実践を統合的に理解し自分と向き合いながら、ひとがひとを理解し支えるとはどういうことなのか、ひとの心に寄り添うとはどういうことなのかについて考えていく。

【授業内容】

第1回 オリエンテーション～カウンセリングとは何か/カウンセリングの歴史の変遷

第2回 カウンセリングの歴史の変遷

第3回 こころとからだのメッセージ

第4回 こころの病理の理解

第5回 “Who am I?”～私の「自分探し」～自分を理解すること

第6回 自分の内面を見つめる―描画法と投影法

第7回 自己を表現すること～セルフアサーション

第8回 語ることの意味と聴くことの意味

第9回 カウンセリングにおける基本的な態度

第10回 カウンセリングの展開と気づきのプロセス

第11回 カウンセリングの理論と技法①クライアント中心療法

第12回 カウンセリングの理論と技法②認知療法

第13回 カウンセリング体験～ロールプレイ

第14回 事例検討とスーパーヴィジョン

【成績評価方法】

期末レポートや授業内ミニ課題、平常点（授業への取り組み状況等）により評価する。

期末レポート 60%、ミニレポート 30%、平常点（授業への参加状況・討論への参加などで総合的に判断） 10%

【教科書】

柳瀬洋美, 2022 「気になる保護者の理解のために―内なる子どもとの対話を通して」 ジアース教育新社

【参考書、教材等】

特になし

※ この授業は、9/25（水）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
34	山野美容芸術短期大学	伝承美（着装）I	佐藤 美奈子 美容総合学科 教 授	2	前期	金	15	13:00~16:10	山野美容芸術短期大学	若干名

【到達目標】

「日本の心を着る」という豊かな感性と人を思いやる心を持ち、日本人としての文化教養を身につけ他の日本人や世界の豊かな生活に貢献できる。

「自分で着る, 人に着せる」の着つけの基本知識を理解できる。「自分で着る技術」と「人に着せる技術」を習得し伝承できる。

職業実践専門課程に基づくカリキュラムの実践を通し就職、社会事業に役立つ基礎能力を習得できる。

伝統の概念と現代を関連づけて幅広くとらえ、時代に沿ったフレキシブルな判断ができる。

【授業の概要】

山野流美道の概念を礎とし、多様な価値観や考え方を理解し国内外の美容の現場で必要とされる日本文化「きもの」の技能・知識を有する技術者を育成する。

【授業内容】

1. オリエンテーション トータルビューティと美道について学ぶ
2. 自装：着物を学ぶ 長襦袢の着付けを学ぶ
3. 小紋の着つけのプロセスを学ぶ 小紋① 帯のプロセスを学ぶ
4. 小紋② 着物の着つけを学ぶ 小紋の着つけと帯結び一重太鼓を学ぶ
5. 小紋③ 小紋の着つけと帯結びのトータルバランスを学ぶ 着つけと帯結びの評価方法を学ぶ
6. 留袖の導入 留袖のヘアメイクと着つけを学ぶ 留袖① 礼装・留袖の知識を学ぶ
7. 留袖② 長襦袢と留袖の着つけを学ぶ 長襦袢と留袖の着つけを学ぶ
8. 留袖③ 着物と袋帯を学ぶ 留袖の着つけ帯結び二重太鼓を学ぶ
9. 留袖④ 着物と袋帯二重太鼓の構造を学ぶ 美しい着つけを学ぶ
10. 留袖⑤ 着物の格を学び、帯揚げ帯締め結び方を学ぶ 格式ある席の装い ミセスの礼装を学ぶ
11. 留袖⑥ 手早く美しい着つけを学ぶ 手早く着心地の良い着つけを学ぶ
12. 留袖⑦ 品格のある着つけを学ぶ 品格のある着つけを学び、時間内に仕上げることを学ぶ
13. 留袖⑧ 着つけと帯結びの評価方法を学ぶ トータルビューティを学ぶ 着せる技術、見せる技術
14. ゆかたから夏の装いを学ぶ 伝統行事「打ち水」を体験する

15. 創作帯結びのアレンジにチャレンジする 前期のまとめ

【成績評価方法】

筆記試験 20%、実技試験 60%、小テスト 10%、課題 10%を総合して評価する。

【教科書】

着物着つけ教本 山野愛子ジェーン 一般財団法人国際美容協会 2020年4月1日 第21刷、他配布プリント

【参考書、教材等】

※ この授業は、4/12（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
35	山野美容芸術短期大学	伝承美（茶道）	河原 宗孝 非常勤講師	1	前期	木	15	14:40～16:10	山野美容芸術短期大学	若干名

【到達目標】

日本の伝統文化である茶道は、「道・学・実」を三位一体で学ぶことを通し、美の裏方としての人間形成を図ることに主眼をおいている。中でも「和敬清寂」を学び、茶道を通して精神面の成長を図ることにより、その成長を実践することができる。おもてなしの心を学ぶとともに、お茶の正しい点て方と頂き方を習得し、世界の豊かな生活に貢献するために多様な人々の社会的・文化的背景を尊重して行動することができる。

【授業の概要】

社会で活躍するためには、専門的な知識や技術の習得のみならず、洗練された接客マナーが求められます。各回とも講義と実技（点前の稽古）を組み入れ、帛紗の扱い・帛紗さばき・お茶の点て方・飲み方を学びます。講義では、禅語の読み方・意味を学び、日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できるよう育成する。

【授業内容】

1. オリエンテーション 講義 入門の心得・教材の配布・お茶ってなんだろう 実技 お菓子の頂き方・お茶の点て方、飲み方
2. 講義 禅語「喫茶去」 実技 お辞儀の仕方・床の拝見・立ち方・歩き方を学ぶ
3. 講義 風炉・炉・立礼・開炉について 実技 帛紗の扱い・帛紗さばきを学ぶ
4. 講義 禅語「薫風自南来」。歴代家元（1代～5代） 実技 棗・茶杓の清め方、お茶の点て方・飲み方を学ぶ
5. 講義 お茶の心「和敬清寂」。歴代家元（6代～10代） 実技 茶巾のたたみ方・茶碗のふき方・茶筌通しをまなぶ。
6. 講義 ビデオ『利休の茶』『15代鵬雲斎大宗匠とジェーン先生の対談』・愛治庵について学ぶ 実技 お茶の点て方・飲み方
7. 講義 愛治庵茶室の勉強（愛治庵） 感想文 実技 呈茶・お運び
8. 講義 お客様に好かれる方法、接客のマナー 実技 盆略点前1回目 盆略点前を覚える。
9. 講義 茶室における髪形・着付け・メイク。盆略点前の配置図。 実技 盆略点前2回目 盆略点前を覚える。
10. お茶会に招かれて
11. 講義 「利休遺偈」を学ぶ 実技 盆略点前3回目 盆略点前を覚える。
12. 講義 ビデオ『茶の湯自在』 実技 お茶の点て方・飲み方
13. 講義 春夏秋冬の感じ方 実技 盆略点前4回目 盆略点前を覚える
14. 講義 利休七則の教え。歴代家元（11代～16代）。茶の湯英会話。茶の用語抄 実技 盆略点前5回目 盆略点前を覚える。
15. 講義 禅語「一期一会」 総復習 実技 最終確認

【成績評価方法】

筆記試験（50%）、実技試験（15%）、受講態度（35%）の総合評価する。

【教科書】

『茶の湯で学ぶ美』 河原宗孝著（株）淡交社 平成15年4月1日初版発行 平成29年3月20日第7版発行

【参考書、教材等】

月刊誌『淡交』『なごみ』ビデオ『利休の茶』『15代鵬雲斎大宗匠とジェーン先生の対談』

※ この授業は、4/11（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
36	東京造形大学	現代デザイン論A	沼田 真一 造形学部 准教授	2	前期	水	14	10:50～12:30	東京造形大学 4-D 教室	10

【到達目標】

- ・本講義では、現代デザインを社会デザインとして読み解き、さまざまなデザイン領域を学際的につなぎなおすことを目指す。
- ・本講義では、さまざまな専門領域に分岐する手前での、生活世界に埋め込まれたデザインを体験的に知ること、再発見することを目指す。
- ・本講義では、現代デザインを社会デザインとして読み解き、さまざまなデザイン領域を学際的につなぎなおすことを目指す。
- ・本講義では、さまざまな専門領域に分岐する手前での、生活世界に埋め込まれたデザインを体験的に知ること、再発見することを目指す。

【授業の概要】

- ・デザインとは、すなわち行為の学である。デザインとは人為的、計画的、論理的な整理、課題解決や解消を指す。もちろん、デザインの定義はさまざまであり、今なお更新され続けていることにも注目する必要がある。
- ・現代デザイン論は、いわば「社会」を「デザイン」する論である。社会とはいいかえれば関係そのものである。現代デザインは、人と人、人とモノ、人と空間（地域）の関係を変容させようとする試みである。
- ・その代表的な人物としてウィリアム・モリスから講義を始め、バウハウスの試みを論じる。以降、多様なテーマで「デザイン」を扱う。
- ・100分の講義は、概ね「復習20分+当日テーマ80分」で構成する。
- ・本講では「ネームプレート制」「マイク発言制」「隣席禁止制」の3つの課す。すなわち、自分の名前を掲出すること、発言を求められたらマイクで答えること、友人・知人の隣に座らないことの3つである。最初の授業で説明するが、これらを受け入れられない場合は受講を避けること。
- ・「チャット」機能を積極的に用いて質疑応答を行う。
- ・受講者の理解度に合わせ進行速度や内容は変更もありえる。

【授業内容】

1. はじめに
2. 「現代」の「デザイン」とは何か？
3. ウィリアム・モリス①—「となりのモリス」前半—
4. ウィリアム・モリス②—「となりのモリス」後半—
5. バウハウス—女性たちの活躍を中心に—
6. 都市のデザイン①—景観の採集と分析—
7. 都市のデザイン②—メンタルマップ—
8. 都市のデザイン③—ヒューマンスケール、名付けえぬ質—
9. 音のデザイン①—音の採集と分析—
10. 音のデザイン②—サウンドスケープ（音風景）—
11. 文字のデザイン①—文字の採集と分析—
12. 文字のデザイン②—「絶対フォント感」—
13. 政策のデザイン—PDCA サイクル—
14. まとめ or ゲスト

【成績評価方法】

授業態度 50%、期末レポート 50%を基準に総合的に評価する

【教科書】

必要に応じてウェブで公開する。

【参考書、教材等】

ヴィクター・パパネック, 1974『生きのびるためのデザイン』 晶文社
 ケヴィン リンチ, 2007『都市のイメージ（新装版）』 岩波書店
 鳥越けい子, 1997『サウンドスケープ：その思想と実践』 鹿島出版会
 ニコラス・ペヴスナー, 1957『モダン・デザインの展開—モリスからグロピウスまで』 みすず書房
 藤田治彦, 1996『ウィリアム・モリス—近代デザインの原点』 鹿島出版会
 井原奈津子, 2023『字はうつくしい』 福音館書店
 ・進行に伴い適宜紹介する。

※ この授業は、4/17（水）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
37	東京造形大学	現代デザイン論B	沼田 真一 造形学部 准教授	2	後期	水	14	10:50~12:30	東京造形大学 4-D 教室	10

【到達目標】

- ・本講義では、現代デザインを社会デザインとして読み解き、さまざまなデザイン領域を学際的につなぎなおすことを目指す。
- ・本講義では、さまざまな生活世界に埋め込まれたデザインを体験的に知ること、再発見することを目指す。
- ・現代デザイン論Bは、受講者同士の相互行為（ワークショップ）が大幅に増えるので、そのつもりで受講すること。

【授業の概要】

- ・デザインとは、すなわち行為の学である。デザインとは人為的、計画的、論理的な整理、課題解決や解消を指す。もちろん、デザインの定義はさまざまであり、今なお更新され続けていることにも注目する必要がある。
- ・現代デザイン論は、いわば「社会」を「デザイン」する論である。「社会」とはいいかえれば関係そのものである。現代デザインは、人と人、人とモノ、人と空間（地域）の関係を変容させようとする試みである。
- ・現代デザイン論Bは、受講者同士の相互行為（ワークショップ）となる体験的な内容が多い。こうした講義内容が苦手な人は受講を勧めない。
- ・100分の講義は、概ね「復習20分+当日テーマ80分」で構成する。
- ・本講では「ネームプレート制」「マイク発言制」「隣席禁止制」の3つの課す。すなわち、自分の名前を掲出すること、発言を求められたらマイクで答えること、友人・知人の隣に座らないことの3つである。最初の授業で説明するが、これらを甘受できない場合は受講を避けること。
- ・「チャット」機能を積極的に用いて質疑応答を行う。
- ・受講者の理解度に合わせ進行速度や内容は変更もありえる。

【授業内容】

1. はじめに
2. 「現代」の「デザイン」とは何か？
3. コミュニケーションデザイン①—さまざまな自己紹介手法—
4. コミュニケーションデザイン②—さまざまな自己紹介手法—
5. コミュニティデザイン①—映画づくりワークショップ—
6. コミュニティデザイン②—読書活動による関係づくり—
7. 思考のデザイン①—フレームワークの活用〈基礎〉—
8. 思考のデザイン②—フレームワークの活用〈応用〉—
9. 思考のデザイン③—フレームワークの活用〈応用〉—
10. 調査のデザイン—考現学の試みから—
11. 情報のデザイン—Wikipedia から—
12. 遊びのデザイン—おもちゃづくりから—
13. 食のデザイン—お弁当づくりから—
14. まとめ：対話のデザイン—ワールドカフェの実践—

【成績評価方法】

授業態度 50%、期末レポート 50%を基準に総合的に評価する

【教科書】

必要に応じてウェブで公開する。

【参考書、教材等】

アニータ・ブラウン, 2007『ワールド・カフェ：カフェ的会話が未来を創る』ヒューマンバリュー
 ヴィクター・パパネック, 1974『生きのびるためのデザイン』晶文社
 今和次郎, 1987『考現学入門』筑摩書房
 ロジェ・カイヨワ, 1990『遊びと人間』講談社学術文庫
 ・進行に伴い適宜紹介する。

※ この授業は、9/11（水）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
38	東京造形大学	室内建築特論	酒匂 克之 造形学部 准教授	2	後期	火	14	15:10～16:50	東京造形大学 1-102 教室	10

【到達目標】

様々な職能があることを知る。

【授業の概要】

室内建築専攻領域における研究指標である「家具」「インテリア」「建築」という3つの領域に関わる複数の講師による、映像等を交えた講義となります。室内建築という領域が扱うさまざまな活動、事例、研究を紹介しながら、その方法論やデザインに対する考え方、表現のちがいを学びます。それらを総合的かつ横断的に概観し、将来の進路や研究の一助としてもらいたいと考えています。具体的な授業内容は、前半の7回はインテリアデザイン史を学び（担当：鈴木紀慶）、後半の7回は室内建築所属の複数講師（担当：酒匂克之・上田知正・長岡勉・地主広明 等）、によるオムニバス形式での講義となります。

*注意：担当者、担当回は変動することがある。

【授業内容】

1. インテリアデザイン史（鈴木紀慶）
2. インテリアデザイン史（鈴木紀慶）
3. インテリアデザイン史（鈴木紀慶）
4. インテリアデザイン史（鈴木紀慶）
5. インテリアデザイン史（鈴木紀慶）
6. インテリアデザイン史（鈴木紀慶）
7. インテリアデザイン史（鈴木紀慶）
8. 室内建築専攻領域に関して（上田知正+酒匂克之）
9. 私の仕事：家具・インテリアデザイン（長岡勉）
10. 私の仕事：商環境デザイン（栗山茂）
11. 私の仕事：舞台デザイン（長田佳代子）
12. 私の仕事：オフィスデザイン（地主広明）
13. 私の仕事：建築（上田知正）
14. 私の仕事：家具・インテリアデザイン（酒匂克之）

【成績評価方法】

授業参加の意欲、積極性、課題等の提出状況とその内容等から総合的に評価する。

【教科書】

必要に応じて適宜、プリントなどを配付する。事前に室内建築の各指標（家具、インテリア、建築）に関連する図書等を参照しておくが良い。授業内で各講師が推薦する図書等はなるべく読むようにすること。

【参考書、教材等】

特になし。

※ この授業は、9/10（火）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
39	東京造形大学	オフィスデザイン	地主 広明 造形学部デザイン 学科 非常勤講師	2	後期	木	14	9:00～12:30	東京造形大学 7-401、7-409	5

【到達目標】

- ・デスクレイアウトにとどまらない高次元なオフィス・プランニングが表現できる。
- ・オフィス・プランニングにとどまらない高次元なインテリア・デザインが考察できる。
- ・機能的なインテリア・プランニングが表現できる。
- ・合理的なインテリア・プランニングが表現できる。
- ・社会的見地から考察したインテリア・デザインが表現できる。

【授業の概要】

オフィスとは情報を収集し、加工し、それを発信するためのナレッジワークを行うワークプレイスである。そして、それはホームオフィスのような個人環境から特定多数のためのセンターオフィスまで多様な形式を包含する。本授業ではそれらを俯瞰しながら明日のワークプレイスの提案を通して、私たちの「労働」「仕事」「場」の意味を再考する。授業は、まず始めにオフィスとワークプレイスに関する講義を行い、具体的なオフィス環境の事例を通して、労働・仕事の意味やオフィス計画に関する概要を学ぶ。その後、基本的なセンターオフィスの計画（課題 A）を演習した後、情報技術の変革によってワーカーが都市の中で分散化した後のセンターオフィスの計画（課題 B）を演習する。

なお、演習は、主にオフィス・プランニング（デスク・レイアウト：平面計画）を中心に行う。実際のデザインの演習課題を行います。ですので、基本的なインテリアの設計スキルを持った人を望みます。図面作成は、CAD (Vectorworks (mac)) または Illustrator (mac) を使用します。
 *もし、図面制作が難しい方は講義と講評会のみに参加しても構いません。

【授業内容】

1. オリエンテーション～講義 01
2. 講義 02
3. 講義 03
4. 講義 04
5. 課題 A 説明会+演習 01
6. 課題 A：演習 02
7. 課題 A：演習 03
8. 課題 A：演習 04
9. 課題 A：講評会
10. 課題 B 説明会+演習 01
11. 課題 B：演習 02
12. 課題 B：演習 03
13. 課題 B：演習 04
14. 課題 B：講評会

【成績評価方法】

授業参加の意欲、積極性、課題の提出状況とその内容等から総合的に評価する。

【教科書】

プリントを適宜配付する。

【参考書、教材等】

授業内で適宜紹介する。

※ この授業は、9/5（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
40	東京造形大学	インダストリアルデザインA	中林 鉄太郎 造形学部デザイン 学科 教授	2	前期	金	14	10:50～12:30	東京造形大学 1-101 教室	10

【到達目標】

インダストリアルデザインの歴史的な流れとその考え方、現在のインダストリアルデザインの具体的なプロセスとアプローチを理解すること。

【授業の概要】

前半7回は、ID 専攻領域の3つの指標である、デザインマネジメント・プロダクトデザイン・インタラクティブデザインの概要について3名の専門教員から分かりやすくレクチャーを行う。

後半7回は歴史からIDの思考と造形技術を学び、さらに目標を達成するためのデザイン方法論に関する概略を習得する。まとめとしてレポート課題を実施する。

【授業内容】

1. ガイダンス（中林 鉄太郎）
2. インタラクティブデザインの概要と事例紹介（中林 鉄太郎）
3. インタラクティブデザインの未来（中林 鉄太郎）
4. プロダクトデザインの概要 01（井関 大介）
5. プロダクトデザインの概要 02（井関 大介）
6. デザインマネジメントの概要 01（下出 翔太）
7. デザインマネジメントの概要 02（下出 翔太）
8. 20世紀のデザイン潮流（森田 敏昭）
9. アートとデザイン（森田 敏昭）
10. モダニズムの成立（森田 敏昭）
11. 日本のインダストリアルデザイン史の概略（森田 敏昭）
12. モノからコトへ（森田 敏昭）
13. 商品企画と製品開発の実例紹介（森田 敏昭）
14. まとめ（森田 敏昭）

【成績評価方法】

全ての授業の出席を前提とするが、授業回数の1/3を超えて欠席した場合は、課題提出の資格がない。受講態度、提出物、を基準に総合的に評価する。

【教科書】

授業内で適宜配布する。

【参考書、教材等】

授業内で適宜紹介する。

※ この授業は、4/19（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
41	東京造形大学	インダストリアルデザインB	中林 鉄太郎 造形学部デザイン 学科 教授	2	後期	金	14	10:50~12:30	東京造形大学 1-101 教室	10

【到達目標】

インダストリアルデザインの歴史的な流れとその考え方、現在のインダストリアルデザインの具体的なプロセスとアプローチを理解すること。

【授業の概要】

インダストリアルデザイン（以下 ID）B は、「ID とは何か」を考察するための概論である。

ID の重要な要素である、「形作ること」と「実現すること」に焦点を絞りながら、ID の専門領域を技術論的側面から概観する。具体的な商品企画と製品開発の事例を参照しつつ、ものづくりの実際に迫る。

前半は、実際にデザインを実現するための素材や構造、加工技術など、主に生産技術と ID の関係について理解を深める。後半は、インダストリアルデザインの社会的役割について考察する。

【授業内容】

1. 概要説明・はじめに（井関 大介）
2. 日本の歴史から「ID」とは何かを考える。（井関 大介）
3. 素材と加工技術とデザインの関係について（井関 大介）
4. 商品企画と製品開発の実例紹介 01（井関 大介）
5. 商品企画と製品開発の実例紹介 02（井関 大介）
6. 商品企画と製品開発の実例紹介 03（井関 大介）
7. まとめ（井関 大介）
8. インダストリアルデザインにおける形態の役割について考える。（中林 鉄太郎）
9. 社会とのかかわりの中で形の文化的意味について考える。（中林 鉄太郎）
10. 人とのかかわりの中で形の機能的意味について考える。（中林 鉄太郎）
11. 社会の価値観の変化とともに移り変わる美意識について考える。（中林 鉄太郎）
12. インダストリアルデザインの社会的役割について（中林 鉄太郎）
13. これからの社会とインダストリアルデザイン（中林 鉄太郎）
14. まとめ（中林 鉄太郎）

【成績評価方法】

全ての授業の出席を前提とするが、授業回数の 1/3 を超えて欠席した場合は、課題提出の資格がない。受講態度、提出物、を基準に総合的に評価する。

【教科書】

授業内で適宜配布する。

【参考書、教材等】

授業内で適宜紹介する。

※ この授業は、9/6（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
42	東京純心大学	パイプオルガンA	鎗木 陽子 看護学部 客員教授	1	前期	金	15	14:40~16:10	東京純心大学	5

【到達目標】

1. パイプオルガンの歴史と構造を理解し、楽器に関する正確な情報を説明することができる。
2. パイプオルガン特有のタッチを習得し、指先と耳を用いて1本1本のパイプを美しく発音させることができる。
3. 讃美歌・聖歌、独奏曲のレパートリーを増やし、礼拝、ミサ、また保育現場の行事における奏楽に応用できる

【授業の概要】

パイプオルガン（以後オルガン）の歴史は古く、はるか紀元前まで遡ることができる。

中世、ルネサンス、バロック、19 世紀から現代に至るまで、様々な国と時代の作品を演奏することを通して、その当時の息吹を感じ取り、それを私たちの文化にどう生かしていくかを探求する。

またオルガンの歴史と構造、国や地域の違いについても扱う。オルガン音楽は歌と結びついているため、讃美歌や聖歌の弾き方のみならず、弾き歌いも習得できるよう指導する。

授業は基本的に本学江角記念講堂の大オルガンを使用する。クラスの中で互いに聴き合いながら、オルガン音楽を学んでいく。

また履修者の興味と関心によっては、連弾などのアンサンブル、歌や楽器の伴奏なども取り入れる予定である。

【授業内容】

1. パイプオルガンを知る (1) 江角記念講堂のオルガン
2. パイプオルガンを知る (2) オルガンの歴史
3. パイプオルガンを知る (3) パイプの種類と音色について
4. パイプオルガンを知ろう (4) 美しい音とは何だろう？
5. パイプオルガンを知ろう (5) タッチとリリース（離鍵）、呼吸を意識する
6. オルガン奏法の実践 (1) 1本指からはじめよう
7. オルガン奏法の実践 (2) 足鍵盤を弾く
8. オルガン奏法の実践 (3) 指で笛を歌わせるということ

9. オルガン奏法の実際（4） なめらかに旋律を弾くには
10. オルガン奏法の実際（5） 踵も使って足鍵盤を弾く
11. オルガン奏法の実際（5） 両手と両足を使って弾く
12. ストップとレジストレーション
13. バロックの小品を弾く1（手鍵盤）
14. バロックの小品を弾く2（足鍵盤付き）
15. オルガンによるアンサンブル

【成績評価方法】

作曲家・作品に関するレポート30%、平常点（日々の練習、授業態度、学修意欲）30%、実技試験40% レポートの採点基準は「作品の背景、作曲家の特徴を理解し、自分の言葉で曲の解釈を述べる事ができている」という点である。実技試験の採点基準は、「曲の特徴を理解し、オルガンという楽器を十分に鳴らす事ができている」という点である。

【教科書】

必要に応じて課題曲、資料を用意する。

【参考書、教材等】

松居直美、廣野嗣雄他『オルガンの芸術 歴史・楽器・奏法』（道と書院）
 近藤岳（編著）梅干野安未・松岡あさひ（著） 『オルガン奏法——パイプでしゃべろう！ パイプで歌おう！』（道と書院）
 椎名雄一郎『パイプオルガン入門』（春秋社）

※ この授業は、4/12（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
43	東京純心大学	在宅保育論	小泉 左江子 現代文化学部 教授	2	後期	水	15	14:40～16:10	東京純心大学	5

【到達目標】

1. 家庭訪問保育の特徴、有効性、社会的役割について説明できる。
2. 家庭訪問保育の基礎となる保育マインドやカウンセリングマインドの理論を理解し、実践できる。
3. さまざまな家庭訪問保育の仕事の内容と実際について理解し、留意点に配慮して実践できる。
4. 制度上の家庭訪問保育（居宅訪問型保育）と一般型家庭訪問保育の違いが説明できる。

【授業の概要】

この科目は、ディプロマポリシー「保育・教育に関する豊かな専門的知識と技能を習得」するための講義科目である。
 授業では、子どもの家庭を訪問して個別保育を行なう家庭訪問保育の理論と実際について、DVD教材を活用して実践的に学ぶ。
 家庭訪問保育には、「子ども子育て新制度」において制度上位置づけられた居宅訪問型保育と、従来よりベビーシッターと呼ばれてきた民間事業者による「一般型家庭訪問保育」があり、この授業ではその両方について学ぶ。
 単位取得者は、公益財団法人全国保育サービス協会「認定ベビーシッター」の資格が取得できる。

【授業内容】

1. ガイダンス ・授業の目的・目標・評価 ・家庭訪問保育とは
2. 家庭訪問保育の基礎① ・保育マインド ・乳幼児の発達
3. 家庭訪問保育の基礎② ・乳幼児の栄養と食事、アレルギー、食事のお世話について
4. 家庭訪問保育の基礎③ ・乳幼児の健康管理
5. 家庭訪問保育の基礎④：安全管理と事故予防（心肺蘇生法を含む）
6. 家庭訪問型保育の実際①：家庭訪問保育の保育内容と配慮事項 環境整備
7. 家庭訪問型保育の実際②：保護者との対応 ・事例を通して考える
8. 家庭訪問型保育の実際③：家庭訪問保育者の基本姿勢（KJ法） 職業倫理とマナー
9. 家庭訪問型保育の実際④業務の流れ
10. さまざまな一般型家庭訪問保育（ベビーシッター）①産後ケア
11. さまざまな一般型家庭訪問保育（ベビーシッター）②病児病後児保育
12. さまざまな一般型家庭訪問保育（ベビーシッター）③送迎・学童・多胎児・外国の子どもの保育
13. さまざまな一般型家庭訪問保育（ベビーシッター）④障害児の保育
14. 安全管理とリスクマネジメント：緊急時の対応 ベビーシッターと法律
15. 家庭訪問保育における保育技術（遊び・お世話）/まとめ

【成績評価方法】

課題レポート20%、期末試験80%で評価する。

【教科書】

「家庭訪問保育の理論と実際（第3版）」 公益財団法人 全国保育サービス協会編 中央法規

【参考書、教材等】

特になし

※ この授業は、9/18（水）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
44	東京純心大学	パイプオルガンB	鏑木 陽子 看護学部 客員教授	1	後期	金	15	14:40～16:10	東京純心大学	5

【到達目標】

1. パイプオルガンの歴史と構造を理解し、楽器に関する正確な情報を説明することができる。
2. パイプオルガン特有のタッチを習得し、指先と耳を用いて1本1本のパイプを美しく発音させることができる。
3. 讃美歌・聖歌、独奏曲のレパートリーを増やし、礼拝、ミサ、また保育現場の行事における奏楽に応用できる。

【授業の概要】

パイプオルガン（以後オルガン）の歴史は古く、はるか紀元前まで遡ることができる。

中世、ルネサンス、バロック、19世紀から現代に至るまで、様々な国と時代の作品を演奏することを通して、その当時の息吹を感じ取り、それを私たちの文化にどう生かしていくかを探求する。

またオルガンの歴史と構造、国や地域の違いについても扱う。オルガン音楽は歌と結びついているため、讃美歌や聖歌の弾き方のみならず、弾き歌いも習得できるよう指導する。

授業は基本的に本学江角記念講堂の大オルガンを使用する。クラスの中で互いに聴き合いながら、オルガン音楽を学んでいく。

また履修者の興味と関心によっては、連弾などのアンサンブル、歌や楽器の伴奏なども取り入れる。パイプオルガンAで学んだことを土台に、さらにオルガン音楽への理解を深めていく。

履修者からの希望があれば学外の教会やホールにも出向き、さまざまなオルガンと、音空間に出会う機会も作る予定である。

【授業内容】

1. パイプオルガンを知ろう
2. 「ピアノ表現法」の課題曲をオルガンで弾こう
3. 足鍵盤のテクニック1
4. 足鍵盤のテクニック2
5. 讃美歌を弾く1 — ひとりで弾く—
6. 讃美歌を弾く2 — 弾き歌い—
7. 讃美歌を弾く3 — 足鍵盤をつけて弾く —
8. 讃美歌を弾く4 — 伴奏として弾く—
9. カトリック聖歌・典礼聖歌を弾く1— ひとりで弾く—
10. カトリック聖歌・典礼聖歌を弾く2— 弾き歌い—
11. カトリック聖歌・典礼聖歌を弾く3 — 足鍵盤をつけて弾く —
12. カトリック聖歌・典礼聖歌を弾く4 — 伴奏として弾く—
13. バロックの小品を弾く1（手鍵盤）
14. 連弾でオルガンを弾こう
15. バロックの小品を弾く2（足鍵盤付き）

【成績評価方法】

作曲家・作品に関するレポート30%、平常点（日々の練習、授業態度、学修意欲）30%、実技試験40%

レポートの採点基準は「作品の背景、作曲家の特徴を理解し、自分の言葉で曲の解釈を述べている」という点である。

実技試験の採点基準は、「曲の特徴を理解し、オルガンという楽器を十分に鳴らすことができている」という点である。

【教科書】

必要に応じて課題曲を指定する。

【参考書、教材等】

松居直美、廣野嗣雄他『オルガンの芸術 歴史・楽器・奏法』（道和書院）

近藤岳（編著）梅干野安未・松岡あさひ（著）『オルガン奏法——パイプでしゃべろう！パイプで歌おう！』（道和書院）

椎名雄一郎『パイプオルガン入門』（春秋社）

※ この授業は、9/13（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
45	東京純心大学	医療概論	上谷 いつ子 看護学部 教授	1	前期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 医療の基本理念、歴史的背景について説明できる。
2. 社会における医療の現状および課題を理解し、課題を達成するために必要な専門職の役割について説明できる。
3. 医療の仕組みを理解し、今後のあるべき将来像および医療者としてのあり方について論じることができる。
4. 医療者としての対象を尊重する価値観、態度について論じることができる。

【授業の概要】

医療を取り巻く変化は大きく、かつ多様化している。医療技術の高度化・複雑化に伴い、医療者自身の価値観による判断・行動が問われる課題は多い。

この科目は、医療を学ぶイントロダクションとしての位置づけであり、講義を通して医学、医療、保健、福祉の基本理念を理解する。

それぞれの歴史と現況、保健医療福祉システム、関わっている職種の役割・責務を学び、医療と付随する課題や医療の倫理的・社会的側面について考えを深める。

また、将来医療に携わるものとしての自覚を持ち、学修する態度を身につけるために、医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場に配慮しながら学ぶことの大切さを理解する。

医療者としてどうあるべきかを考え、看護専門職者として対象を尊重する価値観・態度を養う。

【授業内容】

1. 科目ガイダンス
医学と医療
 1. 医療とは
 2. 医療人とは
 3. 医学・医療の歴史
 4. 保健・医療・介護を取り巻く社会環境の変化
2. 医の倫理
 1. 倫理とは・生命倫理とは
 2. 患者の権利
 3. 研究倫理

3. 医療の現状と課題①
 1. 医療者としてのプロフェッショナリズム
 2. 最先端医療
 3. 医療情報
4. 医療の現状と課題②
 1. 社会保障制度
 2. わが国の医療システム
5. 医療の現状と課題③
 1. 医療安全
 2. 医薬品の有害事象
 3. チーム医療と多職種連携協働
6. 医療の現状と課題④
 1. 患者と医療者との関係
 2. 性的マイノリティと医療
7. 医療の現状と課題⑤
 1. 地域在宅医療の現状と課題
 2. 終末期の意思決定：ACP
8. 医療における看護専門職者の役割
 1. 医療に関連する概念の整理
 2. 関心のあるテーマの言語化 : グループディスカッション
 3. 事例から学ぶ看護職の役割 : 個人ワークとペアシェア

【成績評価方法】

レポート（60%）、ワークブックの取り組み等の提出物（40%）による総合評価
 目標1・目標2・目標3：授業後のレポート・各授業の学修ポートフォリオを評価する。
 目標3・目標4：最終レポート課題により評価する。

【レポート評価基準（ルーブリック）】

- ・評価項目：①課題に沿ったタイトルの設定、②テーマとして取り上げた理由、③問題の背景の記述、④論理的構成、⑤文献引用等による考察の深まり、⑥文章の体裁・適切な表現（段落、句読点、主部と述部、文体、誤字・脱字、指定様式等）、の項目について評価する。
- ・提出期日の厳守。提出遅延時は減点対象とする。
- ・盗用、剽窃行為は禁止、評価対象外とする。

【教科書】

康永秀生：系統看護学講座 基礎専門分野 医療概論 健康支援と社会保障制度1，医学書院，2023

【参考書、教材等】

千代豪昭，黒田研二編集，学生のための医療概論，第3版，増補版，医学書院，2019
 柳澤信夫著，現代医学概論，第2版，医歯薬出版株式会社，2020
 厚生労働省編：厚生統計要覧，厚生統計協会，各年。
 厚生労働統計協会編：国民衛生の動向 2022/2023，一般財団法人 厚生労働統計協会

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
46	東京純心大学	音楽療法	鏑木 陽子 看護学部 客員教授	1	前期	金	15	10:40～12:10	東京純心大学	5

【到達目標】

1. 音楽が人の心とからだにもたらす働きを理解し、対象領域ごとに音楽療法の意義と内容を説明できる。
2. 人間の生活と音楽との結びつきを考察し、自らの生き方を再確認し、音楽はどのような存在であるかを自分の言葉で表現できる。
3. 将来就く仕事の中で音楽をどのように生かし得るかを考察し、具体的に構想し、音楽プログラムを計画し、行なうことができる。

【授業の概要】

音楽療法は、「音楽のもつ生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的、計画的に使用すること」と定義される。
 臨床の場では、ひとつの歌が患者・家族と看護者との関係を良好にし、患者のQOL向上に繋がるケースが少なくない。
 本講座では、対象領域別に音楽療法の理論を学びつつ、音楽療法のさまざまな手法（歌唱、楽器演奏、楽器づくり、音遊び等）を学び、音楽によるコミュニケーションを体験する。
 対象者を理解し、そのニーズに音楽がいかに対応していけるのかをともに考えていくこと、また同時に「音楽を通して自分自身を知るワーク」を通して自分と音楽との関係について考えることも重要視している。
 音楽療法士の資格取得を目的とした講座ではないが、将来的に音楽を臨床で活かす専門職となれるように授業を展開していく。

【授業内容】

1. 音楽療法の概念と定義、音楽の機能について
2. 自分と音楽との関係を知る ー好きな曲をカテゴライズしてみようー
3. 音楽療法の歴史
4. 小テスト（1）
替え歌のワーク ー《翼をください》ー
5. 短い詩を作り、五音音階の旋律をつけて歌を作ろう
6. 音あそび・歌あそび
7. 児童領域の音楽療法（1） ノードフ・ロビンズ音楽療法に学ぶ／グループ発表準備
8. 児童領域の音楽療法（2） 児童への音楽療法の実践例グループ発表
9. 高齢者領域の音楽療法（1） グループ発表準備
10. 高齢者領域の音楽療法（2） グループ発表
11. 小テスト（2）

- 身近な素材で楽器を作ろう
12. サウンドスケープについて
 13. 精神科領域の音楽療法
 14. ホスピス緩和ケアの音楽療法（1）
 15. ホスピス緩和ケアの音楽療法（2）
- まとめ—音楽を通してその人の存在を支えるということ—

【成績評価方法】

レポート 50%、グループ発表 30%、小テスト（2回）10%、平常点（授業への取り組み、授業中の質問・発言等）10%。
 レポートの採点基準は「参考文献を適切に用い、既存の学説等を踏まえたうえで自分の意見を述べているか」ということである。
 なお、レポート提出の際は参考文献・資料を必ず明記すること。明記しない場合は減点の対象とする。
 明らかにネット情報からの「コピペ」であると判断されるレポート記述は採点対象から除外する。
 またグループ発表の際、発表原稿を作成せずテキストを棒読みする等の行為は減点対象とする。また発表の際の無断欠席は厳禁とする。

【教科書】

印刷教材を配布する。

【参考書、教材等】

宮本啓子・二俣泉編著『音楽療法を知る—その理論と技法—』杏林書院

※ この授業は、4/12（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
47	東京純心大学	看護学セミナー	山本 君子 看護学部 教授	1	前期		15		東京純心大学	5

【到達目標】

1. キリスト教の愛の精神について自分の考えを説明できる。
2. 大学での学修方法が説明できる。
3. 教科書や文献の活用方法と授業中のノートの整理方法や工夫する方法を述べるができる。
4. 図書館とデータベースを活用する方法および資料収集方法、基本的なルールについて説明できる。
5. 科学的・論理的な視点でレポート作成できる。
6. 社会人として求められるコミュニケーション能力について記述できる。
7. 看護学を学ぶ意義を記述できる。

【授業の概要】

本科目は、看護学を学ぶ上での導入科目として位置づいている。大学生に期待される基礎的な学びの態度・方法・知識などを修得し、高校生から大学生へのスムーズな移行を図る。

具体的には、保健看護医療福祉の分野から、個人またはグループで関心のあるテーマを選び、関連した文献を読み、グループディスカッションなどを通し、考察を深め、プレゼンテーション、レポート作成を行う。

レポート作成を通し、著作権や個人情報保護などの法令遵守の意識を持ち、人権、個人情報、著作権について説明できるようにする。

また、研究についての倫理を学び、不正（捏造・改ざん・盗用）について説明できるようにする。

学生主体型授業展開をし、自ら必要な知識を得て、各自の課題に気づきその課題に向けての解決策について体系的に考えることができるようにする。

また、学ぶために必要な聴く・読む・書く・調べる・整理する・要約する・まとめる・表現する・伝える・考えるなどについて授業を通して学修する。

さらに、卒業後のキャリア生活を見据え、期待される看護職とはどのような存在であるのかということ早期より考察する力をつける。

【授業内容】

1. 授業ガイダンス
 - 生徒から学生への変換「大学で学ぶことの心構え」
 - 大学で学修することの意義を学ぶ
 - 課題図書：自分が関心を持った「闘病記」を選択し読む（5月15日に持参する）
2. マナーについて
 - グループワークの進め方
 - 自己表現と対人コミュニケーション
 - 他者紹介：学生間でインタビューを行いその内容をまとめ、他者に紹介を行う
 - グループ内で感想を語りあい、他者紹介を振り返る
 - 小テスト
3. レポート作成時の書籍、資料、文献収集方法など（図書館）
 - 研究についての倫理の基礎（捏造・改ざん・盗用）について
4. 本や資料を音読し、文章の読み方、言葉の調べ方など（図書館）
5. レポートの書き方の基本事項-①
 - レポートとは何か
 - レポートの形式や書き方の基本事項について
 - 著作権や個人情報保護などの法令遵守、人権、個人情報、著作権について
 - テーマに沿っての、レポート作成について
 - 小テスト
6. ゲストスピーカー 闘病体験者との交流
7. 課題図書の患者闘病記及びゲストスピーカー 闘病体験者との交流を通しての学びをグループ間で話し合う。
 - グループ間で話し合った内容を発表できるようにまとめる。
8. 課題図書の患者闘病記及びゲストスピーカー 闘病者との交流を通しての学びの発表原稿作成する。
9. J. バニエと知的ハンディの人々の協団体「ラルシュ」
10. J. バニエと知的ハンディの人々の協団体「ラルシュ」
11. 課題図書の「闘病記」及びゲストスピーカー 闘病者との交流を通しての学びの発表会
 （発表時間 7分程度 質疑応答5分程度）
12. 課題図書の患者闘病記及びゲストスピーカー 闘病者との交流を通しての学びの発表会
 （発表時間 7分程度 質疑応答5分程度）
13. 看護と倫理-①

看護職の倫理綱領について
小テスト

14. 看護と倫理②
各自がまとめた「看護職の倫理綱領」について、グループ間で発表し合う。
15. 学生生活攻略マップを作成
グループ間で発表し合い、各自マップを作成する。
 - ・まとめ
 - ・学びの発表

【成績評価方法】

- ・課題レポート (60%)
- ・授業時小テスト 40 (%)

【教科書】

1. 世界思想社編集部：大学生 学びのハンドブック [5訂版]，世界思想社，2021.
2. 峰村淳子・石塚睦子編：よくわかる 看護職の倫理綱領 第3版，照林社，2022.

【参考書、教材等】

1. 梶谷佳子、河原宣子、堀 妙子編集：看護学生のための よくわかる大学での学び方、金芳堂、2018.
2. メヂカルフレンド社編集部：New 看護学生プレトレーニング 看護を学ぶ前にもう一度整理しておきたい基礎知識、メヂカルフレンド社、2019.
3. 佐藤智明、矢島 彰、山本明志編：3訂 大学 学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック、ナカニシヤ出版、2020.

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
48	東京純心大学	看護管理学	上谷 いつ子 看護学部 教授	1	前期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 看護管理の定義とプロセスについて説明できる。
2. 看護サービスを提供するための組織内のしくみについて説明できる。
3. 看護チーム及び他職種との連携・協働における看護職の役割について説明できる。
4. キャリア開発の視点から個人と組織の関係について説明できる。
5. 看護の質保証における評価の視点・方法を説明できる。
6. 看護の経済的側面への関心をもつ必要性について説明できる。
7. 組織における看護専門職および看護管理者の役割と責務について考察できる。

【授業の概要】

国民の保健医療福祉に対するニーズの変化に伴い、看護サービスへの要求は多様化・複雑化しており、看護職への期待と役割は拡大している。この科目では、看護管理の概念と原則を学び、看護の対象となる人々に安全で良質な看護サービスを効率的・効果的に提供するために、看護職者個人および看護組織が担う役割は何かについて理解する。マネジメントの実際には、管理の対象として主に「ひと・もの・かね・情報・知識」を取り上げる。具体的には、組織運営、看護サービス提供システム（看護提供方式）、業務管理、人的資源管理（労務管理・人材育成含む）、施設設備・物品管理、情報管理、予算管理等について学修する。さらに、看護サービスの質保証のための質評価・改善・変革等について理解を深める。

【授業内容】

1. コースガイダンス
看護管理の定義とプロセス
 1. 看護管理の定義
 2. 看護管理学の概念構成と基本的要素
 3. 看護におけるマネジメントの考え方と変遷
 4. 看護マネジメントのプロセスとPDCAサイクル
2. 看護ケアのマネジメント
 1. 看護ケアのマネジメントと看護職の機能
 2. 安全管理
 3. チーム医療と多職種連携・協働
 4. 看護業務のマネジメント
 - ・看護ケアの標準化：看護基準・看護手順・クリティカルパス・情報の活用
 - ・日常業務のマネジメント：判断基準と多重課題への対応
 - ・研究成果の活用
3. 看護サービスのマネジメント ①
 1. 看護サービスの定義と特徴
 2. 組織としての目的達成のマネジメント
 - ・組織理念の形成と浸透
 - ・現状分析による戦略的目標
 3. 看護組織の構成と職務
 - ・組織構造と組織原則
 - ・看護の組織化
4. 看護サービスのマネジメント ②
 1. 看護サービス提供のしくみづくり
 - ・看護単位の機能と特徴
 - ・看護サービスの提供方式 ～看護ケア提供システム
 2. 人材（ヒト）のマネジメント
 - ・人材フローのマネジメント ～人材の採用と育成・活用
 - ・労働環境の調整：看護師の働き方のマネジメント
5. 看護サービスのマネジメント ③

1. ケア提供の環境・物品（モノ）・財的資源（カネ）・業務量・情報のマネジメント
2. 組織のリスクマネジメント
3. 医療・看護サービスの評価と改善
6. マネジメントに必要な知識と技術
 1. 看護職としてのセルフマネジメント
 2. 人とかかわるスキル
 3. 集団に働きかけるスキル
 - ・リーダーシップとマネジメント

*ワーク：「ついていきたいリーダーとついていきたくないリーダー」

 - ・組織の調整～組織文化・動機づけ・パワーとエンパワーメント・コンフリクト・変化と変革
7. 看護を取り巻く諸制度
 1. 法律と看護管理 ～看護職がかかわる法制度
 2. 看護の経済的側面
 - ・医療制度と診療報酬のしくみ
 - ・看護サービスの対価
 3. 看護制度と政策
8. 看護管理の実際 ～看護管理者、チームリーダーの体験学習に向けて～
 1. 看護管理職に求められるスキル
 2. 事例から学ぶ看護管理
 3. 看護師の業務調整の実際
 - グループディスカッション：多重課題～マルチタスクを乗り越えるために

まとめ

【成績評価方法】

筆記試験（70%）、レポート及び課題（30%）により総合評価する。
 目標 1～6 : 目標に含まれる要素、キーワードについての知識の習得状況を筆記試験と課題で評価する。
 目標 7 : レポートと課題（授業中に提示）で評価する。

【筆記試験】 : 出題範囲・方法等については、授業時に示す。

【レポート評価（ループリック評価）】

- ・評価項目：①適切なテーマ設定、②論理的構成力・考察力、③適切な文献引用・明示、④文章の推敲など、課題の内容によって評価項目を設定し評価する。
- ・提出期日の厳守。提出遅延時は減点対象とする。
- ・盗用、剽窃行為は禁止。評価対象外とする。

【教科書】

上泉和子：系統看護学講座統合分野 看護の統合と実践①看護管理，医学書院，最新版。

【参考書、教材等】

日本看護協会編：看護に活かす基準・指針・ガイドライン集 2020，日本看護協会出版会。
 岩崎 夏海著：もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら，新潮文庫。
 ピーター・F・ドラッカー著：マネジメント[エッセンシャル版] - 基本と原則，ダイヤモンド社，2001。
 勝田裕美子：組織で生きる， 管理と倫理のはざま，医学書院。
 近藤隆雄：サービスマネジメント入門—ものづくりから価値づくりの視点へ，生産性出版。
 手島恵：主体性を高めチームを活性化する！看護のためのポジティブ・マネジメント 第2版，医学書院，2018。

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
49	東京純心大学	暮らしの理解	戸塚 智美 看護学部 教授	1	前期		15		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 「暮らし」の意味を述べることができる。
2. 様々な人々の暮らしを述べるができる。
3. 生活環境が健康に及ぼす影響を述べるができる。
4. 人々が「学ぶこと」・「働くこと」の意味、「子供を産み育てること」、「病を治すこと」、「定年後の暮らし」を述べるができる。
5. 地域で暮らす人々の「家族」，「仲間」，「近隣の人々」，「学校や職場」の暮らしを述べるができる。
6. 地域包括ケアシステムと地域包括支援センターの概要が述べられる。

【授業の概要】

人々には様々な暮らしがある。「暮らし」には、日々を過ごしていくこと、生活の方法や様式、ライフスタイルという意味がある。
 この科目では、地域における人々の暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響について学修する。人の一生には、「学ぶこと」、「働くこと」、「子どもを産み育てる」、「病気を治す」、「老いとともに生きる（定年後の生活）」等、様々な暮らしがあることを理解する。
 また、地域で暮らす人々は、「家族」，「仲間」，「近隣の人々」，「学校や職場」の中で支えあって生きていることを理解する。
 さらに、地域の生活環境（文化的環境・社会的環境・自然環境）が健康に及ぼす影響について学修する。

【授業内容】

1. 授業オリエンテーション
【「暮らし」・「生活」の概念】
 - ①「暮らし」とは
 - ②「地域」の定義
 - ③暮らしと健康の関係

2. **【人々の暮らし】**

- 生活習慣・生活環境が健康に与える影響についてディスカッションをする。
 - ・「食生活指針」（平成 28 年 6 月）に則り、自身の食生活を考える
 - ・生活習慣（運動・睡眠・学習・趣味・買物等）と健康を考える

- ・生活環境（居住環境・家族等）と健康を考える
- ・経済面と生活を考える
- 3. 【人の一生の中の暮らしを考える】
 - ・自分自身の経験と予習のインタビュー内容を基に、「学ぶこと」・「働くこと」の意味についてディスカッションをする。
 - ①「学ぶ」意味を考える（小学校⇒中学校⇒高等学校⇒大学⇒生涯学習）
 - ②「働く」意味を考える（アルバイト⇒看護師・一般企業等）
- 4. 【人の一生の中の暮らしを考える】
 - ・発表会と全体討論を通して、「学ぶこと」・「働くこと」意味を考え、自分の考えをまとめる。
- 5. 【人の一生の中の暮らしを考える】
 - ・予習のインタビュー内容を基に、「子どもを産み育てること」についてディスカッションをする。
- 6. 【人の一生の中の暮らしを考える】
 - ・発表会と全体討論を通して、「子どもを産み育てること」を考え、自分の考えをまとめる。
- 7. 【人の一生の中の暮らしを考える】
 - ・予習のインタビュー内容を基に、「健康を害する」「病を治す」「病と付き合う」ことについてディスカッションをする。
- 8. 【人の一生の中の暮らしを考える】
 - ・発表会と全体討論を通して、「健康を害する」「病を治す」「病と付き合う」ことを考え、自分の考えをまとめる。
- 9. 【人の一生の中の暮らしを考える】
 - ・予習のインタビュー内容を基に、「定年後の暮らし」についてディスカッションをする。
- 10. 【人の一生の中の暮らしを考える】
 - ・発表会と全体討論を通して、「定年後の暮らし」を考え、自分の考えをまとめる。
- 11. 【地域における暮らしの理解】
 - ①地域の人々との暮らし
 - ②予習のインタビュー内容を基に、「家族」「仲間」「近隣の人々」「学校や職場」の暮らしについてディスカッションをする。
- 12. 【地域包括ケアシステム】
 - ①地域包括ケアシステムとは

【地域包括ケアシステム】

 - ①地域包括支援センターとは
 - ②地域で暮らす：八王子市加住・滝山・左入地区
 - ③地域包括支援センター加住の取り組み事例
- 13. 【障害をもちながら地域で暮らす】
 - ①障害の分類
 - ②障害者認定
 - ③障害者の生活と心理
- 14. 【障害をもちながら地域で暮らす】
 - ①「地域生活」が意味するもの
 - ②「地域生活」には何が必要か
 - ③住まいの工夫
 - ④社会とのかかわり
- 15. 【暮らしの理解】
 - ①人々の暮らしと健康について
 - ②地域で暮らすことについて

【成績評価方法】

課題：『課題ノート』30%

※課題ノートは第1回～第15回までの予習・復習に活用し、記述内容の具体性を評価基準とする。

課題①～⑥はそれぞれ5%、計30%

最終の課題レポートは40%

※課題レポートは「暮らしと健康」について、ルーブリック評価を基に評価する。

【教科書】

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基礎 第6版, 医学書院, 2022.

【参考書、教材等】

- ・基礎からわかる 地域・在宅看護論 照林社 2021年
- ・五十嵐隆：はじめてママ&パパの育児—0～3才赤ちゃんとの暮らし 気がかりがスッキリ 主婦の友社 2014
- ・戸塚洋二：がんと闘った科学者の記録 文春文庫 2009
- ・Bricolage (ブリコラージュ) 2021 夏号【273号】地域でつなぐ 2021
- ・岩名礼介 新版 地域包括ケア サクセスガイド：「住み慣れた地域で自分らしい暮らし」を実現する メディカ出版 2020
- ・秋山正子：「暮らしの保健室」ガイドブック「相談/学び/安心/交流/連携/育成」の場 日本看護協会出版会 2021
- ・リンダ・グラットン：LIFE SHIFT (ライフ・シフト) —100年時代の人生戦略 東洋経済新聞社 2016
- ・長谷川和夫：僕はやっと認知症のことがわかった 自らも認知症になった専門医が日本人に伝えたい遺言 KADOKAWA 2019年

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
50	東京純心大学	小児看護学概論	荻原 康子 看護学部 教授	1	前期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 小児看護の理念、目的、対象について説明ができる。
2. 小児看護における倫理と、子どもの権利について説明ができる。
3. 子どもの成長・発達に関連の深い理論について、その活用の意義を述べるができる。
4. 子どもの一般的な各発達段階の特徴と、健やかな成長・発達のための養育および環境について説明ができる。
5. 健康障害をもつ子どもと家族にとっての疾病障害の受容、ストレス・コーピング、について説明できる。

6. 健康障害をもつ子どもと家族への支援について説明ができる。

【授業の概要】

本科目では、小児看護学を学ぶ基盤となる子どもの特徴および小児医療・看護の変遷、子どもの成長・発達の理解に必要な各理論、倫理的配慮、各発達段階の特徴、さまざまな小児看護の場にいる子どもとその家族および場の特徴、などについて学修する。

子どもを取り巻く環境が大きく変化し、国の法律・施策の改正が行われている。

とりわけ、2016年に一部改正のあった児童福祉法において「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）に則る内容である」との明示がされ、すべての子どもはその家族を含め「最善の利益を目指す」関わりを受ける権利のあることが掲げられている。

看護職は、多岐に渡る看護の場において、子どもの個の特徴をふまえたうえでセルフケア能力が培われるよう働きかける役割をも担うが、このために必要な、各発達段階の特徴、発育・発達の評価などの一般的なスケールを学修する。

また、あらゆる場での多職種連携・協働のなかで看護専門職の責務が果たせるよう、その場の概要と看護師の具体的な役割について学び、続く当該領域の学びの基盤と学習の動機づけの機会とする。基本となる概念理解が「子ども中心のケア」にむけ重要である。

【授業内容】

1. ●ガイダンス：

小児看護学の全体の学習概要、科目概要、小児看護学概論を学ぶ意義

●小児看護の特徴と理念：

- ・小児看護の理念、目的、対象
- ・小児看護の変遷と成育医療に考え方
- ・小児看護における倫理と子どもの権利
(インフォームドアセント、セルフケア、アドボガシーほか)
- ・ボウルビイ愛着理論、エリクソン自我発達理論、ピアジェの認知発達理論
- ・小児医療、小児看護の課題

2. ●子どもの成長・発達 ①乳児期：

- ・形態的、機能的、心理社会的発達
- ・授乳、離乳、栄養
- ・感染予防、事故防止
- ・あそび、安全な環境
- ・愛着形成分離不安
- ・育児支援

3. ●子どもの成長・発達 ②幼児期：

- ・形態的、機能的、心理社会的発達
- ・基本的生活習慣の自立
- ・食生活、栄養、食育
- ・自我発達、あそび
- ・事故防止と安全教育
- ・育児支援

4. ●子どもの成長・発達 ③学童・思春期：

- ・形態的、機能的、心理社会的発達
- ・セルフケアと保健教育
- ・食生活 学習と遊び
- ・ライフスキルの獲得、生活習慣病の予防
- ・仲間、異性との関わり
- ・親子関係
- ・アイデンティティの確率
- ・第二性徴
- ・問題行動と対処

5. ●子どもの成長・発達 ④ 成長・発達、発達評価、あそびの機能と発達：

- ・成長発達の概念、原則、影響する因子
- ・身体発育評価（パーセントイル、カウプ指数、ローレル指数、肥満度）
- ・精神運動機能評価（デンバー発達判定法ほか）
- ・認知、情緒、社会性、言語など
- ・あそびの意義と分類

6. ●健康障害をもつ子どもと家族 ①急性期にある子どもと家族の看護：

- ・病気の受け止め
- ・外来受診（緊急度、トリアージ）
- ・入院、問診、バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント
- ・検査、処置
- ・ストレスコーピングと支援
- ・安全、安楽への援助
- ・プレパレーション、ディストラクション

7. ●健康障害をもつ子どもと家族 ②慢性期にある子どもと家族の看護：

- ・慢性疾患の特徴
- ・公費助成
- ・キャリアオーバー
- ・地域連携、調整
- ・健康障害をもつ子どもと家族

③終末期にある子どもと家族の看護：

- ・子どもにとっての死の概念
- ・緩和ケア
- ・家族の反応と援助
- ・死の準備教育

8. ●障害のある子どもと家族：

- ・障害の種類
- ・障害の受容
- ・心身障害の定義と種類
- ・発達障害
- ・社会資源活用と援助

- 子どもの虐待と看護：
 - ・子どもの虐待とは
 - ・不適切な養育（マルトリートメント）について
 - ・発生へのリスク要因と発生予防、早期発見
 - ・児童虐待における看護（詳細は他科目に続く）

【成績評価方法】

課題：20 %
定期試験：80 %

【教科書】

- ・『小児看護学概論 小児臨床看護総論』小児看護学① 医学書院
- ・『小児臨床看護各論』小児看護学② 医学書院

【参考書、教材等】

- ・『小児看護 第2版（パーフェクト臨床実習ガイド）』（2019）照林社
- ・『新体系看護学全書 小児看護学①小児看護学概論』（2021）メジカルフレンド社
- ・その他適宜紹介する。

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
51	東京純心大学	地域在宅看護学概論	戸塚 智美 看護学部 教授	2	前期		15		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 地域・在宅看護の変遷とその社会背景について述べるができる。
2. 地域・在宅看護の目的、倫理と基本理念について述べるができる。
3. 地域・在宅看護の特徴、対象者、活動の場と看護活動の実際について述べるができる。
4. 地域・在宅看護を支える法・制度と社会資源について述べるができる。
5. 地域包括ケアシステムにおける地域・在宅看護の特徴と看護職の役割について述べるができる。
6. 地域・在宅看護過程の特徴を理解し、ICFの概念に則った情報の整理を行い、アセスメントが記述できる。
7. 在宅という環境において、地域・在宅看護の対象者の「生きること」を支える看護について説明できる。

【授業の概要】

地域・在宅看護学は、健康問題や障害を抱える在宅療養者とその家族の「その人らしい生活」を支える看護を考える学問である。講義では、地域・在宅看護が必要とされる社会背景や法・制度、社会資源、在宅療養者とその家族の特徴、在宅で行われている看護について学修する。さらに、在宅療養移行における継続看護、多職種連携を理解し、地域包括ケアシステムの一員としての看護職の役割について学修する。

【授業内容】

1. 授業オリエンテーション
 - 【地域・在宅看護の概念】
 - ①地域・在宅看護の背景
 - ②地域・在宅看護の基盤
 - ③地域療養を支える在宅看護の役割・機能
2. 【地域・在宅看護の概念】
 - ①地域・在宅看護を展開するための基本理念
 - ②地域・在宅看護における倫理
3. 【在宅療養者と家族の支援】
 - ①地域・在宅看護の対象者と特徴
 - ②在宅看護の対象者と在宅療養の成立条件
4. 【在宅療養者と家族の支援】
 - ①在宅療養の場における家族のとらえ方
 - ②家族の介護ストレス
 - ③在宅療養者の家族への看護
5. 【地域包括ケアシステムにおける多様な生活の場における看護】
 - ①地域包括ケアシステム
 - ②療養の場の移行に伴う看護
6. 【地域包括ケアシステムにおける多様な生活の場における看護】
 - ①地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携
 - ②地域・在宅看護におけるケースマネジメント／ケアマネジメント
7. 【地域療養を支える制度】
 - ①社会資源の活用
 - ②医療保険制度
 - ③後期高齢者医療制度と高齢者施策
 - ④障害者に関する法律
 - ⑤難病法
 - ⑥権利擁護と成年後見制度
8. 【地域療養を支える制度】
 - ①介護保険制度
 - ②訪問看護の制度
9. 【在宅療養を支える訪問看護】
 - ①訪問看護の特徴
 - ②在宅ケアを支える訪問看護ステーション
 - ③在宅看護における安全と健康危機管理
10. 【在宅療養を支える訪問看護】
 - ①訪問看護サービスの展開

- ②在宅看護過程
11. 地域・在宅看護過程の展開 (1)
 - ①ICF の概念
 - ②地域・在宅看護過程の展開方法～情報収集と情報の整理～
 12. 地域・在宅看護過程の展開 (2)
 - ①地域・在宅看護過程の展開方法～情報の整理：全体像～
 13. 地域・在宅看護過程の展開 (3)
 - ①地域・在宅看護過程の展開方法～アセスメントと看護問題の抽出・多職種連携～
 14. 地域・在宅看護過程の展開 (4)
 - ①地域・在宅看護過程の展開方法～看護問題の抽出、長期・短期目標～
 15. 地域・在宅看護過程の展開 (5)
 - ①地域・在宅看護過程の展開方法～看護計画 OP/TP/EP～

【成績評価方法】

課題：在宅看護過程の展開 20%

定期試験：80%

合計：100%

1. 定期試験は筆記用具以外の持込みは認めない。
2. 地域・在宅看護過程はループリックで評価する。提出日は授業内に指示する。
地域・在宅看護過程の合格水準に満たない場合は再指導、再提出とする。

【教科書】

ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①：地域療養を支えるケア 第7版 メディカ出版 2023年（1年次購入済）

ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論②：地域療養を支える技術 第2版 メディカ出版 2023年

上田敏：ICF（国際生活機能分類）の理解と活用一人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか（第2版）入門編、きょうされん 2021年

【参考書、教材等】

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第6版, 医学書院, 2022.

地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第6版, 医学書院, 2022.

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
52	東京純心大学	補完代替医療と看護	小濱 優子 看護学部 教授	1	前期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 補完代替医療の健康観、特徴、位置づけ、臨床応用について概説できる。
2. 動物介在療法の概要、臨床への応用について説明できる。
3. 東洋医学、漢方治療の概要について説明できる。
4. アロマセラピーの概要、手技、看護への応用について説明できる。
5. 補完代替医療の意義と看護への活用・発展について考察し、記述できる。

【授業の概要】

補完代替医療とは「現代西洋医学領域外の西洋医学を補うものとして医学・医療体系の総称（Complimentary and Alternative Medicine）」とされている。NCCAM（アメリカ国立補完代替医療センター）では、環境全体を視野に入れたエコロジカルな健康観を基盤として補完代替医療分野の研究が進められ、欧米諸国でも伝統医療の見直しがなされ取り入れられている。本科目では、補完代替医療の代表的ないくつかを取り上げ、その特徴や位置づけなどを学ぶ。幅広い視点から環境と健康課題における発展性について議論する。漢方、鍼灸を中心とした東洋医学医学体系から、軟骨やビタミンなどの健康食品までさまざまな療法がこの範疇に分類される。

米国の国立補完代替医療センターにおける分類では、代替医療体系 伝統医学系統、民族療法（東洋伝統医学など）、精神・身体交流、瞑想、祈り、心理・精神療法、芸術療法、音楽療法、ダンス療法など、生物学に基づく療法、ハーブ、食品、ビタミン、ミネラル、生理活性分子など、整体や身体を基礎とした方法、脊椎指圧療法、整骨療法、マッサージなど、エネルギー療法、気功、霊気、セラピューティックタッチ、電磁療法など代替療法の範囲と考えられる医学体系は非常に多く、哲学的医学体系を構成するものから健康食品・サプリメント、鍼灸やマッサージ・整体などの施術まで多方面にわたる。統合医療的な幅広い視点に立ち、自然治癒力に働きかける看護独自の介入について学ぶ。さらに、代替補完医療の実際、看護への導入、活用についても学修する。

【授業内容】

1. 【導入】1回目：補完代替医療(Complimentary Alternative Medicine:CAM)

総論：NCCAM（米国国立補完代替医療センター）の研究、取組、世界の現状、厚生労働省の統合医療の取り組みなどを紹介する。
CAMの特徴、一般的利用方法、看護場面での活用など。
自身の関心あるCAMについて厚労省サイトで調べる。
2. 東洋医学と代替医療①

代替医療とは、代替医療の主な種類、西洋医学側からみた代替医療の種々の問題点、科学的根拠の乏しさとそれに随伴した問題、社会的背景の変化の問題、代替医療と看護師の関りなど。
3. 東洋医学と代替医療②

代替医療と西洋医療の間を埋める漢方のイメージをつかむ、日本漢方医療とは、西洋医学にはない漢方のメリット、中国医学、医療制度、こんなに違う漢方と西洋医学の差異、患者の見方、漢方治療の目指すところなど。
4. メディカルアロマセラピー①基礎知識

補完代替医療におけるアロマセラピーの位置づけ、精油（エッセンシャルオイル）とは、法的規制と安全な精油の選択、精油の作用・副作用、精油保管上の注意点、アロマセラピーの適応、実施方法、実施上の注意点、アロマセラピーの臨床応用（事例紹介）など。
5. メディカルアロマセラピー②基本手技

ブレンドオイルの作り方、パッチテストの実施、アロマセラピーのセルフケア体験（芳香療法）、アロマハンドマッサージ（軽擦法）体験
6. 動物介在療法①

動物介在療法とは 動物介在活動との違い
7. 動物介在療法②

動物介在療法の臨床応用を実際の画像を見ながら学ぶ
8. 【総括】「補完代替医療の看護への活用について」 グループワークを行い、グループごとに発表後、レポート「授業全体を通して学んだこと」をまとめる。

【成績評価方法】

レポート課題：90%（講義内容を踏まえ、文献を適切に用いて課題を論じているか、基本的なルールに則って記載しているかを評価）
グループワークへの参画度・貢献度：10%（自主性・積極性・貢献度を評価）

【教科書】

指定のテキストはない。
講義資料を配布する。

【参考書、教材等】

池川清子、江川幸二：ナースのための補完・代替療法ガイドブック、メディカ出版、2005。
上野圭一：補完代替医療入門 岩波アクティブ新書 2003。
仙頭正四郎：標準東洋医学 金原出版 2006。
寺澤捷年、津田昌樹：絵で見る指圧・マッサージ手技、JJN ブックス、医学書院、2003。
加藤逸夫、佐藤佳代子：リンパ浮腫治療のセルフケア、文光堂、2006。
荒川唱子、小板橋喜久代編：看護に活かすリラクゼーション技法-ホリスティックアプローチ-、医学書院、2001。 他

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
53	東京純心大学	精神看護学概論	福永 ひとみ 看護学部 准教授	1	前期		8		東京純心大学	2

【到達目標】

1. 精神の健康について多面的に説明できる。
2. 心と体のバランスや関連性および人の成長発達の過程や社会的状況の中で生じる危機状況を知り、看護介入の意義について説明できる。
3. 精神看護の定義や目的・機能、対象および看護師の役割を説明できる。
4. 精神看護で有用な諸理論およびモデルの特徴を説明できる。
5. 精神障害者の人権擁護について説明できる。
6. 精神保健医療をめぐる社会状況の変遷と法体制の関連および処遇の課題を説明できる。

【授業の概要】

精神の健康・不健康について生物的・心理的・社会的側面から多面的に捉え、精神のバランスを崩しやすい状況とストレス対処、現代社会の精神的健康問題と精神保健(メンタルヘルス)活動について予防的観点から学修する。

また、精神の危機的状況にある人や精神障害をもつ人とその家族を援助するための精神看護の基本的概念と活用する理論やモデルについて学修する。

さらに、精神保健医療福祉に関する法律・制度の歴史的変遷を体系的に学び、精神障害者の権利擁護の考え方を学修する。

【授業内容】

1. イントロダクション
授業の内容と進め方、課題の内容と提出について、成績評価について
精神の健康
2. 精神の発達段階の特徴と危機状況に応じた看護介入
ライフサイクルにおける各期の発達危機と不適應問題について
3. 精神保健医療福祉歴史的背景と法制度・施策の動向
精神障害者の権利擁護
4. 精神科治療環境とリスクマネジメント
入院形態、行動制限、危険物管理、事故防止、CVPPP、入院患者の処遇、保護室
5. 精神障害者と家族の理解
精神障害者のイメージ、精神障がい者の体験記、精神障がい者の家族の心情
6. 精神看護における対人関係論
ペプロウ 患者-看護師関係の発展と看護師の多様な役割、自己の治療的活用
7. ストレスとマネジメント
ストレスとコーピング
ヨーガの体験（クラスを2組に分けて行う）
8. 精神看護における諸理論とモデルの理解
①レム・アングラウツのセルフケア理論 対象の自己決定とセルフケアを促す看護
②ストレンクス理論

【成績評価方法】

- 1 課題(40%)、最終課題(20%)、小試験(40%) 合計100%
- 2 評価基準 課題1~4は、課題ごとに、チェック項目(文字数、体裁、誤字脱字、提出場所・日)2点、
基準 1)課題の理解 2)課題に応じた内容の記載 について、8点:とてもよい、6点:よい、4点:やや努力が必要、2点:努力が必要 で評価する。
最終課題は、チェック項目(文字数、体裁、誤字脱字、提出場所・日)5点、
基準 1)課題の理解 2)文章表現力 3)自己意見 4)具体性 5)文献引用明記 について、4点:とてもよい、3点:よい、2点:やや努力が必要、
1点:努力が必要 で評価する。

【教科書】

- 1 岩崎弥生編：新体系看護学全書 精神看護学1 精神看護学概論 精神保健 第6版 メヂカルフレンド社 2021
- 2 岩崎弥生編：新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害をもつ人の看護 第6版 メヂカルフレンド社 2021

【参考書、教材等】

- 1 田中美恵子編著：精神看護学 第2版 学生・患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版 2015

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
-----	------	-------	------	-----	------	----	------	----	------	----

54	東京純心大学	看護教育論	上谷 いつ子 看護学部 教授	1	後期		8		東京純心大学	5
----	--------	-------	-------------------	---	----	--	---	--	--------	---

【到達目標】

1. 看護教育学を学ぶ意義について説明できる。
2. 日本における看護教育制度の特徴と課題について説明できる。
3. 看護継続教育の現状と課題について説明できる。
4. 学習の基礎理論を踏まえ、自身の学習経験を振り返り教育・指導に対する考えを表現できる。
5. 看護専門職として生涯学習の意義とキャリア開発の展望について考察できる。

【授業の概要】

わが国における看護教育制度および看護継続教育の変遷と現状、及び法的基盤について理解する。
 また、諸外国の看護教育制度との比較から、現在の日本における看護教育制度の特徴と課題についてディスカッションを通して理解を深め、社会から求められている看護学教育について考察する。
 看護学教育や継続教育に応用できる学習理論・学習方法について体験的に理解を深めるとともに、基礎教育課程での学びを踏まえ、自身の看護実践能力を高めていくために必要な自己研鑽力について検討する。
 さらに、これまで受けてきた講義や演習、実習での体験を振り返り、教育や指導についての自身の考えを再認識し、看護専門職として看護教育学を学ぶ意義、キャリア開発と今後の展望について考察する。

【授業内容】

1. コースガイダンス

看護教育学を学ぶ意義

1. いま・これからの看護師に求められること
 2. 看護教育学とは
 3. 生涯学習社会を生きる～生涯にわたって学習する意味は何か
 4. 「学ぶこと」から「教えること」への変化 ～教える準備にとりかかる！
リフレクション 「指導者・教員との出会い」
 2. 看護教育制度①
 1. 日本の看護教育制度の変遷
 - ・初期・戦時中・戦後～近代・近代～現代
 2. 看護基礎教育の現状と課題
 - ・看護基礎教育カリキュラムの改正と教育内容の変化
 - ・多様な看護教育機関
 - ・准看護師制度
 - ・経済連携協定 EPA を介した外国人看護師の受入れ
 3. 看護教育制度②
諸外国の看護教育制度の比較検討 グループワーク・発表
日本の看護教育制度の課題と今後の展望
 4. 看護継続教育
 1. 看護専門職への道
 - ・専門職の要件と法的整備
 - ・新人看護師の
 2. 看護継続教育の定義と範囲
 3. 臨床における継続教育の実際 ～新人看護師の成長への支援を中心に
・OJT で新人看護師の成長を支援する
 5. 看護師の学習にいかす基礎理論
 1. 学習理論の変遷
 2. 学習の原理の活用
 - ・学習目標の設定：目標の分類体系 Taxonomy ワーク「目標の分離」
 - ・学習方法と選択のポイント
 - ・教育評価の目的と方法
 6. 臨床に生かす指導方法 1
 1. 学習意欲を高める技法 ～動機づけとコーチングの技法
 - ・アイスブレイク
 - ・動機づけと学習意欲
 - ・学習支援のスキルと方法 : コーチング基本スキルとアプローチ
 2. ディスカッションの技法 ～協同学習
 - ・協同学習の進め方・ルール・技法
 7. 臨床に生かす指導方法 2
合意形成の体験学習 ～コンセンサスゲーム
 8. 看護師の学習とキャリア開発
 1. 成人学習と経験学習 ～看護師の学習の特徴～
 2. 看護師のキャリア発達とキャリア開発
 - ・キャリアアンカーと3つの問い
 - ・キャリアデザインを描くことの意味を考える
- まとめ
最終レポート課題について

【成績評価方法】

レポート (70%)、提出課題とGW参加状況 (30%) で、総合的に評価する。
 目標1、2、3 …… 事前課題と授業後のレポートによる評価
 目標4、5 …… レポートによる評価 (ルーブリック)

【レポート評価基準 (ルーブリック)】

- ・評価項目：①適切なサブテーマの設定、②課題の記述・内容の一貫性、③論理的な構成、④自己の経験の記述と意味づけ、⑤文献引用による考察と文献の明示、⑥文章の体裁・適切な表現 (段落、句読点、主部と述部、文体、誤字・脱字、指定様式等)
- ・提出期日の厳守する。提出遅延時は減点対象とする。

・盗用、剽窃行為は禁止する。

【教科書】

特に指定しない。講義時に資料を配布する。

【参考書、教材等】

グレッグ美鈴, 池西悦子編集, 看護教育学 看護を学ぶ自分と向き合う, 改訂第2版, 南江堂, 2019.

杉森みど里ほか: 看護教育学第6版, 医学書院, 2017.

中井俊樹ほか: 看護のための教育学, 医学書院, 2017.

中井俊樹編著: 看護現場で使える教育学の理論と技法, メディカ出版, 2017.

エドガーH. シャイン著, 金井嘉宏訳: キャリア・アンカー, 自分のほんとうの価値を発見しよう, 白桃書房, 2012.

パトリシア・ベナー著, 井部俊子監訳: ベナーの看護論新訳版, 初心者から達人へ, 医学書院, 2012.

勝原裕美子: 看護師のキャリア論, ライフサポート社, 2012.

吉田みつ子: 看護技術—ナラティブが教えてくれたこと, 医学書院, 2014.

青木将幸: リラックスと集中を一瞬でつくるアイスブレイクベスト50, ほんの森出版, 2015.

三浦真琴: グループワークその達人への道, 医学書院, 2018.

※ ※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
55	東京純心大学	看護とコミュニケーション	天野 雅美 看護学部 教授	1	後期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. コミュニケーションの目的を想起できる。
2. 接近的コミュニケーションの原理を説明できる。
3. 効果的なコミュニケーションの技術を説明できる。
4. コミュニケーション障害がある人への対応を考えることができる。
5. ロールプレイングにより自己の特徴を述べることができる。

【授業の概要】

本科目は、コミュニケーション論や基本援助技術で学修した基本的知識に基づき、看護実践に必要なコミュニケーションの理論と方法について学ぶ。

また、特に、対象—看護者関係に焦点を当て、信頼関係を構築するための基本的な内容を学び、さらに援助的コミュニケーションについて学修する。

看護者が用いる質問の方法や誠実な対応、共感的理解に焦点を当て、沈黙の意味やコミュニケーションの時間帯などを学ぶ。

看護者に求められるコミュニケーションは、相互作用であること、挨拶や身だしなみなどの基本的態度が求められること、コミュニケーションの成立から関係性の構築が必要であること、コミュニケーションに障害を持つ患者には様々な状態があり、それらの障がいに応じてコミュニケーションの対応の特徴があること、などを含めて一連の内容がコミュニケーションスキルに繋がることを学修する。ロールプレイングを実施し、その体験を逐語録にして、自分のコミュニケーションの過程を振り返り、よりよいコミュニケーションを考える。

【授業内容】

1. 【ガイダンス】

1. コミュニケーションの目的の想起
 - 1) 看護や医療におけるコミュニケーションの目的・特徴
 - 2) 対人関係プロセスとしての看護
2. ロールプレイング (ディスカッション、グループワーク)

2. 1. 看護におけるケアリングとコミュニケーション
 - 1) ケアリングの概念と今日的意味
2. ロールプレイング (ディスカッション、グループワーク)

3. 1. 関係構築のためのコミュニケーション__①
 - 1) 接近的コミュニケーションの原理
 - 2) 接近的行動の前提となる基本的な態度
 - 3) 接近的行動と非接近的行動
 - 4) 接近的コミュニケーションの成立
2. ロールプレイング (ディスカッション、グループワーク)

4. 1. 関係構築のためのコミュニケーション__②
 - 1) 接近的コミュニケーションの原理
 - 2) 接近的行動の前提となる基本的な態度
 - 3) 接近的行動と非接近的行動
 - 4) 接近的コミュニケーションの成立
2. ロールプレイング (ディスカッション、グループワーク)

5. 1. 効果的なコミュニケーションの実際__①
 - 1) 傾聴
 - 2) 情報収集
 - 3) 説明
 - 4) アサーティブネス
2. ロールプレイング (ディスカッション、グループワーク)

6. 1. 効果的なコミュニケーションの実際__②
 - 1) 傾聴
 - 2) 情報収集
 - 3) 説明
 - 4) アサーティブネス
2. ロールプレイング (ディスカッション、グループワーク)

7. 1. コミュニケーション障がいがある人への対応__①
 - 1) コミュニケーションに障がいのある人の特徴
 - 2) 言語的コミュニケーションに必要な身体機能
 - 3) コミュニケーション障がいがある人への対応
2. ロールプレイング (ディスカッション、グループワーク)

8. 1. コミュニケーション障がいがある人への対応__②
 - 1) コミュニケーションに障がいのある人の特徴
 - 2) 言語的コミュニケーションに必要な身体機能
 - 3) コミュニケーション障がいがある人への対応
 2. ロールプレイング (ディスカッション、グループワーク)
 3. まとめ
- 授業評価アンケート

【成績評価方法】

課題レポートや毎回の課題とロールプレイングの取り組み：100%

(提示された課題に折り組んでいない場合、減点対象となる。課題の取り組み内容が6割に満たない場合は、再提出を課す。)

【教科書】

- ・①専門分野 32 DT 番号 1 基礎看護学(1) 看護学概論, 2024年度 医学書院 系統看護学講座テキスト
- ・②専門分野 32 DT 番号 2 基礎看護学(2) 基礎看護技術 I, 2024年度 医学書院 系統看護学講座テキスト

【参考書、教材等】

- ・宮脇美保子編：新体系看護学全書 基礎看護学[1] 看護学概論, メヂカルフレンド社.
- ・松木光子編著：看護学概論, ヌーベルヒロカワ.

※ ※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
56	東京純心大学	小児看護学援助論	荻原 康子 看護学部 教授	2	後期		15		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 健康障害を持つ子どもと家族の特性について述べるができる。
2. 子どもにみられる疾患の病態、症状、診断、治療、予後に関する知識を統合し、患児に応じた看護について述べるができる。
3. 健康障害をもちながら成長・発達する「子どもの権利」について、医療を受ける上での擁護を具体的に述べるができる。
4. 障がいの受容と、医療的ケア児の課題、小児看護の役割と責務について説明することができる。
5. 障がいのある子どもの「療育」に関連する多職種、それぞれの役割をふまえたチームアプローチについて説明することができる。
6. 虐待を受けている子どもと家族の看護が説明できる。
7. 災害時の子どもと家族の看護が説明できる。

【授業の概要】

この科目では、疾病・障害のある子どもと家族、および、さまざまな状況にある子どもと家族”に対する看護援助について学ぶ。
 学修内容は例えば、既に小児看護学概論で学んだ「子どもの権利の擁護」が、実際の看護援助において何をどう実践することなのかという疑問と関心が持てるよう、わかりやすく看護の視点での疾患や状況について講義を行う。
 病態や症状について知識を得て推論することが、根拠をもった看護につながることを理解ができるよう学修を進める。
 看護基礎教育における積極的な知識の積み重ねが、やがて出会う子どもに対する看護援助につながることを念頭に、子どもの疾患、障害、検査、治療について学修する。
 子どもは常に成長・発達する存在であり、いかなる健康段階にあっても、成長と発達への促しは必須である。
 「教育を受ける」「遊ぶ」といった、子ども特有の権利を行使できるよう、具体的な支援を学ぶ。
 また、小児期にみられやすい疾患は数多くあり、同じ疾患としても個人差は大きい。
 よって、” その子どもと家族” にとつての「最善の利益」が考えられるよう、これまでに得た知識を統合し看護援助に活かせるよう、柔軟に想起し思考できることを目指し学ぶ。

【授業内容】

1. ●ガイダンス：
 - ・科目の概要
 - ・科目を学ぶ意義について
- 症状を示す子どもの看護①：
 - ・病期の始まり
 - ・子どもにみられやすい症状と看護
 - ・家族のホームケアへの支援
 - ・病児保育について
 - ・主要症状のケア（発熱・下痢・嘔吐・脱水）
2. ●症状を示す子どもの看護②：
 - ・主要症状のケア（痙攣・呼吸困難・出血）
3. ●検査・処置を受ける子どもの看護：
 - ・採血・採尿・骨髄穿刺・腰椎穿刺・与薬・注射・輸液療法
4. ●子どもの健康障害と看護① 染色体異常と先天異常への看護：
 - ・先天異常の種類と特徴 ・子どもの疾患に対する家族の受容
 - ・常染色体異常（ダウン症候群、ほか）、性染色体異常、胎芽病と胎児病
 - ・先天代謝異常症（フェニルケトン尿症、ほか）
 - ・新生児マススクリーニング
5. ●子どもの健康障害と看護②新生児の看護：
 - ・低出生体重児・低出生体重児の疾患・新生児の疾患
6. ●子どもの健康障害と看護③ 代謝性疾患と看護：

- ・ 1 型糖尿病
 - ・ 慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療
 - ・ 発達に応じたセルフケア能力の獲得
 - ・ 小児慢性特定疾患治療研究事業
7. ●子どもの健康障害と看護④免疫・アレルギー性疾患と看護：
 - ・ 免疫のしくみ（復習）・気管支喘息・食物アレルギー
 - ・ 急性増悪の予防（コントロール）に向けたセルフケアと家族
 8. ●子どもの健康障害と看護⑤小児期にみられやすい感染症と看護：
 - ・ ウイルス感染症（麻疹、風疹、水痘、ムンプス、RSウイルス感染症、ロタウイルス感染症）
 - ・ 細菌感染症（溶血性レンサ球菌感染症、細菌性髄膜炎、結核）
 - ・ 隔離、感染予防、予防接種（小児期の接種スケジュール）
 9. ●子どもの健康障害と看護⑥循環器疾患と看護：
 - ・ ファロー四徴症・心室中隔欠損症・心房中隔欠損症・動脈管開存症
 - ・ 各病期の特徴（出生前診断、養育・日常生活管理、手術の前後、経過観察と検査
 - ・ 治療、成人期へのキャリアオーバー）・川崎病
 10. ●子どもの健康障害と看護⑦血液・造血器疾患と看護：
 - ・ 貧血、血友病、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血
 11. ●子どもの健康障害と看護⑧悪性新生物と看護：
 - ・ 小児がん総論、白血病 ・中心静脈点滴
 - ・ 化学療法（骨髄抑制ほか副作用、晩期障害）・造血幹細胞移植
 12. ●子どもの健康障害と看護⑨腎泌尿器疾患と看護：
 - ・ 腎不全および腎代替療法 ・糸球体疾患（糸球体腎炎、ネフローゼ症候群）
 13. ●さまざまな状況にある子どもと家族の看護
 - ①消化器・外科疾患をもつ子ども、手術を受ける子ども：
 - ・ 肥厚性幽門狭窄症・腸重積症・鎖肛・ヒルシュスプルング症・子どもの骨折
 - ・ 周手術期の看護（手術の種類、インフォームドアセント、プレパレーション、術前術後の看護、家族への説明、退院指導）
 14. ●さまざまな状況にある子どもと家族の看護②医療的ケアを要する子ども：
 - ・ 脳性麻痺・重症心身障がい・超重症児・筋ジストロフィー・二分脊椎症
 - ・ 医療的ケア児に関する法律と保育所学校等における看護職の役割とケアの実際
 15. ●特殊な状況にある子どもと家族の看護、虐待を受けている子どもと家族への看護、災害時の子どもと家族への看護：
 - ・ 子どもの虐待の特徴、不適切な養育（マルトリートメント）について、発生へのリスク要因と発生予防、早期発見虐待のリスク要因、発生防止と早期発見、児童虐待における看護（概論の復習）
 - ・ 身体的虐待のうちの熱傷、頭部外傷について
 - ・ 災害による子どもへの影響とストレス
 - ・ 災害時の子どもへの影響と家族の支援
 - ・ 災害時における緊急度の把握とトリアージ

【成績評価方法】

課題：20%

定期試験：80%

【教科書】

- ・ 『小児看護学概論 小児臨床看護総論』小児看護学① 医学書院
- ・ 『小児臨床看護各論』小児看護学② 医学書院

【参考書、教材等】

- ・ 『ナースがみる人体』、『ナースがみる病気』 講談社
- ・ 『発達段階からみた小児看護過程 第3版+病態関連図』 医学書院
- ・ 『小児看護ケアマニュアル』 中山書店
- ・ 『疾患別小児看護 基礎知識・関連図と実践事例』 中央法規

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
57	東京純心大学	老年看護学概論	塚本 都子 看護学部 教授	1	後期		8		東京純心大学	2

【到達目標】

1. ライフサイクルからみた老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。
2. 高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向や課題を述べることができる。
3. 高齢者の権利擁護について説明できる。
4. 老年看護の理論と概念について述べるができる。
5. 高齢者の健康障害の特徴をふまえ、看護の原則と目標を説明できる。

【授業の概要】

本科目は、ライフサイクルからみた老年期にある対象の身体的・精神的・社会的な特徴を疑似的な生活体験をもとに学ぶ。具体的には、避けることのできない生理的な老いについて、高齢者疑似体験をとおし、筋力・視力・聴力低下など身体的変化や心理面への影響を明らかにし、理解を深める。また、フレイルやサルコペニアにつながる視点から、高齢者個々の日常生活への影響について考察する。少子超高齢社会がすすむ現在、我が国の老年人口の推移と将来推計の特徴をふまえ、世帯構成や要介護者の増加要因を理解し、高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向や課題について学ぶ。さらに、自己のエイジズムの傾向を知り、老年看護を支える理論・概念をおさえ、高齢者の権利擁護を基盤とした老年看護の役割と目標を学修する。

【授業内容】

1. イントロダクション
 - 1) 老いのイメージ
 - 2) 高齢者の健康
 - 3) 加齢と老化

- 4) フレイルとサルコペニア
- 2.・3. 老年期にある対象の身体的特徴
 - 1) 老化の生活行動疑似体験 【グループ演習・アクティブラーニング②④IBM】
 - (1) 視力低下、視覚障害
 - (2) 手指の巧緻性の低下
 - (3) 聴覚低下
 - (4) 全身の筋力や関節可動域の変化
 - 2) 臓器・器官別の加齢性変化
 - (1)脳・神経系 (2)心・血管系
 - (3)呼吸器系 (4)消化器系
 - (5)腎・泌尿器系 (6)骨・筋・運動器系
 - (7)造血器・生殖器系
4. 老化による日常生活への影響
 - 1) 身体的側面の変化
 - 2) 知的・認知的側面の変化
 - 3) 心理的側面の変化
 - 4) 社会的側面の変化
 5. 老年期の発達課題
 - 1) 発達理論と発達課題
 - 2) 老年期の発達課題
 - 3) スピリチュアリティ
 6. 人口学的指標からの老年期の理解および医療のしくみ
 - 1) 高齢化と高齢者世帯
 - 2) 高齢者の健康状態、平均寿命、健康寿命、死亡の動向
 - 3) 高齢者と家族機能
 - 4) 介護家族の課題
 - 5) 高齢者の医療のしくみ
 7. 老年看護の原則と目標【1】 【アクティブラーニング③④⑤】
 - 1) 高齢者に対するスティグマ、エイジズム
 - 2) アドボカシー、アドボケイト
 - 3) ノーマライゼーション
 - 4) 自立支援
 8. 老年看護の原則・目標【2】
 - 1) 高齢者虐待/身体拘束
 - 2) 権利擁護のための制度
 - 3) 老年看護における看護理論
 - ・エンパワメント
 - ・ストレングスモデル
 - ・ライフレビュー
 - ・コンフォート理論
 - 4) 高齢者のための国連原則
 - 5) まとめ

【成績評価方法】

課題①レポート 15 点、課題②レポート 15 点、筆記試験 70 点とし、総合評価する。
 レポートの課題と評価は、事前ガイダンスをおこない、5つの観点に対して評価基準3段階で作成したルーブリック表を用いておこなう。
 評価と到達目標との関係については、到達目標1は課題①と筆記試験で評価する。到達目標2・3・5は、課題②と筆記試験で評価する。
 到達目標4は、筆記試験で評価する。

【教科書】

北川公子ほか：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 9版, 医学書院.

【参考書、教材等】

1. 佐々木英忠ほか：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 5版, 医学書院.
2. 百瀬由美子, 奥野 茂代ほか:老年看護学 第6版 一 概論と看護の実践一, ヌーベルヒロカワ.
3. 亀井智子:老年看護学①老年看護学概論/老年保健 第5版, /メヂカルフレンド社.

【受講条件】

受講年齢は、20歳から50歳（高齢者疑似体験があるため）。

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
58	杏林大学	英語学特論Ⅲ（音声学・音韻論）	岩本 和良 外国語学部 教授	2	春学期	月	15	10:40～12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

- ・英語のイントネーションシステムのうち、Tone、Tonality、Tonicityを理解し、それぞれに対応する語彙文法的システムとの関係を説明できるようにする。
- ・それぞれのシステム内の選択肢を状況に応じて適切に使い分けられるようにする。

【授業の概要】

「英語音声学」では単音の発音に焦点を当てるのに対し、本講義では、英語教師として発音指導する際に必要な、イントネーションについて学ぶ。音韻的

システムとしてのイントネーションと語彙・文法的システムとの深い関わりを理解し、中学校・高等学校の英語の教科書を初見でも英語らしく言えるようにするための基礎を身に付ける。PCと音声分析ソフトを用い、視覚的にイントネーションを捉えることもする。
 ※秋学期開講「英語学演習 III」を履修希望する際には、この授業を受講することが必須である。

【授業内容】

1. イントロダクション (システムについて)
2. 音韻的単位について
3. 単語レベルの Stress について
4. 文レベルの Stress について
5. 英語のリズムと文法の関係について
6. Tone と叙法について (Tone と叙述法)
7. Tone と叙法について (Tone と疑問法)
8. Tone と叙法について (Tone と命令法・慣用表現)
9. Tonality について (無標の Tonality)
10. Tonality について (文法構造に関わる有標の Tonality)
11. Tonality について (対人関係に関わる有標の Tonality)
12. Tonicity について (英語における情報構造)
13. Tonicity について (無標の Tonicity)
14. Tonicity について (有標の Tonicity)
15. まとめ

【成績評価方法】

学期末試験: 100%

【教科書】

初回授業で配布する Course Pack をテキストとして用いる。

【参考書、教材等】

Halliday, M.A.K. & W.S. Greaves. (2008) Intonation in the Grammar of English. London: Equinox.
 Wells, J.C. (2006). English Intonation: an Introduction. Cambridge: Cambridge University Press.

※ この授業は、4/8 (月) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
59	杏林大学	観光資源論Ⅱ (食と文化)	宇佐美 貴浩 外国語学部 教授	2	春学期	木	15	10:40~12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

世界の食に関し、法律を含む学問として、伝統的な文化として、そして、実技実践として役立つ実学としての知識を習得し、現在の食の現状について認識すると同時に、将来の食のあり方につき考えることを目標とする。

【授業の概要】

世界の食に関し、法律を含む学問として、伝統的な文化として、そして、実技実践として役立つ実学としての知識を習得し、現在の食の現状について認識すると同時に、将来の食のあり方につき考えることを目標とする。具体的には、ワイン・チーズに関する基礎知識、食の安全と健康、産地偽装等に関する食の法律、地産地消・スローフード等の運動の意義につき学ぶことにより、食文化の基本知識の習得し、日本そして世界の抱える食に関する問題点についての考えを深化させる。

【授業内容】

1. ガイダンス 観光および文化交流の分野において必要とされる食文化の基本知識と、日本そして世界の抱える食に関する問題点について理解を深める。
2. ワイン概論① 世界のワイン生産量および消費量、ワインに関する資格、ワインの基礎知識について理解する。
3. ワイン概論② ワインの特性やワインが健康に与える影響について理解する。
4. ワイン概論③ 世界のワインの現状、世界のワイン産地、およびワイン産地の広がりについて理解する。
5. チーズ概論① チーズの生産量・消費量、チーズの原料・製造、およびチーズのサービスについて理解する。
6. チーズ概論② (外部講師による講演) 世界のチーズの現状、チーズの特性、およびチーズが健康に与える影響について理解する。
7. チーズ概論③ (外部講師による講演) 世界の乳製品の現状、乳製品の特性、および乳製品が健康に与える影響について理解する。
8. 前半のまとめ これまで7回の授業にて学んだことを確認する。
9. 食に関する様々な運動について① (スローフード) スローフードの理念、絶滅危惧食品の保護について理解する。
10. 食に関する様々な運動について② (地産地消) 地産地消に取り組む、生産者、飲食業経営者、スローフード協会の活動概要を理解し、その持続可能性や必要性につき考察する。
11. 食に関する原産地保護の法律について 産地偽装についての日本および世界の法律について理解し、そのために必要とされるトレーサビリティ等の品質保証システムにつき検証する。
12. 食資源の持続可能性について 水産資源を例にとり、資源の持続可能性について理解し、その取り組みを検証する。
13. 食のサステナビリティとブランド化 食に関する持続可能な取り組みにつき理解し、そのブランド化について検証する。
14. まとめ これまで13回の授業にて学んだことを確認する。
15. ヨーロッパ食紀行 イタリアを中心にヨーロッパの食文化の歴史を紐解き、その地域にその料理が生まれた理由について理解する。

【成績評価方法】

平常点 (30%)
 レポート (20%)
 テスト (50%)

【教科書】

講義内で適宜資料を配布する。

【参考書、教材等】

講義内で適宜紹介する。

※ この授業は、4/11（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
60	杏林大学	英語学演習Ⅲ（音声とコミュニケーション）	岩本 和良 外国語学部 教授	2	秋学期	月	15	10:40～12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

「英語学演習Ⅲ」で学んだことを実践できるようにする。

- ・ Tone, Tonality, Tonicity、それぞれのシステム内の選択肢を適切に用いて英語を言えるようにする。
- ・ 音声を聞き、音韻的分析とその解釈ができるようにする。

【授業の概要】

本授業は、英語学特論Ⅲで学んだ英語の Tone, Tonality, Tonicity システムを応用し、実際に発話されたパブリックスピーチや会話、中学校・高等学校の教科書付属の音声教材などを分析できるように、講義と演習形式で行う。分析を通して、「誰に」「どのような目的で」意味を伝えるかによってイントネーションシステム内の選択肢が変化することを理解する。また、中学校・高等学校の教科書付属の音声教材は英語母語話者によって録音されたものだが、必ずしもそれが適切なサンプルではなく、いくつかの問題点が存在する。そのことを認識した上で、英語教師を目指す学生は、生徒の英語力を踏まえた言い方を検討する。また、PCと音声分析ソフトを用い、視覚的にイントネーションを捉えることもする。

本授業の履修生は、既に「英語学特論Ⅲ」の単位を取得していることを前提とする。

【授業内容】

1. イントロダクション (Tone, Tonality, Tonicity の概要)
2. Tone に関する分析①
3. Tone に関する分析②
4. Tone に関する発音
5. Tone に関する指導
6. Tonality に関する分析①
7. Tonality に関する分析②
8. Tonality に関する発音
9. Tonality に関する指導
10. Tonicity に関する分析①
11. Tonicity に関する分析②
12. Tonicity に関する発音
13. Tonicity に関する指導
14. Tone, Tonality, Tonicity 全てを含めた指導
15. まとめ

【成績評価方法】

平常点（分析結果提出4回） 40%、学期末試験 60%で評価する。

【教科書】

初回授業で配布する Course Pack

【参考書、教材等】

Halliday, M.A.K. & W.S. Greaves. (2008) Intonation in the Grammar of English. London: Equinox.
Wells, J.C. (2006). English Intonation: an Introduction. Cambridge: Cambridge University Press.

※ この授業は、9/23（月祝）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
61	杏林大学	地域圏研究Ⅰ（米国）	渡邊 俊 外国語学部 講師	2	秋学期	月	15	14:40～16:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

This course will cover a wide variety of historical and cultural issues, including politics, religions, science, economics, literature, movies, fashion, music, etc.. Throughout the semester, students will develop a cross-cultural understanding of American cultural history and heighten an awareness of how it relates to the country we live in.

The objectives of this class are:

- to gain a basic knowledge about history of the United States
- to have the ability to deliver a presentation on historical or cultural issues.

【授業の概要】

This course will examine various aspects of US American Culture. The course will be conducted entirely in English and students are expected to participate in class by actively listening and joining in discussions. Students will also give an informative and well-researched final presentation on 1 aspect of culture which was discussed in this course and which they found interesting, how that aspect of culture differs between the USA and Japan and/or other cultures of the world, and the possible reasons for those differences.

【授業内容】

1. Introduction: Share "What do you know about America?"
2. Age of Discovery: Why Is Columbus an American Hero?
3. Myths of Pocahontas (1): Early American History of Colonization and Native Americans (Watching Pochahontas)

4. Myths of Pocahontas (2): Disney's Pocahontas vs James Cameron's Avatar (Chapter 1)
5. "A Town on a Hill": Puritanism and the Salem Witch Trial (Chapter 2)
6. Declaration of Independence and the Constitution of the United States (Chapter 3)
7. "Manifest Destiny": David Crockett and the Self-Made Man (Chapter 4)
8. Slavery and Abolitionism (1): Mark Twain's Huckleberry Finn
9. Slavery and Abolitionism (2): the Civil War and Glory
10. Department Store and Consumer Culture: Theodore Dreiser's Sister Carrie (Chapter 8)
11. Skyscraper as American Symbol: The Secret of My Success (Chapter 9)
12. Hippie Movement and Beat Generation: Easy Rider (Chapter 10)
13. Vietnam War and Counter-Culture (2): Malcolm X
14. Vietnam War and Counter-Culture (3): Inherent Vice
15. Exam and Review

【成績評価方法】

Participation in classroom activities: 15%
 Quizzes: 20%
 Presentation: 35%
 Final essay: 30%

【教科書】

亀井俊介 (監修) 『Introduction to American Culture: アメリカの文化を知ろう』
 南雲堂, 2020年, 1700円+税.
 ISBN: 9784523179108

【参考書、教材等】

- ・鈴木 透 『実験国家アメリカの履歴書—社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』 (慶應義塾出版会)
- ・異孝之 『アメリカ文学史のキーワード』 (講談社)
- ・異孝之 『アメリカ文学史 駆動する物語の時空間』 (慶應義塾出版会)
- ・異孝之 編 『よくわかるアメリカ文化史』 (ミネルヴァ書房)
- ・異孝之 『ニュー・アメリカニズム』 (青土社)
- ・諏訪部 浩一 編 『アメリカ文学入門』 (三修社)
- ・杉野健太郎 編 『アメリカ文学と映画』 (三修社)
- ・柴田元幸 『アメリカ文学のレッスン』 (講談社現代新書)
- ・亀井俊介 『アメリカ文学史』 講義 1~4 (南雲堂)
- ・大和田俊之 『アメリカ音楽史』 (講談社)
- ・Eric Avila. American Cultural History: A Very Short Introduction (Very Short Introductions). Oxford University Press, 2018, ISBN: 978-0190200589
- ・Paul S. Boyer. American History: A Very Short Introduction (Very Short Introductions), Oxford UP, 2012, ISBN: 978-0195389142
- ・History.com.

※ この授業は、9/23 (月祝) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
62	杏林大学	中国の歴史	森 和 外国語学部 准教授	2	秋学期	木	15	14:40~16:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

中国史の各時代の基礎知識や特徴を知り、異文化理解を深め、歴史的視野で考える習慣を身につけることを目標とします。

【授業の概要】

この科目は、近代以前の中国の歴史について講義形式で学びます。中国の歴史は俗に「中国〇千年」と言われるほど長いですが、まず中華民国が成立するまでのおおよその流れと大きな変動期を把握します。その上で、文明の誕生から古代の東アジア地域にひとつの世界秩序を完成させた唐代あたりまでの歴史の基礎知識や各時代の特徴を知り、原典史料を読みながら個別のテーマについて考えます。その過程で中国的なモノ・コトへの興味・関心を広げ、異文化理解を深めてゆきます。

【授業内容】

1. ガイダンス、中国史について
 内容：授業の概要を説明し、中国の歴史について概観します。
2. 中国文明の形成
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
3. 殷
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
4. 西周
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
5. 春秋戦国時代
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
6. 秦
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
7. 前漢
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
8. 新・後漢
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
9. 三国時代～五胡十六国時代
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
10. 南北朝時代①
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。
11. 南北朝時代②
 内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。

12. 隋

内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。

13. 唐①

内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。

14. 唐②

内容：テーマに則した原典史料を読み解きながら、基礎知識や歴史的事象や当時の社会や文化について解説します。

15. まとめ

【成績評価方法】

成績は授業参加の姿勢（30%）と期末レポート（70%）によって評価します。

【教科書】

無し

【参考書、教材等】

毎回、テーマに応じて適宜参考文献を紹介します。

※ この授業は、9/19（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
63	杏林大学	会社法Ⅱ (ファイナンス)	伊藤 敦司 総合政策学部 教授	2	春学期	月	15	9:00～10:30	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

現代社会において重要な機能を有する株式会社をはじめとする会社制度の概要とその課題を認識すると同時に、関連科目の基礎を提示したい。

【授業の概要】

この講義では、現代社会において重要な役割を担う会社、特に株式会社に関する法制度を解説する。

現代社会において、会社とりわけ株式会社と無縁な生活は考えられない。将来いかなる方面に進もうとも、株式会社および株式会社に関する法制度の理解は不可欠である。ところが、日々変化する社会情勢を反映して、株式会社法は頻繁に改正されてきており、既存の制度の見直しや新たな制度の創設が多数なされ、その重要性にもかかわらず、わかりにくい法分野となっている。しかも、2007年5月から施行された会社法は、多くの問題を背景に大改正がなされ、新たな問題も指摘されている。

そこで、会社法Ⅱ（ファイナンス）では、株式会社に対する法規制の基本的な仕組みを理解してもらうために、株式制度、資金調達、計算、企業再編の各分野に関し、近時の法改正や将来的な課題をふまえながら、具体的な解説を行う。実務界の事例にも論及しながら（動画によっても適宜提示する）、身近なわかりやすい講義としたい。

授業終了後に確認のための簡単なレポートを作成してもらい、履修者の理解度を確認しながら、授業を進行する。

【授業内容】

第1回：イントロダクション：会社の現代社会における機能を概観し、各種企業形態における会社の位置付けを明らかにする。〔講義・質疑応答〕

第2回：株式会社法総論：株式会社の基本的特質を、合名会社と対比しながら明らかにし、そこから導かれる法規制を考察する。〔講義・質疑応答〕

第3回：株式制度①総論：株式会社の持分である株式について、持分会社の持分と対比しながらその特色と機能を明らかにする。〔講義・質疑応答〕

第4回：株式制度②：投下資本回収方法としての株式譲渡に関し、その機能及び問題点を、金融商品取引法上の規制をも加えながら明らかにする。〔講義・質疑応答〕

第5回：株式制度③：自己株式取得規制、相互保有規制等の株式譲渡制限に関し、実務上の問題点を含め考察する。〔講義・質疑応答〕

第6回：株式制度④：株式単位の大きさに関し、その意義及び規制を概観した後、株式併合・株式分割・単元株の各制度を考察する。〔講義・質疑応答〕

第7回：株式会社の資金調達①総論：多額・長期の資金を必要とする企業の資金需要に対し、会社法の用意する制度を概観し、その問題点を考察する。〔講義・質疑応答〕

第8回：株式会社の資金調達②：新株発行の機動性と既存株主の利益調整に関し、具体的な事例を取り上げながら会社法の規制及びその問題点を考察する。〔講義・質疑応答・小テスト〕

第9回：株式会社の資金調達③：株式会社の代表的な資金調達手段である社債に関し、その特徴・機能を前提に、社債権者保護のための規制を中心に考察する。〔講義・質疑応答〕

第10回：会社の計算①総論：株式会社の計算に関する規制について、その意義を明らかにしたのち、金融商品取引法上の規制も含め考察する。〔講義・質疑応答〕

第11回：会社の計算②資本金・準備金等：資本金制度の意義・機能を概観した後、その増減に関する法規制をを考察する。〔講義・質疑応答〕

第12回：会社の計算③配当等：株主への利益の還元に関し、その方法やその保障を概観するとともに、手続規制及び財源規制の意義や問題点を考察する。〔講義・質疑応答〕

第13回：企業再編①総論：企業再編の意義・機能を明らかにしたのち、企業再編の方法・法規制を、具体的な事例をもとに考察する。〔講義・質疑応答〕

第14回：企業再編②持株会社をめぐる問題：近時増加した持株会社に関し、その機能や利害関係者を概観した後、法規制の内容とその問題点を考察する。〔講義・質疑応答・小テスト〕

第15回：全体のまとめ：コーポレート・ファイナンスに向けた会社法の規制やその他の規制を概観し、その課題を考察する。〔講義・質疑応答〕

※時事的な問題を取り上げるため、若干変更することもあります。

*課題に対するフィードバックの方法：毎回授業の始めに前回の課題についてのフィードバックを行う。

【成績評価方法】

確認テスト（課題提出）40%、平常点（小レポート、授業参加の姿勢等）60%により総合的に評価する。

詳細については、第1回目の授業の際に説明する。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。

【参考書、教材等】

江頭憲治郎『株式会社法 第8版』有斐閣 (ISBN 978-4-641-13785-0)、田中亘『会社法 第3版』東京大学出版会 (ISBN978-4-13-032394-9)、その他、講義において、適宜指摘する。

※ この授業は、4/8 (月) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
64	杏林大学	財務会計論	内藤 高雄 総合政策学部 教授	2	春学期	火	15	10:40~12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

本講義は会計の認識・測定・報告における判断の基準について、伝統的な会計理論、新しい会計理論を理解することを到達目標としている。

【授業の概要】

財務会計は企業の取引を貨幣金額をもって継続的に記録計算し、その結果を財務諸表という形式で株主や債権者等の、企業の外部の利害関係者に報告する体系である。本講義では会計の処理手続を進める前提となる判断の基盤である、企業会計の理論的基盤を明らかにしていく。

【授業内容】

授業は原則として対面で行う。毎回、穴埋め形式のレジュメ等の講義資料を講義予定日の5日前までに UNIVERSAL PASSPORT の【授業】の【授業資料】にアップする。

なお、毎回必ず出席代わりの簡単なミニ課題を講義中のパワーポイントで課すので、定められた期日内に回答すること。また講義への質問は下記メールアドレスまでメールすること。ミニ課題の解答・解説は次回の冒頭で行う。また質問についてはメールで回答するとともに、次回の冒頭で解説する。

第1回：期間損益計算の基礎知識：全体損益計算と期間損益計算、財産法と損益法を学ぶ。[講義・質疑応答]

第2回：2つの会計観：基本目的および貸借対照表の本質・機能についての2つの会計観である静態論と動態論を学ぶ。[講義・質疑応答]

第3回：会計公準と会計主体論：会計公準の意義、史的変遷、現行会計における5つの会計公準の内容、会計主体論を学ぶ。[講義・質疑応答]

第4回：企業会計原則と一般原則：わが国で1948年に制定された企業会計の根本原則である、真実性の原則を中核とした、8つの一般原則について学ぶ。[講義・質疑応答]

第5回：会計上の利益概念：売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益、包括利益の概念を学ぶ。[講義・質疑応答]

第6回：収益費用観と資産負債観：伝統的会計観である収益費用観と新しい会計観である資産負債観を学ぶ。[講義・質疑応答]

第7回：前半まとめ・中間確認テスト：これまでの範囲をまとめ、確認テストを行う。[小テスト・講評]

第8回：会計的認識①：現金主義会計と発生主義会計を学ぶ。[講義・質疑応答]

第9回：会計的認識②：費用の認識；発生主義の原則を学ぶ。[講義・質疑応答]

第10回：会計的認識③：収益の認識；実現主義の原則と費用収益対応の原則を学ぶ。[講義・質疑応答]

第11回：会計的測定①：取得原価主義会計と時価主義会計を学ぶ。[講義・質疑応答]

第12回：会計的測定②：棚卸資産の費用測定を学ぶ。[講義・質疑応答]

第13回：会計的測定③：固定資産の費用測定を学ぶ。[講義・質疑応答]

第14回：会計的測定④：その他の資産の費用測定を学ぶ。[講義・質疑応答]

第15回：会計報告と財務諸表：会計の利害関係者への報告と財務諸表の概要を学ぶ。[講義・質疑応答]

※課題に対するフィードバックの方法：毎回授業の初めに前回の課題についてフィードバックを行う。

【成績評価方法】

平常点(25%)、中間確認テスト(25%) 定期試験の成績(50%)で評価する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書、教材等】

・岩崎勇著『基本財務会計』2020年・税務経理協会、ISBN：978-4-419-06717-5 (4-419-06717-9) ¥2,640

・佐藤 信彦編著『スタンダードテキスト財務会計論 I (第14版) —基本論点編』2021年・中央経済社、ISBN：978-4-502-38961-0、¥5,280

・藤井秀樹著『基入門財務会計第4版』2021年・中央経済社、ISBN：9784502375514、¥3,740

他の参考文献については、講義中に指示する。

※ この授業は、4/9 (火) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
65	杏林大学	現代日本政治A(政治)	半田 英俊 総合政策学部 教授	2	春学期	月	15	13:00~14:30	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

政治学の基礎知識を身につけ、政治一般に対する理解を深めていくことを目標とする。

【授業の概要】

現代日本では様々な政治問題が表面化している。これらの諸問題を的確に理解するためには、政治学の基本となる理論を学ぶことが重要である。

本講義では立法と行政の関係や役割、歴史などについて概観していく。

【授業内容】

第1回：本講義を履修するにあたって：政治学の基本的な考え方について学ぶ。[講義・質疑応答]

第2回：政治の機能：政治に求められているものとは何かについて学ぶ。[講義・質疑応答]

第3回：政治制度 ～日本：日本の議院内閣制のしくみについて学ぶ。[講義・質疑応答]

第4回：政治制度 ～アメリカ：アメリカの大統領制のしくみについて学ぶ。[講義・質疑応答]

第5回：政治制度 ～ドイツ：ドイツの議院内閣制について、日本と対比しながらしくみについて学ぶ。[講義・質疑応答]

第6回：政治制度 ～フランス：フランスの半大統領制について、アメリカと対比しながらしくみについて学ぶ。[講義・質疑応答]

第7回：政治制度 ～中国：中国の政治体制について、アメリカ・フランスと対比しながらしくみについて学ぶ。[講義・質疑応答]

第8回：立法府の役割：立法府に求められているとされている5つの機能について学ぶ。[講義・質疑応答]

第9回：選挙に行くことの重要性：選挙に行くことの重要性について学ぶ。[講義・質疑応答]

- 第10回：選挙制度～衆議院（前編）：現代日本の衆議院選挙の歴史（主に中選挙区制）について学ぶ。[講義・質疑応答]
 第11回：選挙制度～衆議院（後編）：現代日本の衆議院選挙の制度（主に小選挙区比例代表並立制）について学ぶ。[講義・質疑応答]
 第12回：日本の皇位継承問題：行き詰まる日本の皇位継承問題について女性天皇・女系天皇の可能性も視野に入れながら今後の可能性について学ぶ。[講義・質疑応答]
 第13回：選挙制度～参議院（前編）：現代日本の参議院選挙の歴史（主に地方区制+全国区制）について学ぶ。[講義・質疑応答]
 第14回：選挙制度～参議院（後編）：現代日本の参議院選挙の制度（主に地方区制+非拘束式比例代表制）について学ぶ。[講義・質疑応答]
 第15回：総まとめ：講義全体を俯瞰しながら、何が学べたかについて学ぶ。[講義・質疑応答]

【成績評価方法】

中間試験（50%）、期末試験（50%）で評価をおこなう。
 成績評価の詳細については第1回目の講義にて説明をするので、必ず出席をすること。
 第1回目の講義に出席できなかった場合は、履修登録前までに成績評価の詳細を必ず聞きにくること。
 なお、講義中の私語など、授業態度が著しく悪い場合は評価に反映させるので、履修の際は注意されたい。
 最後に、講義中の写真撮影はこれをかたく禁ずる。

【教科書】

なし。

【参考書、教材等】

増田正他『政治学入門』（一藝社）、2020年、2400円+税。ISBN：978-4-86359-199-8
 堀江湛 編『政治学・行政学の基礎知識 第4版』（一藝社）、2021年、2600円+税。ISBN：978-4-86359-243-8
 堀江湛、加藤秀治郎 編『政治学小辞典』（一藝社）、2019年、2700円+税。ISBN：978-4-405-04981-9

※ この授業は、4/8（月）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
66	杏林大学	国際政治学A	渡辺 剛 総合政策学部 教授	2	春学期	金	15	10:40～12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

将来社会に出て、公務やビジネス等の実務に携わる際に必須となる、国際政治と国際関係に関する分析・理解能力を涵養することが主要目的である。
 更に、各種公務員試験や大学院入試に於ける国際関係科目で、自習が難しいとされる学説・理論分野で確実に得点を上げる事も、もう一つの到達目標である。

【授業の概要】

グローバル化の進む現代社会では、様々なビジネスシーンや公的機関の業務に於いて、諸外国・国際社会との関わりは不可避となっている。大学卒業後にビジネスマンや公務員として第一線で活躍する為には、国際政治と国際関係に関する基礎知識が要求される。本講義では、現実の国際政治を理解する上での、基本的な概念、学説や理論について解説する。時事問題や個別の事象の解説は主たる対象とならない。

【授業内容】

※当初の予定は以下の通りであるが、受講者のレベルやリクエスト、その時々のカレントな国際問題に応じて、開講後に構成が変わり得る事を予め承知されたい。

- 第1回：ガイダンスとイントロダクション：本講義開始に当たっての基本的な情報提供と注意喚起を行う。また、学期開始時点での講義計画の修正と見直しについても説明する。[講義・質疑応答]
 第2回：国際社会の形成と国際政治学：国際社会の基本構造と国際政治学の成り立ちについて概説する。[講義・質疑応答]
 第3回：主権国家と国民国家の基礎概念：国際社会の基本単位である主権国家の基本概念と歴的背景について説明する。また、近代国民国家と国民、ナショナリズムについても説明する。[講義・質疑応答]
 第4回：古典的リアリズム1：国際政治学の基本学説たる現実主義・リアリズム学派の思想的・歴史的な背景、学説の変遷を説明する。[講義・質疑応答]
 第5回：古典的リアリズム2：古典的リアリズム1に引き続き、現実主義・リアリズム学派の思想的・歴史的な背景、学説の変遷を説明する。[講義・質疑応答]
 第6回：ネオリアリズム1：古典的リアリズムを改良・精緻化したネオリアリズムの思想的・歴史的な背景、学説の変遷を説明する。[講義・質疑応答]
 第7回：ネオリアリズム2：ネオリアリズム1に引き続き、ネオリアリズムの思想的・歴史的な背景、学説の変遷を説明する。[講義・質疑応答]
 第8回：小テスト1：学期前半の内容について所要時間1時間少々の小テストを実施する。[小テスト]
 第9回：リベラリズム1：現実主義・リアリズム学派と並ぶ国際政治学二大潮流の一つである理想主義・リベラリズム学派の思想的・歴史的な背景、学説の変遷を説明する。[講義・質疑応答]
 第10回：ネオリベラリズム1：リベラリズムを改良・精緻化したネオリアリズムの思想的・歴史的な背景、学説の変遷を説明する。[講義・質疑応答]
 第11回：構造主義：国際政治学二大潮流とは全く異なる角度から世界を捉えるマルクス主義的な構造主義学派の思想的・歴史的な背景、学説の変遷を説明する。[講義・質疑応答]
 第12回：構築主義と英国学派：近年の比較的新しい理論的選択肢として登場した構築主義学派と英国学派について、思想的・歴史的な背景、学説の変遷を説明する。[講義・質疑応答]
 第13回：外交政策決定過程：外交政策の決定過程に関する古典理論を紹介する。[講義・質疑応答]
 第14回：小テスト2：学期後半の内容について所要時間1時間少々の小テストを実施する。[小テスト]
 第15回：総括：期末試験に向けて、今学期の講義全体を総括し疑問点を受付ける。また、今までの小テストの結果についての説明を行う。[質疑応答]

*課題に対するフィードバックの方法：毎回授業の始めに前回の課題についてフィードバックを行う。

【成績評価方法】

学期末の筆記試験(100%)に、平常点（授業への参加姿勢や小テストと課題）を加味して評価する。
 試験は持込不可とする。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書、教材等】

講義中に適宜指示する。

※ この授業は、4/12（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
67	杏林大学	会社法Ⅰ (ガバナンス)	伊藤 敦司 総合政策学部 教授	2	秋学期	月	15	9:00～10:30	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

現代社会において重要な機能を有する株式会社をはじめとする会社制度の概要とその課題を認識すると同時に、関連科目の基礎を提示したい。

【授業の概要】

この講義では、現代社会において重要な役割を担う会社、特に株式会社に関する法制度を解説する。

現代社会において、会社とりわけ株式会社と無縁な生活は考えられない。将来いかなる方面に進もうとも、株式会社および株式会社に関する法制度の理解は不可欠である。ところが、日々変化する社会情勢を反映して、株式会社法は頻りに改正されてきており、既存の制度の見直しや新たな制度の創設が多数なされ、その重要性にもかかわらず、わかりにくい法分野となっている。しかも、2007年5月から施行された会社法は、多くの問題を背景に大改正がなされ、新たな問題も指摘されている。

そこで、会社法Ⅰでは、まず企業形態における株式会社の位置付け・特色を明らかにしたうえで、株式会社に対する法規制の基本的な仕組みを理解してもらうための解説を行う。そのうえで、機関構造、設立、各種会社について、近時の法改正や将来的な課題をふまえながら、具体的な解説を行う。実務界の事例にも論及しながら、身近なわかりやすい講義としたい。毎回、授業終了時に確認のための簡単なレポートを作成してもらい、履修者の理解度を確認しながら、授業を進行する。また、時事問題を取り上げ、会社法の視点から分析を行う動画を適宜提示することにより、実践的に会社法を理解してもらう。

【授業内容】

第1回：イントロダクション：会社の現代社会における機能を概観し、各種企業形態における会社の位置付けを明らかにする。〔講義・質疑応答〕

第2回：会社法総論：会社の意義を明らかにしたのち、会社法の規定する四種会社の概観し、そこから導かれる法規制の特色を考察する。〔講義・質疑応答〕

第3回：株式会社法総論：株式会社の基本的特質を、合名会社と対比しながら明らかにし、そこから導かれる法規制を考察する。〔講義・質疑応答〕

第4回：株式会社の機関構造①総論：所有と経営の分離を背景に、基本的な機関構造を学ぶとともに、会社法の機関構成の柔軟化とその制限を考察する。〔講義・質疑応答〕

第5回：株式会社の機関構造②株主総会：株主総会の意義機能を明らかにしたのち、株主の議決権保障に向けた会社法の規制を考察する。〔講義・質疑応答〕

第6回：株式会社の機関構造③取締役：経営を委託された取締役に課される義務・責任、それをめぐる論点を考察する。〔講義・質疑応答〕

第7回：株式会社の機関構造④取締役会：取締役会の意義・機能を背景に、株主総会との比較をふまえながら、その規制を考察する。〔講義・質疑応答〕

第8回：株式会社の機関構造⑤代表取締役：代表取締役の意義・機能を背景に、権限濫用行為や専断的行為等の論点を考察する。〔講義・質疑応答・小テスト〕

第9回：株式会社の機関構造⑥会計参与・監査役・会計監査人：会計参与・監査役・会計監査人の意義・機能を背景に、それぞれの比較や関係を考察する。〔講義・質疑応答〕

第10回：株式会社の機関構造⑦指名委員会等設置会社：指名委員会等設置会社の意義・機能を背景に、コーポレート・ガバナンスにおける位置付けを考察する。〔講義・質疑応答〕

第11回：株式会社の機関構造⑧監査等委員会設置会社：平成26年改正により創設された監査等委員会設置会社の意義・機能を背景に、コーポレート・ガバナンスにおける位置付けを考察する。〔講義・質疑応答〕

第12回：株式会社の機関構造⑨まとめ：近時のコーポレート・ガバナンス強化の流れのなか、会社法の規制の問題点や課題を考察する。〔講義・質疑応答〕

第13回：株式会社の設立：株式会社の設立規制の概要及び特色を、株式会社の特色と結び付けながら考察する。〔講義・質疑応答〕

第14回：各種会社：株式会社の学習を前提に、対極にある合名会社や、同じく有限責任社員によって考察される合同会社の特色や法規制を考察する。〔講義・質疑応答・小テスト〕

第15回：全体のまとめ：コーポレート・ガバナンスに向けた会社法の規制やその他の規制を概観し、その課題を考察する。〔講義・質疑応答〕

※時事的な問題を取り上げるため、若干変更することもあります。

*課題に対するフィードバックの方法：毎回授業の始めに前回の課題についてのフィードバックを行う。

【成績評価方法】

確認テスト40%、平常点（小レポート、授業参加の姿勢等）60%により総合的に評価する。

詳細については、第1回目の授業の際に説明する。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。

【参考書、教材等】

江頭憲治郎『株式会社法 第8版』有斐閣（ISBN 978-4-641-13785-0）、田中亘『会社法 第3版』東京大学出版会（ISBN978-4-13-032394-9）、その他、講義において、適宜指摘する。

※ この授業は、9/23（月祝）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
68	杏林大学	現代行政学B	進邦 徹夫 総合政策学部 教授	2	秋学期	木	15	10:40～12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

近年の行政改革の背景にあるものは何かを知る

「新しい公共」とは何かを考える

【授業の概要】

近年、行政をめぐる環境は大きく変化して来ています。NPM（New Public Management）論や、Governance論といった議論に象徴されるように、行政だけではなく多くのアクターが統治に携わる政治・行政システムの萌芽が各地で見受けられます。

小泉政権の構造改革がそうであったように、多くの先進国において小さな政府を目指す傾向があります。その先行事例として知られるのが、1980年代にイギリスやアメリカ、ニュージーランドで展開された行政改革です。これらの行政改革を体系化したものを、NPM論と言います。

また、これまで統治の主体は政府だけと捉えられてきましたが、個人やNPO、民間企業など多様なアクターが参加する統治のあり方をガバナンスと言います。本講義では、近年の行政を分析する枠組みでもあり、規範的な概念でもあるNPM論とガバナンス論について、中央・地方の行政で実際に行われている改革との関連付けながら講述していきます。

【授業内容】

第1回：行政学Ⅱで何を学ぶか：NPMとは何か、行政学と行政経営論の相違〔講義・質疑応答〕第2回：近年の行政改革とNPMの関係とは？：NPMによる行政改

革とこれまでの行政改革の違い、NPMによる行政改革の意義 [講義・質疑応答]

第3回：日本の行政改革史：戦前の行政整理、戦後行政改革と日本の財政、現代の行政改革諸課題 [講義・質疑応答]

第4回：ガバナンス論とNPM：ガバナンス論と行政、ガバナンス論とNPMの相違 [講義・質疑応答]

第5回：英米の行政改革とNPM：1980年代の英米の行政状況、1980年代イギリスの行政改革、1980年代アメリカの行政改革 [講義・質疑応答]

第6回：ローカルガバナンスの実際：NPMによる行政改革の手法・期待される効果 [講義・質疑応答]

第7回：NPMと自治体改革1：NPMで何がかわるのか、透明性、説明責任、監視、参加 [講義・質疑応答]

第8回：NPMと自治体改革2：日本におけるPFI事業の展開、PFIとは何か、高知県医療センターの事例など [講義・質疑応答]

第9回：NPMと自治体改革3：NPMと行政評価、政策・施策・事業の違い、アカウントビリティとレスポンスビリティ [講義・質疑応答]

第10回：NPMと市民参加：市民参加と協働、参加と評価 [講義・質疑応答]

第11回：新しい公共とNPM：新しい公共とは何か、「公共」概念の変化 [講義・質疑応答]

第12回：NPMと財政：ケインズ政策とNPM、国債依存財政からの脱却 [講義・質疑応答]：

第13回：NPMの限界：NPMと自由主義、競争とセーフティネット [講義・質疑応答]

第14回：これからの行政のあり方：積極財政か消極財政か、大きい政府か小さい政府か [講義・質疑応答]

第15回：総括：第1回から第15回の総まとめを行 [講義・質疑応答]

適宜、課題を設定し、アクティブ・ラーニング形式でグループディスカッションを行う。

【成績評価方法】

①絶対評価で採点します。

②授業内テストと学期末課題で採点します。

授業内テストは持ち込み可で行いますので、問題に的確に答えていない場合は不採点とします。

学期末課題は、(課題に記載するかどうかは未定ですが)いくつかのキーワードを設定し、そのキーワードが理解され、文章が論理的に構成されているか(相手に伝えやすく書いているか)で採点します。

【教科書】

真淵勝『行政学』有斐閣 2020年 ISBN-13 : 978-4641149359

大嶽秀夫『平成政治史』ちくま新書 2020年 ISBN-13 : 978-4480073051

【参考書、教材等】

特になし。

※ この授業は、9/19(木)が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
69	杏林大学	国際政治経済学	三浦 秀之 総合政策学部 教授	2	秋学期	火	15	9:00~10:30	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

政治と経済の相互作用に着目し、国際政治経済学の理論的枠組みを用いながら、現代社会の複雑に入り組んだ課題を考察できるようになること。

【授業の概要】

国際社会はアナーキーである。つまり、国内社会と異なり、中央政府が存在しないのである。しかしながら、そのことは国際社会に秩序が存在しないことを意味するのではない。国際社会は様々な制度を構築することにより、国境を越える経済的に問題に対処してきたのである。本講義では、国際政治経済学の基礎を体系的に学ぶことを目指しています。具体的には、近代以降の国家間の経済関係(特に貿易や投資の自由化)の政治的側面に焦点を当て、概観して行きます。

【授業内容】

第1回：イントロダクション【講義と質疑応答】

第2回：国際政治経済の見方：国際政治経済学の理論と歴史について学ぶ【講義と質疑応答】

第3回：力の構造と国際経済体制：パワーと国際経済の関連性について学ぶ【講義と質疑応答】

第4回：冷戦とブレトンウッズ体制：戦後の国際秩序がいかにして力の構造を背景にしながらいかなる国際経済体制を構築したのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第5回：安全保障と経済：安全保障と経済がお互いのいかなる相互作用が生じているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第6回：保護貿易をめぐる政治と経済：国家がいかなる理由で貿易を保護しようとするのか政治と経済のつながりをみながら学ぶ【講義と質疑応答】

第7回：金融グローバル化の構図：金融がいかにしてグローバル化の影響を受けているのかについて、その光と影について学ぶ【講義と質疑応答】

第8回：科学技術と現代国際関係：グローバル化の進展のもとに各国の科学技術がいかにして発展し、イノベーションを促しているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第9回：移民をめぐる政治と経済：グローバル化の進展により国境の障壁が低くなったことによる移民の増加によるともなうメリットとデメリットについて学ぶ【講義と質疑応答】

第10回：経済発展と人権、民主化：経済発展にともない途上国における人権と民主化がいかにして発展していくのか学ぶ【講義と質疑応答】

第11回：地球環境をめぐる政治経済：地球環境をめぐる課題がいかにしてグローバルレベルで話し合われているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第12回：グローバル・レベルの国際秩序の模索：貿易と金融をめぐる課題がいかにしてグローバル・レベルで展開され、制度化されているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第13回：リージョナル・レベルの国際秩序の模索：貿易と金融をめぐる課題がいかにしてリージョナル・レベルで展開され、制度化されているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第14回：ナショナル・レベルからの国際秩序の模索：貿易と金融をめぐる課題がいかにしてナショナル・レベルで展開され、制度化されているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

第15回：総括：これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

※ この授業は、9/24（火）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
70	杏林大学	国際会計論	内藤 高雄 総合政策学部 教授	2	秋学期	月	15	9:00～10:30	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

本講義では、会計制度のグローバル化の背景について理解すること、国際取引の会計処理の問題を理解すること、諸外国の制度を理解すること、会計制度の国際的統一化の過程と現状を理解すること到達目標としている。

【授業の概要】

近年、多国籍企業の増大、経済・資本市場のボーダレス化、金融の自由化・国際化にともない、会計制度は急速にグローバル化されてきた。本講義では国際会計の諸問題を、国際取引会計、比較制度会計、会計制度の国際的統一の3つのカテゴリーに分けながら、それぞれについて詳説していくことにする。その際、現在、IFRSやIASという名称で話題になっている、会計制度の国際的統一の問題に力点を入れながら、最新の状況を織り込みながら、講義していく。

【授業内容】

授業は原則として対面で行う。

第1回：国際会計の必要性と類型：国際会計必要の背景、国際取引会計・比較会計制度、会計制度の国際的統一のそれぞれの類型を学ぶ。[講義・質疑応答]

第2回：国際取引会計①～外貨建取引の会計処理～：日本企業が在外企業と商品を売買する際の会計処理を学ぶ。[講義・質疑応答]

第3回：国際取引会計②～外貨表示財務諸表の換算～：日本企業が在外子会社との間で連結財務諸表を作成する際の換算手続きを学ぶ。[講義・質疑応答]

第4回：比較会計制度①～大陸諸国の会計制度：ドイツ・フランスなど、ヨーロッパ大陸諸国の商法会計制度を学ぶ。[講義・質疑応答]

第5回：比較会計制度②～英米諸国の会計制度：アメリカ、イギリスなど、アングロサクソン諸国の証券取引法会計制度を学ぶ。[講義・質疑応答]

第6回：比較会計制度③～わが国の会計制度：トライアングル体制にある、わが国の会計制度を学ぶ。[講義・質疑応答]

第7回：前半まとめ・中間確認テスト：これまでの範囲をまとめた確認テストを、原則、時間内に行う。ただし提出期限は翌週の第8回目の講義の前日とする。

[小テスト・講評]

第8回：会計制度の国際的統一①～国際会計基準委員会の成立と会計基準の国際的調和化：IASCの成立過程、各国のIASに対する初期の対応、会計基準の調和化を学ぶ。国際会計基準の基本的思考－意思決定有用性アプローチ、経済的実質優先主義－リース会計～：国際会計基準の基本思考である意思決定有用性アプローチ、経済的実質優先主義、およびその帰結としてのリース会計を学ぶ。[講義・質疑応答]

第9回：会計制度の国際的統一②～国際会計基準の基本的思考－資産負債アプローチ－収益の新しい認識基準～：国際会計基準の基本思考である資産負債アプローチ、およびその帰結としての収益の新しい認識基準を学ぶ。[講義・質疑応答]

第10回：会計制度の国際的統一③～国際会計基準の基本的思考－資産負債アプローチ－公正価値測定～：国際会計基準の基本思考である資産負債アプローチ、およびその帰結としての公正価値測定を学ぶ。[講義・質疑応答]

第11回：会計制度の国際的統一④～国際会計基準の基本的思考－資産負債アプローチ－減損会計～：国際会計基準の基本思考である資産負債アプローチ、およびその帰結としての減損会計を学ぶ。[講義・質疑応答]

第12回：会計制度の国際的統一⑤～国際会計基準、およびアングロサクソン諸国の基本的会計思考～概念フレームワーク～：国際会計基準、およびアングロサクソン諸国の基本的会計思考である概念フレームワークを学ぶ。[講義・質疑応答]

第13回：会計制度の国際的統一⑥～IFRSの普及とコンバージェンス・アドプション～：IFRSに対する諸外国ならびにわが国の対応、IFRS強制適用の問題を学ぶ。[講義・質疑応答]

第14回：会計制度の国際的統一⑦～わが国のIFRS強制適用中止、およびその後の展開～：IFRSに対するわが国の対応、修正国際基準の問題を学ぶ。[講義・質疑応答]

第15回：会計制度の国際的統一⑧～会計基準の国際的統一化の将来～：会計基準の国際的統一に対する諸外国およびわが国の動向、将来の可能性を学ぶ。[講義・質疑応答]

※課題に対するフィードバックの方法：毎回授業の初めに前回の課題についてフィードバックを行う。

【成績評価方法】

第7回目の授業内で行う中間試験(学内での筆記試験)の成績30%、定期試験(学内での筆記試験)の成績40%、平常点30%で評価する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書、教材等】

内藤 高雄・大野 智弘・徳前 元信・吉岡 正道編著『IFRSを紐解く』2021年・森山書店、ISBN:978-4-8394-2184-7、¥3,300.

森川八洲男著『国際会計論』2015年・白桃書房、ISBN:9784561352082、¥2,805.

平松一夫監『IFRS国際会計基準の基礎第6版』2020年・中央経済社、ISBN:978-4-502-3581740672、¥3,300

行待三輪著『はじめて学ぶ国際会計論』2018年・創成社 ISBN:978-4-7944-1528-8、¥1,900

橋本尚・山田善隆共著『IFRS会計学基本テキスト第6版』2018年・中央経済社、

ISBN:978-4-502-28541-7、¥3,740

他の参考文献については、講義中に指示する。

※ この授業は、9/23（月祝）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
71	杏林大学	社会福祉学	岡村 裕 総合政策学部 教授	2	秋学期	金	15	10:40～12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	若干名

【到達目標】

テーマ：社会福祉の基本原則

本講義を履修することにより、社会福祉学の基本的な枠組みと基礎的な知識を修得することができる。

【授業の概要】

社会福祉は、社会を構成するすべての人々がある一定水準以上の生活を送ることができるように支援する社会制度および諸活動である。その活動の根本にあるものは、福祉資源の分配に関するルールすなわち、誰が、どのように、誰に対して、どこまで分配するかについての取り決めである。本講義においては、特に生活

保護の事例を提示しながら、社会福祉の基本原則について理解を深めていきたい。

- 【授業内容】第1回：社会福祉学序論 [講義・質疑応答]
 社会福祉とは何か、その必要性・存在意義について学ぶ。
- 第2回：社会福祉の目標 [講義・質疑応答]
 社会福祉の目標としての個人の尊厳の重要性について学ぶ。
- 第3回：社会福祉制度の対象論 - 生活保護の受給条件 [講義・質疑応答]
 社会福祉サービスの対象を決定する際の方法について学ぶ。
- 第4回：社会福祉サービスの利用手続き論 - 生活保護の申請 [講義・質疑応答]
 社会福祉サービスの利用手続きとしての申請の意味について考える。
- 第5回：社会福祉サービスの法律論 - 生活保護法 [講義・質疑応答]
 社会福祉サービスの法的基礎について理解する。
- 第6回：社会福祉サービスの実際 - 生活保護事例 [講義・質疑応答]
 社会福祉サービスの実際について事例を通じて学ぶ。
- 第7回：社会福祉サービスの課題 - 生活保護の諸問題 [講義・質疑応答]
 社会福祉サービスの課題について、貧困対策に焦点を当てて学ぶ。
- 第8回：社会福祉サービスの展望 - 生活保護事例のこれから [講義・質疑応答]
 社会福祉サービスの今後について、生活保護の事例に基づき考える。
- 第9回：社会福祉の歴史 - 公的扶助小史 [講義・質疑応答]
 社会福祉の歴史について、公的扶助を中心に学ぶ。
- 第10回：社会福祉援助関係 [講義・質疑応答]
 社会福祉における援助関係の原則について理解する。
- 第11回：貧困・不平等問題と社会福祉 [講義・質疑応答]
 貧困・不平等問題における社会福祉の役割について考える。
- 第12回：社会福祉の倫理 [講義・質疑応答]
 社会福祉における倫理的な問題とその考え方について学ぶ。
- 第13回：社会福祉と正義 [講義・質疑応答]
 社会福祉における分配論について哲学的に考える。
- 第14回：社会福祉の国際比較 [講義・質疑応答]
 福祉レジーム論を中心に、福祉国家の類型化と比較のあり方を考える。
- 第15回：社会福祉の課題と展望 [講義・質疑応答]
 これからの社会福祉のあり方について考える。

*課題に対するフィードバックの方法：毎回授業の始めに前回の課題についてフィードバックを行う。

【成績評価方法】
 授業各回の提出物(30%)、中間試験(20%)、期末試験(50%)

【教科書】
 使用しない(毎回資料を配布し、問題を提示しながら講義する)。

【参考書、教材等】
 講義の都度、適宜紹介する。

※ この授業は、9/20(金)が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
72	明星大学	廃棄物学	宮脇 健太郎 理工学部 教授	2	後期	木	15	14:40~16:10	明星大学 日野校	若干名

- 【到達目標】
1. 廃棄物処理技術の基礎から専門知識までを理解できる。(知識・理解)
 2. 各種処理・処分技術について理解し、具体的に説明できる。(知識・理解)
 3. 廃棄物処理分野の総合的な技術体系を理解し、課題の抽出や解決をすることができる。(思考・判断)

【授業の概要】
 本科目では、廃棄物管理全般について、化学・生物学などの視点も交え解説する。一般廃棄物・産業廃棄物は収集・運搬・処理・処分という一連の流れで管理されている。講義では廃棄物管理の基礎的事項から事例まで、特に処理・処分の要素技術について学習し、廃棄物管理に必要な知識と考え方を習得する。

- 【授業内容】
1. 序論 (循環型社会形成と廃棄物処理)
 2. 循環資源化 (3R)
 3. 基本計画, 収集・運搬, 中間処理概要
 4. 焼却 (1) 三成分、燃焼、発熱量
 5. 焼却 (2) 燃焼理論基礎, 熔融技術
 6. 焼却 (3) 焼却残渣, 排ガス処理、排水処理
 7. 総合演習 1 (本講義前半の基礎知識) : 非対面 (LMS)
 8. 最終処分 (埋立) (1) 埋立処分の役割
 9. 最終処分 (2) 処分場の構造、要素技術
 10. 最終処分 (3) 浸出水処理など
 11. 有害廃棄物管理 (処理技術)
 12. 有害物質管理 (法的規制含む)
 13. 放射性廃棄物 (汚染廃棄物含む)
 14. 廃棄物管理に関する演習
 15. 総合演習 2 (本講義後半の知識) : 非対面 (LMS)

【成績評価方法】

総合演習 1・2（中間試験・期末試験相当）70%、レポート 25%、授業内演習 5%の割合にて合計点数 100 点で評価する。

【教科書】

LMS で授業用資料を配付する。

【参考書、教材等】

参考図書：ごみ問題の総合的理解のために／松藤敏彦著（技報堂出版）、リサイクル・適正処分のための廃棄物工学の基礎知識／田中信壽編著（技報堂出版）、環境安全な廃棄物埋立処分場の建設と管理／田中信壽著（技報堂出版）、ごみ焼却技術絵とき基本用語／タクマ技術研究会編（オーム社） その他の参考書についても適宜紹介する。

※ この授業は、9/12（木）が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
73	明星大学	天文学 1	坪井 昌人 理工学部 常勤教授	2	後期	木	15	12:55～14:25	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

1. 天体観測の手法を学びし、どのように観測が行われてきたかを理解する。
2. さまざまな天体の構造や各種天体現象を決めている基本的な物理について理解を深める。
3. 天体や天体現象に関する基本的な事象について、自ら考え、必要な計算を行ってみる。

【授業の概要】

最新の天体観測を含む、観測技術からどのように宇宙の理解が進んできたかを、最近の観測データを示しながら、学ぶ（授業スケジュールは目安であり、適宜変更することもある）。授業の中では、天体や天体現象を物理の基本にもとって理解することを試みる。この授業では特に惑星から恒星までに焦点を当てる。

【授業内容】

1. 地球-月系
2. 地球型惑星と木星型惑星
3. 天王星型惑星、準惑星と小惑星、彗星、太陽圏
4. 古代人の宇宙観：太古から地球の発見まで、天動説
5. コペルニクスの地動説、ティコ ブラーへの天体観測、ケプラーの惑星運動の法則の発見、ガリレオ ガリレイによる天体物理学の開始
6. ニュートンの運動方程式と万有引力の法則、ニュートンの力学の大成果：海王星の予言と発見、ハーシェル銀河系の構造の研究、恒星までの距離の測定
7. 分光学の発展、黒体放射、ヘルツシュプルング・ラッセル図、恒星の明るさの表し方、望遠鏡
8. 原子の構造：ボーアの原子モデル、恒星のエネルギー源の探査
9. 恒星内部の核反応と構造
10. 恒星の寿命、恒星の進化、星団の進化
11. 星間分子雲と恒星の誕生現場、自由落下時間とケルビンヘルムホルツ時間、分子雲コアの重力収縮と原始星の誕生
12. おうし座 T 型星とジェット、0 歳主系列星への進化、原始惑星系円盤、星形成の統計的性質
13. 電波天文学の誕生
14. パルサーの発見、パルサーの正体、連星パルサーの発見：重力波の間接的発見
15. X 線の発見、ブラックホールとシュワルツシルト半径、X 線天文学の開始、X 線望遠鏡、X 線観測で発見された天体

【成績評価方法】

毎回、授業終了 10 分前に天体や天体現象に関する基本的な問題を出題し、終了時に回答提出を求める。評価は問題の採点を合計し、総合 90 点以上で S、80 点以上で A、70 点以上で B、60 点以上で C とする。

【教科書】

教科書は指定しない。授業ノートを LMS に公開する。

【参考書、教材等】

※ この授業は、9/12（木）が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
74	明星大学	天文学 2	坪井 昌人 理工学部 常勤教授	2	後期	金	15	9:00～10:30	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

1. 銀河系、銀河の観測手法を理解し、その構造と宇宙の階層構造を学んだ後、宇宙の誕生と進化、宇宙の主な構成物とその変遷、宇宙の構造形成の歴史を学ぶ。
2. それらの理解の基礎となる物理の基本を学ぶ。
3. それらの天体に関する基本的な事象について、自ら考え、必要な計算を行ってみる。

【授業の概要】

はじめに、われわれの銀河系から出発し、銀河、宇宙の階層構造について学ぶ。その後、最新の観測データも交えつつ、宇宙の進化について概観する（授業スケジュールは目安であり、適宜変更することもある）。

【授業内容】

1. 銀河系（天の川銀河）の発見
2. 銀河系中心までの距離、銀河系星間空間の物理
3. 銀河回転
4. 銀河系内水素原子ガスの分布
5. 銀河系内水素原子ガスの分布（続き）、銀河系内水素分子ガスの分布
6. 銀河系内水素分子ガスの分布（続き）、局所銀河群：大小マゼラン雲、マゼラン流

7. 局所銀河群：M3 1、M3 3
8. ハッブルの銀河分類：渦巻銀河、棒渦巻銀河
9. ハッブルの銀河分類：楕円銀河
10. 活動銀河、銀河中心核
11. 銀河団
12. 銀河までの距離の測定
13. オルバースのパラドックス、マイケルソン モーレイの実験、ハッブル - ル・メートルの法則
14. 定常宇宙論 vs ビックバン宇宙論、宇宙の加速膨張
15. 宇宙背景放射

【成績評価方法】

毎回、授業終了 10 分前に天体や天体現象に関する基本的な問題を出題し、終了時に回答提出を求める。評価は問題の採点を合計し、総合 90 点以上で S、80 点以上で A、70 点以上で B、60 点以上で C とする。

【教科書】

教科書は指定しない。授業ノートを LMS に公開する。

【参考書、教材等】

- ※ この授業は、9/13（金）が初回です。
 ※ 上記の内容については変更の可能性があります。
 ※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
75	明星大学	地球環境学	柳川 亜季 理工学部 准教授	2	後期	木	15	16:25～17:55	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

課題発見・解決：持続的社会的実現に向け、具体的な課題を抽出し、その解決策を立案することができる。
 思考・判断：地球環境問題を俯瞰的にとらえることができる。
 知識・理解・表現：地球環境やそれに関わる社会課題に関する理解を深め、課題について説明することができる。

【授業の概要】

授業の前半では地球の歴史や構成要素に関して学び、後半では、地球環境問題について具体的な課題をとりあげる。

【成績評価方法】

講義内で行う演習およびレポートの合計点に対する正答率で評価する（100%）。なお、各レポートの提出期限は都度提示する。期限外の提出は認めない。

【教科書】

なし

【参考書、教材等】

なし

- ※ この授業は、9/12（木）が初回です。
 ※ 上記の内容については変更の可能性があります。
 ※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
76	明星大学	情報社会論	天野 徹 人文学部 教授	2	前期	月	15	14:40～16:10	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

現代社会の特性を情報化・高度情報化という視点の下で、人文社会科学の様々な領域から多角的に考察することを通して、「現実の社会的な問題に向き合うことができる」能力を身につける

【授業の概要】

文系と理系の架橋・社会科学の諸領域と人文科学の諸領域の架橋により、VUCA ワールド・人生 100 年時代を生き抜くことになる現代の若者が自らの力で人生をデザインし、社会貢献と自己実現を結びつけながら、豊かな人生を実現するために必要な社会認識の方法を示すだけでなく、第四次産業革命以前の社会経済システムで経験を積んできた社会人のリカレント教育を目的とする。講義では、ZOOM に加えてメタバースを活用することで、講義時間内での学び合いの人間関係の形成と講義時間外でのバーチャル空間を活用した交流を促し、受講生の間で「学びのコミュニティ」の形成を図っていきたいと考えている。受講にあたっては、wi-fi 接続可能なノートパソコンを持参されたい。

【授業内容】

1. [対面] 高度情報化とグローバル・バリューチェーン・革命—情報技術の発達と普及による世界レベルでの社会経済構造の変革—
2. [対面] 知識社会と情報社会—情報化のプロセスにおける知識社会の展開—
3. [非対面] イノベーションと知財活用—知財マネジメントとオープン・クローズ戦略—
4. [非対面] GAF A とプラットフォーム・レボリューション—パイプラインからプラットフォーム、そしてその次へ—
5. [非対面] ビジネスモデル・イノベーション—高度情報化の進展によるビジネスの本質的変化—
6. [対面] IoT とクラウドコンピューティング—クラウド×エッジによるサイバーフィジカルの可能性とは—
7. [対面] AI とビッグデータが市場と企業、労働の未来を変える—金融資本主義からデータ資本主義へ—
8. [非対面] ビッグデータとサーベイ—ビッグデータ時代に求められるサーベイの革命—
9. [非対面] 文理融合とリベラルアーツ—「ビッグデータ+AI の時代」におけるリベラルアーツの重要性—
10. [対面] 情報社会学とデータサイエンス—データドリブン時代における情報社会学の役割—
11. [対面] 情報社会学と社会デザイン論—文系センスによる社会デザインとシステム構築・社会実装とは—

12. [非対面] オープンデータ・ビッグデータとAPI 経済—プロシューマーやシビック・テックによる社会問題の解決に向けて—
13. [非対面] VUCA ワールドとアジャイル開発—人生 100 年時代に求められるリカレント教育とラーニングアジリティ—
14. [対面] リベラルアーツと Society5.0 で実現する人間中心の社会—高度情報社会における豊かな人間性の実現に向けて—
15. まとめ

【成績評価方法】

授業への参加態度・講義中に出題する課題の評価を 50%、定期試験の評価 50 を%割合で加算評価する。

【教科書】

天野徹著『21 世紀型スキルとしての情報社会学』 春風社 2022 年 3080 円 ISBN-13 : 978-4861107818

【参考書、教材等】

それぞれの単元の参考資料は、講義内で紹介します。

※ この授業は、4/8 (月) が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
77	明星大学	地域情報論	天野 徹 人文学部 教授	2	後期	月	15	14:40~16:10	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

身近で具体的な地域社会の直面する問題について、情報化・高度情報化という視点から、多角的に考察する力を身につける。情報環境を活用し様々な他者と協働しながら解決している事例を学ぶことで、「多様な他者と協力して、問題解決に当たることができる」能力を身につける。

【授業の概要】

高度情報化の進展が、人々の価値観や意識だけでなく、地域社会や市民活動、政治・行政の在り方を大きく変えてきたことについて学んだ上で、新しい市民活動や行政 DX について検討することを通して、学生たちが地域社会の未来を構想でき、具体的な行動を起こしていけるようになることを目指す。講義では、ZOOM に加えてメタバースを活用することで、講義時間内での学び合いの人間関係の形成と講義時間外でのバーチャル空間を活用した交流を促し、受講生の間で「学びのコミュニティ」の形成を図っていききたいと考えている。受講にあたっては、wi-fi 接続可能なノートパソコンを持参されたい。

【授業内容】

1. [対面] 情報化と私たちの暮らし(1)
2. [対面] 情報化と私たちの暮らし(2)
3. [非対面] デジタルネイティブ・デジタルチルドレン(1)
4. [非対面] デジタルネイティブ・デジタルチルドレン(2)
5. [対面] 情報化と地域社会の変化(1)
6. [対面] 情報化と地域社会の変化(2)
7. [非対面] 情報化と市民活動(1)
8. [非対面] 情報化と市民活動(2)
9. [対面] 情報化と地方自治の変化
10. [対面] オープンデータ・オープンガバメント
11. [非対面] シビックテック：市民・企業による問題解決の変化(1)
12. [非対面] シビックテック：市民・企業による問題解決の変化(2)
13. [対面] デジタル田園都市国家構想：新しい公共と地方創生(1)
14. [対面] デジタル田園都市国家構想：新しい公共と地方創生(2)
15. まとめ

【成績評価方法】

講義への参加とリアクションペーパーの提出をもって、出席としてカウントします。単位取得のためには、2/3 以上の出席が必要です。授業への参加態度・講義中に出題する課題の評価を 50%、定期試験の評価 50 を%割合で加算して評価する。

【教科書】

購入が必要なテキストは、特にありません。

【参考書、教材等】

参考図書、web ページについては、講義内で紹介します。

※ この授業は、9/16 (月) が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
78	明星大学	社会政策 1	佐野 浩一郎 経済学部 准教授	2	前期	水	15	9:00~10:30	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

安定した生活をおくれない人を支援するための制度にはどのようなものがあるのか知ることが目的である。

【授業の概要】

社会には失業、病気、老齢などの理由で生活を維持できなくなる人々がいる。そのような社会問題に対して政府に何ができるのか、何をなすべきなのか考えるのが社会政策という学問である。この科目では、社会政策に関する現実と制度を概観する。

【授業内容】

1. ガイダンス、講義の進め方など。
2. 保険とは何か
3. 医療保険（1）
4. 医療保険（2）
5. 生活保護と社会福祉制度（1）
6. 生活保護と社会福祉制度（2）
7. 介護保険（1）
8. 介護保険（2）
9. 年金（1）
10. 年金（2）
11. 雇用保険
12. 労働者災害補償制度（1）
13. 労働者災害補償制度（2）
14. 社会保険と民間保険
15. まとめ

【成績評価方法】

毎回講義中に実施する小テストで評価する。

【教科書】

はじめての社会保障 第21版 棕野美智子 田中耕太郎 有斐閣

【参考書、教材等】

なし

※ この授業は、4/10（水）が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
79	明星大学	社会政策2	佐野 浩一郎 経済学部 准教授	2	後期	水	15	9:00~10:30	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

医療に関する問題を経済学的に理解、分析できるようになる。

【授業の概要】

社会政策とは、困難な状況にいる人々を支えるための政策である。具体的には医療、介護、所得保障、年金や労働問題に関する政策が主な対象となる。この講義では、その中でも特に医療に注目し、経済学的な分析、思考方法を解説する。

【授業内容】

1. ガイダンス 医療制度の枠組みと政策課題
2. 情報の非対称性と医療
3. 情報の非対称性と市場の失敗（1）
4. 情報の非対称性と市場の失敗（2）
5. エージェンシー問題と医療
6. 供給者誘発需要仮説
7. 医療サービスの代替補完関係
8. 先送り問題
9. 公的医療保険（1）
10. 公的医療保険（2）
11. 保険償還の仕組みと経済的誘因
12. 医療制度の公平性と効率性
13. 医師不足問題
14. 高齢化問題
15. まとめ

【成績評価方法】

毎回講義中に実施する小テストによって評価する。

【教科書】

なし

【参考書、教材等】

医療の経済学（第4版）河口洋行 日本評論社

※ この授業は、9/11（水）が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
80	明星大学	都市経済学1	小林 健太郎 経済学部 准教授	2	前期	金	15	14:40~16:10	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

集積の経済・規模の経済などの基本的な用語や性質が理解できる。
 代表的な立地選択の経済モデルを正確に理解・表現できる。
 都市規模決定の基本的な考え方を理解・表現できる。

【授業の概要】

この講義の内容は、①家計や企業の移動を、居住地選択や立地戦略の問題として捉え、理論的に理解していくことと、②それらの行動がどのように都市の形成や都市規模の決定に繋がるのかを理解していくことが中心的な話題となる。都市が形成されるためには、まず、人々が集まらなければならない。家計や企業の移動は、なぜそれらの主体がそこに移動しようとするのかを説明するものである。次に一旦家計や企業が集まり始めると、どの程度集まるのか？集まり方に特定の性質があるのか？という点が問題となる。これが都市の形成・都市規模の決定の問題である。この講義では、これらの内容について、主にミクロ経済学の知識を用いて理解していく。

【授業内容】

1. 日本の地域と都市 地域区分と都市経済学
2. 産業の立地 地域の産業構造と代表的経済モデル
3. 地域間人口移動と賃金モデル
4. 集積の経済と都市化
5. 地価と地代に関する経済モデル
6. 都市の土地利用と単一中心都市モデル
7. 都市システムと最適都市規模
8. 地域間交易の理論
9. ウェーバーの工業立地論
10. ホテリングモデル
11. 空間経済学の基礎と独占的競争理論
12. 地方公共財の最適供給
13. 租税競争と地方公共財の供給
14. 定期試験① 論述試験
15. 定期試験② 択一式試験

【成績評価方法】

原則として14回目及び15回目の試験結果の合計をもとに評価をおこなう。原則として試験の結果を用いて評価するが、授業期間中に出席する2回のレポートを評価に加味することがある。

【教科書】

都市・地域経済学への招待状[新版]／佐藤泰裕 著（有斐閣ストゥディア）／2000 円＋税

【参考書、教材等】

地域経済学入門[第3版]／山田浩之・徳岡一幸[編]（有斐閣コンパクト）／2500 円＋税
 新エコノミクス 都市経済学／山崎福寿・浅田義久 著（日本評論社）／2300 円＋税
 都市と地域の経済学（新版）／黒田達朗・田淵隆俊・中村良平 著（有斐閣ブックス）／2500 円＋税

- ※ この授業は、4/12（金）が初回です。
- ※ 上記の内容については変更の可能性があります。
- ※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
81	明星大学	都市経済学2	小林 健太郎 経済学部 准教授	2	後期	金	15	14:40～16:10	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

交通混雑の問題を外部不経済の問題として正確に理解し、その表現ができる。
 公共交通機関の性質について理解し、料金設定や寡占化の問題について適切な表現ができる。
 交通費用やその他の要素が、都市内の居住者・企業の立地に影響を与えることを理解し、都市形成にどのような影響を与える可能性があるか表現できる。

【授業の概要】

この講義の講義期間前半部分では、主に交通における需要と供給の捉え方について学習を進め、この概念を用いた交通の分析をおこなう。また、都市交通の問題では、道路渋滞の社会的な費用や鉄道産業にみられる費用逓減産業の特性について、ミクロ経済学的な観点から検討する。特に費用逓減産業を考えた場合、経済学的に、競争条件や価格形成に問題が発生することがある。このような市場構造で、都市交通や公共交通機関の費用構造をとらえた場合に、補助金政策や規制政策など、どのような政策が実行可能、あるいは適正なものか検討していく。

【授業内容】

1. 都市における交通と交通の捉え方
2. 交通需要の特徴ととらえ方
3. 交通供給の特徴ととらえ方
4. 交通インフラと費用構造
5. 交通における統計データと分析
6. 道路等交通インフラと公共財
7. 高速道路の機能と維持管理問題
8. 公共交通サービス分析の基礎
9. 交通サービスの産業的な特徴と分析の基礎
10. 費用逓減産業における価格体系と規制
11. 費用逓減産業とコンテストダブルマーケット
12. 地域交通に関する分析
13. 物流に関する基本的な分析
14. 期末試験① 論述試験
15. 期末試験② 択一試験

【成績評価方法】

原則として14回目及び15回目の試験結果の合計をもとに評価をおこなう。原則として試験の結果を用いて評価するが、授業期間中に出席する2回のレポートを評価に加味することがある。

【教科書】

都市・地域経済学への招待状[新版]／佐藤泰裕 著（有斐閣ストゥディア）／2000円＋税

【参考書、教材等】

地域経済学入門[第3版]／山田浩之・徳岡一幸[編]（有斐閣コンパクト）／2500円＋税

新エコノミクス 都市経済学／山崎福寿・浅田義久 著（日本評論社）／2300円＋税

都市と地域の経済学（新版）／黒田達朗・田淵隆俊・中村良平 著（有斐閣ブックス）／2500円＋税

※ この授業は、9/13（金）が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム＞授業・試験について＞シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
82	明星大学	オブジェクト指向言語	丸山 一貴 情報学部 教授	2	後期	金	15	12:55～14:25	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

Javaを用いて、オブジェクト指向言語の持つ機能と特徴を、実習中心に身に着ける。データ構造の設計及びライブラリ化を通して、抽象データ型とライブラリの構成法を学ぶ。簡易なGUIプログラムの作成を通して、既存のライブラリを活用することを学ぶ。受講者同士でチームを構成し、設計から開発、デバッグまでの作業を多人数で行うことを体験して、より大規模なプログラム開発に向けた感覚を養う。

【授業の概要】

本科目では実践的なオブジェクト指向プログラミングを学習するため、プログラミング演習3で使用するPythonではなく、Javaによりオブジェクト指向を学ぶ。授業の最初ではJavaの導入を行うが、プログラミング演習2で学んだCと、プログラミング演習3で学んだオブジェクト指向の基礎に関する理解を前提とするので、これらの理解度に不安がある場合は開講までに各自で復習すること。レポート課題をほぼ毎回出題するので、その週の学習内容を復習しながら取り組み、提出すること。特に、第11回以降のプロジェクト課題については、チームごとに作成する資料とは別に個人レポートを課して、各自の理解度と貢献度を評価する。

【授業内容】

1. Java:統合開発環境の導入、変数と型
2. Java:制御構造、配列
3. Java:文字列、ファイル入出力と例外
4. 代表的なデータ構造 (1)
5. 機能のライブラリ化
6. 代表的なデータ構造 (2)
7. GUIプログラミング、GUI作成実習 (1)
8. GUI作成実習 (2)
9. 図形描画、インタフェース、ポリモルフィズム
10. ネットワーク、スレッド
11. プロジェクト (1) 課題設定
12. プロジェクト (2) 実装
13. プロジェクト (3) 中間報告
14. プロジェクト (4) テスト及びデバッグ
15. プロジェクト (5) 成果発表

【成績評価方法】

本授業の到達目標に基づき、オブジェクト指向言語の持つ機能を適切に利用したプログラム開発ができること、多人数での開発経験を通じて得られた気づきや改善点を具体的に報告できることを評価基準とする。レポート(60%)、プロジェクト課題と個人レポート(30%)、質問等による講義へ取り組む姿勢(10%)により評価する。

【教科書】

特になし。

【参考書、教材等】

参考図書:やさしいJava 第7版/高橋麻奈(ソフトバンククリエイティブ)

参考図書:Java言語プログラミングレッスン第3版 上・下/結城浩(ソフトバンククリエイティブ)

※ この授業は、9/13（金）が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム＞授業・試験について＞シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
83	明星大学	自然言語処理	横野 光 情報学部 准教授	2	後期	金	15	10:45～12:15	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

自然言語処理で用いられているさまざまな基礎技術を習得する。人工言語とは異なる自然言語の特徴を理解し、処理の観点からどのような問題があり、それがどのように解決され、どんな問題が残されているかを理解する。

【授業の概要】

日本語や英語などの自然言語を計算機で扱うための理論と技術について、形態素解析や構文解析といった基礎から、実際に社会で用いられているアプリケーションである対話システム、機械翻訳などの応用までを学ぶ。また、自然言語処理の技術を身につけることを目標として言語処理ツールやライブラリを

用いた実装による実習を行う。この実習を通して、テキストからどのような情報を獲得することができるのか、我々が日常的に用いている自然言語を計算機で処理する際にどのような問題が生じるのかなどを理解する。

【授業内容】

1. 自然言語処理の概要と歴史
2. 文字列・テキスト処理の基礎
3. 言語リソースの構築(1)
4. 言語リソースの構築(2)
5. 語の意味の扱い
6. ニューラル自然言語処理の基礎
7. 機械翻訳
8. Attention 機構に基づくニューラルネットワークモデル
9. 系列の解析
10. 構文の解析
11. 文の意味の解析
12. 文脈の解析
13. 情報検索
14. 質問応答
15. 対話システム

【成績評価方法】

授業の最終回に出題するレポート課題(40%)、それ以外の授業で出題する小テストまたはレポート課題(60%)。

【教科書】

黒橋禎夫、「自然言語処理 三訂版」、放送大学教育振興会/NHK出版、2023年、2400円、ISBN:9784595324154

【参考書、教材等】

特になし。

※ この授業は、9/13(金)が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
84	明星大学	データサイエンス リテラシー	河原 弘幸 データサイエンス学環 特任准教授	2	前期 後期	火	15	12:55~14:25	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

- (1) データ活用の事例を多く知り、データ活用の必要性と重要性とを理解し説明できる。
- (2) データを正しく取り扱い、統計的に正しく分析し、AIを適切に活用する基礎を身に付ける。
- (3) データを活用する上で留意すべき、倫理的・法的・社会的課題を理解し説明できる。

これらにより、学科での専門的な学びや、自らの研究の中で、データの利活用を適切に行うための基盤を築く。

【授業の概要】

人工知能(AI)の社会での利活用が急速に広まる中、AIを適切に機能させるために大量のデータが必要になっています。また、さまざまな局面での意思決定におけるエビデンスに利活用されるなど、データの重要性は益々高まっています。この科目では、まず私たちの日常生活など身近なところでどのようにAIやデータが利活用されているか、また必要なデータがどのように生成、収集、整理されているかについて学びます。そして、AIやデータを活用するために、データを読み、説明する手法や、基礎概念を学びます。加えて、データやAIをはじめとする新しい科学技術を取り入れていく上で重要となる、倫理的、法的、社会的課題についても学びます。

【授業内容】

1. データサイエンスリテラシー(DSL)の目的とその受け方を把握しよう
事後学修：ワークブックの「はじめに」と「この科目の仕組み」を理解し、さらに目次や「学習環境について」を読んで、学習環境を整える。
2. 社会で起きている変化
事前学修：ワークブックの<Q1A>と<Q1B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q1C>を完了しなかった人はそれを作成する。
3. AI時代の到来
事前学修：ワークブックの<Q2A>と<Q2B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q2C>を完了しなかった人はそれを作成する。
4. データを守るための留意事項
事前学修：ワークブックの<Q3A>と<Q3B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q3C>を完了しなかった人はそれを作成する。
5. データ活用と必要なスキル
事前学修：ワークブックの<Q4A>と<Q4B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q4C>を完了しなかった人はそれを作成する。
6. 第1回 作品展
事前学修：作品展の準備
事後学修：作品展の振り返り
7. データの準備とデータのタイプ
事前学修：ワークブックの<Q5A>と<Q5B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q5C>を完了しなかった人はそれを作成する。
8. アンケートデータを要約しよう
事前学修：ワークブックの<Q6A>と<Q6B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q6C>を完了しなかった人はそれを作成する。

9. データを比較して仮説を考えよう
 事前学修：ワークブックの<Q7A>と<Q7B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
 事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q7C>を完了しなかった人はそれを作成する。
10. 第2回 作品展
 事前学修：作品展の準備
 事後学修：作品展の振り返り
11. データを代表値で要約する
 事前学修：ワークブックの<Q8A>と<Q8B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
 事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q8C>を完了しなかった人はそれを作成する。
12. 量的変数をばらつきで要約する
 事前学修：ワークブックの<Q9A>と<Q9B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
 事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q9C>を完了しなかった人はそれを作成する。
13. 平均と標準偏差を活用しよう
 事前学修：ワークブックの<Q10A>と<Q10B>に対し、自分なりの解答を書き出しておく。
 事後学修：該当回で解いた他者の具体的な問いの振り返りと、授業時間内で<Q10C>を完了しなかった人はそれを作成する。
14. 第3回 作品展
 事前学修：作品展の準備
 事後学修：作品展の振り返り
15. DSL で学んだこととつくったものを振り返ろう
 事前学修：3回の作品展の振り返り

【成績評価方法】

本授業の到達目標を達成するための過程を評価します。
 そのため、授業時間内のみならず事前事後学修を含めた活動の実行状況が十分であるかどうかを評価基準とします。
 各回での問いに対する回答や、他者の作った問いに対する振り返りといった「書き出し」を加点方式で評価します。
 間違いや失敗に対する減点はありません。

【購入必須】

下記の(1)と、受講期間によって(2)か(3)の計2冊を使用します。

(1) 教科書：『はじめて学ぶ 数理・データサイエンス・AI』FOM出版

(2) 2024年度前期用ワークブック：『根拠をつくるワークブック Creating Evidence 24SPR』mir.ai terrace

(3) 2024年度後期用ワークブック：『根拠をつくるワークブック Creating Evidence 24AUT』mir.ai terrace

※ (1)は各種書店にて、(2)(3)は紀伊國屋書店明星大学店 または Amazon または 楽天ブックス で、ご購入ください。

※ (2)(3)は前期履修者と後期履修者で異なります。前期履修者は書名に「24SPR」が、後期履修者は「24AUT」と入っているものをご用意ください。

【準備必須】

キーボードを使って最新版の Slack / Google Chrome が操作可能なノート型パーソナルコンピュータ

※ この授業は、前期は4/9(火)、後期は9/10(火)が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム>授業・試験について>シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
85	明星大学	線型代数学1	小暮 淳 データサイエンス学環 教授	2	前期	水	15	9:00~10:30	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

1. 線型空間の概念を理解し、具体的なベクトル・行列の計算や掃出し法等の応用計算ができる。
2. 線型代数が自然科学の他分野でどのように使われ役立っているかを理解する。

【授業の概要】

線型代数学は、情報・理工系の多くの分野において登場する数学の基礎となる体系である。幾何学的なベクトルやベクトルの写像等を拡張した線型空間の概念を理解することを目標とする。まずは低次元の場合の具体的なベクトル・行列計算等を行うことができ、更には高次元の場合も扱い、連立一次方程式を解く等の応用にも使うことができるようになることを目指す。はじめは実数上の2、3次元におけるベクトルや行列の幾何学的意味を考えながら、その計算に慣れ親しむ。その後、n次元や複素数に拡張し、掃出し法等の応用も修得し、抽象線型空間の理解に至る。

【授業内容】

1. 幾何ベクトル
2. 長さの内積
3. 直線と平面
4. 線型写像と行列
5. 行列の演算
6. 行列式
7. 逆行列、固有値と対角化
8. 直交行列と対称行列
9. n次元線型空間
10. 複素ベクトルのエルミート内積
11. 連立一次方程式と掃出し法
12. 基本変形と行列のランク
13. 行列式と余因子行列
14. ファンデルモンド行列式
15. クラメル公式

【成績評価方法】

小テスト・課題レポート・学期末試験等における理解度・独創性・積極性を見て評価する。

【教科書】

基幹講座数学「線型代数」、基幹講座数学編集委員会編、木村俊一著、東京図書、2500円＋税、ISBN978-4-489-02248-7

【参考書、教材等】

特になし。

※ この授業は、4/10（水）が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム＞授業・試験について＞シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
86	明星大学	線型代数学2	小暮 淳 データサイエンス学環 教授	2	後期	水	15	9:00～10:30	明星大学 日野校	若干名

【到達目標】

1. 抽象線型空間の概念を理解し、具体的なベクトル・行列・基底取替等の計算を行うことができ、自然科学他分野での応用ができる基礎を身につける。
2. 線型代数が自然科学の他分野でどのように使われ役立っているかを理解する。

【授業の概要】

「線型代数学1」に引続き、抽象線型空間の性質を理解し、使いこなすことができるようになることを目標とする。抽象線型空間においては、基底を取ることにより座標を導入し代数的手法を用いることができる。これにより情報・理工系の多くの分野に現れる線型空間の対象を扱い、専門的な研究を行うことができるようになることを目指す。抽象線型空間をその満たすべき性質により定義することから始めて、その基底を取ることにより座標を定めることができ、座標によって代数的手法を用いることができるようになることを見る。一般の体や高次元の場合の線型空間において成り立つ様々な性質を理解し、かつ具体的な計算による応用も学ぶ。

【授業内容】

1. 抽象線型空間
2. 基底の取替、部分空間
3. 線型空間の直和
4. 双対空間
5. 固有値と対角化
6. ケイリー・ハミルトンの定理
7. エルミート行列とユニタリ行列
8. ユニタリ行列による対角化
9. 実計量線型空間
10. グラム・シュミットの直交化法
11. 直交補空間と直交射影
12. 複素計量線型空間
13. ジョルダン標準形
14. ジョルダン標準形の一意性
15. ジョルダン標準形の応用

【成績評価方法】

小テスト・課題レポート・学期末試験等における理解度・独創性・積極性を見て評価する。

【教科書】

基幹講座数学「線型代数」、基幹講座数学編集委員会編、木村俊一著、東京図書、2500円＋税、ISBN978-4-489-02248-7

【参考書、教材等】

特になし。

※ この授業は、9/11（水）が初回です。

※ 上記の内容については変更の可能性があります。

※ 出願にあたっては、明星大学ウェブサイト『ホーム＞授業・試験について＞シラバス』で最新版の内容をご確認ください。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
87	工学院大学	都市計画	野澤 康 建築学部 教授	2	前期	金	15	12:30～14:00	工学院大学 八王子キャンパス	5

【到達目標】

- (1) 都市計画とはどのようなものであるか、その役割や枠組み、歴史的背景を理解している。
- (2) 身近な都市の問題点や良い点を的確に捉えて、指摘することができる。
- (3) 具体的な都市の計画図書を読み解くことに必要な基礎知識を身につけている。

【授業の概要】

この授業のねらいは、

- ・都市とは何かに目を向け、その上で都市計画とはどのようなものなのか、その概要や基本的な枠組みを理解すること。
- ・建築を学ぶにあたって、建築そのものの敷地だけではなく、その周辺環境に広く目を向けることの重要性を知ること。

の2点である。
授業は概ね指定の教科書および追加資料を用いて進める。

【授業内容】

1. この講義を通して何を学ぶか、何のために「都市計画」を学ぶ必要があるのか、他の講義科目・設計演習科目とどのような関係にあるか等を解説する。
また、普段抱いている都市に対する疑問などを明確にして、この後の授業への問題意識を醸成する。
2. 都市とは？都市計画とは？を考える
：都市の理解、都市計画の意義・実現手法、人口集中地区
3. 都市計画の近代史1
：田園都市、近隣住区論、K. リンチの「都市のイメージ」（都市の把握）等
4. 都市計画の近代史2
：近代都市計画の発祥と日本での発展
都市計画法の体系
：都市計画法、マスタープラン
5. 都市形成プロセスと都市の把握
：都市の形成、ニュータウン
6. 土地利用計画と建築物のコントロール
：区域区分、地域地区、密度・用途・形態、形態規制
7. 地区スケールの計画・ルール
：地区計画、建築協定 等
【重要】理解度確認ワークシート①の作成
：第1回～第7回の講義内容の復習を行いながら、ワークシート①を完成させる。
8. 都市の再生と交通システム1
：街路空間・街路網、歩車分離、歩車共存、商業地区活性化と交通
9. 都市の再生と交通システム2
：総合的な交通政策、公共交通、駅前広場、自転車利用、コンパクトシティ
10. 都市と自然
：公園・緑地・オープンスペースの意義、都市公園、緑の基本計画、様々な公園等、生産緑地
11. 市街地開発事業と都市再生
：土地区画整理事業、市街地再開発事業、開発許可、ミニ開発
12. 都市と防災
：災害、地域危険度、不燃領域率、ハザード、災害から守る、犯罪から守る
【重要】理解度確認ワークシート②の作成
：第8回～第12回の講義の内容の復習を行う。
13. 都市の景観まちづくり
：都市デザイン、景観の領域性、景観法
14. 参加・協働のまちづくり
：計画プロセスと参加、ワークショップ、まちづくりの主体、コミュニケーション
講義全体のまとめにかえて
：都市再生の課題、居住環境の性能・水準（これからの都市・市街地像を考えるために）
15. ここまでの学習成果の振り返り、全体の復習
改めて、「都市」「都市計画」とはどのようなものかを考え直す。
具体的な都市を見ながら、学んだ内容を振り返るとともに、各自がそれぞれ選んだ都市で振り返られるようにガイドする。

【成績評価方法】

毎回の授業に関するアンケート・質問の提出状況 20%、授業中に実施する理解度確認ワークシート 30%（15%×2回）、学期末試験（教室で実施予定）の得点 50%によって成績を評価する。学期末試験は、授業期間外の「合同定期試験」として実施する。
A+～F の6段階評価でD以上の者を合格とする。

【教科書】

「初めて学ぶ都市計画 第三版」 饗庭伸・鈴木伸治・野澤康 編著（市ヶ谷出版社）
【重要】今年度は2024年3月出版の新版の教科書を使用するので、必ず**【第三版】**を入手して、授業に出席すること。

【参考書、教材等】

「都市計画第3版」川上光彦著（森北出版）
「初学者のための都市工学入門」高見沢実著（鹿島出版会）
「市町村の都市計画1～3」日笠 端著（共立出版）
「市民参加のまちづくり」渡辺俊一編著（学芸出版社） 他、講義中に随時紹介する。
また、これらの書店や図書館で入手・閲覧可能な書籍に加えて、自治体発行の各種資料や新聞も参考としながら、学習してほしい。

※ この授業は、4/12（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
88	工学院大学	機構学及び機械要素	堀内 邦雄 先進工学部 准教授	2	前期	金	15	14:10～15:40	工学院大学 八王子キャンパス	5

【到達目標】

自然科学に関する基礎知識や概念を工学問題に説明することができる。

1. 機械設計に必要な機械要素を概念的に理解できる。
2. 機械設計に必要な機構学を概念的に理解できる。

【授業の概要】

機械の設計に欠かせない機構と機械要素などについてその基礎概念を学ぶ。

(1)機械の仕組みについて理解する、(2)機械要素の役割と特徴を理解する、(3) 機構の自由度を理解する、(4)平面機構の運動および静力学計算法を理解する、(5) リンク機構、歯車装置、変速機構およびカム装置の概要を理解する、(6) 機械装置の性能、機能の計測法とデータ解析方法を理解する。機械の設計・開発に必要な機械要素・機構学の基礎知識を学ぶことができる。

【授業内容】

1. [機械とは何か] 外部からのエネルギー供給で仕事をする機械の仕組みを理解し、設計思想や製作方法について学ぶ。
2. [単位系] 単位系と次元解析など。
3. [締結用機械要素] ねじの種類、ねじの表し方、ねじのはめあい、ねじの誤差。
4. [軸、軸受、継手] 軸から回転体あるいは回転体から軸に動力を伝えるための方法とキーの種類や強度計算。
5. [流体部品] 弁とコックの種類と長短所、シール方法。
6. [剛体の自由度] 平面機構の自由度、空間機構の自由度。
7. [リンク機構の運動伝達] リンク機構の種類と運動伝達、速度解析法。
8. [運動機構の基礎知識] 機構解析に必要な数学、物理学。
9. [機構の静力学] 機構の静力学計算法。
10. [歯車と歯車装置] インボリュート歯車と歯車装置の回転数比の計算法。
11. [変速機構] 変速機の機構と役割。
12. [カム機構] カム機構と応用例。
13. [計測] 圧力、温度、振動等の計測法。
14. 学習成果の確認（授業内試験）
15. 「データ解析」計測データの解析方法

【成績評価方法】

試験（80点満点）を実施する。試験においては復習でまとめた自作の概要集（A4 4枚以内/裏表使用可）の参照を認める。試験中に概要集の内容を20点満点で評価し、試験との合計点60点以上を合格とし単位を与える。ただし、4回以上欠席の学生は履修放棄とみなし成績評価は行わない。

【教科書】

指定する教科書なし。毎回資料をアップロードする。

【参考書、教材等】

指定する参考書なし。

機構学、機械要素に関しては多数の参考書が出版されています。自分のニーズやレベルにあった参考書を見つけるとよい。

※ この授業は、4/12（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
89	工学院大学	電子デバイス	相川 慎也 工学部 准教授	2	後期	水	15	12:30～14:00	工学院大学 八王子キャンパス	5

【到達目標】

- ・エネルギーバンド図を適切に描くことができ、バンド図を用いて電子（正孔）の挙動を説明することができる
- ・真性半導体および不純物半導体（n型・p型）に関する定性的または定量的説明ができる
- ・バンド図を用いたpn接合ダイオードに関する説明ができる。また、主要ファクターの導出ができる
- ・MOSFETにおけるキャリア輸送に関する定性的説明ができる。また、主要ファクターの導出ができる

【授業の概要】

電子デバイスはディスクリートな素子としてよりは、むしろ集積回路を構成して用いられることが多い。集積回路を扱うには、個々のデバイスの振る舞いをしっかり理解しておくことが必要である。

本講義では、ダイオードやトランジスタなどの非線形素子の概念を持ち、その機能を定性的・定量的に説明できることをねらいとする。電子物性で学んだ固体中での電子の挙動をベースに、電子デバイスを形成するための半導体物理と電子デバイスの動作原理・設計指針に関する考え方を修得する。

なお、状況に応じて実施方式や内容の一部を変更することがある。

【授業内容】

1. 【バンド理論の概略】
半導体素子の動作原理を説明するための基本的な物理現象として、固体中の電子のエネルギー値が離散的かつ帯状になること、および正孔の概念、金属・半導体・絶縁体の違いを理解する。
2. 【半導体中のキャリア濃度】
半導体素子の動作原理を説明するための基本的な物理現象として、半導体中のキャリア濃度が何によって決められるか、不純物の添加量と抵抗率の関係、キャリア濃度の温度依存性を理解する。
3. 【半導体中の電気伝導】
半導体素子の動作原理を説明するための基本的な物理現象として、電界印加時の電子の運動、キャリアの拡散現象を理解する。
4. 【pn接合のエネルギー帯図】
半導体が出払領域にあり、ドナーやアクセプターがすべてイオン化している条件を前提とし、pn接合面に空乏層が形成される理由、拡散電位が電圧計で測定できない理由を理解する。
5. 【pn接合ダイオードの電流-電圧特性】
半導体が出払領域にあり、ドナーやアクセプターがすべてイオン化している条件を前提とし、順方向電流が電圧に対して指数関数的に増加する理由、逆方向電流が電圧に対して一定となる理由を理解する。
6. 【pn接合ダイオードの空乏層容量】
半導体が出払領域にあり、ドナーやアクセプターがすべてイオン化している条件を前提とし、静電容量と空乏層中の電荷量の関係、印加電圧と静電容量の関係を理解する。
7. 【金属-半導体接触のエネルギー帯図と電流-電圧特性】
金属と半導体を接触させた界面において、どのような場合に空乏層が形成されるか、pn接合とは何が異なるかを理解する。
8. 【ショットキー接触・オーミック接触】
ショットキー接触およびオーミック接触の違いを定性的かつ定量的に理解する。

9. 【バイポーラトランジスタの動作原理】
pn 接合ダイオードで学んだダイオード特性とバイポーラトランジスタの特性の関連性を理解し、どのようにして電力が増幅されるかを学ぶ。
10. 【バイポーラトランジスタにおけるキャリアの挙動】
pn 接合ダイオードで学んだダイオードにおけるキャリアの挙動とバイポーラトランジスタにおけるその違いを理解する。トランジスタ特性に及ぼすベース領域部分の設計指針を定性的かつ定量的に学ぶ。
11. 【MISFET の基本原理と半導体表面の物理】
キャパシタと MIS ダイオードの類似点と相違点について理解し、MISFET の基本原理を学ぶ。
12. 【MOSFET】
MOSFET の静特性を理解するとともに、バイポーラトランジスタとの類似点・相違点を説明できるようにする。
13. 第 1 回～第 12 回で実施した確認テストのフィードバックを行う。
14. 学期末筆記試験
15. 課題、および学期末筆記試験についてフィードバックする。

【成績評価方法】

原則として、期末試験（70%）、課題（15%）、各回の確認テスト（15%）の結果に基づいて、A+～F の 6 段階で評価する。D 以上を合格とする。期末試験は第 14 回目の授業内で実施する。

ただし、5 回以上欠席した場合は履修放棄とみなし単位認定を行わない。

出席は CoursePower で実施する各回確認テストの提出状況で管理する。

【教科書】

岡岡昭夫・上村喜一「基礎半導体工学」朝倉書店（ISBN-13: 978-4254221381）、定価：本体 3,400 円＋税

【参考書、教材等】

S.M. ジョー／南日康夫・川辺光央・長谷川文夫訳「半導体デバイス（第 2 版）—基礎理論とプロセス技術—」産業図書（ISBN-13: 978-4782855508）、定価：本体 6,600 円＋税

※ この授業は、9/18（水）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
90	工学院大学	オペレーションズ・リサーチ	真鍋 義文 情報学部 教授	2	後期	水	15	15:50～17:20	工学院大学 八王子キャンパス	5

【到達目標】

- ・与えられた条件下での、線形関数で表現できる値の最適化問題を線形計画法で定式化し、解を求めることができる。
- ・サービス過程を待ち行列を用いてモデル化し、解析することができる。
- ・日程計画・輸送計画問題・在庫管理問題・システム信頼性評価問題を解くことができる。

【授業の概要】

意思決定のため、解決すべき問題を数理モデルにより分析し、定量的な判断材料を求める手法を身につけることを目的とする。本講義は第 1 回～第 13 回をハイブリッドで実施する。希望する学生は遠隔（同時双方向）での受講を許可する（事前申請不要）。

【授業内容】

1. オペレーションズ・リサーチとは
オペレーションズ・リサーチの背景、歴史を学習する。
2. グラフ理論
グラフによるモデル化、次数、連結度を学習する。
3. マッチング：
最大マッチングおよび安定マッチングについて学習する。
4. 最大フロー問題：
始点から終点までなるべく多くの要素を送る問題について学習する。
5. 日程計画法：
PERT によるクリティカルパス計算について学習する。
6. 線形計画法その 1：線形計画法とは
線形計画法が対象とする問題、および定式化手法を学習する。
7. 線形計画法その 2：シンプレックス法
線形計画法に対するシンプレックス法による解法を学習する。
8. 線形計画法その 3：Excel による解法、二次計画法
線形計画法を Excel を用いて解く方法、および二次計画法について学習する。
9. 待ち行列理論その 1：M/M/1 システム
待ち行列理論とは何か、および M/M/1 システムについて学習する。
10. 待ち行列理論その 2：M/M/K システム
M/M/K システムの解析について学習する。
11. 在庫管理問題：
在庫管理と最適な発注を求める問題について学習する。
12. システムの信頼性評価：
システムの稼働率・故障率を求める問題について学習する。
13. 階層化意思決定法：主観を数値化することによる合理的意志決定法を学ぶ。
14. 学修到達度の確認（授業内試験）
15. 試験の講評、フィードバックを行う。

【成績評価方法】

- ・定期試験(A)：100点満点の学期末筆記試験を行う。
- ・レポート(B)：1～13回の講義において毎回20点満点で行い、合算する（260点満点）。

評価点=A*9/10+B/26

評価点をもとに、理解度を A+, A, B, C, D, F の Grade で評価する。Grade D 以上を合格とする。

【教科書】

なし

【参考書、教材等】

大村平 著「改訂版 ORのはなし」日科技連出版社

※ この授業は、9/18（水）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
91	工学院大学	デザイン工学	見崎 大悟 工学部 准教授	2	後期	木	15	12:30~14:00	工学院大学 新宿キャンパス	5

【到達目標】

- ・学生はスケッチやプロトタイプを学ぶことで、ビジュアルコミュニケーションの方法を習得できる。
- ・学生はデザインプロジェクトを通じて、創造的な問題解決手法を習得することができる。
- ・学生はデザイン思考の基本的な考え方を習得することができる。
- ・学生はチームでのデザインプロセスの重要性を理解することができる。
- ・学生は人間中心の考え方にもとづいて製品のプロトタイプ的设计・制作および評価ができるようになる。

【授業の概要】

英語のデザインという言葉には、設計、企画、計画、問題解決などいろいろな意味があり、近年、エンジニアもデザインの考え方を理解する必要があると強く言われている。本授業では、学生が工学的な設計手法に加えて、デザインの非専門家がデザインの基本的な考え方を学ぶことができるデザイン思考を身につけることを目的とする。本授業は、講義と演習を繰り返しおこなうことでより深くデザイン思考の考え方を理解する。

【授業内容】

1. デザイン工学 イントロダクション (エンジニアリングとデザインの役割について理解をする)
2. デザイン思考 講義および演習 (共感からはじまるデザイン思考の基本手順およびデザイン思考をもちいたプロジェクトのためのチーム作りについて学ぶ)
3. Empathize 理解と共感 (デザイン思考の最初のプロセスとして、ユーザのニーズを見つけるための観察、インタビュー手法を学ぶ)
4. デザインプロジェクト1発表&評価
5. Define 問題定義 (観察やインタビューの結果から、ユーザのインサイトを獲得する手法を学ぶ)
6. デザインプロジェクト2発表&評価
7. Ideate 創造 (定義された問題の解決方法を拡散・収束の方法をもちいて想造する手法を学ぶ)
8. Prototype プロトタイプ (ラピッドプロトタイピングおよびストーリーテリングの手法を学ぶ)
9. デザインプロジェクト3発表&評価
10. Test テスト (プロトタイプに対してユーザからのフィードバックを得る手法について学ぶ)
11. 最終デザインプロジェクト 第一週 (デザイン思考をもちいて機械システムに関連する、製品・サービスに関する設計課題に取り組む) (共感・問題定義・創造)
12. 最終デザインプロジェクト 第二週 (デザイン思考をもちいて機械システムに関連する、製品・サービスに関する設計課題に取り組む) (プロトタイピング・テストおよびデザイン思考プロセスの繰り返し)
13. 最終デザインプロジェクト 第三週 (デザイン思考をもちいて機械システムに関連する、製品・サービスに関する設計課題に取り組む) (デザイン案の発表および教員・受講者からのフィードバック)
14. 最終デザインプロジェクト発表会
15. ふりかえり

【成績評価方法】

成績評価は、授業中のデザインプロジェクト40%、ログブック40%、宿題を20%とし、それらの成績をもとに理解度を A+, A, B, C, D, F の Grade で評価する。Grade D 以上を合格とする。

「機械システム基礎工学プログラム」の学習・教育到達目標 D-2 および E-1, 2, 3, 4 は、上記の評価基準を満たせば達成される。なお、全体を通じて3分の1以上欠席した場合、受講放棄とみなし一切の評価をしない

【教科書】

指定教科書なし

【参考書、教材等】

1. ジャスパー・ウ, 見崎大悟, 実践 スタンフォード式 デザイン思考, インプレス社
2. Robert H. McKim, Experiences in Visual Thinking (General Engineering)
3. 福田収一, デザイン工学, 放送大学教育振興会
4. ステファノス・ゼニオス, BIODESIGN バイオデザイン, ステファノス・ゼニオス, 薬事日報社
5. Thomas Lockwood, Design Thinking: Integrating Innovation, Customer Experience, and Brand Value, 早川書房
6. トム・ケリー, 発想する会社! — 世界最高のデザイン・ファーム IDEO に学ぶイノベーションの技法, 早川書房
7. ティム・ブラウン, デザイン思考が世界を変える, 早川書房
8. Richard Banfield, デザインスプリント — プロダクトを成功に導く短期集中実践ガイド, オライリージャパン
9. 齊藤 滋規, エンジニアのためのデザイン思考入門, 翔泳社
10. 木浦幹雄, デザインリサーチの教科書, ビー・エヌ・エヌ新社
11. マイケル・リュウリック, デザインシンキング・プレイブック デジタル化時代のビジネス課題を今すぐ解決する, 翔泳社
12. ボン・ク, ヘルスデザインシンキング デジタルヘルス/ヘルステックに向けて: 医療・ヘルスケアのためのデザイン思考実践ガイド, ビー・エヌ・エヌ
13. 木村将之, 森 俊彦他, モビリティ X シリコンバレーで見た2030年の自動車産業 DX, SXの誤解と本質, 日経 BP

14. 牧 兼充, 科学的思考トレーニング 意思決定力が飛躍的にアップする 25 問, PHP 研究
 15. Donald A. Norman, Design for a Better World: Meaningful, Sustainable, Humanity Centered, The MIT Press
 16. Sushi Suzuki, Riveting: Startup Pitches that Persuade from Storytelling to Design, LITTLEWIRE - UNIPESSOAL LDA
 17. D. A. ノーマン, より良い世界のためのデザイン, 新曜社

※ この授業は、9/12（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
92	帝京大学	日本の法と政治	ブルクシュ ンネ 外国語学部 授 ズザ 准教	2	前期	月	15	14:45～16:15	帝京大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

This course aims at acquiring and deepening basic knowledge on political systems, esp. in Japan as well as at understanding basic terminology and ideas, institutions, processes and policies related to political science. Group work and other activities is part of the course.

(a) To acquire basic knowledge and deeper understanding of “Law and Politics in Japan” (from an international perspective and as a field related to the international society)

- to deepen knowledge about the political system of Japan (e.g., democracy, constitution, parliament, elections and the separation of the three political powers)

- to learn about the process of policy-making (e.g., policy cycle, welfare- and energy policies)

- to acquire fundamental knowledge on governance and interest groups (e.g., business groups, civil society and mass media)

(b) To acquire and practice academic skills related to the topic “Law and Politics in Japan” :

- to enable to explain, express and elaborate on various topics of “Law and Politics in Japan” by referring to basic terminology, ideas and institutions (to be able to communicate the role of Japan from an international perspective, identify problems the international community is facing and explain their causes)

【授業の概要】

Teaching Language: English (Spring Term) // Japanese (Autumn Term)

This class is an introductory course to the political system of postwar Japan. Specifically, the course will explain the historical background and the basic ideas of the political system, comparing it with other countries. This enables students to understand and evaluate current trends. The class covers the following political topics: democracy and political institutions, the political situation in Japan, elections, parliament, the prime minister and cabinet, ministries and bureaucracy, the party system, interest groups, business organizations, the media, civil society, and various policies. This class consists of introductory lectures, group work, presentations and discussions. A written exam completes the course at the end of the semester.

【授業内容】

1. Introduction
2. Political Science and Democracy
3. Library: Data Base Research
4. Practical Exercise: Quoting Scholarly Sources
5. (A) The Legislative and Electoral Systems
6. (A) The Executive and Politics
7. (A) The Judicative and Politics
8. (B) Policies and Policy-making
9. (B) Social Welfare Policy
10. (B) Energy Policy
11. (C) : Governance and Interest Groups
12. (C) Civil Society and Politics
13. (C) Mass Media and Politics
14. Final Exam
15. Closing Discussion

【成績評価方法】

試験/Exam(s)60%プレゼンテーション/Presentation20%実習/Practical Training20%

There will be a final exam (60%) at the end of the course. In addition, practical exercise (20%) and student presentation (20%) are taken into account during the course, too. Depending on the course progress, there may occur changes to course plan below.

【教科書】

Textbooks (テキスト・文庫文献)

【参考書、教材等】

- 平石正美、五味太始、古坂正人 (2020) : 『政治学入門』、東京 : 成文堂.
- 永井史男、水島治郎、品田裕 編(2019) 『政治学入門』 ミネルヴァ書房.
- Kabashima, Ikuo; Steel, Gill (2010): “Changing Politics in Japan”, Cornell Paperbacks.
- Schoppa, Leonard J. (2017) : “The Evolution of Japan’s Party System: Politics and Policy in an Era of Institutional Change”, Toronto: University of Toronto Press.

More literature is available in the university library. Since this discipline changes very quickly, it is important to refer to the recent documents and information on specified websites.

※ この授業は、4/8（月）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
93	帝京大学	日本の社会	渡部 瑞希 外国語学部 講師	2	前期	木	15	14:45～16:15	帝京大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

- Understand the characteristics of Japanese-style communication
- Understand the differences between communication between Japan and other countries
- In the lecture, you can actually express your opinion and communicate with others.

【授業の概要】

It is said that social relationships in Japan are built through "dual communication." For example, when you say "daijoubu" (OK) or "iiyo" (all right), you may say Yes or No depend on the situation. In this way, communication that respects the will of the other person and avoids conflicts of opinion by obscuring one's true intentions can be regarded as the aesthetics communication way of Japan. However, it may not be understood by other countries or may create cross-cultural conflicts. In this lecture, students will take up multiple topics related to communication and compare them with other countries' communication methods to learn the advantages and problems of Japan-style communication. In addition, in order to cultivate the skills to communicate better with others, there are many opportunities to discuss each topic in groups and express one's own opinions.

【授業内容】

1. Guidance

Explanation of how to proceed with this lecture, how to assign grades, schedule, lecture schedule, etc.

2. Self-introduction

Self-introduction among students

3. Nonverbal communication

People communicate not only through words, but also through gestures, hand gestures, tones, and clothing. So, what kind of nonverbal communication is emphasized in Japan and other countries?

4. Is "reading the air" an aesthetic?

Reading the atmosphere means "sensing the atmosphere of the place and deciding what action to take." What are the advantages and disadvantages of this concept?

5. Does "honne and tatemae" work in foreign countries?

"Honne and tatemae," which separates true emotions from actual attitudes, is said to be the communication manners in Japan. So, to what extent is such manner valid in other countries?

6. Meta Communication

Why do cross-cultural communication frictions occur? We learn the mechanism

7. Expressing your opinion objectively

We learn what it means to be "objective" when expressing your opinions at university

8. Japanese style discussion

In Japan, rather than expressing one's own opinion clearly, we respect the opinions of others in our discussions. In this lecture, we will try to practice such a way of discussion.

9. Presentation

Present "Japan-style discussions" in groups according to each theme.

10. How to debate

We learn how to debate

11. Debate

Play against each group in a debate

12. SNS Communication

Among the various social networks, how is the way of Japanese communication on social media different from other countries?

13. Comedy

Japan's comedy culture is highly developed, but is it also accepted in the world?

14. Report theme presentation (online class)

Report themes, submission methods, and submission deadlines

15. Summary

Discuss and present what you have learned in this lecture

【成績評価方法】

レポート/Report (s)	30%
グループワーク/Group Work	30%
発言、応答/Class Participation	20%
プレゼンテーション/Presentation	20%

【教科書】

Introduce it each time in class.

【参考書、教材等】

特になし。必要に応じて授業内で配布する。

※ この授業は、4/11（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
94	帝京大学	世界の日本語教育	古川 嘉子 外国語学部 教授	2	前期	金	15	9:00～10:30	帝京大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

On completion of this course, the student should be able to do the following:

- 1) Demonstrate understanding of the current situation and issues in Japanese language education that are included in lectures and discussions
- 2) Reflect on own experiences in Japanese language learning (as a foreign language or as a mother tongue) and foreign language learning
- 3) Think about how the above-mentioned themes studied in this course can relate to oneself, and how to develop techniques on applying them in Japanese language education in the future

講義やディスカッションの中で触れる日本語教育のテーマについて現状と課題を理解し、包括的なイメージが説明できる。

日本国内も含めて自身の経験してきた日本語教育（外国語として、母語として）や外国語教育経験を振り返る。

本科目で学んだ上記テーマが自身とどう関係しているか考え、今後どのように自身が日本語教育と関わっていくかを述べることができる。

【授業の概要】

The objectives of this course is to learn about issues on Japanese language education globally and to acquire basic knowledge for studying Global Japanese Studies through examining related data. This course covers the characteristics of the Japanese language, the history of Japanese language education in the world, Japanese language learners and their backgrounds, educational policies, changes and current status of related theories and methodologies in Japanese language education in the world including Japan. It also covers issues in secondary and higher educational institutions overseas, valuation and test systems, teachers in the world, etc. Classes will be conducted in English in the first semester and in Japanese in the second semester.

この科目は、世界で行われている日本語教育の現状と課題について知り、国際日本学を学修するための基礎的知識を得ることを目的としている。ここでは、日本語という言語の特徴、世界における日本語教育の歴史、日本語教育政策の変化、世界における日本語学習者の変化・趨勢、学習の動機とその変化、国内外の日本語学習機関の変化と現状、中等・高等教育機関における日本語学習者の現状、日本語能力の評価及び大規模試験の現状、日本語教師の現状、日本語教授法の進化等について、データを用いて把握する。前期は英語で、後期は日本語で授業を実施する。

【授業内容】

1. Orientation:

[What is Japanese language education]: In this lesson students are expected to

- (1) Give key words about Japanese language education;
 - (2) Describe the meaning of learning a language as an individual in the portfolio.
- #### 2. [Overview of the features of the Japanese language]: In this lesson students are expected to
- (1) Examine the characteristics of the Japanese language in terms of grammar and pronunciation;
 - (2) Consider the easiness and difficulty of the Japanese language for speakers of other languages.
- #### 3. [Overview of the features of the Japanese language]: In this lesson students are expected to examine the characteristics of the Japanese language in terms of writing systems and usage of the language.
- #### 4. [Overview of Japanese language education overseas]: In this lesson students are expected to
- (1) Grasp the overview of the history of Japanese language education overseas;
 - (2) Examine the number of learners, teachers, and institutions by country and region from the results of the "Survey on Japanese-Language Education Abroad" (The Japan Foundation).
- #### 5. [Background and needs of Japanese language learners]: In this lesson students are expected to
- (1) Examine the background and needs of non-native speakers of Japanese and the reasons for learning Japanese;
 - (2) Analyze the characteristics of each country and region in groups and make a presentation.
- #### 6. [Change of key concepts in language education]: In this lesson students are expected to
- (1) Examine the role of global frameworks by looking at the Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) as an example;
 - (2) Reflect on their own multiple language use in the view of plurilingualism.
- #### 7. [Changes of key concepts and teaching methods in language education 1]: In this lesson students are expected to examine changes of key concepts in language and learning by referring to actual teaching materials. Examples: Structuralist linguistics and behaviorist psychology → audio-lingual method (sentence pattern practice)
- #### 8. [Changes of key concepts and teaching methods in language education 2]: In this lesson students are expected to examine changes in key concepts on language and learning and related changes in teaching methods by referring to teaching materials as examples. Examples: sociolinguistics and learner-centered learning theory, social constructivist learning theory → communicative approach (tasks, role plays).
- #### 9. [Testing and evaluation in Japanese language education (1)]: In this lesson students are expected to get an overview of changes in the concept of evaluation in language education and changes in evaluation tools. Examples: tests, portfolios, etc.
- #### 10. [Testing and evaluation in Japanese language education (2)]: In this lesson students are expected to examine the characteristics and roles of globally influential tests in Japanese language education. Examples: Japanese Language Proficiency Test, JFT-Basic, etc.
- #### 11. [School education in the world and Japanese language education]: In this lesson students are expected to examine the influence of the perspectives of social constructivist learning theory, key competencies, and 21st century skills in educational policies, national curriculum of each country.
- #### 12. [Japanese language education for workers]: In this lesson students are expected to examine Japan's system in accepting labor personnel from overseas and related issues such as Japanese language education for working in Japan and Business Japanese language education.
- #### 13. [Japanese language education in Japan]: In this lesson students are expected to examine who is learning Japanese, for what purpose, and where they are learning in relation to the contexts of Japanese language education in the world.
- #### 14. [Teachers and learning supports in Japanese language education]: In this lesson students are expected to examine the role of teachers and learning supports in various fields of Japanese language education.
- #### 15. Review quiz and reflection of the course

【成績評価方法】

試験/Exam(s)	20%
レポート/Report(s)	40%
発言、応答/Class Participation	10%
リアクションペーパー/Reaction Paper	10%
ポートフォリオ/Portfolio	10%
その他/Others	10%

【教科書】

The Japan Foundation "Survey Report on Japanese -Language Education Abroad 2018" The Japan Foundation

【参考書、教材等】

国際交流基金編『世界の日本語教室から』アルク

Language Policy Programme, Education Policy Division, Education Department, Council of Europe “Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment” Council of Europe

国際交流基金『21世紀の人材育成をめざす東南アジア5か国の中等教育における日本語教育—各国教育文書から見える教育のパラダイムシフト—』

The Japan Foundation “Report: Japanese Language Education at the Secondary Level in Five Southeast Asian Countries - Developing Students’ Competencies for the 21st Century - “ The Japan Foundation

※ この授業は、4/12（金）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
95	帝京大学	日本の文化	ビューニユ マガリ 外国語学部 講師	2	後期	月	15	14:45～16:15	帝京大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

1. Understand the influence of major historical upheavals (globalization, digital revolution, etc.) on literary production.
歴史的な変革（グローバリゼーション、デジタル革命など）が文学の制作に与えた影響を理解することができる。
2. Being able to explain key concepts and ideas.
重要な概念や考え方を説明することができる。
3. Become familiar with efficient online tools.
効率的なオンラインツールに精通すること

【授業の概要】

This course explores the relationship between literature and its means of production and distribution from an international point of view. Students will engage with a wide variety of documents to explore the evolution of the publishing industry, examining the ways in which the contexts of production and promotion shaped literature in and outside Japan from the Meiji Restoration to the present day. Students will learn about the complexities of the publishing industry (literary prizes, publishing houses, translation, etc.), become familiar with major literary works (novel excerpt, major anthology, etc.), and reflect on how the digital revolution is disrupting (or not) these existing institutions and practices.

本授業では、国際的な視点から文学とその生産・流通手段との関係を学びます。明治維新から現代に至るまでの出版業界の変遷を探るため、様々な文献に触れ、文学作品の制作と広告がどのように国内外の「文学の世界」を形成したかを検討します。

また、出版業界の複雑性（文学賞、出版社、翻訳など）について学び、主要な文学作品に親しみ（小説の抜粋、主要作品集など）、デジタル革命が文学の世界の既存の制度や慣習にどのような壊滅的な影響を与えているか（あるいは与えていないのか）を考察します。

【授業内容】

1. Orientation
2. Introduction: Development of printed books in modern and contemporary Japan
3. Introduction: Development of printed books in modern and contemporary Japan
4. Changes in Technology: Producing Texts in Quantity
5. Tokyo Publishing and the Great Kantō Earthquake
6. Anthologies and modern Japanese literature
7. The Literary value and the I-novel debate
8. Redefining the novel
9. Critics and literary prizes for literature in Japan
10. Japan Literary World in the Aftermath of World War II
11. Fantasy Classics and the Origins of Light Novels from 1966 to 1990
12. The boom of Light novel and the Media Industry
13. Light Novel Industry outside Japan a look at English and French speaking countries.
14. Group presentation
15. Group presentation. Review of the semester.

【成績評価方法】

グループワーク/Group Work	40%
発言、応答/Class Participation	30%
試験/Exam(s)	30%

【教科書】

Manufacturing Modern Japanese Literature: Publishing, Prizes, and the Ascription of Literary Value, Edward Mack, Duke University Press

【参考書、教材等】

Dawn to the West: Japanese Literature in the Modern Era, Donald Keene, Columbia University Press (2nd edition)

※ この授業は、9/9（月）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
96	帝京大学	世界の日本研究	茶野 純一 外国語学部 教授	2	後期	水	15	13:00～14:30	帝京大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

Upon meeting this course’s requirements, a student will be able to:

- (1) Understand Japan from diverse perspectives and explain Japan’s values and roles from an international perspective.

- (2) Acquire interest and knowledge in a wide range of fields related to the current state of Japanese culture, history, and society
- (3) Develop basic knowledge of the Japanese Studies field's history in Europe, Asia-Pacific, and North America,
- (4) Recognize the current state of the Japanese Studies field in Europe, Asia-Pacific, and North America,
- (5) Explain the methodology and fieldwork of Japanese Studies,
- (6) Discuss the relationship between public diplomacy and Japanese Studies overseas,
- (7) State his/her own views on the value of Area Studies about Japan with greater clarity and insight.
- (8) Discover problems facing the international community and explain their causes.

【授業の概要】

This course examines Japanese Studies overseas, a discipline that aims to provide a mechanism to access Japan's culture, society, and people in order to achieve a complete and holistic understanding of Japan. Japanese Studies, a sub-field of Area Studies, is a branch of Social Sciences and Humanities research with roots that can be traced back to 16th-century Christian missions in Japan. Abroad, Japanese Studies later developed in Western Europe as an established discipline known as Japanology, which researched Japanese history and literature. Japanese Studies overseas continuously expanded in scope through such occasions as the US wartime study on enemy countries during WWII, and the worldwide analytical attention paid to the Japanese bubble-era political economy in the late 1980s. Since the turn of the new millennium, Japanese Studies overseas has further expanded its wings into the realm of cultural studies - incorporating the analysis of life and pop culture within its series of research targets.

Based on the above synopsis of Japanese Studies overseas, and in the context of an underlying notion of "Japan - thoroughly analyzed," this course will provide an overview of the historical development and current state of Japanese Studies in Europe, North America, Asia, the Pacific, and beyond. This course also examines the significance of the Japanese Studies community in other countries, and will touch upon some lingering issues regarding Japan's foreign policy, soft power, and the "New Cold War".

【授業内容】

1. Introduction
2. Curious Gaze at Japan: Dejima and Japanology
3. Japanese Studies in Asia-Pacific
4. Japanese Studies in Asia-Pacific
5. Japanese Studies in Europe
6. Japanese Studies in North America
7. Japanese Studies in North America
8. War and Area Studies
9. Studying Japan: Methodological Discussion
10. Doing Fieldwork in Japan (1)
11. Doing Fieldwork in Japan (2)
12. A Cleavage between Area Studies and Political Science
13. Public Diplomacy and Japanese Studies (1)
14. Public Diplomacy and Japanese Studies (2)
15. Review

【成績評価方法】

試験/Exam(s)	40%
レポート/Report(s)	30%
リアクションペーパー/Reaction Paper	15%
発言、応答/Class Participation	15%

【教科書】

1. No specific textbook is used. Reference materials and notes will be distributed in class as per requirements.

【参考書、教材等】

2. Reference books are as follows:

- (1) Doing Fieldwork in Japan; Theodore C. Bestor, Patricia G. Steinhoff, Victoria Lyon Bestor; University of Hawaii Press (2003)
- (2) Studying Japan; Nora Kottmann, Cornelia Reiher; Nomos Verlagsgesellschaft Mbh & Co (2020)
- (3) 「ジャパン・ストーリー 昭和・平成の日本政治見聞録」、ジェラルド・L・カーティス、日経BP (2019)
- (4) "A Bridge Builder" The life of Ezra F. Vogel (<https://youtu.be/u8WQDUOVYMO>)
- (5) "Bringing Japanese Literature to the World" The life of Donald Keene (<https://youtu.be/NYfQZuMYeNs>)

※ この授業は、9/11 (水) が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
97	帝京大学	日本近現代史	坂田 美奈子 外国語学部 教授	2	後期	水	15	14:45~16:15	帝京大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

By the end of the course, students should be able to explain

- ①Characteristics of early modern Japan that enabled the Meiji revolution.
- ②Characteristics and significance of the Meiji ishin as a revolution.
- ③The Japanese way of introducing parliamentary government and its problems.
- ④Characteristics of colonial rule of the Japanese empire as compared with that of Western empires.

【授業の概要】

This lecture will provide Japanese history from the mid-19th to the early 20th century, focusing on the continuity of its nation state

building and empire building. Modern Japan was a non-European state which voluntarily accomplished modernization and introduced parliamentary government. On the other hand, it was a colonial empire which ruled Asian neighbors. In this lecture, we will survey characteristics and significance of the Meiji ishin as a revolution, the Japanese way of introducing parliamentary government and its problems, characteristics of the Japanese empire as compared with that of Western empires.

【授業内容】

1. Introduction
2. Japan in the Contemporary World
3. Early-modern Japan
4. International Relations in Early-modern Asia
5. The Asia-Pacific Region from the Late-C18th to the C19th
6. Meiji Revolution
7. The Meiji Constitution and the Imperial Diet
8. Problems of Parliamentary Government
9. International Law in the Mid-C19th
10. Territories of the Japanese Empire
11. Hokkaido
12. Okinawa
13. Taiwan
14. Korea
15. Conclusion, Final Exam

【成績評価方法】

リアクションペーパー／Reaction Paper 40%
 試験／Exam(s) 60%

【教科書】

Material will be distributed in the class.

【参考書、教材等】

Material will be distributed in the class.

※ この授業は、9/11（水）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
98	帝京大学	日本の経済と経営	落合 宏 経済学部 講師	2	後期	火	15	14:45～16:15	帝京大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

As the goals of this lecture, students are able to

- explain economic issues Japan faces from the international viewpoint.
- explain issues and their backgrounds of the Japanese economy, based on economic theories and data.
- understand how Japan can make contributions to solving world economic issues.

【授業の概要】

In spite of its remarkable economic success after WW2, the Japanese economy has currently stagnated for more than 20 years. Accordingly, the management systems of Japanese companies, which supported its economic success before, are required to reform to fit for the current domestic and world economic environments. It is widely known that the causes of economic stagnation in Japan are deep-rooted in its various economic systems and institutions, more than temporal business cycle phases.

The main purpose of this lecture is for students to understand what sorts of economic issues Japan encounters in its systems and institutions, and examine the direction of its reforms for the future.

【授業内容】

1. Introduction and overview
2. Japanese economic growth after WW2
3. Changes of the Japanese industrial structure and future of the management of Japanese companies
4. Japanese employment system
5. Japanese financial system
6. Trade and balance of payments in the Japanese economy
7. Exchange rate and the Japanese economy
8. Japanese economy in the global economy
9. Studying by relevant films (Chronology of post-WW2 Japanese economy)
10. Demographic change in Japan
11. Social security system in Japan
12. Sustainability of fiscal system
13. Japanese monetary policy
14. Deflation in Japan
15. Income gap in Japan

【成績評価方法】

小テスト／Quiz 50%
 レポート／Report(s) 50%

【教科書】

Text books:

- Nothing specified

【参考書、教材等】

References:

- Nakamura et al (2018). "Productivity Improvement and Economic Growth", Bank of Japan Working Paper Series, No. 18.

※ この授業は、9/10（火）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
99	拓殖大学	アメリカ研究入門	塩崎 智 外国語学部 教授	2	後期	木	13	オンデマンド	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

アメリカ合衆国は、政治、経済、文化、社会全てにおいて、世界中に最大級の影響を与えてきた。グローバリゼーションはアメリカ化と言っても過言ではない。そして、21世紀に入っても、この状況は続いている。この授業は、主に歴史的にアメリカ合衆国にアプローチし、その多様な側面と本質を理解することが目的である。

【授業内容】

第1回 アメリカ合衆国の理解の調査

まず学生にアメリカ合衆国に関するアンケートを実施する。受講者一般が抱くアメリカ合衆国に関するイメージを理解する。アメリカ合衆国が好きかどうかと、その理由も問う。

第2回 アメリカ合衆国史（1）

西洋人が渡来する前の原住民の生活の様子を説明する。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第3回 アメリカ合衆国史（2）

オランダ人、イギリス人、フランス人などの西洋からの植民の様子を理解する。その中で、イギリスが植民地を増やしていった経緯にも触れる。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第4回 アメリカ合衆国史（3）

独立戦争で、植民地が独立を果たした経緯を理解する。フランス革命などのヨーロッパからの思想的影響にも触れる。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第5回 アメリカ合衆国史（4）

南北戦争前後を扱う。国がどうして分裂の危機に瀕したのか、その後、どのように再統一されたのか、また、その後世への影響なども扱う。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第6回 アメリカ合衆国史（5）

第一次世界大戦から第二次世界大戦にかけて、もともと西欧から距離を置いていたアメリカ合衆国が国際政治に巻き込まれ、更に世界をリードする超大国になった経緯を理解する。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第7回 アメリカ合衆国史（6）

戦後のアメリカ合衆国の内外の歴史を理解する。特に冷戦の経緯と国内の公民権運動の展開について理解する。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第8回 現代アメリカ社会（1）

移民社会の特色について理解する。アメリカに移民が文化、社会的に与える影響、移民が抱える問題点、利点などについて理解を深める。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第9回 現代アメリカ社会（2）

トランプ政権と米国の分断について、その誕生の経緯、特色、多方面に渡る影響などについて理解する。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第10回 現代アメリカ経済

世界を牽引するアメリカ合衆国の巨大企業を例に取り、そのビジネスの展開について理解する。日本と米国企業の違いについても触れる。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第11回 現代アメリカ文化（1）

アメリカ合衆国の宗教（特にキリスト教とユダヤ教）について説明する。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第12回 現代アメリカ文化（2）

アメリカ合衆国の文学、映画、ミュージカルなどのビジュアル文化、スポーツ文化について説明する。ネット上のビジュアル資料など指示する予定。感想・質問の提出の必要あり。

第13回 期末レポート／講評

この授業を履修して、授業の前と後で、アメリカ合衆国について、どのように理解が変わったかを具体例を3点挙げて、説明してもらおう。提出された期末レポートに関する、全体的フィードバックはB bで行う。

【授業の方法】

オンデマンド授業。授業資料は、授業割り当て日の前日に、BBの講義資料に添付ファイルでアップする。形式は音声付きPPである。課題は、週によって内容が異なる。それが稚拙であったとしても、自分で考え、調べた結果が大事である。他者による記述のコピペは無意味、かつ不可。引用する場合は、必ずその旨記載すること。

【予習・復習】

予習は、前回の講義資料に目を通しておくこととなる。復習は、毎回の授業に関する感想・質問の提出が該当する。また教員による課題へのコメントも必ず参照し、その後の課題作成の参考にすること。

【成績評価方法】

毎回の感想・質問の内容：80点

期末レポート：20点

総計：100点

【参考書、教材等】

参考文献：

上杉忍『アメリカ黒人の歴史』（中公新書、2013年）

コリン・ジョイス『アメリカ社会入門 英国人ニューヨークに住む』（生活人新書、2009年）
 渡辺靖『白人ナショナリズム』（中公新書、2021年）：いわゆる保守と言われるアメリカ人の考え方が、一次資料中心にまとめられている。
 大和田 俊之『アメリカ音楽史 ミンストレル・ショー、ブルースからヒップホップまで』（講談社選書メチエ、2011年）

※ この授業は、10/3（木）が初回です。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
100	拓殖大学	通訳英語 I	河原 清志 外国語学部 教授	2	前期	火	13	9:20～11:05	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

本科目は、実践的な通訳訓練を通して通訳スキルを習得するとともに、外国語学習の実践的な方法および異文化コミュニケーションに関する理解を深めることを目的とします。学生諸君が卒業後に社会のさまざまな異文化状況において期待される日英・英日双方向による通訳者の役割（ある程度の実務レベルの逐次通訳・同時通訳）を果たすことができるだけのスキル習得が到達目標です。

【授業内容】

- 第1回 授業概要、入門的な通訳体験
 Severn Suzuki's Legendary Speech (1)を使って、本授業が扱う通訳訓練法を体験します。 *以下、通訳課題は履修生の学習状況により適宜決めます。
- 第2回 通訳訓練法と英語力強化の学習法
 Severn Suzuki (2)を使って、通訳訓練法による英語力強化法を学びます。
- 第3回 同時通訳の初歩的な体験
 Severn Suzuki (3)を使って、同時通訳を体験します。
- 第4回 順送り訳と基本的な同時通訳スキル
 Shigeru Ban (1)を使って、順送り訳と同時通訳文法を学びます。
- 第5回 短文を使った初級同時通訳演習
 Shigeru Ban (2)を使って、短文の同時通訳のコツをつかみます。
- 第6回 サイトトランスレーション①
 Eruption of Mt. Fuji を使って、簡単なサイトトランスレーションを行います。
- 第7回 サイトトランスレーション②
 Japanese Drum を使って、実務的なサイトトランスレーションを行います。
- 第8回 同時通訳演習（短くゆっくりな音源）
 Malala Yousafzai (1)を使って、同通文法を学びます。
- 第9回 同時通訳演習（短く少し速い音源）
 Malala Yousafzai (2)を使って、同通文法をさらに学びます。
- 第10回 同時通訳演習（少し長めの音源）
 Barack Obama's Hiroshima Speech (1)を使って、同通文法の自動化を図ります。
- 第11回 ノートテーキング①
 Michelle Obama (1)を使って、ノートテーキングを体験します。
- 第12回 ノートテーキング②
 Michelle Obama (2)を使って、ノートテーキングと言語処理のあり方を学びます。
- 第13回 逐次通訳演習／逐次通訳演習／確認テスト
 今学期の音源の通訳パフォーマンステストを行い、フィードバックをします。

【授業の方法】

- ① 1分間の英語ニュース番組のビデオクリップを使って、シャドーイングとサイトトランスレーションに取り組みます。
- ② 各回の学習テーマを学びます。
- ③ 個人／ペアで練習し、前回と今回の音声を録音して提出します。

【予習・復習】

予習、復習ともに重視します。毎回学習した音源を自宅で何度も繰り返して練習し、次の回でパフォーマンスを発表します。

【成績評価方法】

授業での取り組み（25%）、提出物（25%）、期末確認テスト（50%）
 ※原則として全体の1/3またはこれを超える未提出物がある場合は、その理由にかかわらず単位認定の対象になりません。

【参考書、教材等】

時事問題を数多く扱いますので、授業内で配布、指示します。

※ この授業は、4/16（火）が初回です。
 ※ 拓殖大学の授業時間は、1時限 105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
101	拓殖大学	通訳英語 II	河原 清志 外国語学部 教授	2	後期	火	13	9:20～11:05	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

本科目は、実践的な通訳訓練を通して通訳スキルを習得するとともに、外国語学習の実践的な方法および異文化コミュニケーションに関する理解を深めることを目的とします。学生諸君が卒業後に社会のさまざまな異文化状況において期待される日英・英日双方向による通訳者の役割（ある程度の実務レベルの逐次通訳・同時通訳）を果たすことができるだけのスキル習得が到達目標です。

【授業内容】

- 第1回 授業概要

通訳課題①(1)を使って、本授業が扱う通訳訓練法を体験します。 *以下、通訳課題は履修生の学習状況により適宜決めます。

第2回 通訳訓練法と英語力強化の学習法

通訳課題①(2)を使って、通訳訓練法による英語力強化法を学びます。

第3回 同時通訳の初歩的な体験

通訳課題①(3)を使って、同時通訳を体験します。

第4回 順送り訳と基本的な同時通訳スキル

通訳課題②(1)を使って、順送り訳と同時通訳文法を学びます。

第5回 短文を使った初級同時通訳演習

通訳課題②(2)を使って、短文の同時通訳のコツをつかみます。

第6回 サイトトランスレーション①

通訳課題③を使って、簡単なサイトトランスレーションを行います。

第7回 サイトトランスレーション②

通訳課題④を使って、実務的なサイトトランスレーションを行います。

第8回 同時通訳演習 (短くゆっくりな音源)

通訳課題⑤(1)を使って、同通文法を学びます。

第9回 同時通訳演習 (短く少し速い音源)

通訳課題⑤(2)を使って、同通文法をさらに学びます。

第10回 同時通訳演習 (少し長めの音源)

通訳課題⑥を使って、同通文法の自動化を図ります。

第11回 ノートテイク①

通訳課題⑦(1)を使って、ノートテイクを体験します。

第12回 ノートテイク②

通訳課題⑦(2)を使って、ノートテイクと言語処理のあり方を学びます。

第13回 逐次通訳演習/逐次通訳演習/確認テストとフィードバック

今学期の音源の通訳パフォーマンステストを行い、フィードバックをします。

【授業の方法】

①1分間の英語ニュース番組のビデオクリップを使って、シャドーイングとサイトトランスレーションに取り組みます。

②各回の学習テーマを学びます。

③個人/ペアで練習し、前回と今回の音声を録音して提出します。

【予習・復習】

予習、復習ともに重視します。毎回学習した音源を自宅で何度も繰り返して練習し、次の回でパフォーマンスを発表します。

【成績評価方法】

授業での取り組み (25%)、提出物 (25%)、期末確認テスト (50%)

※原則として全体の1/3またはこれを超える未提出物がある場合は、その理由にかかわらず単位認定の対象になりません。

【参考書、教材等】

時事問題を数多く扱いますので、授業内で配布、指示します。

※ この授業は、10/1 (火) が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限 105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
102	拓殖大学	翻訳英語 I	河原 清志 外国語学部 教授	2	前期	火	13	13:50~15:35	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

本科目は、実践的な翻訳練習を通して翻訳スキルを習得するとともに、外国語学習の実践的な方法および異文化コミュニケーションに関する理解を深めることを目的とします。学生諸君が卒業後に社会のさまざまな異文化状況において期待される日英・英日双方向による翻訳者の役割 (多分野・多ジャンルの翻訳) を果たすことができるだけの翻訳スキルの習得が到達目標です。

【授業内容】

第1回 授業概要

入門的な翻訳体験をしながら、本科目の趣旨を学びます。 *以下、翻訳課題は履修生の学習状況により適宜決めます。

第2回 翻訳学習と英語力強化の学習法

翻訳課題①翻訳英文法に基づいて、日本語らしい翻訳について考えます。

第3回 翻訳と解釈

翻訳課題②エッセイを使って、短編の英文の翻訳を行います。

第4回 字幕翻訳

翻訳課題③「となりのトトロ」(1)を使って、日本語から英語の映画字幕翻訳を行います。

第5回 翻訳と異文化コミュニケーション

翻訳課題③「となりのトトロ」(2)を使って、異文化の翻訳について考えます。

第6回 翻訳とメディア

翻訳課題③「となりのトトロ」(3)を使って、英日語の会話スタイルの相違について考えます。

第7回 政治テキストの翻訳

翻訳課題④オバマ大統領広島演説(1)を使って、政治テキストの翻訳について考えます。

第8回 翻訳とイデオロギー

翻訳課題④オバマ大統領広島演説(2)を使って、政治テキストの政治イデオロギーについて考えます。

第9回 通訳と翻訳の違いと言語機能論

翻訳課題④オバマ大統領広島演説(3)を使って、翻訳の目的、テキストタイプや翻訳規範について考えます。

第10回 マンガの翻訳

翻訳課題⑤ドラえもん(1)を使って、マンガメディアの翻訳について考えます。

第11回 口語英語と翻訳

翻訳課題⑤ドラえもん(2)を使って、口語英語や英語の言語規範について考えます。

第12回 文芸翻訳

翻訳課題⑥I AM A CAT/吾輩は猫であるを使って、文芸作品の翻訳について考えます。

第13回 バックトランスレーションと翻訳相対性/役割語と翻訳/確認テストとフィードバック

今学期の翻訳パフォーマンステストを行い、フィードバックをします。

【授業の方法】

- ① 1分間の英語ニュース番組のビデオクリップを使って、シャドーイングと翻訳練習に取り組みます。
- ② 各回の学習テーマを学びます。
- ③ 個人/ペアで翻訳課題の検討をし、提出します。

【予習・復習】

予習と復習が必要です。毎回の翻訳課題を自宅で取り組みます(背景事情のリサーチ、翻訳制作、翻訳分析など)。

【成績評価方法】

授業での取り組み(25%)、提出物(25%)、期末確認テスト(50%)

※原則として全体の1/3またはこれを超える未提出物がある場合は、その理由にかかわらず単位認定の対象になりません。

【参考書、教材等】

up-to-dateな教材を使用しますので、授業内で配布、指示します。

※ この授業は、4/16(火)が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
103	拓殖大学	翻訳英語Ⅱ	河原 清志 外国語学部 教授	2	後期	火	13	13:50~15:35	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

本科目は、実践的な翻訳練習を通して翻訳スキルを習得するとともに、外国語学習の実践的な方法および異文化コミュニケーションに関する理解を深めることを目的とします。学生諸君が卒業後に社会のさまざまな異文化状況において期待される日英・英日双方向による翻訳者の役割(多分野・多ジャンルの翻訳)を果たすことができるだけの翻訳スキルの習得が到達目標です。

【授業内容】

第1回 授業概要

翻訳体験をしながら、本科目の趣旨を学びます。 *以下、翻訳課題は履修生の学習状況により適宜決めます。

第2回 翻訳と英語らしさ・日本語らしさ

翻訳課題①翻訳英文法(1)に基づいて、日本語らしい翻訳について考えます。

第3回 翻訳と認知言語類型論

翻訳課題①翻訳英文法(2)に基づいて、英日の言語的特徴を翻訳を通して考えます。

第4回 順送り訳とテキスト機能論

翻訳課題①翻訳英文法(3)に基づいて、翻訳における順送り訳のテクニックを学びます。

第5回 パラグラフ構成と翻訳

翻訳課題①翻訳英文法(4)に基づいて、翻訳におけるパラグラフ構成について考えます。

第6回 新聞記事の翻訳

翻訳課題②を使って、VOAの記事の翻訳を行います。

第7回 エッセイの翻訳

翻訳課題③を使って、随筆の翻訳を行います。

第8回 絵本の翻訳

翻訳課題④を使って、絵本の翻訳を行います。

第9回 物語の翻訳

翻訳課題⑤を使って、物語・小説の翻訳を行います。

第10回 歌詞の翻訳

翻訳課題⑥を使って、いくつかの英語の歌詞の翻訳を行います。

第11回 広告の翻訳

翻訳課題⑦を使って、自治体の観光案内の翻訳を行います。

第12回 論文の翻訳

翻訳課題⑧を使って、言語研究の論文の翻訳を行います。

第13回 マニュアルの翻訳/ビジネス文書の翻訳/確認テストとフィードバック

今学期の翻訳パフォーマンステストを行い、フィードバックをします。

【授業の方法】

- ① 1分間の英語ニュース番組のビデオクリップを使って、シャドーイングと翻訳練習に取り組みます。
- ② 各回の学習テーマを学びます。
- ③ 個人/ペアで翻訳課題の検討をし、提出します。

【予習・復習】

予習と復習が必要です。毎回の翻訳課題を自宅で取り組みます(背景事情のリサーチ、翻訳制作、翻訳分析など)。

【成績評価方法】

授業での取り組み(25%)、提出物(25%)、期末確認テスト(50%)

※原則として全体の1/3またはこれを超える未提出物がある場合は、その理由にかかわらず単位認定の対象になりません。

【参考書、教材等】

up-to-date な教材を使用しますので、授業内で配布、指示します。

※ この授業は、10/1(火) が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1 時限 105 分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
104	拓殖大学	時事中国語 I	永江 貴子 外国語学部 教授	2	前期	水	13	オンデマンド 対面授業あり 11:15~13:00	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

現代中国の時事問題を理解するために『時事中国語の教科書』を用い、内政・外交・経済・生活等に関する文を読み進める。テキストの内容を録音した CD を活用しながら中国の時事的な事情を中国語で聞き、理解して修得していくことを到達目標とする。

【授業内容】

第 1 回 第 1 課① (オンデマンド)

イントロダクションとして、動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。

第 2 回 第 1 課② (対面)

前回の課題について解説をする。第 1 課の音読をし、日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。

第 3 回 第 2 課① (オンデマンド)

前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。

第 4 回 第 2 課② (対面)

前回の課題について解説をする。第 2 課の音読をし、日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。

第 5 回 第 3 課 (対面)

前回の課題について解説をする。第 3 課について、音読をしながら日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。

第 6 回 第 4 課① (オンデマンド)

前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。

第 7 回 第 4 課② (対面)

前回の課題について解説をする。第 4 課について、音読をしながら日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。

第 8 回 第 5 課① (オンデマンド)

前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。

第 9 回 第 5 課② (対面)

前回の課題について解説をする。第 5 課について、音読をしながら日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。

第 10 回 第 6 課① (オンデマンド)

前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。

第 11 回 第 6 課② (対面)

前回の課題について解説をする。第 6 課について、音読をしながら日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。

第 12 回 第 7 課 (対面)

前回の課題について解説をする。第 7 課について、音読をしながら日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。

第 13 回 まとめ (オンデマンド)

前回の課題について解説をする。第 1 回～第 12 回で学習した内容に関し、その理解を深めるために課題を実施する。課題のフィードバックは、Blackboard を通して行う。

【授業の方法】

授業はブレンド型 [対面とオンデマンドの組み合わせ] で実施する。対面の日は、各課の音読をしながら日本語訳と内容の理解を深め、課題を実施して提出する。オンデマンド型の日は、Blackboard にアップロードされた授業動画を視聴し、日本語訳をまとめ、課題を実施して締切日までに提出する。

【予習・復習】

予習：授業前に CD などで音声を確認し、音読や翻訳をしておく。

復習：授業で学習した内容で理解不足であったり、発音がうまくできなかったり日本語訳ができなかった箇所を復習し、マスターする。

【成績評価方法】

成績評価は次の割合 (%) により、評価する。

①対面授業で実施する課題 (課題には音読やディクテーションを含む) 50%

②オンデマンド型授業で実施する課題 30%

③学期末課題 20%

【参考書、教材等】

教科書：『時事中国語の教科書』(2024 年度版) 三瀧正道・陳祖倍・古屋順子 (朝日出版社)

参考書：『中日辞典』(小学館)

※ この授業は、4/17 (水) が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1 時限 105 分となっています。(対面授業の場合)

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
105	拓殖大学	時事中国語 II	永江 貴子 外国語学部 教授	2	後期	水	13	オンデマンド 対面授業あり 11:15~13:00	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

現代中国の時事問題を理解するために『時事中国語の教科書』を用い、内政・外交・経済・生活等に関する文を読み進める。テキストの内容を録音したCDを活用しながら中国の時事的な事情を中国語で聞き、理解して修得していくことを到達目標とする。

【授業内容】

第1回 第8課（対面）
 第8課について、音読をしながら日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。
 第2回 第9課①（オンデマンド）
 前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。
 第3回 第9課②（対面）
 前回の課題について解説をする。第9課の音読をし、日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。
 第4回 第10課①（オンデマンド）
 前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。
 第5回 第10課②（対面）
 前回の課題について解説をする。第10課の音読をし、日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。
 第6回 第11課①（オンデマンド）
 前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。
 第7回 第11課②（対面）
 前回の課題について解説をする。第11課の音読をし、日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。
 第8回 第12課①（オンデマンド）
 前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。
 第9回 第12課②（対面）
 前回の課題について解説をする。第12課の音読をし、日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。
 第10回 第13課①（オンデマンド）
 前回の課題について解説をする。動画を視聴しながら、解説と日本語訳を視聴しノートにまとめる。指定された課題を実施する。
 第11回 第13課②（対面）
 前回の課題について解説をする。第13課の音読をし、日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。
 第12回 第14課（対面）
 第14課について、音読をしながら日本語訳を確認する。まとめとして、課題を実施する。
 第13回 まとめ（オンデマンド）
 第1回～第12回で学習した内容に関し、その理解を深めるために課題を実施する。課題のフィードバックは、締切後にBlackboardを通して行う。

【授業の方法】

授業はブレンド型〔対面とオンデマンドの組み合わせ〕で実施する。対面の日、各課の音読をしながら日本語訳と内容の理解を深め、課題を実施して提出する。オンデマンド型の日、Blackboard にアップロードされた授業動画を視聴し、日本語訳をまとめ、指定した課題を実施して締切日までに提出する。

【予習・復習】

予習：授業前にCDで音声を確認し、音読や翻訳をしておく。
 復習：授業で学習した内容で理解不足であったり、よくシャドーイングやディクテーションができなかった箇所を復習し、マスターする。

【成績評価方法】

成績評価は次の割合(%)により、評価する。
 ①対面授業で実施する課題（課題には音読やディクテーションを含む）50%
 ②オンデマンド型授業で実施する課題 30%
 ③学期末課題 20%

【参考書、教材等】

教科書：『時事中国語の教科書』（2024年度版）三瀧正道・陳祖倍・古屋順子（朝日出版社）
 参考書：『中日辞典』（小学館）

※ この授業は、10/2（水）が初回です。
 ※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。（対面授業の場合）

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
106	拓殖大学	初級スペイン語① I	池田 朋洋 外国語学部 助教	1	前期	月	13	15:45～17:30	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

場面に応じたコミュニケーション力、スペイン語運用能力を身につけることを目的としています。①で文法の基礎を学び、②は応用として主に口頭練習の活動を行い、映像を通して文化についても学びます。これらを通して初歩的な会話や読解能力を身に付けることを目標とします。

【授業内容】

第1回 前期授業の概要と導入
 Lección 1 (1)
 目標：スペイン語で挨拶しよう！
 アルファベット、発音（母音・子音・音節分け・アクセントについての学習）
 第2回 Lección 1 (2)
 目標：スペイン語で挨拶しよう！
 音節分けやアクセントの規則に注意しながらスペイン語の発音に慣れる、聞き取りや発音
 第3回 Lección 2 (1)
 目標：依頼や注文の簡単な表現ができる
 文法：名詞の性（男性・女性）、数（単数・複数）/ 定冠詞・不定冠詞、主格人称代名詞、所有形容詞
 第4回 Lección 2 (2)

目標：依頼や注文の簡単な表現ができる
 文法：名詞の性（男性・女性）、数（単数・複数） / 定冠詞・不定冠詞、主格人称代名詞、所有形容詞
 第5回 Lección 3 (1)
 目標：タクシーで行き先を伝えることができる
 文法：形容詞、動詞 ser の直説法現在の活用と用法、否定文と疑問文
 第6回 Lección 3 (2)
 目標：タクシーで行き先を伝えることができる
 文法：形容詞、動詞 ser の直説法現在の活用と用法、否定文と疑問文
 第7回 Lección 4 (1)
 目標：ある特定の場所について尋ねることができる
 文法：動詞 estar 直説法現在の活用と用法、前置詞、指示形容詞、指示代名詞
 第8回 Lección 4 (2)
 目標：ある特定の場所について尋ねることができる
 文法：動詞 estar 直説法現在の活用と用法、前置詞、指示形容詞、指示代名詞
 第9回 Lección 5 (1)
 目標：人や物の存在や所在、状態や性質を表すことができる
 文法：存在を表す hay、ser と estar の使い分け、数・時刻・日付
 第10回 Lección 5 (2)
 目標：人や物の存在や所在、状態や性質を表すことができる
 文法：存在を表す hay、ser と estar の使い分け、数・時刻・日付
 第11回 Lección 6 (1)
 目標：現在のこと、習慣的な行為を表すことができる
 文法：規則活用する一般動詞の活用と用法
 第12回 Lección 6 (2)
 目標：現在のこと、習慣的な行為を表すことができる
 文法：規則活用する一般動詞の活用と用法
 第13回 試験とまとめ
 学期試験及びフィードバックとしての解説

【授業の方法】

テキストに沿って進めます。進め方・内容の詳細は初回の授業で担当教員より直接説明があります。授業は、他者とコミュニケーションをとるための訓練の場として捉え、積極的に参加し授業を活用してください。

【予習・復習】

予習は、教科書を各課ごとに読んで、学習項目を把握してきてください。復習は、スペイン語の文章を音読し、新出単語とキーセンテンスを暗記したうえで、それらを応用で使えるように練習してください。

【成績評価方法】

担当教員の評価 60%、Blackboard の課題 Vamos10%、共通テスト 30%。予習や復習、授業に積極的に取り組む姿勢を高く評価し、課題、独自のテストの評価も含めて総合した成績を出します。

【参考書、教材等】

教科書：『Español con TOMATE 五感でめぐるスペイン語』朝日出版社 ISBN978-4-255-55072-5 C1087
 参考書：開講時に指示
 辞書：『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』小学館

※ この授業は、4/15(月) が初回です。
 ※ 拓殖大学の授業時間は、1 時限 105 分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
107	拓殖大学	初級スペイン語①II	池田 朋洋 外国語学部 助教	1	後期	月	13	15:45~17:30	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

場面に応じたコミュニケーション力、スペイン語運用能力を身につけることを目的としています。①で文法の基礎を学び、②は応用として主に口頭練習の活動を行い、映像を通して文化についても学びます。これらを通して初歩的な会話や読解能力を身に着けることを目標とします。

【授業内容】

第1回 前期の復習+Lección 7 (1)
 目標：これからのプランについて話すことができる
 文法：語幹母音変化動詞の現在形の活用、目的格人称代名詞（～に、～を）、前置詞格人称代名詞
 第2回 Lección 7 (2)
 目標：これからのプランについて話すことができる
 文法：語幹母音変化動詞の現在形の活用、目的格人称代名詞（～に、～を）、前置詞格人称代名詞
 第3回 Lección 8 (1)
 目標：買い物をしよう
 文法：1人称単数形が不規則な動詞の活用、天候の表現、時の経過を表す表現
 第4回 Lección 8 (2)
 目標：買い物をしよう
 文法：1人称単数形が不規則な動詞の活用、天候の表現、時の経過を表す表現
 第5回 Lección 9 (1)
 目標：これから行う行為や義務を表すことができる
 文法：不規則変化動詞の活用とその用法、必要と義務の表現
 第6回 Lección 9 (2)

目標：これから行う行為や義務を表すことができる
 文法：不規則変化動詞の活用とその用法、必要と義務の表現
 第7回 Lección 10 (1)
 目標：丁寧な依頼をする、好みを表すことができる
 文法：再帰動詞、gustar、-mente の副詞
 第8回 Lección 10 (2)
 目標：丁寧な依頼をする、好みを表すことができる
 文法：再帰動詞、gustar、-mente の副詞
 第9回 Lección 11 (1)
 目標：経験してきたことやしたいことを話そう
 文法：過去分詞とその用法、現在完了
 第10回 Lección 11 (2)
 目標：経験してきたことやしたいことを話そう
 文法：過去分詞とその用法、現在完了
 第11回 Lección 12 (1)
 目標：過去、昔のことについて話そう
 文法：過去形
 第12回 Lección 12 (2)
 目標：過去、昔のことについて話そう
 文法：過去形
 第13回 試験とまとめ
 学期試験及びフィードバックとしての解説

【授業の方法】

テキストに沿って進めます。進め方・内容の詳細は初回の授業で担当教員より直接説明があります。授業は、他者とコミュニケーションをとるための訓練の場として捉えてください。積極的に参加し授業を活用してください。

【予習・復習】

予習は、教科書を各課ごとに読んで、学習項目を把握してきてください。復習は、スペイン語の文章を音読し、新出単語とキーセンテンスを暗記したうえで、それらを応用で使えるように練習してください

【成績評価方法】

担当教員の評価 60%、Blackboard の課題 Vamos10%、共通テスト 30%。予習や復習、授業に積極的に取り組む姿勢を高く評価し、課題、独自のテストの評価も含めて総合した成績を出します。

【参考書、教材等】

教科書：『Español con TOMATE 五感でめぐるスペイン語』朝日出版社 ISBN978-4-255-55072-5 C1087
 参考書：開講時に指示
 辞書：『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』小学館

※ この授業は、9/30（月）が初回です。
 ※ 拓殖大学の授業時間は、1 時限 105 分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
108	拓殖大学	日本語文化基礎	近藤 真宣 外国語学部 教授	2	前期	火	13	9:20~11:05	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

言語表現のスタイルは、時、場所、相手によって変わります。また、それぞれの場合の「最適」なスタイルは、表現者の母語や背景とする文化によっても異なり、表現者と受け手の文化が異なることが誤解の原因となることもありえます。この授業の目的は、日本語の表現スタイルがどのように成り立っているのかを知ることにあります。表現スタイルを左右する要因を知ることによって、場面と文化を考慮した日本語を使用できるようになることを目指します。

【授業内容】

第1回 言語と社会
 予習課題へのフィードバックも交えながら、社会言語学の視点から、言語とその言語が使用される文化・社会の結びつきについて検討します。
 第2回 言語と文化
 ①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②予習課題へのフィードバックも交えながら、言語相対性仮説の視点から言語と文化の関係について検討します。
 第3回 言語の普遍性と固有性
 ①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②予習課題へのフィードバックも交えながら、異なる文化における世界認知のあり方と言語のあり方の間の普遍性と固有性について検討します。
 第4回 事態のとらえ方
 ①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、事態のとらえ方がどのように言語表現に表れるのかを検討します。
 第5回 人称代名詞と呼称語
 ①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、アイデンティティの視点から人称代名詞と呼称語の使用について検討します。
 第6回 比喩表現
 ①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、比喩表現について認知意味論の視点で検討します。
 第7回 感覚形容詞
 ①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、メタファーと共感覚の視点から感覚形容詞について検討します。
 第8回 対人関係と表現

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、ラポール・マネジメントの視点から対人配慮の言語表現への表れ方について検討します。

第9回 メッセージの意味と意図

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、コンテキスト、会話の含みの観点からメッセージの意味と意図について検討します。

第10回 会話スタイル

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、予習課題へのフィードバックも交えながら、会話スタイルについて、検討します。

第11回 地域的位相

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②予習課題へのフィードバックも交えながら、地域方言の特性、言語政策や共通語とのかかわりの視点から、日本語の多様性について検討します。

第12回 社会的位相

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②予習課題へのフィードバックも交えながら、性差、世代差、メディアの視点から、日本語の多様性について検討します。

第13回 ことば遊び

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック解説 ②日本語と外国語の事例をもとに、ことば遊びが成立する要件について、予習課題へのフィードバックも交えながら、言語面、文化面から検討します。

【授業の方法】

教員がテーマについて講義する形式を主としますが、学生が能動的、自律的に考えを深められるようグループワーク等の演習形式も併用します。説明、グループワーク時には、予習課題への受講者の回答を事例として利用するので、あらかじめ資料を読み予習課題に取り組むことが必須です。

【予習・復習】

授業資料（PPT ファイル）をMS Teams 上の授業チームに事前配信します（当初はB bも併用）。教材には「予習課題」と「復習課題」があります。授業前に「予習課題」を済ませ提出してください。また、授業後には、「復習課題」に取り組んでください。両者が予習と復習になります。また、提出された課題には「コメント」でフィードバックをしますので、それを確認することも復習になります。

【成績評価方法】

予習課題の提出・内容（20%）、復習課題の提出と・内容（30%）、期末レポートの提出・内容（30%）、発言やグループワークでの積極性など授業への参加度（20%）により成績評価をします。

【参考書、教材等】

教科書：次週の授業資料を配信します。

参考書：南雅彦『言語と文化』くろしお出版、東照二『社会言語学入門』研究社

※ この授業は、4/16（火）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
109	拓殖大学	日本語文化演習	近藤 真宣 外国語学部 教授	2	後期	火	13	9:20~11:05	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

思考様式、価値観をはじめとするさまざまな文化的特徴が日本語の表現スタイルに影響しています。この授業の目的は、日本人の表現スタイルのいくつかの特徴を知ることにあります。日本語を母語とする者と外国語を母語とする者の、それぞれの表現スタイルの違いを知ることにより、相手や場面に適した表現スタイルを用いて誤解のないコミュニケーションが行えるようになることを目標とします。

【授業内容】

第1回 「わたし」のあり方

予習課題へのフィードバックを交えながら、発話本人(わたし)がどのように文中に関わっているのかという視点から、非母語話者が難しいと感じる日本語表現について検討します。

第2回 日本語の事象把握

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、日本語と英語について、事象把握のあり方という視点から、それぞれの原文と翻訳文の異同について検討します。

第3回 謝罪表現

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、主に謝罪表現について日本語母語話者と非母語話者の違いがどこにあるのかを検討します。

第4回 依頼表現

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、主に依頼表現について日本語母語話者と非母語話者の違いがどこにあるのかを検討します。

第5回 話題選択

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、日本語母語話者と外国語母語話者の会話における話題の選択と会話の展開の仕方について検討します。

第6回 色彩語のイメージ

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、日本語と外国語の事例をもとに、色彩語のイメージと比喩用法について検討します。

第7回 音象徴

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、日本語の事例をもとに、語音がどのような印象に結びついているのかについて検討します。

第8回 オノマトペ

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、主に日本語の事例をもとに、オノマトペの使われ方と効果について検討します。

第9回 味覚表現

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、日本語と外国語の事例をもとに、味覚を表現するレトリック

クについて検討します。

第10回 役割語

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、日本語表現の事例をもとに、キャラクター特有の言語表現のあり方について検討します。

第11回 非言語コミュニケーション

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、日本語と外国語の事例をもとに、コミュニケーションに及ぼす非言語要素の影響について検討します。

第12回 日本語であそぶ

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②予習課題へのフィードバックを交えながら、日本語を使ったさまざまなことば遊びを試します。

第13回 総まとめ

①復習課題（前回テーマ）へのフィードバック ②これまでの授業で学んだことを踏まえ、あらためて日本語らしい表現スタイルとはどんなものなのかを検討し、総まとめとします。

【授業の方法】

教員がテーマについて講義する形式を主としますが、学生が能動的、自律的に考えを深められるようグループワーク等の演習形式も併用します。説明、グループワーク時には、予習課題への受講者の回答を事例として利用するので、あらかじめ資料を読み予習課題に取り組むことが必須です。

【予習・復習】

授業資料（PPT ファイル）をMS Teams 上の授業チームに事前配信します（当初はB bも併用）。教材には「予習課題」と「復習課題」があります。授業前に「予習課題」を済ませ提出してください。また、授業後には、「復習課題」に取り組んでください。両者が予習と復習になります。また、提出された課題には「コメント」でフィードバックをするので、それを確認することも復習になります。

【成績評価方法】

予習課題の提出・内容（20%）、復習課題の提出と・内容（30%）、期末レポートの提出・内容（30%）、発言やグループワークでの積極性など授業への参加度（20%）により成績評価をします。

【参考書、教材等】

教科書：使いません。前週に予習用の授業資料を掲載します。

参考書：各授業資料に参考資料が記載されています。

※ この授業は、10/1（火）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1 時限 105 分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
110	拓殖大学	日本語教育概論（外国人留学生クラス）	中村 かおり 外国語学部 教授	2	前期	月	13	11:15～13:00	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

本授業は、日本語教育に関連したさまざまな分野を概観することで視野を広げることを目的とします。そのために、今後の専門的な学習に向けて、学習者自身で方向性を探索するための視座を得ることを目指します。授業では対話と協働的活動を取り入れ、様々な教育や実践についての理解を深めます。

【授業内容】

第1回 ガイダンス・日本語教育と国語教育

授業の流れおよび評価方法などについて確認する。日本語教育と国語教育との違いを考える。

第2回 日本語教育事情（1）世界の日本語教育事情

歴史的な観点から、日本語教育について概観する。そのうえで、世界の様々な国の言語と日本語教育という視点から、各国の言語環境および国による学習者のニーズ・母語などの特徴を概観し、それぞれに違いがあることを理解する。

第3回 日本語教育事情（2）多文化共生社会

複言語複文化主義とその背景について確認し、「やさしい日本語」の意義について考える。

第4回 日本語について知る（1）主観性

日本語らしさを表す特徴について知る。日本語の主観性について理解し、英語等と比較しながら母語による捉え方の違いについて考える。

第5回 日本語について知る（2）共感性

日本語らしさを表す特徴について知る。共感を示すための日本語のしくみについて考える。

第6回 言語の捉え方（1）社会言語学

言語知識だけではカバーできない社会言語学的要素について概観する。最初に話者の属性による言語変種や言語変容について考える。

第7回 言語の捉え方（2）ポライトネス

コミュニケーションとは何かを考えながら、ポライトネス理論およびコミュニケーションストラテジーを確認する。

第8回 言語の捉え方（3）語用論

協調の原理や関連性理論などについて概略を理解する。その上で、語用論の捉え方について、経験を振り返りながら概観する。基本的な知識として、日本語の音節、アクセント、イントネーション、プロミネンスなどの音声教育について概観する。また、母語別の特徴や難しさについて考える。

第9回 言語学習とは（1）第二言語習得論

言語学習において特に重要だと考えられる概念について概観する。言語間距離について理解する。

第10回 言語学習とは（2）学習者と心理

記憶や動機付けなどの学習における学習者心理の作用について概観する。

第11回 日本語教育の文法と文字

日本語教育における基本的な知識として、国語文法と日本語教育文法の違いについて理解する。。また、非漢字圏の学習者と漢字圏の学習者のつまずきやすい点を整理し、教育の現状と課題について考える。

第12回 日本語の音の特徴

日本語の音、特に音韻の特徴について知り、学習者の習得上の困難点について理解する。

第13回 まとめと振り返り

第1回で持った疑問がどのように解消され、どのような知見を得たかについて共有し、レポート課題に対するフィードバックを行う。その上で、授業全体を振り返り、日本語教育に必要な知識・能力・態度について改めて考える。

【授業の方法】

授業は講義のあと、学生間の話し合いおよび発表形式で行う。問題意識を持って学習に取り組むために、主に課題に対する話し合いや発表を通じて理解を深める。また、話し合いを通じて、日本語教師だけでなく、これからの時代に不可欠な異文化コミュニケーション力および多様性に対して寛容な態度の涵養も目指す。

【予習・復習】

予習：授業内で指示するので、それに従ってください。
復習：授業後のコメントシートを通じて、授業を振り返ります。必要に応じて他の資料を調べるなどして学習を深めてください。

【成績評価方法】

毎回の授業中課題、コメントシートの提出状況およびその内容、授業に対する参加態度（以上合わせて65%）、学期末レポート（35%）

【参考書、教材等】

教科書：毎回の授業でテーマに関する資料を配付する。
参考書：『新・はじめての日本語教育1』（高見澤孟著（平成16年）、アスク出版社）、『新・はじめての日本語教育』2（高見澤孟著（平成16年）、アスク出版社）、『新しい日本語学入門』（スリーエーネットワーク、庵功雄著（平成24年））、『新版日本語教育辞典』（日本語教育学会 編（平成17年）、大修館書店）等

※ この授業は、4/15（月）が初回です。
※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
111	拓殖大学	日本語・日本人論	小井 亜津子 外国語学部 准教授	2	前期	木	13	13:50~15:35	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

大きく2つの目的をもって進める。「日本人論」や「日本語論」というものは巷に多く存在するが、それらが成立した（あるいは必要とされた）歴史的経緯に目を向け、できるだけメタ意識を持って「日本人」や「日本語」を論じる素養を身につけることを目指す。さらに、言語と文化の関係に焦点を当て、「日本語らしさ」と指摘されるものについて、いくつかの議論の構造を理解する。「日本人」や「日本語」に対する直感的イメージを否定するわけではないが、その感覚を成立させているものについて、一歩引いた態度で考察できるようになることが目標である。

【授業内容】

- 第1回 「日本人」とはだれを指すのか
「日本人」は、いつからどのように「自分たち」を均質的な民族として描き出すようになったのか、歴史的経緯を概観すると同時に、現代の文脈も踏まえて「日本人」とは何かを考える。
- 第2回 「日本人論」はなぜ必要とされてきたか(1)
日本では「日本人論」への関心が高いとされ、事実、「日本人論」に区分けされる書籍は膨大に上る。代表的なものを取り上げ、「日本人論」が求められてきた時代背景を考える。
- 第3回 「日本人論」はなぜ必要とされてきたか(2)
引き続き、「日本人論」をめぐる議論を概観し、現代のメディア等に現れる日本人像についても取り上げる。
- 第4回 「日本語」はいつから「日本語」か(1)
現代日本人が無自覚に「日本語」と捉えているものが、どのような経緯をたどってきているのか、特に近現代の「国語・国字問題」に焦点を当てて概観する。
- 第5回 「日本語」はいつから「日本語」か(2)
引き続き、日本語観の変遷について概観する。
- 第6回 「言語は文化を反映している」のか(1)
一般に言語と文化の関係について、これまでどのような議論がなされてきたかを概観する。
- 第7回 「言語は文化を反映している」のか(2)
引き続き、言語と文化の関係をめぐる議論を概観し、具体的な事例も参照する。
- 第8回 文法と「日本語らしさ」
「日本語らしさ」と指摘されるものについて、特に文法面の現象を取り上げる。
- 第9回 配慮・心地よさと「日本語らしさ」
「日本語らしさ」と指摘されるものについて、丁寧さやコミュニケーションにおける快・不快の文化差に焦点を当ててみていく。
- 第10回 日本語教育と「日本語らしさ」
「日本語らしさ」という概念を日本語教育の文脈で考える。
- 第11回 「日本語」の多様性とこれから
「日本語」の多様性に焦点を当て、ここまでに取り上げていない、方言、位相語などについても理解を深める。
- 第12回 まとめとふりかえり
授業全体をふりかえり、議論を深め、試験に備える。
- 第13回 試験とフィードバック
試験を行い、ポイントとなる点について解説する。

【授業の方法】

教員による講義とグループやペアでのディスカッションを交えて進める。授業開始前もしくは開始時に提起された問題について、クラス内で十分に共有し、一人ひとりが問題意識を持って議論に参加することが求められる。
留学生については大学での講義にある程度慣れた2学年次以降での履修を推奨する。

【予習・復習】

予習：事前配布資料がある場合や範囲を指定された場合は目を通して疑問点を整理し、授業内での理解を深められるようにしてほしい。
復習：関心の強い部分について関連資料などで自ら補足し、後日クラス内で共有してくれることを期待する。

【成績評価方法】

平常点（40%）、期末試験（60%）で評価する。
平常点は日々の課題への取り組み状況およびクラス内のディスカッションに積極的に参加し貢献したかを評価するものであり、出席点ではない。

【参考書、教材等】

テキスト：授業中あるいは事前に資料を配布する。

参考書：小熊英二（1995）『単一民族神話の起源』、船曳建夫（2010）『「日本人論」再考』、井出祥子・平賀正子（2005）『講座社会言語科学第1巻 異文化とコミュニケーション』など。

※ この授業は、10/3（木）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
112	拓殖大学	政治と民族	野村 明史 海外事情研究所 准教授	2	前期	火	13	11:15～13:00	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

1994年に大虐殺の起こったルワンダを中心に取り上げながら考えていきます。アフリカ訪問180回超のジャーナリスト・大津司郎さんによる「最新アフリカ事情」を月に1回行います。講義と現地の生々しい情報がクロスした日本で「オンリーワン」の授業です。アフリカの紛争について自分なりの考えを得ることが目的です。「卒業認定・学位授与の方針」のなかでうたわれた「専門的知識」を身につけることが到達目標です。

【授業内容】

第1回 はじめに、アフリカの現状について

オリエンテーション：授業の内容紹介、この授業の目指すもの、教員自己紹介など。

アフリカの現状について一般的な説明をいたします。

第2回 ルワンダ虐殺まで：つくられた格差

ルワンダの悲劇について①：何が虐殺を生んだのか？ルワンダ虐殺は、ツチとフツという2つのエスニック間で起きた悲劇だと言われています。もともと共生していた2つの集団が、争うようになったのはなぜなのか。植民地時代をふりかえります。

第3回 最新アフリカ事情①

最新アフリカ事情①（大津司郎さん）

第4回 ルワンダの悲劇：国際社会は何をしたか

ルワンダの悲劇について②：虐殺と国際社会の対応。国連は何をしたの（あるいはしなかったのか）。

第5回 ルワンダの悲劇：隠された意図

ルワンダの悲劇について③：虐殺の背景にあるもの。ルワンダは、実はそれに続くコンゴ民主共和国の地下資源への入り口ではなかったのか？

第6回 最新アフリカ事情②

最新アフリカ事情②（大津司郎さん）

第7回 人間の安全保障

人間の安全保障について：なぜ必要なのか？アフリカの破綻国家について。

第8回 アフリカにおける日本と中国

日本とアフリカ：日本にとって遠い国………ではない！特に中国のプレゼンスの大きさと、日本のプレゼンス（のなさ）について。

第9回 開発と民主化①

開発と民主化①：開発途上国の抱えるジレンマ。開発が先か民主化が先か？

第10回 開発と民主化②

開発と民主化②：「デモクラシーは最悪の制度」か？さまざまな政治制度のメリットデメリットについて考えます。

第11回 最新アフリカ事情③

最新アフリカ事情③（大津司郎さん）

第12回 ルワンダ虐殺その後

ルワンダからコンゴ民主共和国（DRC）へ。なぜ「アフリカ大戦」は起きたのか。

第13回 ルワンダの未来：ポール・カガメと彼のビジョン／まとめ

ポール・カガメとルワンダの未来。大津さんと私を中心に、フリーディスカッションを行います。

【授業の方法】

レクチャーは50分程度とします。以後はディスカッションやDVDを見ながら「なぜこんなことが起こるのか」を問いかけます。大津司郎さんの豊富なアフリカ取材の知恵や、アフリカスタディツアーの体験から紛争、格差、民主化などの問題を一緒に考えていきましょう。「予定調和」の大嫌いなパートナーとのOn The Spot 講義です。「気まぐれシェフ」の料理を楽しんでください。

【予習・復習】

講義と同等の時間をかけて毎回の授業範囲を復習してみてください。いろいろな気づきがあると思います。

【成績評価方法】

試験（持込不可、60%）。毎回出席を兼ねて簡単な課題（感想）を出していただきます（40%）。場合により中間レポートや配点を変更することがあります。質問やフィードバックは、メール、Bb等を通じお返しします。

【参考書、教材等】

テキスト：甲斐信好『プレステップ政治学 第3版』（新版）弘文堂、2020年。

参考書：フィリップ・ゴーレイヴィッチ『ジェノサイドの丘』WAVE出版、2003年。

※ この授業は、4/16（火）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
113	拓殖大学	人口学	新田目 夏実 国際学部 教授	2	前期	木	13	17:40～19:25	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

現在多くの諸国で新しい人口問題に直面しています。まず少子高齢化が先進国だけではなく途上国にも広がりつつあります。また、グローバル化時代となり、国境を越えた国際人口移動が問題となっています。そこで本クラスでは、まず人口学の基礎である出生率と死亡率の現状と決定要因について理論的に学ぶことを目的とします。その上で、今日問題になりつつある少子高齢化と国際人口移動について理論的に理解すると同時に、政策的対応について、自分の意見が述べられるようになることを到達目標とします。

【授業内容】

第1回 世界人口の動向と展望—人口学的見方

人口学は学際的学問であり、政治、経済、社会の諸側面と密接に関係しています。現在の世界人口の分布と変動について解説します。

第2回 人口学的見方と人口転換理論

人口変動を理解するための基本的視点を学びます。また、近代化とともに生じた出生率、死亡率の変化を説明する人口転換理論について解説します。

第3回 死亡率の動向と決定要因

死亡率の動向について学びます。発展とともに死因構造は感染症から生活習慣病へと変化しました。

第4回 発展途上国の健康と保健政策

途上国の衛生環境で効果的医療とは何か。プライマリーヘルスケアの考え方について学びます。なお、第2回から第4回の内容について中間試験(もしくはレポート試験)を行います。BBおよび授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

第5回 出生率の動向と決定要因

出生率の変化の動向について、また出生率の動向に影響する生物学的要因と社会的要因の関係について学びます。

第6回 日本の少子化—その原因と対策

日本の少子化の原因について、社会、経済、文化的観点から学びます。また、日本の少子化対策の問題点について検討します。

第7回 高齢化の動向と問題点

高齢化はなぜ問題なのか、日本の高齢化と社会保障政策を事例に学びます。

第8回 高齢化と地域福祉

高齢者の介護のために日本で導入された政策である「地域福祉」と介護保険について紹介します。なお、第4回から第8回の内容について中間試験(もしくはレポート試験)を行います。BBおよび授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

第9回 国際人口移動の加速化と多様化

まず国際人口移動について定義し、国際人口移動の動向がいつどのように変化したのか、その特徴を地域別に概説します。また、現在問題となっている難民問題についても説明します。

第10回 日本の移民—戦前～1980年代

日本は移民の送出国だった時期があります。戦前からさかのぼり、新たな移民流入が始まる1980年代までの特徴について紹介します。

第11回 日本の移民政策の変貌—1980～2010

日本の「移民政策」は、少子高齢化に伴い「バックドア」から「サイドドア」へと大きく変貌しました。この時期の政策的変更を中心に検討します。

第12回 日本の移民政策の変貌—2010～現在

日本の「移民政策」は、いよいよ労働力不足を背景にした外国人労働者受け入れに舵を切りました。現在の状況と今後の方向性について展望します。

第13回 多文化共生時代に向けて

多文化社会が進む日本経済と社会が直面する様々な課題について検討します。なお、第9回以降の内容について期末試験(レポート試験)を行います。BBを通じて試験の結果についてフィードバックを行います。

【授業の方法】

BB上に毎回レジュメおよび関連資料をアップロードします。講義形式ですがディスカッションも行います。授業の進行に合わせて中間・期末試験(もしくはレポート試験)を行います。BBを通じて、また授業の中でフィードバックを行います。

【予習・復習】

毎回授業の最初に簡単なディスカッションを行いますので、指定された参考資料について予習してきてください。授業内容・配付資料をもとにBBにコメントを書くことで、毎回の授業内容の復習をしてください。

【成績評価方法】

成績は授業への参加状況・BBへのコメント記入(30%)、中間試験(40%)、および学期末試験(30%)にもとづき総合的に評価します。テスト等のフィードバックは、授業およびBBを通して行います。

【参考書、教材等】

河野 稠果『人口学への招待—少子・高齢化はどこまで解明されたか』中公新書 2007年。

樽本英樹『よくわかる国際社会学』ミネルヴァ書房、2017年。

および関連資料を適宜指定・配布します。

※ この授業は、4/18(木)が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
114	拓殖大学	東南アジア	椎野 幸平 国際学部 准教授	2	前期	水	13	17:40～19:25	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

東南アジア各国の社会を理解した上で、政治・歴史、経済構造、各国が抱える課題について理解し、多様な東南アジア各国を、国別に比較し理解を深めることを目的とする。

東南アジアについて、体系的に理解し、自らの言葉で東南アジアについて議論、分析ができる水準に達することを到達目標とする。

【授業内容】

第1回 イントロダクション、東南アジア概観

講義全体の流れを解説するとともに、東南アジアの地理的特性(陸のアジア、海のアジア)や歴史、宗教・人種・民族、経済など、東南アジアの全体像について概説する。

第2回 タイ

タイの社会、王室や軍、政党など政治構造の特徴を理解する。

第3回 タイ

タイの経済発展、バンコクを中心とする産業集積、タイが直面する中所得国の罣や近年の経済政策について説明する。

第4回 インドネシア

東南アジアの大国であるインドネシアの社会、国家形成の特徴、スハルト元大統領時代から現在の政治構造への変遷を理解する。

第5回 インドネシア

インドネシアの自動車をはじめとする産業構造、経済政策を説明する。

第6回 シンガポール

シンガポール社会、政治史、統治体制について学ぶ。

第7回 シンガポール

これまでの経済発展の特徴、産業・誘致政策、アジアのハブとなっている投資環境を理解した上で、直面する課題を説明する。

第8回 マレーシア

小テスト及びフィードバックとしての解説を行う（進捗に応じて実施日を変更する場合がある）。

多様な民族構造を反映したプンプトラ政策、マハティール元首相時代からのエレクトロニクス（電気・電子産業）を中心とする輸出主導型の成長や近年のインフラ開発などの経済政策を理解する。

第9回 フィリピン

フィリピンの歴史・政治を概観した上で、海外からの送金に支えられる経済や投資環境について説明する。

第10回 ベトナム

ベトナムの歴史やドイモイ政策以降の経済改革を概観した上で、縫製業やエレクトロニクス産業など成長する産業やCPTPP参加などの通商政策について説明する。

第11回 カンボジア、ミャンマー

カンボジアの歴史、政治を理解し、経済面では拡大する縫製品の輸出に加え、直面する課題を説明する。ミャンマーの歴史と政治、直面する課題について説明する。

第12回 ラオス、ブルネイ、ASEAN

ラオスの歴史、政治構造を概観した上で、内陸国ラオスの資源、電力を中心とする産業構造や投資環境とその課題について説明する。ブルネイの政治と経済を概観する。

ASEANの形成過程を学ぶとともに、その中核となるASEAN経済共同体（AEC）について、物品貿易分野の自由化を中心に説明する。

第13回 学期試験、東南アジアの総括

学期試験及びフィードバックとしての解説、これまでの授業を総括する。

【授業の方法】

各回、シラバスに沿って、配布資料を基に、講義形式で進める。講義では、適宜、質疑応答を行い、学生の思考を引き出す方法を採用。各回、リアクションペーパーをとり、次回講義冒頭で不明な主要点について解説する。

【予習・復習】

予習は配布資料に事前に目を通し、意見や不明な点についてまとめた上で授業に臨む。復習は授業内容を整理するとともに、提示する参考文献、データソースを活用して理解を深める。

【成績評価方法】

期末試験（60%）、小テスト（25%）、授業への参画状況（15%）に基づき評価する。

【参考書、教材等】

【教科書】

教科書は特に指定せず、配布資料を基に授業を行う。配布資料に関連する参考文献を提示する。

【主な参考書】

川中豪・川村晃一編（2020）『教養の東南アジア現代史』ミネルヴァ書房。

今井昭夫編（2014）『東南アジアを知るための50章』明石書店。

末廣昭（2009）『タイ 中進国の模索』中公新書。

綾部真雄編（2014）『タイを知るための72章』明石書店。

佐藤百合（2011）『経済大国インドネシア 21世紀成長の条件』中公新書。

村井吉敬・佐伯津子・間瀬朋子編（2013）『現代インドネシアを知るための60章』明石書店。

田村慶子編（2016）『シンガポールを知るための65章』明石書店。

井出穰治（2017）『フィリピン—急成長する若き「大国」』中公新書。

大野拓司、鈴木伸隆、日下渉（2016）『フィリピンを知るための64章』明石書店。

今井昭夫・岩井美佐紀編（2012）『現代ベトナムを知るための60章』明石書店。

アジア経済研究所（各年版）『アジア動向年報』。

ジェトロ（各年版）『世界貿易投資報告』。

※ この授業は、4/17（水）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
115	拓殖大学	日米関係	佐藤 丙午 国際学部 教授	2	前期	月	13	17:40～19:25	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

本講義の目的は、日米関係の歴史を学習し、日本にとって特殊な二国間関係の誕生から発展、そして現状を解明することである。

19世紀から始まる日米関係の歴史は、友好と対立の歴史でもあった。この関係を総合的に学習し、現在両国間で発展しつつある問題に関する理解を深めることで、特定の二国間関係が国際関係の影響を受けながら変化する様子を知る。

本授業は、二国関係の歴史的文脈を理解し、これを用いて日米関係の将来に対する提言ができる能力を身につけることを到達目標とする。

【授業内容】

第1回 イントロダクション（日米関係の現状）

授業計画の説明を行うと共に、日米関係の現在地を解説し、なぜ日米関係を学ぶ必要があるかを説明する。

第2回 日米関係の歴史（初期の日米関係）

ペリー来航から日露戦争に至るまでの間の、日米関係の確立期について解説する。

第3回 日米関係の歴史（世紀末から20世紀初頭の日米関係）

日露戦争から第一次世界大戦に至る、両国間の緊張関係が高まっていく過程を解説する。

第4回 日米関係の歴史（太平洋戦争への道）

戦間期の日米関係を俯瞰する。

第5回 日米関係の歴史（第二次世界大戦）

日米関係が戦争に向かう過程で、何が問題であったのかを解説する。

第6回 日米関係の歴史（戦後日米関係と冷戦）

第二次世界大戦後の日米関係の歴史を振り返る。

第7回 安全保障問題①日米安保条約

日米安全保障条約を、条文ごとに解説し、その政策的意味を提示する。

第8回 安全保障問題②ガイドライン

日米安全保障協力の指針（ガイドライン）の内容を解説する。

第9回 安全保障問題③2015年ガイドラインとその後

日米安全保障関係において、今日問題となっている諸問題を解説する。

第10回 日米経済関係（経済摩擦の歴史）

日米経済関係の歴史を振り返る。特に1980年代以降の日米経済摩擦について、その経緯と、今日の日米関係に及ぼした影響を解説する。

第11回 日米経済関係（構造協議後の日米関係）

1990年以降の日米経済関係を解説する。日米経済摩擦の時代から、WTOの下での日米経済関係、そしてバイデンの国際経済政策と日本の対応について解説する。

第12回 バイデン政権の日米関係

バイデン政権下の日米関係について、最新の米国の日本専門家の論考などを参考にしながら解説する。

第13回 文化交流の歴史と学生の可能性

日米間の人的交流の歴史を振り返り、留学等の方法を解説する。

【授業の方法】

教科書に基づいて、講義を中心に構成する。基本的にインターアクティブな授業は想定せず、伝統的な手法で実施する。

【予習・復習】

歴史部分については、教科書による予習と復習を求める。授業では、日米関係の分析視角を紹介するため、事実関係については教科書等で確認すること

【成績評価方法】

授業参加（小課題を含む）30%、試験50%、平素点20%で評価する。出席は重視しないが、授業内容を理解しない限り、試験内容を把握できないものとする。試験内容のフィードバックは、全体及び個別に実施する。

【参考書、教材等】教科書

Walter LaFeber, The Clash: US-Japan Relations Throughout History (WW Norton, 1997)。

Michael Green, By More Than Providence: Grand Strategy and American Power in the Asia Pacific Since 1783 (Columbia Univ. Press, 2019)

竹内俊隆、『日米同盟論—歴史・機能・周辺諸国の視点』（ミネルヴァ書房、2011年）。

滝田賢治、『アメリカがつくる国際秩序』（ミネルヴァ書房、2013年）。

その他資料等。

※ この授業は、4/15（月）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
116	拓殖大学	タイの政治と経済	甲斐 信好 国際学部 教授	2	後期	木	13	13:50~15:35	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

目的は地域研究の一環としてタイという国を主として政治面から理解することです。

政治経済を理解するために「国王」「仏教」という2つのキーワードからタイの歴史を俯瞰します。

地域研究とは①地域理解②地域言語③地域体験の総合だと考えます。レクチャーを通してタイを理解し、地域言語としてサバイバルタイ語を、地域の体験はタイ映画やビデオを紹介します。以上の3つを通して「タイを好きになること」:「タイに行ったことがない人はタイを好きになること。タイに行ったことがある人はますます好きになること」を到達目標にします。

【授業内容】

第1回 オリエンテーションとタイ国概況

講師の自己紹介、授業の進め方、評価基準、全体像、成績評価の基準など。

オリエンテーションとしてタイという国の一般的な概況についてもお話しします。

第2回 いま、タイで何が起きているのか

タイを理解するキーワード「仏教」そして「国王」について紹介します。

講師はタイ大好き人間です。いま、タイで何が起きているのか、最新情報もお伝えしたいと思います。

第3回 タイの夜明け—スコータイ朝そして「国王」

13世紀にはじめてタイの王朝として成立したスコータイ朝を顧みながら、タイを理解するキーワード「国王」についてその根源を述べます。

第4回 タイ仏教と政治

「日本とタイは同じ仏教国」—それは半分真実で、半分はとんでもない勘違いです。タイを理解するキーワード「仏教」について、講師のタイ体験からも紹介いたします。

第5回 アユタヤ朝—タイのかたち

400年以上続いたアユタヤ朝は商業国家であり、また今日に続く「外国人の使い方がうまい」タイの力を示しています。タイの多様性についても考えます。

第6回 アユタヤの滅亡、トンブリから現王朝へ

アユタヤ朝はビルマに敗れ、復興したタクシン王一代限りのトンブリ朝を経て、都はバンコクへ。激動の時代のタイ政治と現王朝の誕生について紹介します。

第7回 なぜタイは独立を保てたか

近代化に邁進したモンクット王、チュラロンコーン王の親子を中心にタイがどのように生き延びてきたか顧みます。「王様と私」（アンナと王様）というミュージカル（映画）はなぜタイでは忌避されるのでしょうか？

第8回 王権の衰退と立憲革命

1932年の立憲革命で、タイは絶対王制から立憲君主国になったとされます。それは本当なのか？何が不十分だったのか？について議論を行いたいと思います。

第9回 第2次世界大戦を巡るタイと日本

欧米列強と日本など枢軸国の間で、タイがどのような対応を見せたか。今日に続く「外交上手」の核心に迫ります。

タイではなぜクーデターが多発するのか、そしてその特徴は何かについても問います。

第10回 戦後：開発の時代

タイに「開発の時代」がやってきました。権威主義開発体制と呼ばれる政治体制についてサリットを中心に、タイの経済発展を政治面から分析します。「タイ式民主主義」の特徴と原因について紹介します。

第11回 タイの経済発展と民主化

スチンダ首相の就任と辞任を巡る混乱とともに、タイには民主化の季節が訪れます。民主化の担い手である「新中間層」とは何だったか、彼らが中心となった1997年憲法について、その両面性を検証します。

第12回 タクシンという男：21世紀のタイ

タイのデモクラシーを（良きにせよ悪しきにせよ）大きく変えたのが、タクシンという政治家でした。CEO型首相と言われた彼の功罪について問います。

第13回 タイはどこへ行くのか

タクシンなきタクシン政治について触れます。2020年からの学生運動についても考えます。これまで学んできたことをまとめ、タイがどこに向かうのか、皆さんと議論を行いたいと思います。

【授業の方法】

レクチャーは半分の時間までとします。地域研究は「知識」「言語」「体験」の三本柱からなっています。レクチャーを通して「知識」を得るのはもちろんですが、「言語」（サバイバルタイ語）「体験」（タイ映画の紹介）も伝えていきたいと考えます。

【予習・復習】

予習は、前回の課題と内容を見直しておいてください（30分程度）。その日の授業内容の復習をお願いします。時間は60分程度を想定しています。

【成績評価方法】

最終試験（持ち込み不可）で60%、参加と課題で40%と考えています。質問等には教室の他、メール・BB等も使ってフィードバックいたします。

【参考書、教材等】

【参考書】柿崎一郎『物語 タイの歴史』中公新書、2007年

【参考書】赤木 攻『タイのかたち』めこん、2019年 その他、授業の中で指示します。

※ この授業は、10/3（木）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
117	拓殖大学	安全保障	佐藤 丙午 国際学部 教授	2	後期	月	13	11:15~13:00	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

本講義は、安全保障論の基礎的知識を習得することにある。

安全保障論では、軍事問題に限らず、社会の安全認識に影響が及ぶ事象を対象とする。本講義では、安全保障論の包括性に留意しつつ、戦略論や軍事学などを中心に安全保障論の理論構造を学ぶ。ただし、安全保障で扱うべき事象の多様性を考慮し、理論の将来の発展可能性を、今日の現象の中に探る。

なお、この科目は、以上を学ぶことにより、「卒業認定・学位授与の方針」の中で謳う「専門的知識」を身につけるための科目である。

【授業内容】

第1回 今日の戦略環境と安全保障研究

現在の安全保障論の構図、そして理論が政策にどのように関連するか説明する。

第2回 安全保障論の視座

安全保障論で扱う主題、その扱い方、さらにはそれをどのように政策に適用すべきか説明する。

第3回 現実主義

国際関係論の現実主義を踏まえつつ、安全保障論における現実主義的思考の概要を解説する。

第4回 リベラリズム・平和研究

安全保障論におけるリベラリズムの系譜を説明し、同時に平和研究の概要を解説する。

第5回 批判理論・社会構成主義・人間の安全保障

安全保障論に対する批判理論の貢献を解説する。人間の安全保障に対する関心が、いかに伝統的な安全保障論と関連するか説明する。

第6回 軍事安全保障

安全保障における軍の役割と機能を解説する。軍事史についても、今日の安全保障問題と関係する範囲で解説する。

第7回 戦略論①

軍事力の役割を含む、戦略論の基本的考えを解説する。特に核戦略について解説する。

第8回 戦略論②

軍事力の役割を含む、戦略論の基本的考えを解説する。通常兵器を中心とした戦略論を解説する。

第9回 軍備管理軍縮論

安全保障政策において、軍備管理軍縮がどのような位置づけを受けており、どれだけの機能を果たしているのか概観する。

第10回 地政学

地政学の議論を紹介し、今日地政学が興隆している理由を、アジア太平洋の安全保障環境から説明する。

第11回 戦争と安全保障①：戦争研究の理論的考察

大戦略の在り方、戦争と戦略、核抑止と制限戦争、テロリズムと戦争、ハイブリッド戦争などを扱う。シーパワー、エアパワー、ランドパワーについて考察し、同時に新たな領域についての戦争について解説する。

第12回 戦争と安全保障②戦争と社会

戦争社会学を扱う。政軍関係や、軍隊と社会の関係の在り方、国際法等への影響など、社会がどのように戦争を考察してきたか解説する。

第13回 エネルギー安全保障

エネルギー安全保障を考察し、原子力政策の歴史的展開と、エネルギー供給の問題と各国の安全保障政策がいかに連動しているか解説する。

【授業の方法】

講義形式で実施する。授業では、毎回レジュメを配布し、それに基づいて説明を行う。安全保障は、同時代的に進行する国際情勢の反映が重要であるため、受講者は十分に情報にアクセスし、自分の意見を持つことが重要である。授業はそれを前提に進める。

【予習・復習】

授業の内容は、教科書の指定部分を中心に解説している。教科書の該当部分を学習することが必要である。履修生は、時事的な問題を授業前にフォローし、それを授業内でどのように理解すべきか確認する。授業後、理論の習得の度合いを自身で確認し、疑問点を次回授業で教員に質問するのが望ましい。

【成績評価方法】

学期の最後に試験形式で実施する。平素点：30%、試験点60%、授業参加点：10%。コロナの状況に応じ、試験をペーパーにするか、レポートにするかは決定していない。授業では受講者に質問を投げかけるので、それに対する応答も重視する。

【参考書、教材等】

教科書

Paul Williams, Matt McDonald, Security Studies: An introduction, 3rd. (Routledge, 2018).

Alan Colins, Contemporary Security Studies, 5th., (Oxford, 2019).

教科書・参考書

Thomas G. Mahnken, Competitive Strategies for the 21st Century (Stanford, 2012).

Elinor Sloan, Modern Military Strategy: An Introduction (Routledge, 2016).

Lindley-French and Yves Boyer, The Oxford Handbook of War (Oxford, 2012).

Peter Hough, et.al., International Security Studies: Theory and Practice, 2nd. (Routledge, 2021).

その他授業で指定する。

※ この授業は、9/30（月）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1 時限 105 分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
118	拓殖大学	国際社会学	新田目 夏実 国際学部 教授	2	後期	木	13	15:45~17:30	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

グローバル化には「光」だけでなく「影」の部分もあります。本授業では、グローバル化に伴って増大する「人の移動」がもたらす諸問題を社会学的観点から学ぶことが目的です。特に、「人の移動」には「自発的」移動と難民のような「非自発的」移動があること、また、受け入れ社会の文化、社会、政治や経済に様々な影響を及ぼすことを理解したうえで、移民・外国人にとってまた受け入れ社会にとって、望ましい政策提言ができるようになることが授業の到達目標です。

【授業内容】

第1回 国際社会学への招待

なぜ国際社会学が必要になったのでしょうか。グローバル化の歴史、グローバル化の「光と影」、グローバル化によって生じつつある社会問題など、本授業で取り上げる「社会学的視点」について解説します。

第2回 国際人口移動の加速化

国際移民を歴史的に振り返ります。「奴隷貿易」から戦後復興のための「労働移民」まで振り返り、現代の国際移動をとらえる視点について学びます。

第3回 世界の難民問題

「難民」とは誰のことを言うのでしょうか。「難民条約」の理念、「政治難民」から「紛争難民」への難民の性格の変化と「欧州難民危機」について紹介します。

第4回 世界の難民、日本の難民

難民問題は世界的な課題ですが、日本はどのように対応したらよいのでしょうか。日本の難民政策について、「インドシナ難民」から「ウクライナ避難民」受け入れまで解説します。

第5回 移民と犯罪

ビジネスのグローバル化は、組織犯罪集団による犯罪のグローバル化をもたらしました。その一つが「人身取引」です。なお、第1回から第4回までの内容について中間試験を行います。BB および授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

第6回 移民と開発

国際移民はしばしば開発途上国から先進国へ移動します。移民と母国の関係、移民のホスト社会への適応、そして女性移民が直面する問題について紹介します。

第7回 グローバル化の中の日常生活

「人の移動」はホスト社会の中に新しい問題を発生させています。家族生活、地域社会、異なる宗教に由来する文化的軋轢などについて検討します。

第8回 移民政策—アメリカ

「移民の国」アメリカでは、どのように移民に対応してきたのでしょうか。その歴史を振り返り、現状について検証します。なお、第5回から第7回までの内容について中間試験を行います。BB および授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

第9回 移民政策—ヨーロッパ

国境が陸続きのヨーロッパにおいて、国際移動はそもそも当たり前の現象でした。しかし、「欧州難民危機」以降難民への対応に苦慮しています。

第10回 日本の移民—戦前～1980年代

日本は移民の送出国だった時期があります。戦前からさかのぼり、新たな移民流入が始まる1980年代までの特徴について紹介します。第8回と第9回の内容について中間試験を行います。BB および授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

第11回 日本の移民政策の変貌—1980～今日

日本の「移民政策」は、少子高齢化に伴い「バックドア」、「サイドドア」時代を経て「フロントドア」時代へと大きく舵をきりました。この時期の政策的変更を中心に検討します。

第12回 多文化主義の可能性と問題点1

「多文化共生」は理想ですが、その実現は容易ではありません。「同化主義」から「統合」への理念の変化、多文化主義のバリエーション、「反移民主義」と人種暴動等について検討します。

第13回 多文化共生の可能性と問題点2

日本の「多文化共生」政策を紹介するとともに、移民の子どもたちの教育問題について紹介します。第10回から第12回までの内容について中間試験を行います。BB および授業を通じて中間試験の結果についてフィードバックを行います。

【授業の方法】

この科目は講義形式ですがディスカッションも行います。BB上に毎回レジュメおよび関連資料をアップロードします。

【予習・復習】

毎回授業の最初にグループに分かれ「理解度テスト」を行いますので、前もって指定した課題図書・資料等を予習してきてください。また、BBを用いてその日の学習内容や質問事項を記入することで復習してください。

【成績評価方法】

成績は授業への参加状況・BBによるコメント記入(30%)、中間試験(もしくは課題レポート)(45%)、および学期末試験(もしくは課題レポート)(25%)にもとづき総合的に評価します。テスト等のフィードバックは、授業およびBBを通じて行います。

【参考書、教材等】

石井香世子『国際社会学入門』ナカニシヤ出版、2017年。
樽本英樹『よくわかる国際社会学』ミネルヴァ書房、2017年。
および関連資料を適宜指定・配布します。

※ この授業は、10/3(木)が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
119	拓殖大学	材料基礎論	森 きよみ 工学部 准教授	2	前期	水	13	9:20~11:05	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

金属・セラミックス・高分子・複合材料等、機械材料として使用される多様な材料の物理的特性と機械的特性を知るとともに、それらの特性が生じる由来を分子構造の立場から理解することを目的とします。

材料を機械構造物等の材料として使用する際に必要となる種々の材料特性に対する考え方を習得し、機械を設計する際に適切な材料の選択ができるようになることを到達目標とします。

【授業内容】

第1回 種々の材料とその特徴

授業のねらいと講義の予定を紹介すると共に、金属・セラミックス・高分子・複合材料等多様な材料を紹介し、それらの主たる特徴を講述します。

第2回 金属材料とその特性-1

金属材料の結晶構造と機械特性を示すとともに、合金の考え方を理解するために、平衡状態図の読み方を実例を使って学びます。

第3回 金属材料とその特性-2

代表的な金属として鋼を取りあげ、炭素鋼と合金鋼の成分と熱処理によって強度・靱性を改良する方法に対する基礎的考え方を学びます。演習及びフィードバックとしての振り返りを行います。

第4回 セラミックスとその特性-1

セラミックス材料の結晶構造と機械特性を示し、セラミックスの特徴の由来とセラミック材料の取り扱い方の注意点を概説します。

第5回 セラミックスとその特性-2

セラミックス材料の製造方法を成型と接合を含めて概説し、エンジニアリングセラミックスと呼ばれている高機能セラミックスの概要を説明します。演習及びフィードバックとしての振り返りを行います。

第6回 高分子材料とその特性

高分子材料の特徴が長くつながった分子構造にあり、そのような構造に起因して粘弾性やクリープなど高分子材料独特の機械特性が現れることを学びます。

第7回 複合材料とその特性-1

複合材料の基礎を学び、炭素繊維などの高強度繊維と高分子材料やセラミックス材料を組み合わせる新しい機能の発現が可能になることを学びます。

第8回 複合材料とその特性-2

複合材料によって得られるさまざまな機能と材料の微視的構造との関連性について説明し、材料設計の手法について学びます。演習及びフィードバックとしての振り返りを行います。

第9回 弾性率・強度・疲労

弾性率・弾性率・強度・疲労特性と結晶構造や原子間力との関係を学ぶとともに、これらの特性の評価方法を概説します。

第10回 塑性と破壊靱性

金属材料に特徴的な塑性変形に対する考え方とセラミックス材料に特徴的な脆性破壊(破壊靱性)に対する考え方の概要を解説します。

第11回 粘弾性とクリープ

高分子材料に特徴的な粘弾性とクリープ変形について概説し、その現象を具体的に解説します。

第12回 構造用材料の特徴と機械設計

さまざまな材料の特徴や機能について比較して、これら材料機能の発現メカニズムを解説します。また、材料の機能と機械設計との関連について解説します。フィードバックとしての振り返りおよび演習の解説をします。

第13回 設計において必要となる機械構造用材料の総括

授業中に学期試験を行う。

また、本講義で扱った種々の材料を機械構造物の材料として用いる際に必要な材料特性について総説し、本講義のまとめとして試験内容についての振り返りと解説をします。

【授業の方法】

指定した参考書を活用しつつ、最新の先端材料に関する情報をプリント等を配布して説明します。画像・動画やイラストを用いてわかりやすく説明し、講義の内容について具体的に理解できるように演習を交えて授業を行います。

【予習・復習】

教科書・参考書による予習および前回授業中に行った演習問題の振り返りを次回授業までにおこなってこよう。

復習は、配布プリントと講義ノートによるまとめを、毎回の講義に対して行うこと。

【成績評価方法】

期末試験の結果を85%、中間試験と演習等の結果を15%の割合で評価し、100点満点の60点以上で合格とします。授業中の小テストと演習のフィードバ

ックは演習後あるいは翌週の授業中に行い、期末試験の終了後に解説と解答を示してフィードバックを行います。

【参考書、教材等】

教科書：佐々木雅人著、機械材料入門 第3版、オーム社、平成30年発行
 そのほか、授業に必要な資料は、授業中およびBlackboardにより配布する。

- ※ この授業は、4/17（水）が初回です。
- ※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
120	拓殖大学	電子回路 I	三堀 邦彦 工学部 教授	2	後期	火	13	13:50~15:35	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

電子回路はトランジスタに代表される能動素子を用いた回路の総称であり、電子システム工学の根幹をなす枠組みの一つである。電子回路 I では、アナログ電子回路の基礎的知識の習得を目的とする。この科目の到達目標は、トランジスタを含むアナログ電子回路の設計を理解し習熟することである。この科目は「卒業認定・学位授与の方針」の中の「専門的知識」を身につけるための科目である。

【授業内容】

第1回 重ねあわせの理とコンデンサ

この授業では、直流電源と交流電源の両方を含む回路を扱う。その解析方法を説明する。またコンデンサは直流と交流で振る舞いが異なる。アナログ電子回路でのその利用法を説明する。

第2回 pn接合とダイオード

多くの電子デバイスはpn接合を用いて構成される。その代表例であるダイオードについて説明する。

第3回 まとめ演習1

「重ねあわせの理とコンデンサ」「pn接合とダイオード」の内容をまとめた演習を行う。

第4回 電界効果トランジスタ(FET)

このトランジスタの構造と動作原理、主な静特性(直流特性)と直流応答の解析について説明する。

第5回 バイアスの必要性

FETは交流信号の増幅に利用できるが、信号源の他に直流電源を必要とする。そのメカニズムを説明する。

第6回 まとめ演習2

「電界効果トランジスタ」「バイアスの必要性」の内容をまとめた演習を行う。

第7回 前半のまとめ

フィードバックとして第1回から第6回までの内容を振り返り、総括する。

第8回 ソース接地増幅回路(1)

この増幅回路を対象に、増幅に必要なバイアスの実現法と等価回路による解析について説明する。

第9回 ソース接地増幅回路(2)

この増幅回路を対象に、基本的な指標である電圧増幅度・入力インピーダンスを説明する。

第10回 まとめ演習3

「ソース接地増幅回路(1)」「ソース接地増幅回路(2)」の内容をまとめた演習を行う。

第11回 バイポーラトランジスタ

このトランジスタの構造と動作原理、主な静特性とFETとの違いについて説明する。

第12回 まとめ演習4

「バイポーラトランジスタ」の内容をまとめた演習を行う。

第13回 後半のまとめ

フィードバックとして第8回から第12回までの内容を振り返り、総括する。

【授業の方法】

教員作成のプリントを配布し、板書を併用して講義を進める。おおむね2回の講義ごとにまとめ演習を実施し、基礎的な概念や能力を身に付けさせる。また各回の終わりに小演習を実施し、その日の内容を定着させる。

【予習・復習】

各回の小演習の答えは授業日中に提出させ、採点して返却する。その中で間違えやすい問題や重要な問題は、授業の中で解説する。この小演習がフィードバックの役割を果たし、その十分な理解が復習のきっかけになる。

【成績評価方法】

中間試験・期末試験の結果に、上記の小演習の結果を加味して評価する。その割合はおおむね中間試験40%、期末試験40%、小演習20%である。この小演習は各回の授業の理解度調査を兼ねている。

【参考書、教材等】

教員作成のプリントを配布し、これを軸に講義を進める。教科書は特に使用しないが、参考書として以下を薦める：藤井 信生、岩本 洋 監修「最新電子回路入門」(実教出版)。

- ※ この授業は、10/1（火）が初回です。
- ※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
121	拓殖大学	情報工学概論	早川 栄一 工学部 教授	2	前期	水	13	11:15~13:00	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

情報工学科で最初の専門科目です。

情報工学は、情報の発生、伝達、収集、蓄積、処理など情報を工学的に扱う分野です。その内容はとても広いものです。本講義は、4年間の講義や演習のスタートとして、自分たちが係る分野の全体像を眺められるような「みちしるべ」となることを意図しています。また、情報工学では、コンピュータの知識は不可欠です。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークの三つの視点から、その内容を学習しながら、そこで関連する分野の知識を獲得していくことを目的としています。

本講義の到達目標は、情報工学の基礎的な概念を説明できること、基本的な技術用語がわかること、情報工学の原理に関わる簡単な問題が解けることの3点です。

【授業内容】

第1回 講義の全体像

この講義で取り扱う内容の全体像の解説を行います。どのような内容を扱うか、この講義を履修すると何が分かるのかを説明します。また、評価方法などについても述べます。

第2回 計算機の原理

計算機がどのように動作しているのか、その原理とハードウェアとソフトウェアの違いなどについて説明していきます。

第3回 計算機のハードウェアはどうやって動くのか

計算機のハードウェアの中心的な構造であるCPU/メモリ/入出力について説明します。

第4回 CPUの動作：計算機はどのように計算するのか

CPUの動作や機械が最終的にどのように命令を解釈、実行してくのかを説明します。

第5回 機械語：計算機が得意なこと、苦手なこと

計算機がどのように計算をして、処理を進めるのかを、機械が理解できる言語を通して説明します。

第6回 アルゴリズムとデータ構造

プログラムを構成する上で重要なアルゴリズムと、データを実際にメモリ上にどのように配置するかというデータ構造について説明します。

第7回 オペレーティングシステムとプログラミング言語

WindowsやLinux、MacOSなど計算機の操作に欠かせないオペレーティングシステムについて説明します。特にファイルを中心に、その意味を説明していきます。アルゴリズムやデータ構造を人間がより理解し記述しやすいプログラミング言語について説明します。また、プログラムの考え方として大事なオブジェクト指向についても触れていきます。

第8回 コンピュータネットワーク

今日重要になっているコンピュータネットワークについて、その概念と構造について説明します。

第9回 ネットワークの応用

ネットワークを用いた各種アプリケーションについて説明していきます。

第10回 暗号とセキュリティ

プライバシーや情報の保護のために重要度が高まるセキュリティや暗号化について説明します。

第11回 データベース

ビッグデータや機械学習の中心的な役割を果たすデータベースについて、構成とデータの管理、アクセス方法について解説します。

第12回 人工知能

認識、機械学習、自然言語処理などを通して、人間に近い知能を実現しようとする試みについて説明していきます。

第13回 人工知能／計算機の応用／期末テスト

計算機の応用範囲は計算や科学にとどまりません。文字や画像、音声などといった多様なデータを計算機で扱うための方法について説明します。

これまでの範囲について理解度を確認するためのテストを行います。

【授業の方法】

講義は教科書を事前に読み、その内容をより詳しく説明していきます。プリントおよびe-learning systemでの演習を含めます。それと、高校までとは異なり、講義が105分と長いです。ぜひとも105分講義に慣れてください。毎回授業のチェックシートに課題などの結果をフィードバックしていきます。今年度は、マイクロソフトのツール群を利用していきます。授業にPCをもってきてください。

【予習・復習】

大学の講義は、高校までと違って、予習が大事です。この講義では、テキストを事前に読んできてもらうことが予習です（だいたい30～1時間程度です）。テキストに対する理解度については、講義内の小テストなどで確認していきます。最初は慣れないかもしれませんが、この講義を通して、大学のスタイルに慣れていきましょう。復習については、講義内容を整理してまとめておいてください。

【成績評価方法】

授業中の出席を兼ねたテスト、期末テスト、およびレポートによって採点します。出席を兼ねたテストおよびレポートが40%程度、テスト類が60%程度の配点です。レポートの課題には質問項目があり、よい質問については加点するので、積極的に質問してください。

【参考書、教材等】

教科書

渡辺さき：「令和6年度ITパスポート超効率の教科書＋よく出る問題集」インプレス

参考書

- ・コンピュータサイエンス～計算を通して世界を観る～、渡辺治、丸善、ISBN978-4-621-08972-9
- ・新版コンピューティング科学、川合慧、東京大学出版会、ISBN978-4-13-062142-7
- ・コンピュータサイエンス図鑑、クレールクイグリー他、創元社、ISBN978-4-422-41420-1

※ この授業は、4/17（水）が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
122	拓殖大学	ユーザエクスペリエンスデザイン	森岡 大輔 工学部 准教授	2	前期	水	13	17:40～19:25	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

【目的】

近年の“ものづくり”では、製品とユーザとの適合性が強く求められる。これらを向上させる科学がユーザエクスペリエンスデザイン（UXD）である。本講義では実際のものづくりに活用できるUXの手法を理解し、実際の事例をとおして体得することを目的とする。

【到達目標】

UXDに係る基礎知識や実践手法の習得と、実践による技術の醸成を到達目標とする。

【授業内容】

第1回 UXの概念：UXの定義と実践事例の解説

新たな体験価値として”経験”を取り扱うUXの考え方、企業でのUXD実践事例を踏まえ、UXの歴史や適用パターンを解説する。

第2回 UXデザインの要素と関係性

デザインの対象となる3つの要素区分と各要素の関わりを明確にすることで、UXとUXDの違いを学ぶ。

第3回 ユーザ体験の情報収集手法の活用と課題

情報収集（個人面接法など）の諸手法を説明し、ユーザ体験の把握における課題と各手法の活用について学ぶ。

第4回 人間中心デザイン（HCD）と関連学問

UXDを実践する上で必要なHCDの原則の理解とプロセス活用および関連学問について説明し、特に重要な領域の学術的基盤の重要性を学ぶ。

第5回 ガイドライン、デザインパターン

製品やサービスの設計開発において、一定水準の品質や効率を確保するために用いられる手法について学ぶ。

第6回 ユーザ体験のモデル化と体験価値の探索

ユーザ調査から得られた情報の分析方法について説明し、体験価値や本質的ニーズの構造をモデリングするための手法を学ぶ。

第7回 ユーザ体験と利用状況の視覚化

抽象的なUXDコンセプトから具体的なUXの視覚化に落とし込むための手法について学ぶ。

第8回 アイデアの発想とコンセプトの作成法

アイデアの有効性と効率、ユーザ満足度高い製品やサービスの企画やその記述する方法について学ぶ。

第9回 ユーザビリティテストでのプロトタイプ反復

製品プロトタイプが制作目的を達成しているかなど、ユーザビリティ上の問題発見・測定する手法について学ぶ。

第10回 実装レベルの制作物評価と指針の作成

ユーザビリティ品質とUXの実現度評価の手法および体験価値を保持するための手法について学ぶ。

第11回 ペルソナ法の解説

製品設計のプロセスにおいて、チーム内でユーザの体験価値を共有するための手法を学ぶ。

第12回 ペルソナ法の活用

ペルソナの作成方法と活用方法について、実際の事例を交えて解説する。

第13回 UXDのまとめ

これまでの学習内容についてのまとめ試験とその内容の解説をおこなう。

【授業の方法】

教科書を中心としたスライド資料および板書を活用し講義を展開する。また授業の冒頭でミニッツテストや課題のフィードバックを実施する。必要に応じて、Blackboardなどを使った質問対応や課題の掲出などをおこなう。

【予習・復習】

予習：教科書を中心に次回の学習内容に準じたキーワードの検索などを適宜指示する

復習：ミニッツテストのフィードバック内容と配布資料を確認し、不明な点などは教員に質問する

【成績評価方法】

授業態度と積極性など：10%

ミニッツテスト・課題：40%

まとめ試験：50%

各レポートの提出状況とその評価を踏まえて、総合的に評価する。

フィードバックは講義の冒頭で実施する。

【参考書、教材等】

教科書：安藤昌也 著、UXデザインの教科書（丸善出版）、ISBN：978-4-621-30037-4

参考書：樽本徹也 著、ユーザビリティエンジニアリング（オーム社）、ISBN：978-4-274-21483-7

※ この授業は、4/17(水)が初回です。

※ 拓殖大学の授業時間は、1時限105分となっています。

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
123	拓殖大学	講座「科学・技術と人間」	吉森 茂 工学部 教授	2	前期	水	13	オンデマンド	拓殖大学	5

【授業の目的及び到達目標】

私たちはあらゆるところで科学・技術の恩恵を受けて、便利な生活を送っている。しかし、どのような科学・技術の成果がどのように人間社会に影響を与えているのかを知ることはそれほど容易なことではない。そこで、この講座では、科学・技術と人間社会のかかわりを具体的なトピックスを通して理解することを目的とする。

様々な分野の科学・技術のエッセンスを学習し、その知識を今後の社会活動に役立てることを目標とする。なお、この科目は「卒業認定・学位授与の方針」の中で謳う「教養・基礎学力」を身に着けるための科目である。

【授業内容】

第1回 電子機械概論（機械システム工学科 香川美仁）

ロボットの代名詞ともなっているヒューマノイドの歩き方について講義する。また、理解度を確認するための課題を課し、その解説を行なう。

第2回 電気・メカトロニクス概論（機械システム工学科 茂木 学）

電気や、それと機械・ソフトウェアを組み合わせたメカトロニクスの歴史に関して参考動画を交えて概観する。また、理解度を確認するための課題を課し、その解説を行なう。

第3回 電力技術と太陽光発電（電子システム工学科 吉森茂）

省エネ技術として注目を集めている太陽光発電技術。その技術開発の背景・歴史について講義し、さらに問題点や今後の課題についても講義する。また、理解度を確保するための課題を課し、その解説を行なう。

第4回 電子技術とLED (電子システム工学科 吉森茂)

青色LEDがノーベル賞を受賞したことで、省エネ技術としてLEDが注目されている。LEDとはどのようなデバイスであるか、その応用を中心に講義する。また、理解度を確保するための課題を課し、その解説を行なう。

第5回 移動通信 (電子システム工学科 前山利幸)

スマートフォンは、半導体、電磁波、信号処理などの様々な技術によって実現されている。その技術の1つである移動通信について、その歴史を通して進化する通信技術について説明する。

第6回 探究学習を支援するAIの仕組み (情報工学科 澄川靖信)

現在の高等学校では、2022年から実施される学習指導要領に沿った授業を実施しています。本講義では、生徒達が適切に探究型学習を行えるように働きかけている教師を対象にした最新のAI技術について紹介します。

第7回 人工知能とは (情報工学科 西垣貴央)

人工知能という言葉聞いたことはあると思いますが、それが何かと考えたことはあるでしょうか。人工知能で使われる様々な技術と、その最近の動向について紹介します。

第8回 人間情報とヒューマンインタフェース (情報工学科 郭鐘聲)

人々の安全性・快適性向上を目指した環境・モノの設計には、人間の心理・行動特性の理解が必要である。その理解のための関連技術と最新の動向について説明する。

第9回 土木構造とデザイン (デザイン学科 永見豊)

橋梁を例とした構造物の力の流れに着目して、材料と構造形式の関係を講義する。また、理解度を確保するための課題を課し、その解説を行なう。

第10回 技術の進化と人間の関わり方 (デザイン学科 森岡大輔)

人間と製品の関わりは、技術の進化により大きく変化する。これらの関わりと、変化により生じる問題について解説する。

第11回 テクニカルライティングの考え方 (基礎教育系列 小林伊智郎)

理工系論文や製品マニュアルに使われるテクニカルライティングの手法は、「読み手にとって必要な情報は何か」「どうすれば読み手にとって伝わりやすくなるか」といった、読み手に対する配慮が欠かせない。その考え方を、大学での学修や生活に役立てる方法を提案する。

第12回 環境科学と工業環境技術 (基礎教育系列 早川信一)

持続可能な社会の構築のために、技術者の果たす役割と環境を意識した技術者として様々な分野を内包する環境工学の活用を考える。また、理解度を確保するための課題を課し、その解説を行なう。

第13回 科学技術と安全衛生管理 (基礎教育系列 早川信一)

労働安全に関心を持ち、基本的な労働災害の概念や災害の実際(危険予知訓練等の活用)について解説し、法令遵守の姿勢を身に付ける。また、理解度を確保するための課題を課し、その解説を行なう。

【授業の方法】

オムニバス形式で、毎回担当教員が各自専門とする分野について講義を行う。基本的には教室において講義スタイルで授業が行われるが、特別な授業を行う場合は担当教員から指示があるので従うこと。

【予習・復習】

毎回、シラバスに掲載されているテーマについて調査し、予備知識や問題意識を持って講義に臨むこと。また、受講後は、講義内容と身近な問題とのかかわりについて考え、今後の社会活動に役立てること。

【成績評価方法】

毎回の講義中に課される小試験、レポート、課題などによって、講義の理解度を評価する。学期試験は行わない。また、再試験も実施しない。

【参考書、教材等】

特になし。必要な場合は、各講義の最初にプリントを配布する。

※ この授業は、4/17 (水) が初回です。

※受入大学等 学籍番号	
----------------	--

単位互換履修申請書

写真貼付 縦4cm×横3cm 最近3カ月以内に 撮影したもの

大学学長 殿

所属大学等	大学	部	学科	年
所属大学 学籍番号		(ふりがな) 氏 名		
生年月日	西暦 () 年 () 月 () 日生 (昭和・平成 年)			
本人連絡先	〒 — — Tel. — — (該当事項に○印： 携帯・自宅・呼出) E-mail:			
緊急連絡先	(ふりがな) 氏 名		Tel. — — (該当事項に○印： 携帯・自宅・呼出)	

下記科目を受講いたしたく、ご許可くださいますようお願い申し上げます。
受講に当たっては、貴学の学則その他諸規則を遵守することを誓約いたします。

【個人情報の取扱い】

学生の所属大学等及び科目の受入れ大学等は、この単位互換に関する手続き並びに履修、成績評価、単位認定、施設利用等にかかる業務に限り利用し、この利用範囲において両大学間で個人情報の提供を行います。

記

受入大学等	授業受講会場	No.	履修希望科目名	開講期間	曜日・時限	担当教員	※大学等 記入欄
					曜 限		
					曜 限		

(注) 1 この「単位互換履修申請書」は、「所属大学等の事務担当窓口」に提出してください。
2 「※」の欄には、何も記入しないでください。

※大学等記入欄	受入大学等受付印	所属大学等受付印

※受入大学等 学籍番号	
----------------	--

単位互換履修申請書

写真貼付

縦4cm×横3cm
最近3カ月以内に
撮影したもの

大学学長 殿

所属大学等	大学		部	学科	年
所属大学 学籍番号		(ふりがな) 氏 名			
生年月日	西暦 () 年 () 月 () 日生 (昭和・平成 年)				
本人連絡先	〒 — — Tel. — — (該当事項に○印： 携帯・自宅・呼出) E-mail:				
緊急連絡先	(ふりがな) 氏 名		Tel. — — (該当事項に○印： 携帯・自宅・呼出)		

下記科目を受講いたしたく、ご許可くださいますようお願い申し上げます。
受講に当たっては、貴学の学則その他諸規則を遵守することを誓約いたします。

【個人情報の取扱い】

学生の所属大学等及び科目の受入れ大学等は、この単位互換に関する手続き並びに履修、成績評価、単位認定、施設利用等にかかる業務に限り利用し、この利用範囲において両大学間で個人情報の提供を行います。

記

受入大学等	授業受講会場	No.	履修希望科目名	開講期間	曜日・時限	担当教員	※大学等 記入欄
					曜 限		
					曜 限		

(注) 1 この「単位互換履修申請書」は、「所属大学等の事務担当窓口」に提出してください。
2 「※」の欄には、何も記入しないでください。

※大学等記入欄

受入大学等受付印

所属大学等受付印



大学コンソーシアム八王子

大学コンソーシアム八王子事務局（八王子市学園都市センター内）

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11階

TEL : 042-646-5740 FAX : 042-646-2663

<https://gakuen-hachioji.jp/>

